

平成28年度

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

年報

目次

1 美術作品の収集

1 平成 28 年度新収蔵作品概要.....	4
2 作品収集状況.....	6
3 平成 28 年度新収蔵作品一覧.....	7
4 作品目録.....	10

2__1 展覧会①近美コレクション

◆〈近美コレクション〉一覧.....	12
1 女性たちのエコール・ド・パリ.....	13
2 北海道美術紀行.....	25
3 ワンダー☆ミュージアム 2017 キャッチ・ザ・カラーズ 色をつかまえろ！.....	38

2__2 展覧会②特別展

◆ 特別展一覧.....	47
1 足立美術館所蔵 横山大観展.....	48
2 北海道・いまを生きるアーティストたち ともにいること ともにあること	53
3 ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ.....	58
4 ゴジラ展 特撮映画のヴィジョンとデザイン.....	63
5 浮世絵師・歌川国貞展.....	76
6 片岡球子 本画とスケッチで探る画業のひみつ.....	81

2__3 展覧会③貸館

◆ 貸館一覧.....	94
-------------	----

3 教育普及関係

1 移動美術館.....	95
2 夏休みワークショップ 2016.....	98
3 解説活動.....	99
4 博物館実習【館園実習】	100
5 映像ミュージアム.....	101
6 近代美術館・三岸美術館・知事公館ぐるっと三館鑑賞ツアー.....	102
7 出張アート教室.....	103
8 ボランティアの活動.....	105
9 協力事業.....	107
10 その他.....	113
11 教育普及活動細目.....	114

4 資料・情報関係

1 刊行物.....	121
2 特別観覧.....	122
3 情報資料.....	123

5 美術作品の貸し出し..... 126

6 観覧者数一覧等、その他

1 事業日誌.....	127
2 名簿・委員.....	132
3 名簿・職員.....	133
4 沿革.....	134
5 平成 28 年度観覧者数一覧.....	136
6 平成 28 年度教育・情報サービス利用者一覧.....	137

1 美術作品の収集

1 平成 28 年度新収蔵作品概要

平成 28 年度は、78 点が新たな収蔵作品として当館のコレクションに加わった（油彩 7 点、日本画 1 点、工芸 67 点、デザイン 3 点）。また、資料として日本画 1 点を受け入れた。全て寄贈によるものである。詳細は別表の「作品収集状況」「平成 28 年度新収蔵作品一覧」の通りであるが、この収集により作品総所蔵点数は計 5,192 点となった（資料総数は 517 点）。

今年度の収蔵は、「北海道の美術」ならびに「ガラス工芸」の収集方針に沿うもので、7 名の美術家の作品・資料が収蔵された。以下、概要を紹介する。

北海道にもゆかりを持って活動した荒井龍男は、自由美術家協会やモダンアート協会で活躍し、戦前から戦後にかけての日本の前衛美術に大きな足跡を残した画家。1930～50 年代にかけての彼の画業の展開を示す具象作品や抽象作品など 5 点が収蔵され、既収蔵 1 点のみだったものに加えて、コレクションが充実することとなった。

自由美術家協会や春陽会、主体美術協会などに出品し、北海道美術協会（道展）を長く支えた亀山良雄は、戦後の北海道美術界の発展に大きな役割を担って活躍した。さまざまな手法で人間像の表現を追求してきたこの画家の、これまで収蔵されていなかった晩年の様式を示す 2 点が収蔵された。

日本画では、北海道を代表する日本画家であり、現代日本画界の重鎮として活躍した岩橋英遠の花鳥画の小品を収蔵した。画家が 1930 年代後半頃から新たな日本画の創造をめざして模索していた、画業初期の充実期に制作された貴重な作例として、収蔵の意義が高い。

当館のコレクションの主軸のひとつでもある「ガラス工芸」の分野では、日本の近代ガラスの礎を築いた 2 名の作家の作品が収蔵された。

「各務クリスタル製作所」のデザイナーから出発し、従来にないガラスの肌合いの表現を追究して、戦前・戦後の約 40 年にわたって日本のガラスデザインをリードし続けた淡島雅吉の多彩なガラス技法を駆使した「しづくガラス」「ビトモール」「プロット」「フローランタン」「ビトレーナ」「ピートリー」のシリーズなど、計 64 点のまとまった収蔵となって特筆される。また、平成 25 年度に続いて、日本の近代ガラス工芸史にユニークな足跡を残した小柴外一の貴重な作例となる 3 点が収蔵された。これらにより、当館のガラスコレクションの充実度が増すものとなった。

デザイン分野では、北海道を代表するグラフィック・デザイナー栗谷川健一の昭和戦前期のポスターや原画、計 3 点が加わり、既収蔵作品とあわせて栗谷川作品がさらに充実し

た。

このほか、北海道ゆかりの近世画家である蠣崎波響の研究資料として、その追隨の周辺の作とも推定される日本画1点を収蔵した。

なお、購入による作品収集については、昨年度（平成27年度）に、約10年ぶりに北海道美術品取得基金の執行が認められて、函館美術館で1点の購入・収蔵となったことをうけ、本年度も道立美術館・芸術館各館で購入候補作品を検討して、再度の基金活用を図ったものの、財政状況等から購入は見送ることとなり、次年度以降の計画を検討することとした。

（当館学芸部長 地家光二）

2 作品収集状況

分野	平成27年度末 作品所蔵数		平成28年度作品収集数				平成28年度末 作品所蔵総数		資料		
			購入	受贈	管理換	計			平成27年度末 資料所蔵数	平成28年度末 資料収集数	平成28年度末 資料所蔵総数
油彩	777点	(15.2%)	0点	7点	0点	7点	784点	(15.1%)	88点	0点	88点
日本画	259	(5.1%)	0	1	0	1	260	(5.0%)	16	1	17
水彩・素描	321	(6.3%)	0	0	0	0	321	(6.2%)	210	0	210
版画	1,742	(34.1%)	0	0	0	0	1,742	(33.6%)	72	0	72
彫刻	108	(2.1%)	0	0	0	0	108	(2.1%)	14	0	14
工芸	1,628	(31.8%)	0	67	0	67	1,695	(32.6%)	96	0	96
デザイン	228	(4.4%)	0	3	0	3	231	(4.4%)	18	0	18
写真	51	(1.0%)	0	0	0	0	51	(1.0%)	2	0	2
合計	5,114	(100.0%)	0	78	0	78	5,192	(100.0%)	516	1	517

3 平成28年度新収蔵作品一覧

受贈作品一覧

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2016001	油彩	荒井 龍男	静寂	1934-36(昭和09-11)	油彩・キャンバス	73.0×100.0
2016002	油彩	荒井 龍男	白い掌	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	99.8×80.4
2016003	油彩	荒井 龍男	むうんらいと・そなた	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	53.0×80.3
2016004	油彩	荒井 龍男	山脈	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	89.5×145.5
2016005	油彩	荒井 龍男	レダ	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	80.3×100.0
2016006	油彩	亀山 良雄	迷彩の女	1982(昭和57)	油彩・キャンバス	45.0×37.3
2016007	油彩	亀山 良雄	閑日	1989(平成元)	油彩・キャンバス	72.5×116.5
2016008	日本画	岩橋 英遠	游鯉	1937-40 (昭和12-15)	絹本着彩 軸	43.1×51.9
2016009	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 置物・河豚	1943(昭和18)頃	型吹き、サンドブラスト	16.3×13.1×11.7
2016010	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器	1952(昭和27)	型吹き、カット	16.5×20.9×21.9
2016011	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 少女と魚	1953(昭和28)	型吹き	20.5×20.2×12.2
2016012	工芸	淡島 雅吉	水差し	1955(昭和30)、 1955(昭和30)頃	宙吹き 一対	14.0×17.4×26.3 14.8×15.1×31.2
2016013	工芸	淡島 雅吉	花器	1955(昭和30)頃	宙吹き	15.9×42.5
2016014	工芸	淡島 雅吉	栓付瓶	1957(昭和32)	宙吹き 一対	8.9×37.7 7.6×32.9
2016015	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器	1970(昭和45)	型吹き	14.6×19.6×20.3
2016016	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	15.4×17.1×17.5
2016017	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	10.4×18.8×15.9
2016018	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	14.4×18.5×19.6
2016019	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	30.0×30.9×21.8
2016020	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	20.9×30.4
2016021	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 人物文花器		型吹き	6.3×13.5×24.3
2016022	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	15.1×21.0×21.0
2016023	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	9.1×13.4×12.3
2016024	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	10.3×20.9×26.2
2016025	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 台付杯		型吹き 一対	7.9×10.9×17.4 8.0×11.0×17.4
2016026	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 茶碗		型吹き	15.4×5.1
2016027	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 器		型吹き	12.0×22.2×5.5
2016028	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 茶入		型吹き	6.3×7.2×7.5
2016029	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	8.4×13.6×19.8
2016030	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 鉢		型吹き	29.6×8.7
2016031	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 鉢		型吹き	16.9×23.7×9.6
2016032	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 茶碗		型吹き	13.0×7.4
2016033	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	8.4×29.4
2016034	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 花器		型吹き	11.3×25.6×20.3
2016035	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス 鉢		型吹き	17.5×6.8
2016036	工芸	淡島 雅吉	しづくガラス デキャンターセット		型吹き 一対	9.3×9.7×25.6 4.1×5.2×7.6
2016037	工芸	淡島 雅吉	ビトモール 花器		型吹き	13.0×20.6×32.5

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2016038	工芸	淡島 雅吉	ピトモール 花器		型吹き	17.0×17.6×28.7
2016039	工芸	淡島 雅吉	ピトモール 花器		型吹き	17.1×17.7×28.0
2016040	工芸	淡島 雅吉	ピトモール 花器		型吹き	11.1×12.6×37.2
2016041	工芸	淡島 雅吉	プロット 花器		鉄枠吹き込み	24.3×25.2×42.9
2016042	工芸	淡島 雅吉	プロット 花器		鉄枠吹き込み	16.4×15.8×35.1
2016043	工芸	淡島 雅吉	ブローランタン ランタン		鉄枠吹き込み	17.1×16.3×20.9 本体 12.8×19.6×37.2 金具
2016044	工芸	淡島 雅吉	ブローランタン ランタン		鉄枠吹き込み	18.2×20.0×26.6 本体 18.0×28.5 蓋とつり金具
2016045	工芸	淡島 雅吉	ビトレーナ 鳥		ガラス、鉄	5.1×23.0×18.5
2016046	工芸	淡島 雅吉	ビトレーナ バレリーナ		ガラス、鉄	5.0×19.0×35.7
2016047	工芸	淡島 雅吉	ビトレーナ バレリーナ		ガラス、鉄	6.5×14.2×37.1
2016048	工芸	淡島 雅吉	ビトレーナ プタ		ガラス、鉄	2.2×7.4×6.7
2016049	工芸	淡島 雅吉	ビトレーナ プタ		ガラス、鉄	2.3×6.7×7.0
2016050	工芸	淡島 雅吉	ビトレーナ プタ		ガラス、鉄	2.2×7.6×6.7
2016051	工芸	淡島 雅吉	ビトレーナ プタ		ガラス、鉄	2.2×7.4×6.3
2016052	工芸	淡島 雅吉	花器		型吹き	6.4×10.8×20.3
2016053	工芸	淡島 雅吉	花器		型吹き	5.8×9.3×21.4
2016054	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	9.6×33.7
2016055	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	7.5×42.9
2016056	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	23.7×31.5
2016057	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	8.6×11.1×24.3
2016058	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	12.6×13.6×15.3
2016059	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	13.9×47.8
2016060	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	20.0×37.9
2016061	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	11.5×14.2
2016062	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	9.0×10.0×24.8
2016063	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	21.6×33.0
2016064	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	11.4×15.2
2016065	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き 一對	9.8×17.6×18.0 8.8×17.0×28.2
2016066	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き 一對	8.1×12.0×29.2 10.3×14.8×14.7
2016067	工芸	淡島 雅吉	花器		宙吹き	8.1×17.8×47.4
2016068	工芸	淡島 雅吉	栓付瓶		宙吹き	9.6×31.2
2016069	工芸	淡島 雅吉	香水瓶		宙吹き 3点	6.3×6.6×16.4 7.1×12.7 2.5×13.7×2.6
2016070	工芸	淡島 雅吉	ピートリー 花器		宙吹き 2点	9.0×9.1×47.7 9.5×10.8×47.0
2016071	工芸	淡島 雅吉	角皿		型吹き 3点	8.0×8.0×2.1 14.5×14.1×2.6 19.4×17.6×2.2
2016072	工芸	淡島 雅吉	鉢		型吹き 2点	17.8×17.4×5.8 13.7×14.2×5.0
2016073	工芸	小柴 外一	せみ 大皿	型:昭和初期	型押し	24.5×24.5×6.5
2016074	工芸	小柴 外一	ねぎぼうず 花瓶	型:昭和初期	型押し	17.0×17.0×25.5
2016075	工芸	小柴 外一	犬(シェパード) 文鎮		型押し	9.7×9.7×3.0

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2016076	デザイン	栗谷川 健一	北海道へ (原画)	1930後半-40代 (昭和15-24頃)	ポスターカラー・紙	106.0×75.0
2016077	デザイン	栗谷川 健一	夏ひらく	1939(昭和14)	リトグラフ・紙	103.0×72.8
2016078	デザイン	栗谷川 健一	大雪山国立公園白金温泉 十勝岳観光荘		オフセット・紙	103.0×72.8

受贈作品一覧 (資料扱い)

番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
㍶00517	日本画	梅瘦 杏雨 落款	三賢図		絹本着彩 軸	134.4×50.0

※寸法は、平面作品が縦×横×厚さ、立体作品が縦×横×高さ、あるいは径×高さ。

4 作品目録

凡例

1. この目録には、平成28年4月1日から平成29年3月31日までに、北海道立近代美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は次の分類に基づいて掲載した。
 - 1 ガラス工芸
 - 2 北海道の美術
3. 北海道の美術は、北海道出身または北海道に居住した作家、および北海道を制作の拠点とした作家をもってこれにあてた。
4. 作者名は各分類ごとに、50音順に配列した。同一作家の作品が2点以上ある場合は、各分野ごとに制作年順に配列した。
5. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。

作者名、生没年、作品名、制作年、技法・材質・形状、寸法、収集の経緯、作品番号。
6. 制作年は作品に明記されているもの、制作事情のはっきりしているもののほか、展覧会発表の年をもって制作年とみなしたものがある。
7. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品では画面の縦×横×厚さ、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さを示した。

1 ガラス工芸 (日本) Glass (Japanese)

1	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 置物・河豚 Ornament	1943(昭和18)頃	型吹き、サンドブラスト	16.3×13.1×11.7	受贈 (平成28年度)	2016009
2	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase	1952(昭和27)	型吹き、カット	16.5×20.9×21.9	受贈 (平成28年度)	2016010
3	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 少女と魚 Girl and Fish	1953(昭和28)	型吹き	20.5×20.2×12.2	受贈 (平成28年度)	2016011
4	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	水差し Water Containers	1955(昭和30)、 1955(昭和30)頃	宙吹き 一对	14.0×17.4×26.3 14.8×15.1×31.2	受贈 (平成28年度)	2016012
5	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase	1955(昭和30)頃	宙吹き	15.9×42.5	受贈 (平成28年度)	2016013
6	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	栓付瓶 Bottles with Stoppers	1957(昭和32)	宙吹き 一对	8.9×37.7 7.6×32.9	受贈 (平成28年度)	2016014
7	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase	1970(昭和45)	型吹き	14.6×19.6×20.3	受贈 (平成28年度)	2016015
8	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	15.4×17.1×17.5	受贈 (平成28年度)	2016016
9	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	10.4×18.8×15.9	受贈 (平成28年度)	2016017
10	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	14.4×18.5×19.6	受贈 (平成28年度)	2016018
11	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	30.0×30.9×21.8	受贈 (平成28年度)	2016019
12	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	20.9×30.4	受贈 (平成28年度)	2016020
13	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 人物文花器 Vase		型吹き	6.3×13.5×24.3	受贈 (平成28年度)	2016021
14	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	15.1×21.0×21.0	受贈 (平成28年度)	2016022
15	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	9.1×13.4×12.3	受贈 (平成28年度)	2016023
16	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	10.3×20.9×26.2	受贈 (平成28年度)	2016024
17	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 台付杯 Glasses		型吹き 一对	7.9×10.9×17.4 8.0×11.0×17.4	受贈 (平成28年度)	2016025
18	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 茶碗 Tea Bowl		型吹き	15.4×5.1	受贈 (平成28年度)	2016026
19	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 器 Container		型吹き	12.0×22.2×5.5	受贈 (平成28年度)	2016027
20	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 茶入 Tea Caddy		型吹き	6.3×7.2×7.5	受贈 (平成28年度)	2016028
21	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	8.4×13.6×19.8	受贈 (平成28年度)	2016029
22	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 鉢 Bowl		型吹き	29.6×8.7	受贈 (平成28年度)	2016030
23	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 鉢 Bowl		型吹き	16.9×23.7×9.6	受贈 (平成28年度)	2016031
24	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 茶碗 Tea Bowl		型吹き	13.0×7.4	受贈 (平成28年度)	2016032
25	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	8.4×29.4	受贈 (平成28年度)	2016033
26	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 花器 Vase		型吹き	11.3×25.6×20.3	受贈 (平成28年度)	2016034
27	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス 鉢 Bowl		型吹き	17.5×6.8	受贈 (平成28年度)	2016035
28	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	しづくガラス デキャンターセット Decanter and Tumbler		型吹き 一对	9.3×9.7×25.6 4.1×5.2×7.6	受贈 (平成28年度)	2016036
29	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトモール 花器 Vase		型吹き	13.0×20.6×32.5	受贈 (平成28年度)	2016037
30	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトモール 花器 Vase		型吹き	17.0×17.6×28.7	受贈 (平成28年度)	2016038
31	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトモール 花器 Vase		型吹き	17.1×17.7×28.0	受贈 (平成28年度)	2016039
32	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトモール 花器 Vase		型吹き	11.1×12.6×37.2	受贈 (平成28年度)	2016040
33	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	プロット 花器 Vase		鉄棒吹き込み	24.3×25.2×42.9	受贈 (平成28年度)	2016041
34	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	プロット 花器 Vase		鉄棒吹き込み	16.4×15.8×35.1	受贈 (平成28年度)	2016042
35	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ブローランタン ランタン Lantern		鉄棒吹き込み	17.1×16.3×20.9 本体 12.8×19.6×37.2 金具	受贈 (平成28年度)	2016043
36	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ブローランタン ランタン Lantern		鉄棒吹き込み	18.2×20.0×26.6 本体 18.0×28.5 蓋とつり金具	受贈 (平成28年度)	2016044

37	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトレーナ 鳥 Bird		ガラス、鉄	5.1×23.0×18.5	受贈(平成28年度)	2016045
38	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトレーナ バレリーナ Ballerina		ガラス、鉄	5.0×19.0×35.7	受贈(平成28年度)	2016046
39	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトレーナ バレリーナ Ballerina		ガラス、鉄	6.5×14.2×37.1	受贈(平成28年度)	2016047
40	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトレーナ ブタ Pig		ガラス、鉄	2.2×7.4×6.7	受贈(平成28年度)	2016048
41	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトレーナ ブタ Pig		ガラス、鉄	2.3×6.7×7.0	受贈(平成28年度)	2016049
42	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトレーナ ブタ Pig		ガラス、鉄	2.2×7.6×6.7	受贈(平成28年度)	2016050
43	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビトレーナ ブタ Pig		ガラス、鉄	2.2×7.4×6.3	受贈(平成28年度)	2016051
44	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		型吹き	6.4×10.8×20.3	受贈(平成28年度)	2016052
45	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		型吹き	5.8×9.3×21.4	受贈(平成28年度)	2016053
46	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	9.6×33.7	受贈(平成28年度)	2016054
47	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	7.5×42.9	受贈(平成28年度)	2016055
48	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	23.7×31.5	受贈(平成28年度)	2016056
49	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	8.6×11.1×24.3	受贈(平成28年度)	2016057
50	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	12.6×13.6×15.3	受贈(平成28年度)	2016058
51	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	13.9×47.8	受贈(平成28年度)	2016059
52	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	20.0×37.9	受贈(平成28年度)	2016060
53	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	11.5×14.2	受贈(平成28年度)	2016061
54	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	9.0×10.0×24.8	受贈(平成28年度)	2016062
55	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	21.6×33.0	受贈(平成28年度)	2016063
56	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	11.4×15.2	受贈(平成28年度)	2016064
57	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vases		宙吹き 一対	9.8×17.6×18.0 8.8×17.0×28.2	受贈(平成28年度)	2016065
58	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vases		宙吹き 一対	8.1×12.0×29.2 10.3×14.8×14.7	受贈(平成28年度)	2016066
59	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	花器 Vase		宙吹き	8.1×17.8×47.4	受贈(平成28年度)	2016067
60	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	栓付瓶 Bottle with Stopper		宙吹き	9.6×31.2	受贈(平成28年度)	2016068
61	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	香水瓶 Perfume Bottles		宙吹き 3点	6.3×6.6×16.4 7.1×12.7 2.5×13.7×2.6	受贈(平成28年度)	2016069
62	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	ビートリー 花器 Vases		宙吹き 2点	9.0×9.1×47.7 9.5×10.8×47.0	受贈(平成28年度)	2016070
63	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	角皿 Dishes		型吹き 3点	8.0×8.0×2.1 14.5×14.1×2.6 19.4×17.6×2.2	受贈(平成28年度)	2016071
64	淡島 雅吉 AWASHIMA Masakichi	1913～1979 (大正2～昭和54)	鉢 Bowls		型吹き 2点	17.8×17.4×5.8 13.7×14.2×5.0	受贈(平成28年度)	2016072
65	小柴 外一 KOSHIBA Sotoichi	1901～1973 (明治34～昭和48)	せみ 大皿 Dish	型:昭和初期	型押し	24.5×24.5×6.5	受贈(平成28年度)	2016073
66	小柴 外一 KOSHIBA Sotoichi	1901～1973 (明治34～昭和48)	ねぎぼうず 花瓶 Vase	型:昭和初期	型押し	17.0×17.0×25.5	受贈(平成28年度)	2016074
67	小柴 外一 KOSHIBA Sotoichi	1901～1973 (明治34～昭和48)	犬(シェパード) 文鎮 Paper Weight		型押し	9.7×9.7×3.0	受贈(平成28年度)	2016075

2 北海道の美術 Hokkaido Art

68	荒井 龍男 ARAI Tatsuo	1904～1955 (明治37～昭和30)	静寂 Silence	1934-36(昭和9-11)	油彩・キャンバス	73.0×100.0	受贈(平成28年度)	2016001
69	荒井 龍男 ARAI Tatsuo	1904～1955 (明治37～昭和30)	白い掌 White Palm	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	99.8×80.4	受贈(平成28年度)	2016002
70	荒井 龍男 ARAI Tatsuo	1904～1955 (明治37～昭和30)	むうんらいと・そなた Moonlight Sonata	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	53.0×80.3	受贈(平成28年度)	2016003
71	荒井 龍男 ARAI Tatsuo	1904～1955 (明治37～昭和30)	山脈 Mountain Range	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	89.5×145.5	受贈(平成28年度)	2016004
72	荒井 龍男 ARAI Tatsuo	1904～1955 (明治37～昭和30)	レダ Leda	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	80.3×100.0	受贈(平成28年度)	2016005
73	亀山 良雄 KAMEYAMA Yoshio	1921～1997 (大正10～平成9)	迷彩の女 Camouflaged Woman	1982(昭和57)	油彩・キャンバス	45.0×37.3	受贈(平成28年度)	2016006
74	亀山 良雄 KAMEYAMA Yoshio	1921～1997 (大正10～平成9)	閑日 Calm Day	1989(平成元)	油彩・キャンバス	72.5×116.5	受贈(平成28年度)	2016007
75	岩橋 英遠 IWAHASHI Eien	1903～1999 (明治36～平成11)	游鯉 Sailing Carp	1937-40 (昭和12-15)	絹本着彩 軸	43.1×51.9	受贈(平成28年度)	2016008
76	栗谷川 健一 KURIYAGAWA Kenichi	1911～1999 (明治44～平成11)	北海道へ(原画) To Hokkaido (original painting)	1930後半-40年代 (昭和15-24頃)	ポスターカラー・紙	106.0×75.0	受贈(平成28年度)	2016076
77	栗谷川 健一 KURIYAGAWA Kenichi	1911～1999 (明治44～平成11)	夏ひらく Start of the Summer	1939(昭和14)	リトグラフ・紙	103.0×72.8	受贈(平成28年度)	2016077
78	栗谷川 健一 KURIYAGAWA Kenichi	1911～1999 (明治44～平成11)	大雪山国立公園白金温泉 十勝岳観光往 Daisetsuzan National Park Shirogane Hot Springs		オフセット・紙	103.0×72.8	受贈(平成28年度)	2016078

2_1 展覧会①近美コレクション

◆〈近美コレクション〉一覧

展覧会名	開催期間	開催日数	同時開催
1 女性たちのエコール・ド・パリ	2016(平成28)年 03月31日(木)～06月23日(木)	72日 *年度内	ふれるかたち 春の名品選ーガレ《鯉文花器》他 新収蔵品展 この1点を見てほしい。 ー国松 登 《寝園獣走》(3/31-5/17) ー能勢 真美《草木》(5/18-6/23)
2 北海道美術紀行	07月02日(土)～11月08日(火)	109日	夏から秋の名品選ー小森忍《雪結晶文花瓶》他 この1点を見てほしい。 ー歌川 国貞《鬼灯を持つ女》(07/02-09/04) ーブリジット・ライリー《アレスト I》(09/09-11/08)
3 ワンダー☆ミュージアム2017 キャッチ・ザ・カラーズ 色をつかまえろ！	11月23日(水・祝)～ 2017(平成29)年04月09日(日)	105日 *年度内	冬から春の名品選ーデューラーとレンブラントの版画他 この1点を見てほしい。 ー青山 熊治 《アイヌ》(11/23-02/02) ー鹿子木 孟郎《裸婦》 (02/03-04/09)

1 女性たちのエコール・ド・パリ

(同時開催／春の名品選 ―ガレ《鯉文花器》他、ふれるかたち、新収蔵品展)

会 期：平成 28 年 03 月 31 日(木)～06 月 23 日(木)

会 場：北海道立近代美術館 展示室 A

主 催：北海道立近代美術館

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

女性たちのエコール・ド・パリ

École de Paris and Women: Painters, Models and Icons

1920 年代から 1930 年代にかけて、さまざまな国々からパリに集った若き芸術家たちはエコール・ド・パリ（パリ派）と呼ばれた。彼らはキュビズム（立体派）やフォービズム（野獣派）といった 20 世紀初頭の革新的な表現を取り入れながらも、おのおのが独自の表現を探究し、百人百様のスタイルが花開いた。本展は、当館所蔵のエコール・ド・パリの作品群とその時代を、「女性」をキーワードに読み解くことを試みた。

パスキンやキスリング、ドラン、フジタらによって描かれたモデルの女性たちや、女流画家として活躍したダヴィッドやローランサン。さらに、画中の街行く女性たちや、美しい装幀で愛書家たちを魅了した挿絵本に登場する、物語の中の女性たち。本展では、女性画家の視点、描かれた女性への視点を通じて、エコール・ド・パリの表現世界を紹介した。

●展示構成

- 1 モデル
- 2 時代を生きた女性たち
- 3 女性画家
- 4 物語のなかの女性たち

春の名品選―ガレ《鯉文花器》他

Selected Pieces for Spring from Our Collection

当館の収蔵作品のなかから代表的な作品や展示の希望の多い作品を、選りすぐって紹介した。ガレ《鯉文花器》、シャガール《パリの空に花》、砂澤ビッキ《風》、北岡文雄《漁夫と鳥と白い船》など、104 点。

ふれるかたち

Touching Sculptures

彫刻や立体作品を手で触れて鑑賞する展覧会。視覚に障害を持つ方にも美術作品をより楽しんでもらうとともに、幅広い年齢層の晴眼者をも視覚にとどまらない作品へのアプローチへ誘うことをねらった。展示室 A 出口付近の 2 階西側廊下を会場に、日本の近代彫刻 5 点を展示。

新収蔵品展

New Acquisitions

平成 27 年度の新収蔵を紹介。北海道ゆかりの作家の作品 67 点と資料 48 点が寄贈によって収蔵。

岡田敦、鈴木涼子、露口啓二の写真は、平成 27 年度に開催した「もうひとつの眺めー北海道発：8 人の写真と映像」展への出品が契機となって、作家から寄贈されたもの。本間紹夫の油彩、白江正夫の水彩、寺崎源治、中谷有逸、三木蘭の版画、柴山勝の陶芸により、平成 27 年度末で当館の収蔵作品数は、5,114 点となった。

また、平成 27 年度に「生誕 100 年記念 小谷博貞・絵画の冒険」を開催した後、展覧会調査の過程で明らかになったスケッチなど 46 点の資料が遺族から寄贈。ほかにも、今田敬一のスケッチブック、寺崎源治、中谷有逸の版画原版など、作家の生涯や制作を伝える貴重な資料が寄贈になった。

この 1 点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

国松 登 《寝園獣走》 03 月 31 日（木）～05 月 17 日（火）

能勢 真美 《草木》 05 月 18 日（水）～06 月 23 日（木）

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社クリエート工房

●広報印刷物

ポスター／B2 判

チ ラ シ／A4 判

印 刷：山藤三陽印刷株式会社

デザイン：株式会社佐藤守功デザイン事務所

●出品目録

A3 判 4 頁（当館簡易印刷）

●関連事業

[ギャラリー・トーク] 会場はいずれも展示室 A

日 時：04 月 16 日（土）、04 月 23 日（土） 14 時～14 時 30 分

講 師：大下智一（当館主任学芸員）

内 容：「この 1 点を見てほしい。一国松 登《寢園獣走》」

日 時：05 月 21 日（土）、05 月 28 日（土） 14 時～14 時 30 分

講 師：佐藤由美加（当館主任学芸員）

内 容：「白江正夫—水彩画にかけた思い」

日 時：06 月 04 日（土）、06 月 18 日（土） 14 時～14 時 30 分

講 師：鎌田享（当館普及情報課長）

内 容：「この 1 点を見てほしい。一能勢 真美《草木》」

[子ども鑑賞ツアー]

日 時：04 月 09 日（土）、05 月 14 日（土）、06 月 11 日（土） 11 時～11 時 30 分

会 場：展示室 A（小中学生は無料）

案 内：当館学芸員

女性たちのエコール・ド・パリ 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	ジュル・パスキン	ソファに腰かけるシュザンヌ	1911	油彩・キャンバス	65.5×54.0
2	藤田 嗣治	二人の女	1918	油彩・キャンバス	92.2×73.3
3	ジュル・パスキン	二人のモデル	1924	油彩・キャンバス	99.0×80.0
4	ジュル・パスキン	花束をもつ少女	1925～26	油彩・キャンバス	80.0×64.0
5	ジュル・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩・キャンバス	92.0×73.0
6	ジュル・パスキン	ジナとルネ	1928	油彩・キャンバス	90.5×71.3
7	キスリング	裸婦	1926	油彩・キャンバス	73.5×54.8
8	国吉 康雄	横たわる裸婦	1929	油彩・キャンバス	101.6×203.2
9	ジュル・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩・キャンバス	81.0×100.0
10	アンドレ・ドラン	猫と裸婦	1936～38頃	油彩・キャンバス	108.3×150.5
11	ペール・クロウグ	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩・キャンバス	92.0×60.0
12	藤田 嗣治	家族の肖像	1954	油彩・キャンバス	17.5×12.5
13	ジュル・パスキン	肘掛け椅子のエルミーヌ	1914	鉛筆、水彩・紙	32.0×21.3
14	ジュル・パスキン	エルミーヌ・ダヴィッド	1918	コンテ・紙	27.9×21.3
15	ジュル・パスキン	国吉夫人	1927	鉛筆・紙	54.4×43.0
16	キスリング	晴着の婦人	1925	油彩・キャンバス	73.0×60.0
17	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩・キャンバス	130.5×97.5
18	キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
19	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェグリフ・グラヴェスタインの肖像	1909	油彩・キャンバス	100.0×81.0
20	ジュル・パスキン	魅惑の宵	1929	ドライポイント、アクアチント・紙	32.3×24.8
21	ジュル・パスキン	テラスにて	1926	ドライポイント・紙	28.0×20.5
22	ジュル・パスキン	街路にて	1912	ドライポイント・紙	9.3×11.9
23	ジュル・パスキン	夜の娘たち	1914	木口木版・紙	5.6×11.6
24	エルミーヌ・ダヴィッド	会計係	1932	エッチング・紙	30.0×23.9
25	ジュル・パスキン	モンマルトルのバー	1912	ドライポイント・紙	8.3×11.0
26	ジュル・パスキン	観劇	1912	ドライポイント・紙	8.5×11.9
27	ジュル・パスキン	モンマルトルの女たち	1912	木口木版・紙	7.9×9.4
28	ジュル・パスキン	身だしなみ	1913	木口木版・紙	11.3×7.6
29	ジュル・パスキン	夏の宵	1912	ドライポイント・紙	16.1×10.2
30	ジュル・パスキン	フワティアエ街11番地	1920	ソフトグランドエッチング・紙	16.2×11.5
31	ジュル・パスキン	カフェにて	1913	ドライポイント・紙	12.2×17.2
32	シャ・ラボルド	『パリ1937』ジェラルール・ボエ「グラン・ブルーヴァール」挿画	1937	エッチング、紙	(紙寸) 35.0×27.3
33	ジャン＝エミール・ラブルール	『パリ1937』ジャン＝ルイ・ヴォドワイエ「公園と二つの通り」挿画	1937	エングレーヴィング、紙	(紙寸) 35.0×27.3
34	ピカール・ル・ドゥ	『パリ1937』ジュル・ロマン「ベルヴィル＝メニルモンタン街」挿画	1937	エッチング・ルーレット、紙	(紙寸) 35.0×27.3
35	ルイ・トゥシャーク	『パリ1937』レオン＝ポール・ファルグ「モンパルナス」挿画	1937	エッチング、紙	(紙寸) 35.0×27.3
36	キース・ヴァン・ドンゲン	『パリ1937』ジャン＝ルイ・ヴォドワイエ「公園と二つの通り」挿画	1937	エッチング、紙	(紙寸) 35.0×27.3
37	ギュスターヴ＝ブランショ・ポファ	『パリ1937』コレット「獣たち」挿画	1937	エッチング、紙	(紙寸) 35.0×27.3
38	リュク＝アルベール・モロー	『パリ1937』アベル・ボナール「パリの公園」挿画	1937	エッチング、紙	(紙寸) 35.0×27.3
39	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩・キャンバス	73.5×61.0
40	マリー・ローランサン	犬と三人の乙女	1930～40	水彩・紙	27.5×37.5
41	マリー・ローランサン	三人の娘	1943	油彩・キャンバス	61.0×49.8
42	エルミーヌ・ダヴィッド	自画像—17歳	1904	水彩・紙	71.5×52.5
43	エルミーヌ・ダヴィッド	パリ郊外—二匹の白い犬	1921	油彩・紙・ボード	54.5×65.0
44	エルミーヌ・ダヴィッド	寝具店	1922	油彩・紙・キャンバス	81.0×65.5
45	エルミーヌ・ダヴィッド	マルヌ河岸	1922	油彩・キャンバス	76.3×88.2
46	エルミーヌ・ダヴィッド	森の散歩道	1922	油彩・キャンバス	58.5×71.5
47	エルミーヌ・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩・キャンバス	73.0×92.0
48	ジュル・パスキン	シンデレラ	1930	エッチング・紙	35.0×25.1
49	エルミーヌ・ダヴィッド	マルテの手記	1942	ドライポイント、紙	19.1×11.9
50	エルミーヌ・ダヴィッド	フランソワ・モーリヤック著『ファビアン』挿画より	1926	銅版、紙	12.6×7.7
51	エルミーヌ・ダヴィッド	フランソワ・モーリヤック著『ファビアン』挿画より	1926	エッチング・ドライポイント・銅版、紙	12.6×7.7

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
52	エルミース・ダヴィッド	フランソワ・モーリヤック著『ファビアン』挿画より	1926	エッチング・ドライポイント、紙	12.6×7.7
53	ジュル・パスキン	放蕩息子と娘たち	1926	ドライポイント・紙	33.5×47.9
54	ジュル・パスキン	酒を飲む放蕩息子	1927	ドライポイント、メゾチント・紙	16.6×24.2
55	ジュル・パスキン	再び放蕩息子	1927	ソフトグラウンドエッチング・紙	25.2×30.0

※寸法は、平面作品が縦×横×厚さ、立体作品が縦×横×高さ、あるいは径×高さ。

※作品はすべて当館蔵。

春の名品選 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	マルク・シャガール	パリの空に花	1967	油彩・キャンバス	148.0×140.0
2	モーリス・ユトリロ	モンルーージュの通り(セーヌ)	1910頃	油彩・キャンバス	57.5×79.3
3	キスリング	籠、パイナップル、リンゴ、メロン	1922	油彩・キャンバス	81.0×100.0
4	エドワード・ムンク	月光	1895	ドライポイント、アクアチント・紙	31.0×25.3
5	エドワード・ムンク	窓辺の少女	1894	ドライポイント、ルーレット・紙	22.0×15.7
6	エドワード・ムンク	病める子	1894	ドライポイント、ルーレット・紙	38.7×29.2
7	エドワード・ムンク	クリスティアニア・ボヘム I	1895	ドライポイント、エッチング・紙	21.9×24.8
8	エドワード・ムンク	その翌朝	1895	ドライポイント、アクアチント・紙	20.4×29.6
9	エミール・ガレ	鯉文花器	1878頃	ガラス:型吹き、エナメル彩	22.8×28.5
10	エミール・ガレ	ワイングラス	1890頃	ガラス:エッチング、金彩、エナメル彩	9.5×12.9
11	エミール・ガレ	昆虫に草花文グラス	1890頃	ガラス:金彩、エナメル彩	8.5×12.5
12	エミール・ガレ	ティーカップ	1887頃	ガラス:金彩、エナメル彩	カップ:7.3×9.3×4.8 皿:11.9×1.9
13	エミール・ガレ	ティーカップ	1890頃	ガラス:エナメル彩	カップ:7.5×8.9×5.0 皿:12.7×1.7
14	エミール・ガレ	アザミ文花器	1890頃	ガラス:エナメル彩、カボション	6.0×17.0
15	エミール・ガレ	カマキリ文花器	1880代	ガラス:金彩、エナメル彩	24.5×19.4×33.0
16	エミール・ガレ	浜木綿文花器	1900頃	ガラス:エッチング、金彩、エナメル彩	9.5×31.0
17	エミール・ガレ	草花文花器	1890代	ガラス:被せガラス、エッチング	10.0×45.0
18	エミール・ガレ	ヤドリギ文花器	1900頃	ガラス:被せガラス、エッチング	15.6×34.2
19	エミール・ガレ	紫陽花文花器	1890代	ガラス:被せガラス、エッチング	12.0×33.5
20	エミール・ガレ	蜻蛉文花器	1900～04頃	ガラス:被せガラス、エッチング	6.2×8.5×16.8
21	エミール・ガレ	花に蝶文ランプ	1900頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	8.8×30.5×25.7
22	エミール・ガレ	蓮文花器	1900	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング、 エングレーヴィング	15.0×18.7
23	エミール・ガレ	アイリス文花器	1900頃	ガラス:被せガラス、エングレーヴィング	10.5×16.5×12.0
24	エミール・ガレ	蓮文花器	1900頃	ガラス:被せガラス、エッチング	19.3×60.2
25	エミール・ガレ	蓮文花器	1897～98頃	ガラス:被せガラス、金属酸化物による斑 文、エッチング、グラヴェール	12.7×32.0
26	ガレ工房	プラム文花器	1925～30頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	27.2×32.5
27	ガレ工房	こぶし文扁壺	1904～14頃	ガラス:被せガラス、エッチング	19.5×34.0×43.0
28	ガレ工房	湖水風景文花器	1904～14頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	21.0×51.0
29	不詳	シクラメン形花器	1890代	ガラス:吹きガラス	39.0×48.0
30	ドーム	銀台付やどり木文コンポート	1894頃	ガラス:銀:エッチング、金彩	14.0×14.5×8.5
31	ドーム	昆虫文蓋物	1910頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	13.2×8.1
32	ドーム	野菊文花器	1900～10頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、エッチ ング、カボション	14.0×38.0
33	ドーム	草の実文花器	1900頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、エッチ ング、エナメル彩	9.5×35.0
34	フランスの工房	花文花器	1900頃	ガラス:エナメル彩	16.0×36.5
35	ルグラ工房	草文花器	1914頃	ガラス:被せガラス、エッチング、エナメル 彩	17.0×66.0
36	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	波状文花器	1900頃	ガラス:虹彩ガラス	12.0×25.5
37	ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房	おだまき形花器	1900頃	ガラス:虹彩ガラス	21.5×39.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
38	ルイ・コムフォート・ティファニー	つる草文花器	1918頃	ガラス：虹彩ガラス、型吹き、象眼、エングレーヴィング	17.8×34.7
39	ドーム	花器	1930代	ガラス：エッチング	34.2×34.3
40	ルネ・ラリック	皿・カリュプソ	型：1930	ガラス：型押し	38.0×4.5
41	ルネ・ラリック	花器・いばら	型：1921	ガラス：型吹き	12.0×23.0
42	ルネ・ラリック	花器・バット	型：1913	ガラス：型吹き、着色	26.5×28.0
43	アンドレ・ドラット	人物文花器	1920代	ガラス：被せガラス、エッチング、エナメル彩	19.5×31.0
44	シュネデル工房	波に風車文花器	1928	ガラス：被せガラス、エッチング	26.0×59.0
45	シュネデル工房	斑文コンボート	1920頃	ガラス：斑文ガラス	40.0×8.0
46	岩田 藤七	トンボ玉一輪挿し	1936 (昭和11)	ガラス：宙吹き	11.2×22.9
47	岩田 藤七	花器・宵	1945 (昭和20)	ガラス：宙吹き・金属箔封入	20.9×20.2
48	岩田 藤七	花器・光りの美	1950 (昭和25)	ガラス：宙吹き	12.0×12.0×40.5
49	岩田 藤七	花器・おぼろ夜	1958 (昭和33)	ガラス：宙吹き	14.7×37.6
50	岩田 藤七	水差し・上野の動物	1976 (昭和51)	ガラス：型吹き	13.7×20.5×23.8
51	岩田 藤七	栓付瓶・原宿	1976 (昭和51) 頃	ガラス：型吹き・アププリケ	11.5×11.3×54.0
52	岩田 藤七	水指	1967 (昭和42)	ガラス：宙吹き	19.0×12.0
53	岩田 藤七	水指・寝屋	1971 (昭和46)	ガラス：型吹き	16.5×16.5×18.5
54	岩田 藤七	茶碗・玄影		ガラス：宙吹き	12.0×9.0
55	岩田 藤七	花器	1966 (昭和41) 頃	ガラス：宙吹き	9.9×29.5×37.3
56	各務 鑛三	鳥獣文飾鉢	1930 (昭和5)	ガラス：被せガラス、カット、エングレーヴィング	20.9×8.9
57	各務 鑛三	吉祥文飾鉢	1932 (昭和7)	ガラス：被せガラス・宙吹き・カット・エングレーヴィング	22.7×13.3
58	各務 鑛三	花器	1929 (昭和4)	ガラス：被せガラス・宙吹き・カット・手磨りによるつや消し	22.8×37.9
59	各務 鑛三	皿・座る	1975 (昭和50)	ガラス：宙吹き・エングレーヴィング	29.6×4.8
60	藤田 喬平	大皿・宇宙	1988 (昭和63)	ガラス：宙吹き、インカルモ、モザイク・ガラス	66.0×4.0
61	藤田 喬平	魂	1988 (昭和63)	ガラス：被せガラス、宙吹き	35.5×50.0×82.5
62	藤田 喬平	飾宮・紅白梅	2002 (平成14)	ガラス、銀：色ガラス粒と金箔、プラチナ箔による装飾、型吹き	16.5×24.0×24.0
63	小柴 外一	女の横顔蓋物	1932～42 (昭和7～17)	ガラス：パート・ド・ヴェール	12.0×4.3
64	小柴 外一	亀甲おもだか文茶碗	1966 (昭和41) 頃	ガラス：パート・ド・ヴェール	11.7×7.7
65	小柴 外一	ぼけ文茶碗	1960年代後期	ガラス：パート・ド・ヴェール	12.0×8.5
66	小柴 外一	茶碗	1940代	ガラス：パート・ド・ヴェール	12.3×6.8
67	小柴 外一	ひまわり文花器	1932～42 (昭和7～17)	ガラス：パート・ド・ヴェール	16.1×21.9
68	小柴 外一	枯尾花文茶碗	1966 (昭和41) 頃	ガラス：パート・ド・ヴェール	9.0×8.8
69	小柴 外一	梅文ランブシェード	1968 (昭和43)	ガラス：パート・ド・ヴェール	24.0×11.2
70	小柴 外一	エメロード・グラス 日本郵船新田丸たばこ入れ	デザイン・制作： 1940 (昭和15) 頃	ガラス：型押し	10.2×14.6×1.2
71	小柴 外一	軍艦置物	デザイン・制作： 1939 (昭和14) 頃	ガラス：キャスト	3.5×30.3×5.3
72	佐藤 潤四郎	薬師寺西塔舍利器	1978 (昭和53)	ガラス：型吹き、エングレーヴィング	12.2×16.5
73	佐藤 潤四郎	三蔵法師舍利器とカバー	舍利器：1980 (昭和55) カバー：1984 (昭和59)	ガラス：カット	8.6×7.8、14.6×21.2
74	岩田 久利	硝子器	1982 (昭和57)	ガラス：宙吹き・アププリケ	35.0×39.7
75	岩田 久利	蓋物・百一つ	1977 (昭和52)	ガラス：宙吹き	27.1×62.8

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
76	岩田 久利	映る	1978 (昭和53)	ガラス:宙吹き・カット	17.3×30.7
77	フランツ・クサヴァ・ヘラー	パルーンIII	1994	クリスタルガラス:宙吹き、カット	46.0×46.0
78	ヤン・プリチャック	冥界	1981	ガラス:スランピング、カット	17.0×29.0×23.0
79	オールドルジヒ・ブリーヴァ	立方体	1989	光学ガラス:カット	15.5×15.0×15.5
80	トゥーツ・ジンスキー	ティエラ・デル・フエゴの連作	1988	ガラス:フィレ・ド・ヴェール(糸状の色ガラス、フュージング、スランピング)	29.0×15.5
81	ロバート・パルスキー	生は暑い夏の日のように彼のもとを過ぎ去った	1987	ガラス:キャスト、接着、着色、サンドブラスト	13.0×27.0×63.0
82	ケケ・クリプス	ミラ	1994	ガラス、木、絹、ビーズ、金箔	17.8×18.0×60.3
83	リチャード・ジョリー	琥珀色の座る女	1988	ガラス:溶けたガラスを巻きとりながら成形、細いガラス棒を溶かしながらドローイング、エッチング	11.5×26.5×31.5
84	イヴァン・マレシュ	悪夢 I	1990	ガラス:キャスト、カット、研磨	58.5×65.0×62.0
85	スタニスラフ・リベンスキー／ヤロスラヴァ・プリフトヴァ	頭 89	1989	ガラス:キャスト	20.0×58.0×70.0
86	家住 利男	V. 010702	2002 (平成14)	板ガラス:接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨	60.0×12.0
87	三岸 節子	摩周湖	1965 (昭和40)	油彩・キャンバス	59.5×108.5
88	難波田 龍起	軌跡	1956 (昭和31)	油彩・キャンバス	130.8×97.0
89	砂澤 ビッキ	風	1988 (昭和63)	木(ナラ)	124.0×174.5×131.0
90	杉山 留美子	HERE-NOW あるいは 難思光-6	2011 (平成23)	アクリル絵具・綿キャンバス	各100.0×100.0
91	阿部 典英	ネエダンナサンあるいは再象	1994 (平成6)	木(セン、アサダ、ニレ)、黒鉛	200.0×250.0×200.0
92	米谷 雄平	作品85-11・群	1985 (昭和60)	アクリル絵具・キャンバス	194.0×259.0
93	岡部 昌生	THE DARK FACE OF THE LIGHT	2001 (平成13)	フロッタージュ・鉛筆、テープ、草花・紙	各38.0×55.0
94	一原 有徳	SON・ZON	1960～79(昭和35～54)	モノタイプ・紙	平面部分:各248.0×110.0 筒部分:30.2×211.5
95	北岡 文雄	パリの画室の自画像	1955 (昭和30)	木口木版・紙	9.0×13.5
96	北岡 文雄	壁 (A) ファンタジー	1955 (昭和30)	木口木版・紙	11.2×13.0
97	北岡 文雄	道路工事習作	1955 (昭和30)	木口木版・紙	12.5×11.0
98	北岡 文雄	海辺の老人	1960 (昭和35)	木口木版・紙	23.0×15.0
99	北岡 文雄	根室風景	1960 (昭和35)	木口木版・紙	18.5×26.5
100	北岡 文雄	女の顔	1966 (昭和41)	木口木版・紙	20.0×15.0
101	北岡 文雄	くさむら	1958 (昭和33)	木口木版・紙	11.5×10.2
102	北岡 文雄	海と流木と鳥	1958 (昭和43)	板目木版・紙	54.2×36.0
103	北岡 文雄	漁夫と鳥と白い船	1964 (昭和39)	板目木版・紙	54.5×84.5
104	北岡 文雄	摩周湖	1967 (昭和42)	板目木版・紙	47.8×63.6

※寸法は、平面作品では画面の縦×横×厚さ、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さ。
※作品はすべて当館蔵。

新収蔵品展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	岡田 敦	I am	2007(平成19)	タイプCプリント	100.0×100.0
2	岡田 敦	I am	2007(平成19)	タイプCプリント	100.0×100.0
3	岡田 敦	I am	2007(平成19)	タイプCプリント	100.0×100.0
4	岡田 敦	I am	2007(平成19)	タイプCプリント	81.0×100.0
5	岡田 敦	I am	2007(平成19)	タイプCプリント	81.0×100.0
6	鈴木 涼子	私は・・・no.20	2015(平成27)	タイプCプリント	120.0×180.0
7	鈴木 涼子	私は・・・no.12	2015(平成27)	タイプCプリント	120.0×180.0
8	鈴木 涼子	私は・・・no.30	2015(平成27)	タイプCプリント	160.0×120.0
9	露口 啓二	地名 計根別/Kenebetsu/kene-ka<pet> (ハンの木・の上手<の川>="Han" trees growing thick together <of a river>)	左：2001(平成13) 右：2002(平成14)	タイプCプリント (2点組)	(各) 40.6×50.8
10	露口 啓二	地名 常呂/Tokoro/tu-kor (山崎・を持つ =hill, it have) /to-kor-pet (沼・を 持つ・川=swamps, have, river)	左：1999(平成11) 右：2000(平成12)	タイプCプリント (2点組)	(各) 40.6×50.8
11	露口 啓二	地名 発足/Hattari/kamuy-hattar (神の・淵=God's depths)	2001(平成13)	タイプCプリント (2点組)	(各) 40.6×50.8
12	露口 啓二	地名 羅臼/Rausu/ra-us-i (魚の内臓・あるところ =fish entrails, a lot of, place) (低いところ・にある・もの=low land, there are, it)	2002(平成14)	タイプCプリント (2点組)	(各) 40.6×50.8
13	寺崎 源治	閉ざされる思い	1980(昭和55)	メゾチント、アクアチント・紙	49.0×36.5
15	寺崎 源治	からっぽの様相 81-2	1981(昭和56)	メゾチント、エングレーヴィング・紙	36.5×46.0
14	寺崎 源治	からっぽの様相 81-1	1981(昭和56)	メゾチント、エングレーヴィング・紙	36.5×46.0
16	中谷 有逸	碑(六日の後に)	1995(平成07)	凹凸併用版、中性インク、コラージュ (ハトメ、ワッシャー、糸、アルミ)・紙	56.5×42.0
17	中谷 有逸	碑・古事記(スサノオの悲)	2009(平成21)	ステンシル版、インク (木炭粉・石粉・ 鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合 わせ)・パネル	111.7×145.5
18	中谷 有逸	碑・古事記(サホビコとサホビメ)	2013(平成25)	ステンシル版、インク(木炭粉・石粉・鉄 粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合 わせ)、油性ペンキ・パネル	145.5×112.0
19	中谷 有逸	碑・古事記(オオクニヌシとスセリビメ)	2014(平成26)	ステンシル版、インク (木炭粉・石粉・ 鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合 わせ)、油性ペンキ・パネル	145.5×112.0
20	中谷 有逸	碑・古事記 (オキナガタラシヒメとその御子)	2014(平成26)	ステンシル版、インク (木炭粉・石粉・ 鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合 わせ)、油性ペンキ・パネル	112.0×145.5
21	中谷 有逸	碑・古事記(ヒノカグツチの悲)	2014(平成26)	ステンシル版、インク (木炭粉・石粉・ 鉄粉・アクリル絵具等と樹脂を練り合 わせ)・パネル	91.0×116.7
22	三木 蘭	『時の花火』	2000(平成12)	木口木版・紙 (7点組)	33.3×52.2
23	白江 正夫	ドラムのある風景	1958(昭和33)	水彩・紙	71.5×105.5
24	白江 正夫	運河薄日	1979(昭和54)	水彩・紙	108.8×79.0
25	白江 正夫	赤い屋根の倉庫	1967(昭和42)	水彩・紙	79.0×109.0
26	白江 正夫	去来するもの	1997(平成09)	水彩・紙	130.3×97.0
27	柴山 勝	滝壺には大物の図(ブラウン、ニジマス、 オシヨロコマ、ヤマメ、イワナ)	1991(平成03)頃	陶磁	各9.3×7.5
28	柴山 勝	たも網の図蓋物 甲殻類五種	1992(平成04)頃	陶磁(5点組)	各24.5×11.5×2.0
29	本間 紹夫	室内	1925(大正14)	油彩・キャンバス	90.5×72.4
30	本間 紹夫	少女像	1932(昭和07)	油彩・キャンバス	53.0×45.0

資料

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	寺崎 源治	「からっぽの様相81-1」 原版	1981(昭和56)	銅版	36.5×46.0
2	小谷 博貞	果物	1936(昭和11)	フロタージュ・紙	20.5×23.5
3	小谷 博貞	木目	1936(昭和11)	フロタージュ・紙	20.5×23.5
4	小谷 博貞	平面構成	1937(昭和12)	鉛筆・紙	22.5×16.2
5	小谷 博貞	風景	1954(昭和29)	孔版・紙	39.1×27.1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
6	小谷 博貞	窓	1954(昭和29)	孔版・紙	29.4×27.0
7	小谷 博貞	裸婦座像(後ろ姿)	1938(昭和13)	墨、水彩、パステル・紙	40.0×28.0
8	小谷 博貞	「石室」シリーズのための習作	1975(昭和50)	水彩・紙	26.5×37.3
9	小谷 博貞	「石室」シリーズのための習作	1971(昭和46)	水彩・紙	37.5×28.2
10	今田 敬一	スケッチブック	1920(大正09)頃	水彩、ペン、鉛筆、色鉛筆・紙	12.0×17.3×0.6

※寸法は、平面作品では画面の縦×横×厚さ、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さ。

※作品はすべて当館蔵。

ふれるかたち 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	本郷 新	裸婦座像	1960 (昭和35)	ブロンズ	32.0×64.0×58.0
2	流 政之	ナガレバチ	1998 (平成10)	大理石	31.0×18.4×83.5
3	高田 博厚	美しきエミー	1963 (昭和38)	ブロンズ	35.0×18.0×28.0
4	佐藤 忠良	演劇生	1968 (昭和43)	ブロンズ	20.0×30.0×46.0
5	中原 悌次郎	若きカフカス人	1919 (大正08)	ブロンズ	18.0×19.5×41.5

※寸法は、奥行×幅×高さ。

※作品はすべて当館蔵。

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	展示期間
1	国松 登	寝園獣走	1940 (昭和15)	油彩・キャンバス	116.7×91.0	03月31日 (木) ～05月17日 (火)
2	能勢 真美	草木	1951 (昭和26)	油彩・キャンバス	64.5×90.5	05月18日 (水) ～06月23日 (木)

※寸法は、縦×横。

※作品はすべて当館蔵。

2 北海道美術紀行

同時開催／

夏から秋の名品選—小森忍《雪結晶文花瓶》他、この1点を見てほしい。

会 期：平成28年07月02日（土）～11月08日（火）

会 場：北海道立近代美術館 展示室A

主 催：北海道立近代美術館

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

北海道美術紀行

Travelling Hokkaido through Art

本展では、北海道という場所について、私たちが共通して思い浮かべるイメージを所蔵作品によって展覧した。雄大な自然、爽やかな夏と厳しい冬の寒さ、小樽や札幌、函館をはじめとする街の風景、アイヌ民族の文化といった切り口で、江戸・明治期から現代へと時間を超えて、さらに北海道各地という空間をめぐりながら、旅をするようにそのイメージをたどった。また、映画や写真、インスタレーション作品など、1990年代以降の芸術作品に登場する北海道にも注目し、その表象のあり方を探った。

●展示構成

プロローグ 蝦夷地から北海道へ

第 1 章 北海道らしい風景

第 2 章 もうひとつの北海道

第 3 章 前期) 栗谷川健一と現代の観光ポスター

後期) 岩橋英遠《道産子追憶之巻》

夏から秋の名品選—小森忍《雪結晶文花瓶》他

Selected Pieces for Summer and Autumn from Our Collection

北海道立近代美術館は、「パスキンとエコール・ド・パリ」、「北海道の美術」、「ガラス工芸」を作品収集の三本柱としている。このほか、「日本近代の美術」、「浮世絵版画」、「ヨーロッパの版画」、「北海道のやきもの」など、まとまりをなす作品群もあわせ、収蔵作品は平成27年度末で5,114点を数えるに至っている。「名品選」は、代表的な作品や展示の希望の多い人気作品を中心に、三期に分けて、当館コレクションの魅力を紹介する展示である。

本展では、北海道のやきものを特集し、小森忍の代表作《雪結晶文花瓶》をはじめ、山本正年や山岡三秋など、北海道ゆかりの陶芸家の作品を展示した。

●展示構成

前半では北海道の陶芸界に多大な影響を及ぼした小森忍を中心とし、余市出身の山本正年の《膚》、「こぶ志窯」を設立した山岡三秋の《辛夷文角飾皿》などを展示した。

後半では、藤田喬平《飾篁・源氏物語》をはじめとする国内外のガラス作品、林竹治郎《朝の祈り》などの北海道の美術を展示した。

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

歌川 国貞	《鬼灯を持つ女》	07月02日（月）～09月04日（火）
ブリジット・ライリー	《アレスト I》	09月09日（日）～11月08日（木）

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社松原建装株式会社

●出品目録

前 期：A4判6頁（当館簡易印刷）

後 期：A4判5頁（当館簡易印刷）

●関連事業

[ギャラリー・トーク] 会場はいずれも展示室A

日 時：07月16日（土）、07月30日（土）、08月27日（土） 14時～14時30分

講 師：寺地亜衣（当館学芸員）

内 容：「北海道の風土とやきもの」

日 時：07月23日（土）、08月20日（土） 14時～14時30分

講 師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）

内 容：「この1点を見てほしい。—歌川 国貞《鬼灯を持つ女》」

日 時：09月03日（土）、10月15日（土）、11月05日（土） 14時～14時30分

講 師：松山聖央（当館学芸員）

内 容：「発見される、新しい北海道」

日 時：10月22日（土）、10月29日（土） 14時～14時30分
講 師：森本陽香（当館学芸員）
内 容：「この1点を見てほしい。ーブリジット・ライリー《アレストⅠ》」

[子ども鑑賞ツアー]

日 時：07月09日（土）、08月13日（土）、09月10日（土）、10月08日（土）
各日11時～11時30分
会 場：展示室A（小中学生は無料）
案 内：当館学芸員

[映画上映会]

プログラム：

09月17日（土）	11時～	「狙った恋の落とし方。」	（2008年 125分）
	14時～	「愛の予感」	（2007年 102分）
09月18日（日）	11時～	「愛の予感」	（2007年 102分）
	14時～	「狙った恋の落とし方。」	（2008年 125分）
09月19日（月）	11時～	「壁男」	（2007年 98分）
	14時～	「壁男」	（2007年 98分）

会 場：講堂

[芸術週間コンサート]

日 時：11月01日（火）～05日（土） 各日15時～16時
会 場：展示室A
演 奏：DJEMP（ジャンピ）

〔茂呂剛伸氏（縄文太鼓）、福田ハジメ氏（ピアノ）〕

●主な新聞、雑誌記事等

北海道新聞

「近美コレクション「北海道美術紀行」北海道近代美術館で開催」

07月20日（水）広報紙 ほっかいどう8月号

「シネマ 近美コレクション「北海道美術紀行」展 映画上映会」

09月13日（火）

さっぽろ10区

北海道美術紀行 出品目録(前期)

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	作品／画像提供元
1	伊藤 光悦	Airport	1999 (平成11)	油彩、アクリル絵具・キャンバス	130.5×162.0	
2	翠軒 竹葉	北海道鮭大漁概況之図	1889 (明治22)	木版、紙	(各) 36.5×24.0	
3	歌川 豊国 (四代)	『現如上人北海道巡教錦絵』落部村	1871 (明治04)	木版、紙	36.5×24.5	
4	歌川 国輝 (二代)	『現如上人北海道巡教錦絵』山越内	1871 (明治04)	木版、紙	36.5×24.5	
5	歌川 豊国 (四代)	『現如上人北海道巡教錦絵』訓縫	1871 (明治04)	木版、紙	36.5×24.5	
6	歌川 国輝 (二代)	『現如上人北海道巡教錦絵』訓縫其二	1871 (明治04)	木版、紙	36.5×24.5	
7	歌川 国輝 (二代)	『現如上人北海道巡教錦絵』歌棄	1871 (明治04)	木版、紙	36.5×24.5	
8	歌川 広重 (三代) ／小林 永濯	『現如上人北海道巡教錦絵』雷電越の危難	1871 (明治04)	木版、紙	36.5×24.5	
9	歌川 広重 (三代)	『現如上人北海道巡教錦絵』余市早発	1871 (明治04)	木版、紙	36.5×24.5	
10	疋田 敬蔵	写生画帳	1879～81 (明治12～14)	鉛筆、水彩・紙	11.0×15.5	
11	(谷 文晁 印)	蝦夷山水器物図巻一	1800 (寛政12) 頃	紙本彩色	25.5×830.3	
12	(谷 文晁 印)	蝦夷山水器物図巻二	1800 (寛政12) 頃	紙本彩色	25.5×780.2	
13	監督・脚本: 馮 小剛 (フォン・シャオガン)	映画 (狙った恋の落とし方。) より 能取岬	2008 (平成20)			©株式会社ニトリパブリック
14	監督・脚本: 馮 小剛 (フォン・シャオガン)	映画 (狙った恋の落とし方。) より あかん鶴雅別荘鄙の座からの阿寒湖	2008 (平成20)			©株式会社ニトリパブリック
15	監督・脚本: 馮 小剛 (フォン・シャオガン)	映画 (狙った恋の落とし方。) より 大空町女満別・町道朝日10号線	2008 (平成20)			©株式会社ニトリパブリック
16	羽生 輝	海霧 (オソツナイ)	2001 (平成13)	彩色・板	181.8×227.3	
17	田辺 三重松	昭和新山	1971 (昭和46)	油彩・キャンバス	91.0×72.8	
18	木田 金次郎	忠別川畔より大雪山を眺む	1934 (昭和09)	油彩・キャンバス	53.0×72.5	
19	阿部 貞夫	恵庭の残照	1964 (昭和39)	木版、紙	33.3×24.4	
20	大本 靖	マッカリの山	1994 (平成06)	木版、紙	84.8×53.4	
21	相原 求一朗	網走厳冬	1977 (昭和52)	油彩・キャンバス	112.0×194.0	
22	伊藤 一雄	冬樹	1979 (昭和54)	木版、紙	50.0×72.0	
23	伊藤 一雄	冬樹	1978 (昭和53)	木版・紙	73.0×87.5	
24	川井 坦	雪ふる頃 (ユウカラ)	1972 (昭和47)	麻布彩色	130.8×161.7	
25	岩船 修三	森の中の神々	1970 (昭和45)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	
26	岡部 文之助	網走港にて	1956 (昭和31)	油彩・キャンバス	89.7×145.9	
27	国井 澄	ある日の漁港	1965 (昭和40)	油彩・キャンバス	130.4×162.1	
28	中居 定雄	サイロのある雪景色	1963 (昭和38)	油彩・キャンバス	65.2×80.3	
29	更科 秀	石狩平野のツイシカリにて	1973 (昭和48)	銅板 (ドライポイント)、紙	29.8×29.8	
30	北岡 文雄	サイロのある農家	1977 (昭和52)	木版・紙	39.7×54.8	
31	伊藤 一雄	群れ	1965 (昭和40)	木版・紙	35.2×45.0	
32	阿部 貞夫	羊群	1967 (昭和42)	木版、紙	25.9×22.0	
33	監督・脚本: 岩井 俊二	映画 (Love Letter) より	1995 (平成07)			
34	三浦 鮮治	雪景色朝光	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
35	木嶋 良治	雪ぐもり	1994 (平成06)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
36	森本 三郎	冬の陸橋	1978 (昭和53)	油彩・キャンバス	112.5×146.0	
37	谷口 一芳	ビール会社	1951 (昭和26)	油彩・キャンバス	72.8×91.0	
38	北岡 文雄	ライラックの季節	1986 (昭和61)	木版・紙	40.1×54.6 (イメージ寸)	
39	阿部 貞夫	大通りの春	1967 (昭和42)	木版、紙	17.0×26.8	
40	池谷 寅一	函館の秋	1947 (昭和22)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	
41	阿部 貞夫	釧路大観	1958 (昭和33)	木版、紙	15.9×24.4	
42	阿部 貞夫	釧路川の夕映	1958 (昭和33)	木版、紙	19.0×28.1	
43	小川原 脩	大北海道	1940 (昭和15)	油彩・キャンバス	155.0×191.7	
44	小谷 博貞	風景・冬	1985 (昭和60)	油彩・キャンバス	112.1×145.5	
45	難波田 龍起	北国の家	1953 (昭和28)	油彩・キャンバス	80.5×100.0	
46	監督・脚本: 小林 政広	映画 (愛の予感) より	2007 (平成19)			MONKEY TOWN PRODUCTIONS
47	監督・脚本: 小林 政広	映画 (愛の予感) より	2007 (平成19)			MONKEY TOWN PRODUCTIONS
48	監督・脚本: 早川 渉	映画 (壁男) より	2007 (平成19)			(壁男) 製作委員会、 早川渉氏

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	作品／画像提供元
49	監督・脚本：早川 渉	映画 (壁男) より	2007 (平成19)			(壁男) 製作委員会、早川渉氏
50	監督・脚本：早川 渉	映画 (壁男) より	2007 (平成19)			(壁男) 製作委員会、早川渉氏
51	今田 敬一	鉄塔	1966 (昭和41)	油彩・キャンバス	115.9×90.9	
52	尾崎 志郎	赤い工場 B	1974 (昭和49)	木版、紙	44.5×89.5	
53	白江 正夫	去来するもの	1997 (平成09)	水彩・紙	130.3×97.0	
54	石井 哲	工場萌え 北海道室蘭市	2008 (平成20)			
55	石井 哲	工場萌え 北海道室蘭市	2008 (平成20)			
56	石井 哲	工場萌え 北海道室蘭市	2008 (平成20)			
57	露口 啓二	地名 宇登呂／Utoro／utur-chi-kus-i (その間を・我らが・通行する・ところ＝between, we, go, through)	左：2002 (平成14) 右：2003 (平成15)	タイプCプリント	40.6×50.8	
58	露口 啓二	地名 社台／Shadai／sa-tay-pet (浜側の・林の・川＝closer to the beach, river running through the forest)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
59	露口 啓二	地名 小安／Oyasu／o-ya-us-i (川尻に・網がある・もの＝river mouth, there are nets, river)	左：2001 (平成13) 右：2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
60	露口 啓二	地名 信香／Nobuka／nup-ka-oma-nay (野の・上にある・川＝of the field, upper area, there is, river)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
61	露口 啓二	地名 茶津／Tyatsu／chasi-kot／(砦・跡＝fort, site)／chasi-un-nay (砦・ある・川＝river with a fort)	左：2002 (平成14) 右：2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
62	露口 啓二	地名 追名牛／Oinaushi／o-inau-i (そこに・木幣が・立っている＝prayer utensils stand, (there))	2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
63	露口 啓二	地名 乳呑／Chinomi／chi-nomi-sir (我ら・祈る・山＝we, deify on the hill)	左：2002 (平成14) 右：2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
64	露口 啓二	地名 晩生内／Osokinai／o-sos-ke-nay (川尻・崩れている・川＝river mouth, fall down river)	2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
65	露口 啓二	地名 面白内／Omoshironai／o-mosir-nay (川尻に・島がある・川＝river mouth, there is island, river)	2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
66	露口 啓二	地名 興津／Okotsu／o-ukot (川尻・互いに・くっつく＝river mouths, stuck together)	左：2001 (平成13) 右：2003 (平成15)	タイプCプリント	40.6×50.8	
67	露口 啓二	地名 安骨／Ankotsu／chasi-kot (砦・跡＝fort, site)	左：2002 (平成14) 右：2003 (平成15)	タイプCプリント	40.6×50.8	
68	露口 啓二	地名 六条／Rokujo／ronkde-tomari (和船の・泊地＝Japanese ships, port)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
69	露口 啓二	地名 有戸／Arito／ar-utur (反対の・側面、岬の向こう側の土地＝the other side, land over the cape)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
70	露口 啓二	地名 大誉地／Oyochi／(川尻 (そこ) に・それが・多くいる・ところ＝river mouth, it, a lot of, place)	2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
71	露口 啓二	地名 春立／Harutachi／haru-ta-us-nay (食糧を・採る・いつもする・沢＝pick foods, usually done, river)	左：2001 (平成13) 右：2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
72	露口 啓二	地名 原口／Haraguchi／para-kot (広い・谷地＝the cliffs, between＝wide ravine)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
73	岡部 昌生	YUBARI MATRIX 1992-1995より	1992～95 (平成04～07)	フロッター・ジュ・鉛筆、弁柄、テープ・紙 ＊材質詳細：鉛筆、弁柄、布テープ、キャンソソ紙、和紙、カルトン	(大) 各75.0×110.0×0.5 (小) 各55.0×75.0×0.5 (48点組：大14 小34)	
74	栗谷川 健一	北海道へ	1939 (昭和14)	リトグラフ・紙	106.0×75.5	
75	栗谷川 健一	ムックリを鳴らすアイヌ娘	1953 (昭和28)	オフセット・紙	103.0×72.8	
76	栗谷川 健一	朝やけの滑降	1958 (昭和33)	オフセット・紙	104.8×73.9	
77	栗谷川 健一	牧草	1954 (昭和29)	オフセット・紙	104.2×74.1	
78	(株)道新サービスセンター	北海道 四季シリーズ・夏	2015 (平成27)			北海道観光振興機構
79	(株)道新サービスセンター	北海道 四季シリーズ・秋	2015 (平成27)			北海道観光振興機構
80	(株)道新サービスセンター	北海道 これどこシリーズ・タウシュベツ橋梁／土士幌町	2015 (平成27)			北海道観光振興機構
81	(株)道新サービスセンター	北海道 これどこシリーズ・ローソク岩／余市	2015 (平成27)			北海道観光振興機構
82	栗谷川 健一	稚内	不詳	オフセット・紙	102.7×72.8	
83	稚内市	稚内	2012 (平成24)			稚内市
84	栗谷川 健一	はこだて	1952 (昭和27)	オフセット・紙	103.0×72.8	
85	ブルーム・エー	函館・夜	2013 (平成25)			函館市
86	ブルーム・エー	函館・朝	2013 (平成25)			函館市
87	栗谷川 健一	エーデルワイスと娘	1962 (昭和37)	オフセット・紙	102.5×72.4	

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	作品／画像提供元
88	栗谷川 健一	利尻礼文	1951 (昭和26)	オフセット・紙	103.0×72.8	
89	(有) さっぽろフォトライブ	利尻島	2013 (平成25)			利尻富士町観光協会
90	(株) 稚内印刷	礼文島	2014 (平成26)			礼文島観光協会
91	栗谷川 健一	網走国定公園	1984 (昭和59)	オフセット・紙	103.0×72.8	
92	(株)北海道アート社	網走国定公園	2011 (平成23)			北海道オホーツク総合振興局
93	栗谷川 健一	奥尻島	1963 (昭和38)	オフセット・紙	103.0×72.8	
94	(株) アウルビジョン	奥尻島	2011 (平成23)			奥尻町
95	(株) ビーアールセンター	檜山	2015 (平成27)			北海道檜山振興局
96	栗谷川 健一	羊ヶ丘	1961 (昭和36)	オフセット・紙	102.6×72.5	
97	栗谷川 健一	札幌	1964 (昭和39)	オフセット・紙	103.1×72.8	
98	(株) 北海道博報堂	SAPPORO 四季・春	2015 (平成27)			札幌市
99	(株) えんれいしゃ	SAPPORO 夜景	2015 (平成27)			札幌市
100	栗谷川 健一	第1回さっぽろ雪まつり	1950 (昭和25)	リトグラフ・紙	74.7×50.0	
101	栗谷川 健一	雪だるま	1976 (昭和51)	オフセット・紙	103.0×73.5	
102	(株) 電通北海道	第64回雪まつり	2013 (平成25)			札幌観光協会
103	(株) 東急エージェンシー	第67回雪まつり	2016 (平成28)			札幌観光協会

※No. 2～9, 11, 12, 74～103は前期 (7/2～9/4) と後期 (9/9～11/8) で展示替え。

※No. 10は前期 (7/2～9/4) と後期 (9/9～11/8) でページ替え。

※「作品／画像提供元」について特に記載がない場合はすべて当館蔵。

北海道美術紀行 出品目録(後期)

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	作品／画像提供元
1	伊藤 光悦	Airport	1999 (平成11)	油彩、アクリル絵具・キャンバス	130.5×162.0	
2	翠軒 竹葉	北海道鮭大漁概況之図	1889 (明治22)	木版・紙	36.2×241.1	
3	歌川 国輝 (二代)	『現如上人北海道巡教錦絵』 余市小樽之間求捷徑到海岸難処	1871 (明治04)	木版・紙	36.5×24.5	
4	歌川 国輝 (二代)	『現如上人北海道巡教錦絵』 小樽ゼニバコ虹魚の奇異	1871 (明治04)	木版・紙	36.5×24.0	
5	歌川 豊国 (四代)	『現如上人北海道巡教錦絵』 札幌本府	1871 (明治04)	木版・紙	36.5×24.5	
6	歌川 国輝 (二代)	『現如上人北海道巡教錦絵』 札幌本府其二	1871 (明治04)	木版・紙	36.5×24.5	
7	歌川 広重 (三代)	『現如上人北海道巡教錦絵』 北海道新道切開	1871 (明治04)	木版・紙	36.5×24.5	
8	歌川 広重 (三代)／ 小林 永濯	『現如上人北海道巡教錦絵』 新道切開 其二	1871 (明治04)	木版・紙	36.5×24.5	
9	歌川 豊国 (四代)	『現如上人北海道巡教錦絵』 本府御酒被下之図	1871 (明治04)	木版・紙	36.5×24.5	
10	歌川 国輝 (二代)	『現如上人北海道巡教錦絵』 渡島帰帆	1871 (明治04)	木版・紙	36.5×24.5	
11	疋田 敬蔵	写生画帳	1879～81 (明治12～14)	鉛筆、水彩・紙	11.0×15.5	
12	(谷 文晁 印)	蝦夷山水器物図巻三	1800 (寛政12) 頃	紙本彩色	25.5×783.5	
13	(谷 文晁 印)	蝦夷山水器物図巻四	1800 (寛政12) 頃	紙本彩色	25.5×901.0	
14	監督・脚本: 馮 小剛 (フォン・シャオガン)	映画 (狙った恋の落とし方。)より 能取岬	2008 (平成20)			©株式会社ニトリバブリック
15	監督・脚本: 馮 小剛 (フォン・シャオガン)	映画 (狙った恋の落とし方。)より あかん鶴雅別荘鄙の座からの阿寒湖	2008 (平成20)			©株式会社ニトリバブリック
16	監督・脚本: 馮 小剛 (フォン・シャオガン)	映画 (狙った恋の落とし方。)より 大空町女満別・町道朝日10号線	2008 (平成20)			©株式会社ニトリバブリック
17	羽生 輝	海霧 (オソツナイ)	2001 (平成13)	彩色・板	181.8×227.3	
18	田辺 三重松	昭和新山	1971 (昭和46)	油彩・キャンバス	91.0×72.8	
19	木田 金次郎	忠別川畔より大雪山を眺む	1934 (昭和09)	油彩・キャンバス	53.0×72.5	
20	阿部 貞夫	恵庭の残照	1964 (昭和39)	木版・紙	33.3×24.4	
21	大本 靖	マッカリの山	1994 (平成06)	木版・紙	84.8×53.4	
22	相原 求一郎	網走厳冬	1977 (昭和52)	油彩・キャンバス	112.0×194.0	
23	伊藤 一雄	冬樹	1979 (昭和54)	木版・紙	50.0×72.0	
24	伊藤 一雄	冬樹	1978 (昭和53)	木版・紙	73.0×87.5	
25	川井 坦	雪ふる頃 (ユーカラ)	1972 (昭和47)	麻布彩色	130.8×161.7	
26	岩船 修三	森の中の神々	1970 (昭和45)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	
27	岡部 文之助	網走港にて	1956 (昭和31)	油彩・キャンバス	89.7×145.9	
28	国井 澄	ある日の漁港	1965 (昭和40)	油彩・キャンバス	130.4×162.1	
29	中居 定雄	サイロのある雪景色	1963 (昭和38)	油彩・キャンバス	65.2×80.3	
30	更科 秀	石狩平野のツイシカリにて	1973 (昭和48)	銅板 (ドライポイント)・紙	29.8×29.8	
31	北岡 文雄	サイロのある農家	1977 (昭和52)	木版・紙	39.7×54.8	
32	伊藤 一雄	群れ	1965 (昭和40)	木版・紙	35.2×45.0	
33	阿部 貞夫	羊群	1967 (昭和42)	木版・紙	25.9×22.0	
34	監督・脚本: 岩井 俊二	映画 (Love Letter) より	1995 (平成07)			
35	三浦 鮮治	雪景色朝光	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
36	木嶋 良治	雪ぐもり	1994 (平成06)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	
37	森本 三郎	冬の陸橋	1978 (昭和53)	油彩・キャンバス	112.5×146.0	
38	谷口 一芳	ビール会社	1951 (昭和26)	油彩・キャンバス	72.8×91.0	
39	北岡 文雄	ライラックの季節	1986 (昭和61)	木版・紙	40.1×54.6 (イメージ寸)	
40	阿部 貞夫	大通りの春	1967 (昭和42)	木版・紙	17.0×26.8	
41	池谷 寅一	函館の秋	1947 (昭和22)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	
42	阿部 貞夫	釧路大観	1958 (昭和33)	木版・紙	15.9×24.4	
43	阿部 貞夫	釧路川の夕映	1958 (昭和33)	木版・紙	19.0×28.1	
44	小川原 脩	大北海道	1940 (昭和15)	油彩・キャンバス	155.0×191.7	
45	小川原 脩	雪	1940 (昭和15)	油彩・キャンバス	154.8×191.2	
46	小谷 博貞	風景・冬	1985 (昭和60)	油彩・キャンバス	112.1×145.5	
47	石井 哲	工場萌え 北海道室蘭市	2008 (平成20)			

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	作品／画像提供元
48	石井 哲	工場萌え 北海道室蘭市	2008 (平成20)			
49	石井 哲	工場萌え 北海道室蘭市	2008 (平成20)			
50	今田 敬一	鉄塔	1966 (昭和41)	油彩・キャンバス	115.9×90.9	
51	尾崎 志郎	赤い工場 B	1974 (昭和49)	木版・紙	44.5×89.5	
52	白江 正夫	去来するもの	1997 (平成09)	水彩・紙	130.3×97.0	
53	難波田 龍起	北国の家	1953 (昭和28)	油彩・キャンバス	80.5×100.0	
54	監督・脚本:小林 政広	映画 (愛の予感) より	2007 (平成19)			MONKEY TOWN PRODUCTIONS
55	監督・脚本:小林 政広	映画 (愛の予感) より	2007 (平成19)			MONKEY TOWN PRODUCTIONS
56	監督・脚本:早川 渉	映画 (壁男) より	2007 (平成19)			(壁男) 製作委員会、早川渉氏
57	監督・脚本:早川 渉	映画 (壁男) より	2007 (平成19)			(壁男) 製作委員会、早川渉氏
58	監督・脚本:早川 渉	映画 (壁男) より	2007 (平成19)			(壁男) 製作委員会、早川渉氏
59	露口 啓二	地名 宇登呂／Utoro／utur-chi-kus-i (その間を・我らが・通行する・ところ=between, we, go, through)	左:2002 (平成14) 右:2003 (平成15)	タイプCプリント	40.6×50.8	
60	露口 啓二	地名 社台／Shadai／sa-tay-pet (浜側の・林の・川の川=closer to the beach, river running through the forest)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
61	露口 啓二	地名 小安／Oyasu／o-ya-us-i (川尻に・網がある・もの=river mouth, there are nets, river)	左:2001 (平成13) 右:2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
62	露口 啓二	地名 信香／Nobuka／nup-ka-oma-nay (野の・上にある・川の川=of the field, upper area, there is, river)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
63	露口 啓二	地名 茶津／Tyatsu／chasi-kot／(砦・跡=fort, site)／chasi-un-nay (砦・ある・川の川=river with a fort)	左:2002 (平成14) 右:2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
64	露口 啓二	地名 追名牛／Oinaushi／o-inau-i (そこに・木幣が・立っている=prayer utensils stand, (there))	2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
65	露口 啓二	地名 乳呑／Chinomi／chi-nomi-sir (我ら・祈る・山の山=we, deify on the hill)	左:2002 (平成14) 右:2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
66	露口 啓二	地名 晩生内／Osokinai／o-sos-ke-nay (川尻・崩れている・川の川=river mouth, fall down river)	2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
67	露口 啓二	地名 面白内／Omoshironai／o-mosir-nay (川尻に・島がある・川の川=river mouth, there is island, river)	2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
68	露口 啓二	地名 興津／Okotsu／o-ukot (川尻・互いに・くっつく=river mouths, stuck together)	左:2001 (平成13) 右:2003 (平成15)	タイプCプリント	40.6×50.8	
69	露口 啓二	地名 安骨／Ankotsu／chasi-kot (砦・跡=fort, site)	左:2002 (平成14) 右:2003 (平成15)	タイプCプリント	40.6×50.8	
70	露口 啓二	地名 六条／Rokujo／ronkde-tomari (和船の・泊地=Japanese ships, port)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
71	露口 啓二	地名 有戸／Arito／ar-utur (反対の・側面、岬の向こう側の土地=the other side, land over the cape)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
72	露口 啓二	地名 大暮地／Oyochi／(川尻 (そこに・それが・多くいる・ところ=river mouth, it, a lot of, place)	2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
73	露口 啓二	地名 春立／Harutachi／haru-ta-us-nay (食糧を・採る・いつもする・沢=pick foods, usually done, river)	左:2001 (平成13) 右:2002 (平成14)	タイプCプリント	40.6×50.8	
74	露口 啓二	地名 原口／Haraguchi／para-kot (広い・谷地=the cliffs, between=wide ravine)	2001 (平成13)	タイプCプリント	40.6×50.8	
75	岡部 昌生	YUBARI MATRIX 1992-1995より	1992～95 (平成04～07)	フロッタージュ・鉛筆、弁柄、テープ・紙 ＊材質詳細:鉛筆、弁柄、布テープ、キャンソン紙、和紙、カルトン	(大) 各75.0×110.0×0.5 (小) 各55.0×75.0×0.5 (48点組:大14 小34)	
76	岩橋 英達	道産子追憶之巻	1978～82 (昭和53～57)	紙本彩色	60.7×2908.8	

※No. 2～9, 11, 12, 74～103は前期 (7/2～9/4) と後期 (9/9～11/8) で展示替え。

※No. 10は前期 (7/2～9/4) と後期 (9/9～11/8) でページ替え。

※「作品／画像提供元」について特に記載がない場合はすべて当館蔵。

夏から秋の名品選—小森忍《雪結晶文花瓶》他 出品目録 (前期)

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	小森 忍	雪結晶文花瓶	1957 (昭和32) 頃	陶磁	17.0×31.5
2	小森 忍	宝石釉花瓶		陶磁	9.0×23.0
3	小森 忍	柑子口瓶		陶磁	15.7×30.1
4	小森 忍	結晶瑠璃釉花瓶		陶磁	10.3×27.0
5	小森 忍	蘋果 (りんご) 壺		陶磁	13.7×13.5×12.0
6	小森 忍	蝦夷薄高麗手アイス厚司紋壺		陶磁	20.6×17.5
7	小森 忍	搔落手アイス文花瓶	1955 (昭和30) 頃	陶磁	19.8×39.2
8	小森 忍	黒釉刻花海草紋壺		陶磁	16.5×25.2
9	小森 忍	均窯牛額皿		陶磁	26.7×3.8
10	小森 忍	天目釉花瓶		陶磁	16.0×27.0
11	小森 忍	青甕香炉	1956 (昭和31)	陶磁	23.8×14.9
12	小森 忍	鯨香炉		陶磁	10.3×16.5×8.0
13	小森 忍	大筒花瓶		陶磁	21.4×28.0
14	山本 正年	均茶盃		陶磁	13.4×6.5
15	山本 正年	黒釉鉢		陶磁	23.0×7.0
16	山本 正年	花 花生	1965 (昭和40)	陶磁	13.5×16.0×23.5
17	山本 正年	作品		陶磁	17.0×20.5
18	山本 正年	膚	1966 (昭和41)	陶磁	29.4×41.0×35.2
19	山本 正年	煌	1971 (昭和46)	陶磁	43.0×37.2
20	了谷焼	松林文徳利		陶磁	6.8×14.3
21	頓平焼	徳利と盃		陶磁	6.6×15.3 6.6×3.3 6.5×3.2
22	宮下 貞一郎	大皿		陶磁	84.0×6.5
23	北工窯	馬絵大皿		陶磁	45.7×45.2×7.0
24	小野寺 玄	珠洲土壺	1982 (昭和57)	陶磁	38.5×31.0
25	河井 寛次郎	呉須辰砂花文扁壺		陶磁	18.6×11.8×21.0
26	山岡 三秋	辛夷文角飾皿	1965～69 (昭和40代前半) 頃	陶磁	39.6×39.9×7.5
27	松井 康成	三層象裂瓷大壺	1978 (昭和53)	陶磁	45.5×35.5
28	岩田 藤七	花器	1960 (昭和35)	ガラス:宙吹き	25.0×25.0×28.0
29	岩田 藤七	花器・殷周によるガラス	1970 (昭和45)	ガラス:型吹き、斑文装飾	13.8×22.4×18.5
30	岩田 藤七	貝・浜辺の歌	1963 (昭和38)	ガラス:宙吹き	16.5×21.0×10.5
31	岩田 久利	台付流雲壺	1993 (平成05)	ガラス:宙吹き	26.5×32.0
32	岩田 久利	水指・道成寺	1982 (昭和57)	ガラス:色ガラス粉と金箔による装飾、宙吹き	14.0×17.5
33	藤田 喬平	飾宮・源氏物語	1983 (昭和58)	ガラス、金属:被せガラス、色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き	21.5×21.0×24.5
34	藤田 喬平	水指	1991 (平成03)	ガラス:色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き	19.8×24.0×18.0
35	藤田 喬平	緑金彩	1962 (昭和37)	ガラス:色ガラスと金箔による装飾、宙吹き	23.0×26.0
36	ベッティル・ヴァッリーン	ポート		ガラス:サンドキャスト	本体:9.3×48.5×7.3 (台:11.5×20.5×6.5)
37	各務 鑛三	花器	1978 (昭和53)	ガラス:カット	13.5×28.5
38	各務 鑛三	鹿文花器	1948 (昭和23)	ガラス:宙吹き、エングレーヴィング	11.5×22.0
39	各務 鑛三	鉢	1934 (昭和09)	ガラス:宙吹き、カット、エングレーヴィング	19.7×10.8
40	各務 鑛三	鉢	1943 (昭和18)	ガラス:宙吹き	31.5×9.5
41	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	あわび 中皿	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:型押し	(各) 19.5×6.0
42	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	青海波 花瓶	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:型押し、研磨	12.2×24.0
43	小柴 外一	置物・エンゼルフィッシュ	1932～42 (昭和07～17)	ガラス:パート・ド・ヴェール	3.8×8.8×10.9
44	小柴 外一	踊り子像宝石箱 (蓋のみ)	1963 (昭和38)	ガラス:パート・ト・ヴェール	8.5×15.9×5.0
45	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	かごめ 皿	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:型押し	14.8×3.8
46	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	皿	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:被せガラス、カット	14.3×14.3×2.3
47	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	ばら 花瓶	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:型押し、研磨	(各) 11.5×12.8×15.0

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
48	松島 巖	紡がれた器	1996 (平成08)	ガラス:バーナーワークによるコアガラス技法	9.5×30.0
49	松島 巖	水玉文青雲虹彩器	2001 (平成13)	ガラス:ランプワークによるコアガラス技法	14.0×3.8
50	アントワヌ・メルリエ	彫刻―スフィンクス	1985	ガラス:パート・ド・ヴェール	11.3×30.5×17.8
51	ハーヴィー・K・リトルトン	切断された青い円盤	1981	ガラス:被せガラス、カット	(各) 23.0×11.0×10.0
52	ヤン・ポリチャック	宇宙の信号 X I X	1984	ガラス:カット、研磨	13.0×29.0×27.8
53	コリン・リード	無題 鋳型R287	1988	ガラス:シール・ペルデュ	4.5×52.0×34.0
54	コンセッタ・メイスン	エメラルドの疾風	1985	ガラス:エナメル彩、サンドブラスト	18.3×17.0×23.7
55	マイケル・バザリク	「本当の昼夜平分点」の連作	1982	ガラス:接合、カット	10.5×29.0×23.0
56	ヴィリ・ピストル	オブジェ II 1982年	1982	ガラス:溶融カット技法、エッチング	23.0×23.0×9.0
57	小林 貢	青のコンポジション	1993 (平成05)	ガラス	14.2×55.5×27.2
58	正木 友梨	ガラスと光の造形IV	1990 (平成02)	板ガラス:サンドブラスト、研磨	25.8×68.0×48.0
59	折原 久左エ門	鉄花器	1961 (昭和36)	鉄	53.0×102.0
60	俣野 第四郎	静物 (1)	1923 (大正12)	油彩・キャンバス	65.3×50.2
61	林 竹治郎	朝の祈り	1906 (明治39)	油彩・キャンバス	50.0×90.0
62	長谷川 昇	横たわる裸婦	1952 (昭和27)	油彩・キャンバス	61.0×72.8
63	上野山 清貢	室内	1928 (昭和03)	油彩・キャンバス	203.0×291.0
64	国松 登	眼のない魚	1954 (昭和29)	油彩・キャンバス	91.1×116.5
65	橋本 三郎	造船	1954 (昭和29)	油彩・キャンバス	130.3×97.0
66	小林 清親	桜田弁慶堀原	1880 (明治13)	木版・紙	22.2×33.3
67	小林 清親	佃島雨晴	1880 (明治13)	木版・紙	23.5×33.5
68	名取 春仙	市川鬼丸の源氏店の於富	1925 (大正14) 頃	木版・紙	39.8×27.5
69	小早川 清	市丸	1933 (昭和08) 頃	木版・紙	40.5×25.0
70	恩地 孝四郎	美人四季(夏)	1927 (昭和02)	木版・紙	29.7×23.5
71	恩地 孝四郎	海の幻想	1946 (昭和21)	木版・紙	42.3×34.6
72	恩地 孝四郎	貝	1945 (昭和20)	木版・紙	35.1×27.2
73	山内 壮夫	三人の娘たち	1959 (昭和34)	ブロンズ	36.0×85.0×142.0
74	本田 明二	北洋の男	1969 (昭和44)	木	29.0×36.0×53.5
75	峯田 敏郎	唄う女	1974 (昭和49)	ブロンズ	20.0×36.0×111.0
76	藤川 叢三	立像15	1968 (昭和43)	ブロンズ	20.4×28.5×66.4
77	藤川 叢三	作品	1969 (昭和44)	リトグラフ・紙	61.5×42.5
78	藤川 叢三	リトグラフ 1	1967 (昭和42)	リトグラフ・紙	54.9×39.5
79	米坂 ヒデノリ	海の詩	1981 (昭和56)	木・ステンレス鋼	人物像のみ:11.0×9.5×105.5/ 全体:40.0×45.0(ベース)×138.0

※No.66～72は前期(07/02～09/04)のみ展示。

※寸法は、平面作品では縦×横×厚さ、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さ。

※作品はすべて当館蔵。

夏から秋の名品選 出品目録 (後期)

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	小森 忍	雪結晶文花瓶	1957 (昭和32) 頃	陶磁	17.0×31.5
2	小森 忍	宝石釉花瓶		陶磁	9.0×23.0
3	小森 忍	柑子口瓶		陶磁	15.7×30.1
4	小森 忍	結晶瑠璃釉花瓶		陶磁	10.3×27.0
5	小森 忍	蘋果 (りんご) 壺		陶磁	13.7×13.5×12.0
6	小森 忍	蝦夷藩高麗手アイス厚司紋壺		陶磁	20.6×17.5
7	小森 忍	搔落手アイス文花瓶	1955 (昭和30) 頃	陶磁	19.8×39.2
8	小森 忍	黒釉刻花海草紋壺		陶磁	16.5×25.2
9	小森 忍	均窯牛額皿		陶磁	26.7×3.8
10	小森 忍	天目釉花瓶		陶磁	16.0×27.0
11	小森 忍	青甕香炉	1956 (昭和31)	陶磁	23.8×14. 9
12	小森 忍	鯨香炉		陶磁	10.3×16.5×8.0
13	小森 忍	大筒花瓶		陶磁	21.4×28.0
14	山本 正年	均茶盃		陶磁	13.4×6.5
15	山本 正年	黒釉鉢		陶磁	23.0×7.0
16	山本 正年	花 花生	1965 (昭和40)	陶磁	13.5×16.0×23.5
17	山本 正年	作品		陶磁	17.0×20.5
18	山本 正年	膚	1966 (昭和41)	陶磁	29.4×41.0×35.2
19	山本 正年	煌	1971 (昭和46)	陶磁	43.0×37.2
20	了谷焼	松林文徳利		陶磁	6.8×14.3
21	頓平焼	徳利と盃		陶磁	6.6×15.3 6.6×3.3 6.5×3.2
22	宮下 貞一郎	大皿		陶磁	34.0×6.5
23	北工窯	馬絵大皿		陶磁	45.7×45.2×7.0
24	小野寺 玄	珠洲土壺	1982 (昭和57)	陶磁	38.5×31.0
25	河井 寛次郎	呉須辰砂花文扁壺		陶磁	18.6×11.8×21.0
26	山岡 三秋	辛夷文角飾皿	1965～69 (昭和40代前半) 頃	陶磁	39.6×39.9×7.5
27	松井 康成	三層象裂瓷大壺	1978 (昭和53)	陶磁	45.5×35.5
28	岩田 藤七	花器	1960 (昭和35)	ガラス:宙吹き	25.0×25.0×28.0
29	岩田 藤七	花器・殷周によるガラス	1970 (昭和45)	ガラス:宙吹き、斑文装飾	13.8×22.4×18.5
30	岩田 藤七	貝・浜辺の歌	1963 (昭和38)	ガラス:宙吹き	16.5×21.0×10.5
31	岩田 久利	台付流雲壺	1993 (平成05)	ガラス:宙吹き	26.5×32.0
32	岩田 久利	水指・道成寺	1982 (昭和57)	ガラス:色ガラス粉と金箔による装飾、宙吹き	14.0×17.5
33	藤田 喬平	飾筥・源氏物語	1983 (昭和58)	ガラス、金属:被せガラス、色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き	21.5×21.0×24.5
34	藤田 喬平	水指	1991 (平成03)	ガラス:色ガラス粉と金箔による装飾、型吹き	19.8×24.0×18.0
35	藤田 喬平	緑金彩	1962 (昭和37)	ガラス:色ガラスと金箔による装飾、宙吹き	23.0×26.0
36	ベッティル・ヴァッリーン	ボード		ガラス:サンドキャスト	本体:9.3×48.5×7.3 (台:11.5×20.5×6.5)
37	各務 鑛三	花器	1978 (昭和53)	ガラス:カット	13.5×28.5
38	各務 鑛三	鹿文花器	1948 (昭和23)	ガラス:宙吹き、エングレイヴィング	11.5×22.0
39	各務 鑛三	鉢	1934 (昭和09)	ガラス:宙吹き、カット、エングレイヴィング	19.7×10.8
40	各務 鑛三	鉢	1943 (昭和18)	ガラス:宙吹き	31.5×9.5
41	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	あわび 中皿	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:型押し	(各) 19.5×6.0
42	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	青海波 花瓶	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:型押し、研磨	12.2×24.0
43	小柴 外一	置物・エンゼルフィッシュ	1932～42 (昭和07～17)	ガラス:パート・ド・ヴェール	3.8×8.8×10.9
44	小柴 外一	踊り子像宝石箱 (蓋のみ)	1963 (昭和38)	ガラス:パート・ド・ヴェール	8.5×15.9×5.0
45	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	かごめ 皿	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:型押し	14.8×3.8
46	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	皿	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:被せガラス、カット	14.3×14.3×2.3
47	小柴 外一／ 岩城硝子株式会社 制作	ばら 花瓶	デザイン:昭和初期 制作:1950 (昭和25～34) 年代	ガラス:型押し、研磨	(各) 11.5×12.8×15.0
48	松島 巖	紡がれた器	1996 (平成08)	ガラス:バーナーワークによるコアガラス技法	9.5×30.0
49	松島 巖	水玉文青雲虹彩器	2001 (平成13)	ガラス:ランプワークによるコアガラス技法	14.0×3.8

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
50	アントワヌ・ルベルリエ	彫刻―スフィンクス	1985	ガラス:パート・ド・ヴェール	11.3×30.5×17.8
51	ハーヴィー・K・リトルトン	切断された青い円盤	1981	ガラス:被せガラス、カット	(各) 23.0×11.0×10.0
52	ヤン・ゾリチャック	宇宙の信号 X I X	1984	ガラス:カット、研磨	13.0×29.0×27.8
53	コリン・リード	無題 鋳型R287	1988	ガラス:シール・ペルデュ	4.5×52.0×34.0
54	コンセッタ・メイスン	エメラルドの疾風	1985	ガラス:エナメル彩、サンドブラスト	18.3×17.0×23.7
55	マイケル・バヴリク	『本当の昼夜平分点』の連作	1982	ガラス:接合、カット	10.5×29.0×23.0
56	ヴィリ・ピストル	オブジェII 1982年	1982	ガラス:溶融カット技法、エッチング	23.0×23.0×9.0
57	小林 貢	青のコンポジション	1993 (平成05)	ガラス	14.2×55.5×27.2
58	正木 友梨	ガラスと光の造形IV	1990 (平成02)	板ガラス:サンドブラスト、研磨	25.8×68.0×48.0
59	折原 久左エ門	鉄花器	1961 (昭和36)	鉄	53.0×102.0
60	俣野 第四郎	静物 (1)	1923 (大正12)	油彩・キャンバス	65.3×50.2
61	林 竹治郎	朝の祈り	1906 (明治39)	油彩・キャンバス	50.0×90.0
62	長谷川 昇	横たわる裸婦	1952 (昭和27)	油彩・キャンバス	61.0×72.8
63	上野山 清貢	室内	1928 (昭和03)	油彩・キャンバス	203.0×291.0
64	国松 登	眼のない魚	1954 (昭和29)	油彩・キャンバス	91.1×116.5
65	橋本 三郎	造船	1954 (昭和29)	油彩・キャンバス	130.3×97.0
66	小林 清親	威海衛上陸進軍之図	1895 (明治28)	木版・紙	(各) 37.0×25.0
67	小早川 清	髪	1933 (昭和08)	木版・紙	40.5×25.0
68	山村 耕花	市川猿之助の早見の藤太	1921 (大正10)	木版・紙	42.0×29.6
69	恩地 孝四郎	新膚	1932 (昭和07)	木版・紙	22.0×14.5
70	恩地 孝四郎	抒情―私は信ずる	1947 (昭和22)	木版・紙	19.8×12.1
71	恩地 孝四郎	光るエノグへの幻想	1945 (昭和20)	木版・紙	36.0×28.0
72	山内 壮夫	三人の女たち	1959 (昭和34)	ブロンズ	36.0×85.0×142.0
73	本田 明二	北洋の男	1969 (昭和44)	木版	29.0×36.0×53.5
74	峯田 敏郎	唄う女	1974 (昭和49)	ブロンズ	20.0×36.0×111.0
75	藤川 叢三	立像15	1968 (昭和43)	ブロンズ	20.4×28.5×66.4
76	藤川 叢三	作品	1969 (昭和44)	リトグラフ・紙	61.5×42.5
77	藤川 叢三	リトグラフ 1	1967 (昭和42)	リトグラフ・紙	54.9×39.5
78	米坂 ヒデノリ	海の詩	1981 (昭和56)	木・ステンレス鋼	人物像のみ:11.0×9.5×105.5/ 全体:40.0×45.0 (ベース) ×138.0

※No. 66～71は後期 (9/9～11/8) のみ展示。

※寸法は、平面作品では縦×横×厚さ、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さ。

※作品はすべて当館蔵。

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	展示期間
1	歌川 国貞	鬼灯を持つ女		木版・紙	(上) 36.4×24.7 (下) 36.5×24.8	07月02日(土)～09月04日(火)
2	ブリジット・ライリー	アレスII	1965	アクリル絵具・綿キャンバス	178.0×174.5	09月09日(金)～11月08日(火)

※寸法は、縦×横。

※作品はすべて当館蔵。

3 ワンダー☆ミュージアム 2017

キャッチ・ザ・カラース 色をつかまえろ！

同時開催／

冬から春の名品選—デューラーとレンブラントの版画他、この1点を見てほしい。

会 期：平成 28 年 11 月 23 日(水・祝)～平成 29 年 04 月 09 日(日)

会 場：北海道立近代美術館 展示室 A

主 催：北海道立近代美術館

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

ワンダー☆ミュージアム 2017

キャッチ・ザ・カラース 色をつかまえろ！

Wonder Museum 2017 Catch the Colors

古来より人は、自然のなかにさまざまな色を見だし、名づけてきた。本展では、日本や世界で生まれたさまざまな色のなまえを、作品のなかに見つけ（=catch/ つかまえ）、なまえを手がかりに、作品にひそむ無限の色の世界を紹介した。さらに、色の重なり、にじみ、ひびき合いなど、さまざまな技法によって生まれる色彩表現にも注目した。鑑賞者が、自分自身の目で、はじめて出会う色、これまで気づかなかった色を、作品のなかに見つられるよう、展示解説にも工夫を凝らした。

●展示構成

第1章「色のなまえ」では、「東雲色」、「常磐色」、「フォレストグリーン」、「フォッグ」といった日本や世界の色名を、作品とともに紹介した。繊細な色彩表現に注目し、多くの色名が自然から生まれたこと、色名は無限に存在すること、さらに色は、作品を表現する人やそれを見る人によって、それぞれ異なった感じ方をするものであることを示した。

第2章「色をつかまえろ！」では、多様な技法による色彩表現の広がりや、10のキーワード（かたりかける／ひびきあう／うつりかわる／ゆらぐ／にじむ／かさなる／うめつくす／しみこむ／けずりだす／すきとおる）とともに紹介した。

冬から春の名品選—デューラーとレンブラントの版画他

Selected Pieces for Winter and Spring from Our Collection

北海道立近代美術館は、「パスキンとエコール・ド・パリ」、「北海道の美術」、「ガラス工芸」を作品収集の三本柱としている。このほか、「日本近代の美術」、「浮世絵版画」、「ヨーロッパの版画」、「北海道のやきもの」など、まとまりをなす作品群もあわせ、収蔵作品は平成27年度末までで5,114点を数えるに至っている。「名品選」は、代表的な作品や展示の希望の多い人気作品を中心に、三期に分けて、当館コレクションの魅力を紹介する展示である。

本展ではまず、16世紀から17世紀にかけて、ドイツ・ルネサンスを代表する画家デューラーや、オランダの巨匠レンブラントらの登場により最盛期を迎えたヨーロッパ版画を取りあげ、卓越した技術を示す彼らの作品を中心に、その精華を紹介した。さらにヨーロッパ版画に見られる光の表現にちなみ、様々な光の効果を発揮する近現代のガラス工芸やオブ・アート、そして当館の収集の柱である「北海道の美術」の絵画と版画を展示した。

●展示構成

導入部分にデューラーやレンブラントなどのヨーロッパ版画を展示。次いで前半部分では、ルイ・コムフォート・ティファニの《きばなふじ》などの当館の名品を交えつつ、光を灯すランプの作品、光を透かせることで図様や内部の構造を浮かび上がらせる近現代のガラス工芸を展示した。さら後半部分ではヴィクトル・ヴァザルリの《ゲシュタルト・ゼルド》など光の効果で視覚を惑わすオブ・アートの作品、岩橋英遠や北岡文雄ら自然の光を描き北海道の絵画や版画を紹介。一貫して光に着目した構成とした。

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

青山 熊治 《アイヌ青年白鳥権治の像》《アイヌ婦人横顔》《アイヌ》

11月23日(水・祝)～02月02日(木)

鹿子木 孟郎 《裸婦》

02月03日(金)～04月09日(日)

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社クリエート工房

●出品目録

A4 判 4 頁（当館簡易印刷）

●関連事業

〔遊びに来て！ミニ・アトリエ〕

「七色の国の王さまたち」

2 階ロビーの窓に、7 人のはだかの王さまパネルを設置し、その体に小さな「編み目」シールを貼ることで、美しい色のセーターを完成させる簡易工作コーナーを設置した。7 人の王さまにはそれぞれ、「海の色」、「山の色」、「森の色」、「春の色」、「夏の色」、「秋の色」、「冬の色」というテーマを設け、参加者が思い浮かべる色の編み目シールを自由に選んで貼る形式とした。手作りで 100 種類を用意した編み目シールには、シールをはがしたあとの台紙にそれぞれの色名の由来を印刷し、参加者が持ち帰って楽しめるよう工夫した。

日 時：開館中

会 場：2 階ロビー

対 象：どなたでも（無料）

〔ワークショップ〕

「色を集めて冬小物をデザイン」

参加者が協力して 100 色の絵具を作り、その絵具を使って、手ぶくろとくつしたをデザインするワークショップ。小さな編み目が印刷された手ぶくろ型とくつした型の台紙に、参加者が自由に色を塗り込む形式で、幾何学的な模様をデザインした。多くの色を組み合わせるとき、配分によって変わるイメージを研究しながら、参加者はそれぞれ自分だけのデザインを考案し、楽しんだ。

※完成した作品は当館 2 階ロビーの「七色の国の王さまたち」パネルとともに展示した。

講 師：松本宏美氏、出口しづか氏（まほうの絵ふで 講師）

日 時：A 12 月 23 日（金・祝） B 12 月 24 日（土） 各日 10 時～15 時頃

会 場：造形室

対 象：小学生（保護者の同伴も可能）各日 30 名

参 加 料：小学生は無料（保護者の方は要観覧券）

[ギャラリー・トーク]

日 時：12月10日（土）、01月28日（土）、03月18日（土） 14時～14時30分
講 師：門間仁史（当館学芸員）
内 容：「雪と日本画」

日 時：12月17日（土）、01月21日（土） 14時～14時30分
講 師：藺部容子（当館学芸員）
内 容：「この1点を見てほしい。一青山 熊治《アイヌ》」

日 時：02月04日（土）、03月25日（土） 14時～14時30分
講 師：寺地亜衣（当館学芸員）
内 容：「この1点を見てほしい。一鹿子木 孟郎《裸婦》」

[子ども鑑賞ツアー]

日 時：11月26日（土）、12月17日（土）、01月21日（土）、02月18日（土）、
03月18日（土）（ワンダー☆ミュージアムを鑑賞）
12月10日（土）、01月14日（土）、03月11日（土）、04月08日（土）
（名品選を鑑賞）
各日11時～（約40分）
会 場：展示室A（小中学生は無料）
案 内：当館学芸員

[学校連携事業]

「ぬって けずって 自分色！」 展示：12月27日（火）～04月09日（日）

札幌市立円山小学校3年生（164名）が、作家・井上まさじ氏と一緒に制作した、色とりどりの力作を展示した。

「何が見える？何を感じる？版画作品の解説に挑戦！」

札幌市立八軒中学校3年生（155名）が作品解説を作成し、完成した解説の一部を、スライドショー形式で展示した。

ワンダー☆ミュージアム2017 出品目録

No	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	平山 深雪	午睡	1930 (昭和05) 頃	絹元彩色	97.0×97.5
2	高木 黄史	牡丹	1980 (昭和55)	麻布彩色	72.7×90.7
3	山口 蓬春	籠中春花	1956 (昭和31)	紙本彩色	60.5×83.1
4	エミール・ガレ	アイリス文花器	1900頃	ガラス:被せガラス、エングレーヴィング	10.5×16.5×12.0
5	北上 聖牛	花菖蒲	1955 (昭和30) 頃	紙本彩色	44.0×51.5
6	繁野 三郎	花菖蒲園	1975 (昭和50)	紙・水彩	60.6×72.7
7	和田 英作	菜の花畠	1916 (大正05)	油彩・キャンバス	133.5×194.0
8	福井 爽人	北の岬	1993 (平成05)	紙本彩色	71.7×89.9
9	能勢 真美	木の庭	1967 (昭和42)	油彩・キャンバス	72.7×130.3
10	松林 桂月	新緑	1962 (昭和37)	絹本彩色	66.2×83.7
11	穴山 勝堂	十二月月連幅 十二月 (松に雪)	1940 (昭和15)	絹本彩色	135.5×46.0
12	山村 耕花	秋色	1933 (昭和08)	紙本彩色	60.0×75.3
13	北上 聖牛	山桜小禽	1950 (昭和25)	紙本彩色	39.5×43.7
14	ドーム	マロニエ文花器	1907～10頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、型吹き、エッチング	15.0×36.5
15	岩田 藤七	花器・紅葉		ガラス:宙吹き、斑文ガラス	15.0×36.0
16	山内 弥一郎	四季の花	1937 (昭和12) 頃	紙本彩色	各31.0×40.0 (本紙)
17	岩田 久利	緋赤流影文壺	1991 (平成03)	ガラス:被せガラス、宙吹き	28.5×28.5×41.0
18	岩田 久利	花器	1982 (昭和57)	ガラス:宙吹き	24.0×24.0×39.0
19	鎌田 俳捺子	北の夜空	1992 (平成04)	油彩・キャンバス	193.6×162.1
20	三浦 鮮治	雪景色朝光	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	130.3×162.1
21	相原 求一郎	網走厳冬	1977 (昭和52)	油彩・キャンバス	112.0×194.0
22	中山 爾郎	海霧	1983 (昭和58)	油彩・キャンバス	112.1×161.8
23	久本 春雄	朝		紙本彩色	198.6×197.5
24	福田 翠光	山葡萄	1955 (昭和30)	紙本彩色	195.0×187.0
25	小谷 博貞	春卵	1938～41 (昭和13～16)	油彩・キャンバス	116.0×72.8
26	岩田 藤七	花器・ナイル河畔	1970 (昭和45)	ガラス:宙吹き	16.0×31.0×27.0
27	岩田 藤七	貝	1964 (昭和39)	ガラス:宙吹き	13.5×43.5×13.5
28	大野 耕太郎	青白磁・水注	1980 (昭和55) 頃	陶磁	11.3×15.7×19.5
29	大野 耕太郎	青白磁星座組鉢	1994～95 (平成06～07) 頃	陶磁	12.3×6.0他 (6点組)
30	ドーム	孔雀文花器	1914頃	ガラス:斑文装飾、被せガラス、エッチング、色ガラス溶着	12.5×18.5
31	小川 千麿	田面の雪	1921 (大正10)	絹本彩色	175.0×70.0
32	高木 保之助	十二月月連幅 二月 (紅白梅)	1935 (昭和10)	絹本彩色	135.5×46.0
33	堂本 印象	四季図 (爽景白映)	昭和初期	絹本彩色	126.8×46.0
34	北上 聖牛	清涼	1950 (昭和25) 頃	絹本彩色	41.3×51.2
35	歌川 国芳	季寄時計年中行事 申刻 霜月 西ノまちのにきわひ	寛政～文久頃	木版・紙	左36.4×25.0 中36.2×24.9 右36.4×24.9
36	歌川 国芳	山海愛度図会 よい日をおかみたい	1852 (嘉永05)	木版・紙	36.1×25.2
37	歌川 国貞	美人合 春曙 (猫と遊ぶ)		木版・紙	38.4×26.4
38	歌川 国貞	江戸名所百人美女 目黒龍泉寺	1857 (安政04)	木版・紙	35.3×23.8
39	歌川 国貞	江戸名所百人美女 かやば町	1857 (安政04)	木版・紙	35.3×23.8
40	歌川 国芳	山海愛度図会 ねむつたい	1852 (嘉永05)	木版・紙	36.2×24.8
41	歌川 国芳	山海愛度図会 人形になりたい	1852 (嘉永05)	木版・紙	36.2×25.3
42	歌川 国芳	山海愛度図会 早く見たい	1852 (嘉永05)	木版・紙	36.2×25.0
43	歌川 国芳	(諸国六玉川) 武蔵国調布の玉川		木版・紙	左37.5×26.1 中37.6×26.2 右37.4×26.2
44	歌川 国芳	さんかい愛度図会 これが着たい	1852 (嘉永05)	木版・紙	36.0×24.8
45	歌川 国貞	江戸名所百人美女 両国はし	1857 (安政04)	木版・紙	35.4×23.8
46	歌川 国貞	江戸名所百人美女 永代橋	1858 (安政05)	木版・紙	35.3×23.7
47	歌川 国貞	江戸名所百人美女 芝神明前	1858 (安政05)	木版・紙	35.3×23.8
48	歌川 国貞	江戸名所百人美女 日本はし	1857 (安政04)	木版・紙	35.4×23.9
49	歌川 国貞	江戸名所百人美女 しん宿	1858 (安政05)	木版・紙	35.4×23.8
50	歌川 国貞	江戸名所百人美女 首尾の松	1857 (安政04)	木版・紙	35.4×23.8
51	歌川 国芳	(船橋屋菓子司前)		木版・紙	左35.5×24.7 中35.7×24.6 右35.7×24.3
52	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 (緑台美人)		木版・紙	38.0×26.1
53	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 (若衆罷の女)		木版・紙	37.6×26.3

No	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
54	歌川 国貞	江戸名所百人美女 葵坂	1857 (安政04)	木版・紙	35.3×23.8
55	歌川 国貞	江戸名所百人美女 今戸	1858 (安政05)	木版・紙	35.4×23.8
56	歌川 国貞	江戸名所百人美女 呉服ばし	1857 (安政04)	木版・紙	35.4×23.9
57	歌川 国貞	江戸名所百人美女 四ッ谷	1858 (安政05)	木版・紙	35.4×23.8
58	歌川 国貞	江戸名所百人美女 駿河町	1857 (安政04)	木版・紙	35.4×23.8
59	深井 克美	バラード	1973 (昭和48)	油彩・キャンバス	116.5×73.6
60	国松 登	冬日	1993 (平成05)	油彩・キャンバス	162.0×162.0
61	バウル・オシボー	KLARA	1983	アクリル・紙	136.4×99.5
62	小谷 博貞	二月・わらう原野	1992 (平成04)	油彩・キャンバス	130.0×193.5
63	小谷 博貞	八月の原野	1993 (平成05)	油彩・キャンバス	130.0×193.5
64	沢田 哲郎	SONATA	1990 (平成02)	シルクスクリーン・紙	50.0×40.0
65	沢田 哲郎	TRANQUILLITY I	1988 (昭和63)	シルクスクリーン・紙	36.0×68.0
66	沢田 哲郎	GLOW WAVE(RED)	1991 (平成03)	シルクスクリーン・紙	42.1×70.0
67	沢田 哲郎	SERENITY II	1988 (昭和63)	シルクスクリーン・紙	50.0×40.0
68	沢田 哲郎	WHITE ZONE	1993 (平成05)	シルクスクリーン・紙	36.0×68.0
69	沢田 哲郎	MORNING	1980 (昭和55)	シルクスクリーン・紙	42.1×70.0
70	沢田 哲郎	NIGHT VIEW	1985 (昭和60)	シルクスクリーン・紙	42.1×70.0
71	リチャード・アヌスキウィツ	ライト・カドミウム・レッド・スクウェア	1979	アクリル絵の具、キャンバス	122.5×122.5
72	ブリジット・ライリー	アレスト I	1965	感光乳剤・綿キャンバス	178.0×174.5
73	ブリジット・ライリー	シリーズ41:緑に赤と青、黄と紫のねじれ	1979	グアッシュ、紙	97.0×62.3
74	ブリジット・ライリー	ファイアバード	1971	シルクスクリーン、紙	66.4×94.6
75	石垣 光雄	無題	1981 (昭和56)	油彩・廃油・紙	138.5×200.0
76	百瀬 寿	Square—TypeIII:Red and Green	1978 (昭和53)	シルクスクリーン、紙	140.2×140.2
77	百瀬 寿	Square—Pink, Orange, Metallic Yellow and Silver	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	42.5×42.5
78	百瀬 寿	Square—five stripes by silver	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	70.0×70.0
79	百瀬 寿	Square—Metallic Y.S.M and R	1980 (昭和55)	シルクスクリーン、紙	42.5×42.5
80	百瀬 寿	Square—TypeIV:Pink to Green	1978 (昭和53)	シルクスクリーン、紙	140.2×140.2
81	因藤 壽	作品64・8・8 A	1964 (昭和39)	油彩・キャンバス	193.9×130.3
82	因藤 壽	作品64・3・15 B	1964 (昭和39)	油彩・キャンバス	193.9×130.3
83	因藤 壽	作品64・3・15 A	1964 (昭和39)	油彩・キャンバス	193.9×130.3
84	杉山 留美子	HERE-NOW あるいはシャンバラの夜明け	2006 (平成18)	アクリル絵具・綿キャンバス	130.0×97.0 (3点)
85	杉山 留美子	HERE-NOW あるいは無碍光	2007 (平成19)	アクリル絵具・綿キャンバス	各90.9×90.9
86	杉山 留美子	HERE-NOW あるいは難思光 - 6	2011 (平成23)	アクリル絵具・綿キャンバス	各100.0×100.0 (3点組)
87	井上 まさじ	白から白へ	2011 (平成23)	アクリル絵具、糸・板	60.0×30.0
88	井上 まさじ	untitled	2008 (平成20)	アクリル絵具・板	45.0×45.0
89	井上 まさじ	untitled	2012 (平成24)	アクリル絵具・板	45.0×45.0
90	井上 まさじ	untitled	2011 (平成23)	アクリル絵具・板	45.0×45.0
91	井上 まさじ	untitled	2006 (平成18)	アクリル絵具、糸・板	90.0×45.0
92	井上 まさじ	untitled	2003 (平成15)	アクリル絵具、糸・板	90.0×45.0
93	井上 まさじ	untitled	2003 (平成15)	アクリル絵具、糸・板	90.0×45.0
94	井上 まさじ	untitled	2006 (平成18)	アクリル絵具、糸・板	90.0×45.0
95	井上 まさじ	untitled	2006 (平成18)	アクリル絵具、糸・板	90.0×45.0
96	イヴァナ・シュラームコヴァ	ダチョウ	2002 (平成14)	ガラス:キャスト、研磨	100.0×35.0×152.0
97	ルネ・ラリック	花器・いんこ	1919	ガラス:宙吹き	24.8×25.6
98	インゲボリー・ルンディーン ／制作:オレフォッシュ社	花器・りんご	デザイン:1957	ガラス:被せガラス、宙吹き	33.8×36.0
99	トゥーツ・ジンスキー	「アフリカの夢」シリーズ	1984	ガラス:押し出し成形による繊維状のガラスの溶接	36.8×12.4
100	イジー・シュハーイエク	立つ n. 1	1985	ガラス:宙吹き	18.5×18.5×86.0
101	イジー・シュハーイエク	座る n. 2	1985	ガラス:宙吹き	57.0×20.0×107.0
102	札幌市立円山小学校3年生のみなさん	ぬって けずって 自分色!	2016 (平成28)	アクリル絵具、ダンボール・ボール紙・アルミホイル	各15.0×15.0×1.5 (全176点)

※展示期間:No. 35～42は11/23～01/06、No. 43～50は01/07～02/24、No. 51～58は02/25～04/09。

※寸法は、平面作品では縦×横×厚さ、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さ。

※No. 87は作家蔵、その他の作品はすべて当館蔵。

※No. 102は学校連携事業による作品。

冬から春の名品選 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	レンブラント・ファン・レイン	版画商クレメント・デ・ヨンヘ	1651	エッチング・ドライポイント・エングレーヴィング、紙	20.4×15.8
2	アルブレヒト・デュラー	『小受難』悲しみのキリスト (屏絵)	1509～11	木版、紙	8.5×8.1
3	アルブレヒト・デュラー	『小受難』原罪	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
4	アルブレヒト・デュラー	『小受難』楽園追放	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
5	アルブレヒト・デュラー	『小受難』受胎告知	1509～11	木版、紙	12.8×9.7
6	アルブレヒト・デュラー	『小受難』キリスト降誕	1509～11	木版、紙	12.8×9.7
7	アルブレヒト・デュラー	『小受難』キリストとマリアのわかれ	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
8	アルブレヒト・デュラー	『小受難』キリストのエルサレム入城	1509～11	木版、紙	12.8×9.7
9	アルブレヒト・デュラー	『小受難』神殿からの商人追放	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
10	アルブレヒト・デュラー	『小受難』最後の晩餐	1509～11	木版、紙	12.6×9.9
11	アルブレヒト・デュラー	『小受難』弟子の足を洗うキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.9
12	アルブレヒト・デュラー	『小受難』オリブ山の祈り	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
13	アルブレヒト・デュラー	『小受難』キリストの捕縛	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
14	アルブレヒト・デュラー	『小受難』アAnnaの前のキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
15	アルブレヒト・デュラー	『小受難』カヤパの前のキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.9
16	アルブレヒト・デュラー	『小受難』嘲弄	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
17	アルブレヒト・デュラー	『小受難』ピラトの前のキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
18	アルブレヒト・デュラー	『小受難』ヘロデ王の前のキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
19	アルブレヒト・デュラー	『小受難』笞刑	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
20	アルブレヒト・デュラー	『小受難』茨冠のキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
21	アルブレヒト・デュラー	『小受難』エッケ・ホモ (この人をみよ)	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
22	アルブレヒト・デュラー	『小受難』手を洗うピラト	1509～11	木版、紙	12.6×9.9
23	アルブレヒト・デュラー	『小受難』十字架を担うキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.9
24	アルブレヒト・デュラー	『小受難』聖ペテロ、聖パウロの間の聖ヴェロニカ	1509～11	木版、紙	12.7×9.7
25	アルブレヒト・デュラー	『小受難』十字架につけられるキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.9
26	アルブレヒト・デュラー	『小受難』十字架上のキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
27	アルブレヒト・デュラー	『小受難』刃獄のキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
28	アルブレヒト・デュラー	『小受難』十字架降架	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
29	アルブレヒト・デュラー	『小受難』哀哭	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
30	アルブレヒト・デュラー	『小受難』キリストの埋葬	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
31	アルブレヒト・デュラー	『小受難』キリストの復活	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
32	アルブレヒト・デュラー	『小受難』聖母に出現するキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
33	アルブレヒト・デュラー	『小受難』園丁としてのキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.8
34	アルブレヒト・デュラー	『小受難』エマオのキリスト	1509～11	木版、紙	12.6×9.6
35	アルブレヒト・デュラー	『小受難』聖トマスへの不信	1509～11	木版、紙	12.6×9.9
36	アルブレヒト・デュラー	『小受難』昇天	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
37	アルブレヒト・デュラー	『小受難』聖霊降臨 (ペンテコステ)	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
38	アルブレヒト・デュラー	『小受難』最後の審判	1509～11	木版、紙	12.6×9.7
39	アルブレヒト・デュラー	聖エウスタキウス	1501頃	エングレーヴィング・紙	35.7×25.9
40	レンブラント・ファン・レイン	寺院のシメオン	1639頃	エッチング、ドライポイント・紙	21.3×28.9
41	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』第2図	1823～26	エングレーヴィング・紙	19.6×15.0
42	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』第14図	1823～26	エングレーヴィング・紙	19.1×14.9
43	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』第17図	1823～26	エングレーヴィング・紙	19.7×14.8
44	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	夢見る人	1854 刊行:1921	クリシェ＝ヴェール・紙	14.7×19.5
45	シャルル＝フランソワ・ドービニー	夜景	1862 刊行:1921	クリシェ＝ヴェール・紙	14.9×18.7
46	マックス・クリンガー	『ドラマ』森の中で	1883	エッチング・アクアチント・紙	41.3×27.8
47	レイ・コムフォート・ティファニー	ランプ・きばなふじ	1900～10頃	ガラス、ブロンズ、銅	56.0×79.0
48	イギリスの工房	オイル・ランプ	1890頃	ガラス、真鍮:カット	10.5×37.0
49	不詳	手付灯油ランプ	大正時代	ガラス:宙吹き、型吹き	9.0×11.0×26.3
50	ロブジェ	ベッドランプ	1910～20頃	ガラス:パート・ド・ヴェール	12.6×10.5
51	ガブリエル・アルジ＝ルソー	花文ランプ	1920代	ガラス、鉄:パート・ド・ヴェール	12.0×35.0
52	R. トーバン・ドージュ	花に女性像ランプ	1900頃	ガラス、真鍮、ブロンズ:型吹き	20.0×39.5
53	ミュレル兄弟	ランプ	1920頃	ガラス、鉄:ヴィトリフィカシオン	13.0×42.0×53.0 (ガラス) 11.4×14.8
54	エミール・ガレ	花に蝶文ランプ	1900頃	ガラス:被せガラス、型吹き、エッチング	8.8×30.5×25.7
55	ガレ工房	草花文ランプ	1904～14頃	ガラス:被せガラス、エッチング	29.0×60.0
56	レイ・コムフォート・ティファニー	ランプ	1910～20頃	ガラス:虹彩	20.4×39.5
57	ドーム	クリスマスツリー文ランプ	20世紀中頃	ガラス:ヴィトリフィカシオン、エッチング、エナメル彩	20.0×20.0×44.0
58	ドーム	ランプ	1920代	ガラス、金属:ヴィトリフィカシオン	35.2×51.0
59	ドーム	落葉文ランプ	1890代	ガラス:エナメル彩、斑文ガラス、被せガラス、エッチング	23.5×48.0
60	ドーム	湖畔白樺文ランプ	1900～07頃	ガラス:エナメル彩、ヴィトリフィカシオン、被せガラス、エッチング	19.5×36.0

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
61	クリスチャン・ボルタンスキー	モニュメント:ディジョンの子どもたち	1987	写真、メタルフレーム、ガラス、電球、電線	(写真各) 20.5×15.0 7.2×75.0×164.0
62	シーモン・ガーテ	馬に人物文コンポート	デザイン:1920 制作:1925	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	23.5×18.8
63	エードヴァルド・ハルド	蓋付ゴブレット・ニグロハウス	デザイン:1918	ガラス:型吹き、エングレーヴィング	13.9×26.1
64	各務 鑑三	鉢・馬の目	1935 (昭和10)	ガラス:カット、エングレーヴィング	36.5×15.2
65	岩田 藤七	貝・彩雨	1976 (昭和51)	ガラス:宙吹き	19.0×26.0×8.0
66	モーナ・モーラレス＝シルト	花器	1960代	ガラス:被せガラス、カット	7.0×11.3×17.2
67	アルビン・シェーデル	むらさき貝文様のガラス	1974	ガラス:ランプ・ワーク	9.5×23.5、10.0×9.5
68	クルト・ヴァルシュタッブ	グループ―球,円筒,鉢―	1982	ガラス:バーナーワーク	11.0×10.5、5.5×17.5、9.5×8.0
69	ドーム／マルク・ド・ロスニー	クノッソスの王子	1969	ガラス:パート・ド・ヴェール	38.0×38.0×19.0
70	ヤン・ゾリチャック	宇宙からの使者 V	1984	ガラス:薄板ガラス、金属酸化物によるコーティング、フュージング、カット、研磨	25.2×12.8×23.3
71	ヴァーツラフ・ツイグレル	陽の気	1988	ガラス:真空蒸着、研磨、カット	28.5×31.0×21.5
72	ヴァーツラフ・ツイグレル	陰の気	1988	ガラス:真空蒸着、研磨、カット	29.0×31.0×21.0
73	スティーヴン・ワインバーグ	無題 #580502	1985	ガラス:鑄造カット、研磨	20.5×20.6×16.2
74	菅澤 利雄	「本のシリーズ」より“禁書”	1982 (昭和57)	ガラス:鑄造、カット、クラック	27.5×21.0×8.5
75	ヘンリー・スーマ	ペーパーウェイト		ガラス:綿糸装飾	7.5×6.5×9.0
76	ドーム	ペーパーウェイト	1970代	ガラス:斑文ガラス	5.4×7.8
77	福岡特殊硝子(株)	ペーパーウェイト	1973 (昭和48)	ガラス:カット、サンドブラスト	6.1×8.8
78	コスタ工房とベント・ハインツェ	ペーパーウェイト	1970頃	ガラス:気泡封入	8.0×7.4
79	サン＝ルイ工房	ペーパーウェイト	1973	ガラス:ミレフィオリ、被せガラス、カット	8.0×5.5
80	ジェイムズ・ランドバーグ	ペーパーウェイト	1982	ガラス:色ガラスによる装飾	7.5×5.0
81	ミーケ・フロート	ペーパーウェイト	1982	ガラス:被せガラス、金属箔封入	7.0×5.0
82	ポール・J. スタンカード	精霊のいる蘭	1988	ガラス:ランプワーク、研磨、合わせガラス	7.5×8.0×16.0
83	パヴェル・モルナル	無題	1985	ガラス:ランプワークと窯でのテクニックを併用	8.0×17.4
84	不詳	水族館	1960代	ガラス:ホットワーク	5.5×27.3×14.8
85	ウルズラ・フート	ポート	1990	ガラス:型吹き、キャスト	35.6×10.0×26.9
86	スタニスラフ・メリス	海の貝 A、B	1982	ガラス:斑文ガラス	32.0×38.0×18.0、 29.0×25.0×13.0
87	リチャード・マイトナー	無題	1985	ガラス:エナメル焼き付け	9.5×35.7×43.0
88	コリン・リード	無題 R422		ガラス:シール・ベルデュ、キルンキャスト	45.0×4.0×18.9
89	ダナ・ザーメチニコヴァ	空中浮場	1985	ガラス:多層板ガラス、サンドブラスト、エナメル彩、エングレーヴィング	11.0×40.1×40.3
90	チェスラフ・ズベール	無題	1988	ガラス:ハンマーによるカット、研磨、サンドブラスト、着色	14.0×64.0×45.5
91	カール・R. ベルク	無題	1982	ガラス:カット	43.0×23.0
92	ジョエル・フィリップ・マイヤーズ	水	1985	ガラス:ガラス片はりつけ、サンドブラスト、エッチング	8.2×65.3×17.0
93	ヴィクトル・ヴァザルリ	ゲシュタルト・ゼルド	1976	アクリル絵具・キャンバス	238.0×223.5
94	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション:アーティキュレーション I -16	1972	シルクスクリーン、紙	各30.8×16.6
95	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション:アーティキュレーション II -33	1972	シルクスクリーン、紙	左:30.1×30.1 右:30.1×30.1
96	ヘスス・ラファエル・ソト	黒の二重正面	1985	彩色・木・金属	40.2×40.2×160.0
97	ヘスス・ラファエル・ソト	相反価値、ニューヨークI	1984	彩色・木・金属	158.4×158.4
98	リチャード・アヌスキウィツ	聖なる黒の寺院	1983	アクリル絵具・キャンバス	152.9×122.5
99	ヤーコブ・アガム	「メキシコ」ユカタンの聖なるもの	1990	リトグラフ、アクリル・紙	32.2×33.4
100	ヤーコブ・アガム	リパティNo.5	1980	リトグラフ・アクリル、紙	35.5×35.5
101	ヤーコブ・アガム	幸福な結婚	1990	リトグラフ、アクリル・紙	34.6×31.8
102	池谷 寅一	天使園春雪	1939 (昭和14)	油彩・キャンバス	60.6×72.7
103	本間 莞彩	黄昏	1951 (昭和26)	紙本彩色	148.0×182.5
104	岩橋 英遠	虹輪 (南溟を翔る)	1969 (昭和44)	紙本彩色	182.0×105.8
105	岩橋 英遠	虹輪 (来迎)	1969 (昭和44)	紙本彩色	182.0×105.0
106	岩橋 英遠	虹輪 (極圏を飛ぶ)	1969 (昭和44)	紙本彩色	181.5×105.8
107	北岡 文雄	羅白岳錦秋	1989 (平成元)	木版・紙	40.0×54.9
108	北岡 文雄	冬の支笏湖	1971 (昭和46)	木版・紙	40.0×54.9
109	伊藤 一雄	曙の清流	1966 (昭和41)	木版・紙	47.5×65.1
110	阿部 貞夫	黄金岬の夕照	摺 1969 (昭和44)	木版・紙	25.0×37.5
111	北岡 文雄	草萌ゆる湿原	1986 (昭和61)	木版・紙	39.8×54.8
112	伊藤 一雄	春の昭和新年山	1970 (昭和45)	木版・紙	28.3×39.0
113	阿部 貞夫	羊蹄明ける	1967 (昭和42)	木版・紙	21.4×33.3
114	阿部 貞夫	黎明	1966 (昭和41)	木版・紙	16.7×24.7

No. 1～38、111～114は前期のみ展示。

No. 39～46、115～118は後期のみ展示。

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	展示期間
1	青山 熊治	アイス青年白鳥権治の像	1911 (明治44)	油彩・キャンバス	44.5×33.5	11月23日 (水・祝) ～02月02日 (木)
2	青山 熊治	アイス婦人横顔	1907 (明治40)	油彩・ボール紙	33.0×24.0	
3	青山 熊治	アイス	1910 (明治43)	油彩・キャンバス	150.0×188.0	
4	鹿子木 孟郎	裸婦	1902 (明治35) 頃	油彩・キャンバス	80.4×44.2	02月03日 (金) ～04月09日 (日)

※寸法は、縦×横。

※作品はすべて当館蔵。

2_2 展覧会②特別展

◆特別展一覧

番号 (展覧会番号)	展覧会名	開催期間	開催日数	主催・後援等
1 (280)	足立美術館所蔵 横山大観展	2016 (平成28) 年 04月02日 (土)～05月15日 (日)	38日	主催: 北海道立近代美術館、北海道新聞社、テレビ北海道、足立美術館 札幌商工会議所 共催: 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道PTA連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会 後援: 株式会社 ANA Caron
2 (281)	ともにいること ともにあること 北海道・いまを生きるアーティストたち	05月25日 (水)～06月23日 (木)	26日	主催: 北海道立近代美術館 後援: 札幌市、札幌市教育委員会
3 (282)	ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ	07月02日 (土)～08月28日 (日)	50日	主催: 北海道立近代美術館、北海道新聞社、北海道放送、公益財団法人ポーラ美術振興財団 後援: 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道PTA連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会 協力: 日本通運、TBSテレビ、テモア
4 (283)	ゴジラ展 特撮映画のヴィジョンとデザイン	09月09日 (金)～10月23日 (日)	39日	主催: 北海道立近代美術館、北海道新聞社、北海道文化放送 後援: 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道PTA連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立専修学校各種学校連合会 東京 東京映像美術 東京マド
5 (284)	浮世絵師・歌川国貞展	11月23日 (水・祝)～12月18日 (日)	23日	主催: 北海道立近代美術館 共催: 北海道新聞社 後援: 札幌市、札幌市教育委員会
6 (285)	片岡球子 本画とスケッチで探る画業のひみつ	2017 (平成29) 年 01月04日 (水)～03月20日 (月・祝)	66日	主催: 北海道立近代美術館 共催: 北海道新聞社 後援: 札幌市、札幌市教育委員会

1 足立美術館所蔵 横山大観展

Yokoyama Taikan Exhibition: The Adachi Museum of Art Collection

会 期：平成 28 年 04 月 02 日(土)～05 月 15 日(日)
会 場：北海道立近代美術館 展示室 B
主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、テレビ北海道、足立美術館
共 催：札幌商工会議所
後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道 P T A 連合
会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道
私立中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会
特別協力：株式会社 ANA Cargo

明治、大正、昭和と、近代日本画壇で活躍した巨匠・横山大観（1868～1958）は、日本美術史上に大きな足跡を残している。長い画業のなかで生み出された数多くの名作は、他の追随を許さぬ気迫と品位をそなえ、21 世紀の今も尚、深遠な輝きを放つ。

島根県安来市出身の実業家・足立全康氏（1899～1990）が創立した足立美術館には、同氏が長年にわたって収集した横山大観の作品約 120 点が所蔵されています。本展では、質、量ともに充実した足立美術館の大観コレクションより、初期から晩年に至る名作 50 点を選び、一堂に展覧した。絢爛豪華な六曲一双屏風「紅葉」や、画業 50 年に際して制作された「山海二十題」のうち「曙色」「雨霽る」など 8 点は、大観生涯の代表作であり、北海道においては初公開の好機となった。また、平成 7 年度「横山大観一海・山・空の世界」展以来 20 年ぶりとなる本格的な横山大観展として、大観芸術の粋とともに、足立美術館が誇る日本庭園の魅力を紹介し、好評を得た。

●展示構成

第 1 章 明治

第 2 章 大正

第 3 章 昭和

「山海二十題」

第 4 章 戦後

各章ごとにおおよそ制作年順に展示した。

●図録

変形（25.0×25.0 cm）36 頁／ポストカード付表紙、観音折り 4P＋本文 20P、中綴じ

企 画 ・ 編 集：北海道立近代美術館
監修・写真提供：公益財団法人足立美術館
デ ザ イ ン：株式会社アラタデザインオフィス
印 刷：丹輪アート株式会社
発 行：北海道新聞社

●広報印刷物

ポ ス タ ー／B2 判
チ ラ シ／A3 判二つ折り
観 覧 券／16.0×7.0cm
デ ザ イ ン：株式会社アラタデザインオフィス
印 刷：丹輪アート株式会社

出 品 リ ス ト／変形（24.5×24.5 cm）両面刷
印 刷：山藤山陽印刷

●作品輸送・展示

ヤマトロジスティクス株式会社

●会場造作

株式会社六書堂

●関連事業

[特別講演会]

日 時：04月02日（土） 14時～15時30分
会 場：講堂
講 師：安部則男氏（足立美術館学芸部長）
演 題：「足立美術館と横山大観コレクション」

[学芸員による見どころ解説]

日 時：04月16日（土）、04月30日（土） 10時30分～（約30分）
04月23日（土）、05月07日（土） 13時30分～（約30分）
会 場：講堂
講 師：04/16、05/07 齊藤千鶴子（当館主任学芸員）
04/23、04/30 鎌田享 （当館普及情報課長）

[お茶会]

日 時：04月09日(土) 11時～14時
会 場：2階ロビー
協 力：茶道裏千家淡交会 札幌第二支部

[タイアップ企画 ランチ&トーク]

日 時：04月14日(木)、04月20日(水) 各日11時30分～
会 場：ホテルオークラ札幌
講 師：04/14=齊藤千鶴子(当館主任学芸員)、04/20=鎌田享(当館普及情報課長)

●主な新聞・雑誌記事等

新聞

北海道新聞

「近代日本画 大家の足跡」	平成28年 01月12日(火)	朝刊
「日本画創造 信念の生涯」	03月29日(火)	朝刊
	(齊藤千鶴子寄稿「新しい芸術 無限の追求」)	
「大観の名作もうすぐ」	03月30日(水)	朝刊
「豪華絢爛 巨匠の世界 札幌・横山大観展開幕」	04月02日(土)	夕刊
「大観の代表作 酔いしれ 札幌で展覧会開幕」	04月03日(日)	朝刊
「横山大観 日本画の夜明け 上 五浦時代」	04月10日(日)	日曜版
「横山大観 日本画の夜明け 中 巨匠への道のり」	04月17日(日)	日曜版
「美術品の購入」	04月18日(月)	夕刊 道新文化部
「横山大観 日本画の夜明け 下 足立美術館」	04月24日(日)	日曜版
「心に響いた「私の大観」」	04月27日(水)	朝刊
「大観展 2万人達成」	04月27日(水)	朝刊
「横山大観展」	04月28日(木)	夕刊 魚眼図
「卓上四季」	05月04日(水)	朝刊
「大観展 5万人達成」	05月12日(木)	朝刊

雑誌 『美術の窓』 「今年の展覧会ベスト200」 2016年2月 No. 389

オンライン 『和楽』 オンライン 「ニッポンの美術館100イマコレ」

TV・ラジオ J:COM 「J:COMチャンネル デイリー・ニュース」 04月13日(水)

横山大観展 出品目録

No.	作 者	画 題	制作年	西暦	年齢	材質	技法	形状	形状備考	縦(cm)	横(cm)	備 考
1	横山大観	無我	明治30	1897	29	絹本	墨画淡彩	額装		75.4	46.7	
2	横山大観	曳船	明治34	1901	33	絹本	彩色	軸装		139.4	68.6	
3	横山大観	牧童	明治34	1901	33	絹本	彩色	軸装		128.2	56.3	
4	横山大観	巖上之両雄	明治42	1909	41	絹本	彩色	軸装	双幅	124.4	50.7	下村観山と双幅
5	横山大観	十六羅漢	明治44	1911	43	絹本	彩色	軸装		127.6	51.0	
6	横山大観	虎溪三笑	明治45	1912	44	紙本	墨画淡彩	軸装		150.0	81.5	
7	横山大観	緑雨	大正03	1914	46	絹本	彩色	軸装		130.3	50.0	
8	横山大観	那智乃瀧	大正04	1915	47	絹本	墨画淡彩	軸装	(太巻)	127.0	49.5	
9	横山大観	雨聲	大正04	1915	47	絹本	墨画	軸装		159.4	77.2	
10	横山大観	浪	大正04	1915	47	絹本	彩色	軸装		141.8	55.7	
11	横山大観	汐見坂	大正05	1916	48	絹本	彩色	軸装		127.3	50.4	
12	横山大観	羅浮仙	大正08	1919	51	絹本	彩色	軸装	(太巻)	139.4	50.4	
13	横山大観	山窓無月	大正08	1919	51	絹本	墨画淡彩	軸装		152.7	56.7	
14	横山大観	夏之不二	大正09	1920	52	絹本	彩色	額装		48.8	71.7	
15	横山大観	愛宕路	大正10	1921	53	絹本	彩色	軸装		184.5	72.2	再興第8回院展
16	横山大観	鹿ヶ谷	大正14	1925	57	絹本	彩色	額装		53.9	83.5	
17	横山大観	浅春	大正14	1925	57	絹本	彩色	軸装		60.5	83.9	
18	横山大観	夏之夜	大正14	1925	57	絹本	墨画淡彩	額装		60.5	83.9	
19	横山大観	晩秋	大正14	1925	57	絹本	彩色	軸装		60.5	83.9	
20	横山大観	鶉	大正14	1925	57	絹本	彩色	軸装		60.3	85.2	
21	横山大観	鮑	大正15	1926	58	紙本	彩色	軸装		66.5	94.2	
22	横山大観	龍膽	大正15	1926	58	絹本	彩色	軸装		59.1	85.3	再興第13回院展
23	横山大観	紅葉	昭和06	1931	63	紙本	彩色	屏風	六曲一双	163.3	361.0	再興第18回院展 寸法は各隻
24	横山大観	神州第一峰	昭和07	1932	64	紙本	彩色	屏風	六曲一双	164.0	361.0	寸法は各隻
25	横山大観	朝嶺	昭和07	1932	64	紙本	墨画	軸装		76.2	116.6	再興第19回院展
26	横山大観	暮嶺	昭和07	1932	64	紙本	墨画	軸装		76.2	116.6	再興第19回院展
27	横山大観	春風秋雨	昭和09	1934	66	紙本	墨画金彩	屏風	二曲一双	168.5	169.0	第8回淡交会 寸法は各隻
28	横山大観	春雨	昭和10	1935	67	絹本	彩色	軸装		59.5	85.0	
29	横山大観	梅花薫る	昭和13	1938	70	紙本	墨画	軸装		89.2	120.0	再興第25回院展

No.	作 者	画 題	制作年	西暦	年齢	材質	技法	形状	形状備考	縦(cm)	横(cm)	備 考
30	横山大観	麗日	昭和14	1939	71	紙本	彩色	額装		74.4	105.4	再興第26回院展
31	横山大観	霊峰四趣・夏	昭和15	1940	72	紙本	彩色	額装		75.2	110.7	横山大観紀元二千六百年奉祝記念作品展
32	横山大観	乾坤輝く	昭和15	1940	72	紙本	彩色	軸装		80.3	115.5	横山大観紀元二千六百年奉祝記念作品展
33	横山大観	雨霽る	昭和15	1940	72	紙本	墨画	軸装		81.2	114.3	横山大観紀元二千六百年奉祝記念作品展
34	横山大観	龍躍る	昭和15	1940	72	紙本	墨画金彩	軸装		81.0	119.5	横山大観紀元二千六百年奉祝記念作品展
35	横山大観	海潮四題・夏	昭和15	1940	72	紙本	彩色	軸装		71.7	96.0	横山大観紀元二千六百年奉祝記念作品展
36	横山大観	海潮四題・秋	昭和15	1940	72	紙本	彩色	軸装		71.0	95.5	横山大観紀元二千六百年奉祝記念作品展
37	横山大観	海潮四題・冬	昭和15	1940	72	紙本	彩色	額装		72.7	95.6	横山大観紀元二千六百年奉祝記念作品展
38	横山大観	曙色	昭和15	1940	72	紙本	彩色	軸装		80.2	103.3	横山大観紀元二千六百年奉祝記念作品展
39	横山大観	神国日本	昭和17	1942	74	紙本	彩色	額装		74.8	111.5	
40	横山大観	秋夕	昭和17	1942	74	絹本	彩色	軸装		54.0	72.1	
41	横山大観	春風萬里濤	昭和17	1942	74	絹本	彩色	軸装		63.8	86.6	
42	横山大観	南溟の夜	昭和19	1944	76	紙本	墨画	軸装		76.5	89.5	
43	横山大観	漁夫	昭和21	1946	78	紙本	墨画	軸装		68.2	93.5	第1回日展
44	横山大観	蓬莱山	昭和23	1948	80	絹本	彩色	軸装		60.2	79.8	第1回白寿会
45	横山大観	漁火	昭和26	1951	83	絹本	墨画	軸装		65.0	85.1	再興第36回院展
46	横山大観	中秋之月	昭和28	1953	85	絹本	彩色	軸装		54.3	67.0	
47	横山大観	乾坤輝く	昭和28	1953	85	絹本	彩色	額装		71.0	88.0	
48	横山大観	風蕭々兮易水寒	昭和30	1955	87	絹本	墨画	軸装		63.6	85.7	
49	横山大観	天心先生作日本美術院院歌	昭和10	1935	67	紙本	彩色	軸装		120.5	66.9	
50	横山大観	趁無窮	昭和27	1952	84	紙本	墨書	額装		33.5	65.6	

※作品はすべて足立美術館蔵。

2 北海道・いまを生きるアーティストたち

ともにいること ともにあること

The Emerging Artists in Hokkaido

会 期：平成 28 年 05 月 25 日（水）～06 月 23 日（木）

会 場：北海道立近代美術館 展示室 B

主 催：北海道立近代美術館

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

人は、子ども時代を過ごし、年を重ね、生きていく中で、人間や自然あるいはさまざまな事象に触れ、心を揺さぶられる体験をする。共通の体験は、互いを認め、理解することにつながるだろう。一方で人と人との間には、さまざまな差や違いも存在する。それでも、違いを認め互いに理解し合う努力を続けることにより、共に生きていくことが可能になるのではないだろうか。

本展では、「共生」をキーワードに、他者への想像力を表現の足場とする北海道の作家 9 名の作品を紹介した。表現の手法はさまざまだが、他者への共感にもとづいて悲しみや喜びにそっと寄り添おうとする作品や、パーソナルな視覚体験をもとに普遍的イメージの創出を目指す作品、時間や空間の共有体験を作り出すような作品など。それらはいずれも、作者自身の感情や思考、記憶から出発しながらも、他者の存在を念頭に置き、観る者の共感を呼び起こすものである。声高な主張ではないが、ともにいる、ともにあるというメッセージの存在は、私たちに前に進む勇気を与えてくれることだろう。

会期中は 3,276 人の来場者を迎え、平面、立体だけでなく映像、インスタレーション作品など、さまざまな分野で表現の新たな可能性を示す作品を鑑賞いただいた。

●出品作家

今村育子、国松希根太、経塚真代、紅露はるか、斉藤幹男、佐藤史恵、鈴木悠哉、高野理栄子、山田良

●図録

A4 判（297×210 mm）／40 ページ

編集・発行：北海道立近代美術館

テキスト：蘭部容子「美術と共生—9 作家の展開」

作品解説：大下智一、蘭部容子、穂積利明

印 刷：中西印刷株式会社
デ ザ イ ン：株式会社佐藤守功デザイン事務所

●広報印刷物

ポスター／B2 判

チ ラ シ／A4 判

印 刷：株式会社アイワード

デザイン：株式会社佐藤守功デザイン事務所

観 覧 券／170×64 mm（道単3展共通）

印 刷：岩橋印刷株式会社

出品リスト／A4 判

印 刷：当館簡易印刷

●作品展示

ヤマトロジスティクス株式会社

●会場造作

株式会社 フジヤ

●関連事業

[アーティスト・トーク]

日時・講師：

05月25日（水）	10時～	佐藤史恵氏		
05月28日（土）	14時～	国松希根太氏	15時～	鈴木悠哉氏
06月04日（土）	14時～	経塚真代氏	15時～	高野理栄子氏
06月11日（土）	14時～	今村育子氏	15時～	山田良氏
06月18日（土）	14時～	紅露はるか氏	15時～	斉藤幹男氏

会 場：いずれも展示室 B

[募集制プログラム]

山田良作品《海拔ゼロメートル／石狩低地帯》ワークショップ

日 時：06月04日（土） 10時～11時30分

会 場：展示室 B ＊事前応募制

講 師：山田良氏（本展出品作家、札幌市立大学大学院准教授）

演 題：「海拔ゼロメートルを歩く」

[ミュージアム・コンサート]

日 時：05月29日（日） 14時～（約45分）

会 場：1階ホール

出 演：アンサンブル・レジーナ

（池上依氏、川本咲氏、高崎博氏、川本彰子氏、山口玲子氏）

演 題：ともにある音と形「初夏に薫る名曲選」

●主な新聞・雑誌記事等

新聞

北海道新聞

久才秀樹「『ともにいること ともにあること』展 道立近代美術館で開催中」

／山田良	「アートとともに① 環境の一面を映す媒体」	06月01日（水）夕刊
国松希根太	「アートとともに② 境界に記憶を重ねて」	06月02日（木）夕刊
紅露はるか	「アートとともに③ 自分見つめ旅路の先へ」	06月06日（月）夕刊
斉藤幹男	「アートとともに④ 幼時の記憶、印象を喚起」	06月08日（水）夕刊
鈴木悠哉	「アートとともに⑤ 多様性 自由に感じて」	06月10日（金）夕刊
佐藤史恵	「アートとともに⑥ 暗闇で感覚研ぎ澄ます」	06月13日（月）夕刊
今村育子	「アートとともに⑦ 非日常へ導く『間』」	06月14日（火）夕刊
高野理栄子	「アートとともに⑧ 無意識が作り上げる『雨』」	06月16日（木）夕刊
経塚真代	「アートとともに⑨ 『本当の自分』問いかける」	06月17日（金）夕刊

TV・ラジオ

AIR-G ' 「brilliant days」

06月06日（月）

ともにいること ともにあること 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	今村育子	光の間	2016 (平成28)	照明器具、電球、調光器 ほか	可変
2	国松希根太	CREVASSE	2011 (平成23)	アクリル絵具・木 (センノキ)、アクリル板/鉄	170.0×400.0×65.0
3		GLACIER MOUNTAIN	2012 (平成24)	アクリル絵具・木 (シナノキ)	55.0×55.0×190.0
4		HORIZON	2013 (平成25)	アクリル絵具・板/鉄	92.0×546.0 (3点組)
5		HORIZON	2014 (平成26)	アクリル絵具・板/鉄	75.0×370.0 (2点組)
6	経塚真代	私は誰 あなたも誰	2016 (平成28)	アクリル絵具、岩絵具・木粉粘土	(大) 高さ126.0 4点 (中) 高さ39.0 6点 (小) 高さ15.0 74点
7	紅露はるか	snow	2010 (平成22)	水干絵具、岩絵具・布	各53.0×80.3 (2点組)
8		samsara	2010 (平成22)	水干絵具、岩絵具・布	100.0×60.0
9		青い水	2011 (平成23)	水干絵具、岩絵具・布	32.0×91.0
10		before your time	2012 (平成24)	水干絵具、岩絵具・布	各32.0×91.0 (3点組)
11		go home	2012 (平成24)	水干絵具、岩絵具・布	32.0×91.0
12		深い森	2014 (平成26)	水干絵具、岩絵具・布	各27.3×40.9 (2点組)
13		幻	2015 (平成27)	水干絵具、岩絵具・布	51.5×72.8
14		night field	2015 (平成27)	水干絵具、岩絵具・布	51.5×72.8
15		エフブンノイチ	2015 (平成27)	水干絵具、岩絵具・布	各15.8×22.7 (3点組)
16		流星群	2016 (平成28)	水干絵具、岩絵具・布	各27.3×40.9 (2点組)
17		明く	2016 (平成28)	水干絵具、岩絵具・布	32.0×91.0
18		ともし	2016 (平成28)	水干絵具、岩絵具・布	65.2×50.0
19	斉藤幹男	懐中電灯を持った少年	2011 (平成23)	木 (トドマツ)	径35.0×高さ130.0
20		Looped in another sense	2015 (平成27)	HDビデオ (サイレント)、液晶モニター	5分38秒 (ループ)
21		The Knights of Acacia	2016 (平成28)	HDビデオ (サイレント)、プロジェクター	6分30秒 (ループ)
22		Stoemp	2016 (平成28)	スライドプロジェクター	-
23	佐藤史恵	in sight	2016 (平成28)	LED ほか	可変
24	鈴木悠哉	city language	2016 (平成28)	(大) グワッシュ・紙 (小) 色鉛筆・紙	組合せ可変 (大) 103.0×72.8 33点 (小) 28.0×21.0 288点
25	高野理栄子	Ame	2014 (平成26)	コラグラフ・紙	75.0×100.0
26		Ame	2014 (平成26)	コラグラフ・紙	75.0×100.0
27		Ame	2014 (平成26) 刷り: 2016 (平成28)	コラグラフ・紙	39.5×19.0
28		Ame	2014 (平成26) 刷り: 2016 (平成28)	コラグラフ・紙	39.5×19.0
29		Ame	2014 (平成26) 刷り: 2016 (平成28)	コラグラフ・紙	39.5×19.0
30		Ame	2014 (平成26)	コラグラフ・紙	23.0×49.5
31		Ame	2014 (平成26)	コラグラフ・紙	23.0×49.5
32		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	23.0×50.0
33		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	23.0×50.0
34		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	23.0×50.0
35		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	23.0×50.0
36		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	12.0×6.8

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
37	高野理栄子	Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	14.0×6.8
38		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	14.5×6.8
39		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	14.5×6.8
40		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	15.0×6.8
41		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	14.5×6.8
42		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	16.5×7.5
43		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	19.0×9.0
44		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	20.5×9.0
45		Ame	2015 (平成27)	コラグラフ・紙	17.5×8.0
46		Ame	2016 (平成28)	コラグラフ・紙	14.5×6.8
47		Ame	2016 (平成28)	コラグラフ・紙	11.8×6.8
48		Ame	2016 (平成28)	コラグラフ・紙	14.0×6.8
49		Ame	2016 (平成28)	コラグラフ・紙	12.0×6.8
50		Ame	2016 (平成28)	コラグラフ・紙	12.0×6.8
51		Ame	2016 (平成28)	コラグラフ・紙	12.8×6.8
52	山田良	海拔ゼロメートル／石狩低地帯	2016 (平成28)	木 ほか	可変

※寸法は、特記されていない場合は、縦×横、立体作品の場合は高さ×幅×奥行き。

※Nos. 12, 15は個人蔵。その他はすべて作家蔵。

3 ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ

Masterpieces of the Pola Museum of Art from Monet to Picasso and Chagall

- 会 期：平成 28 年 07 月 02 日（土）～08 月 28 日（日）
会 場：北海道立近代美術館 展示室 B
主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、北海道放送、公益財団法人ポーラ美術振興財団、ポーラ美術館
後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道 PTA 連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会
協 力：日本通運
企画制作：TBS テレビ
企画協力：テモアン

2002（平成 14）年、神奈川県箱根に開館したポーラ美術館は、ポーラ創業家 2 代目・故鈴木常司氏が収集したコレクションを元に、西洋絵画、日本の洋画や日本画、ガラス工芸、東洋陶磁、化粧道具など幅広く収集している。その数は約 1 万点に及び、中でも、19 世紀後半の印象派から 20 世紀に至るヨーロッパの近代絵画は、国内随一と言える作品数と質の高さを誇っている。

本展は、「印象派の誕生」「印象派を超えて」「象徴主義と新印象派」「20 世紀の前衛芸術」「色彩と造形への挑戦」の 5 章で構成され、コロー、クールベに始まり、ルノワール、モネ、ピサロ、シスレーら印象派の画家へと続く。モネは《睡蓮》《国会議事堂》《ジヴェルニーの積みわら》などを含む 6 点を展示し、光と色彩による表現を追求した画家の世界観を余すところなく伝えた。印象派の影響を受けながら、それを乗り越えようとした次世代のセザンヌ、ゴッホ、ゴーガン、シニャック。20 世紀、色彩と造形の挑戦を試みたピカソやブラック、シャガール。

印象派から 20 世紀絵画まで、ヨーロッパ絵画の流れを辿る 31 作家 71 点を展示した展覧会は好評を博し、約 73,000 人の来場者があった。

●展示構成

- 1 印象派の誕生：モネとルノワール
- 2 印象派を超えて：セザンヌ、ゴッホ、ゴーガン
- 3 象徴主義と新印象派：ルドン、シニャック、クロス
- 4 20 世紀の前衛芸術：ヴラマンク、マティス、マルケ
- 5 色彩と造形への挑戦：ピカソ、ブラック、シャガール

●巡回展

島根県立美術館

平成 28 年 04 月 15 日（金）～06 月 20 日（月）

宮城県美術館

平成 28 年 09 月 17 日（土）～11 月 13 日（日）

●図録『ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ』

190×250 mm／148 ページ

編 集： 公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館

デザイン： 山田政彦氏（山田デザイン事務所）

執 筆： 岩崎余帆子氏（公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館）

今井敬子氏（公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館）

工藤弘二氏（公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館）

東海林洋氏（公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館）

河野克彦氏（公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館）

印 刷： 凸版印刷

発 行： TBS テレビ

●広報印刷物

ポスター／B2 判

チ ラ シ／A3 二つ折り

観 覧 券／縦 19.0×横 7.0cm(共通券)、縦 16.5×横 7.0cm(共通券以外)

印 刷：山藤三陽株式会社

デザイン：畠山デザイン事務所

出品目録／A4 判

印 刷：山藤三陽株式会社

●作品展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社六書堂

●関連事業

[特別講演会]

「光彩の画家・陰翳の画家—1900 年前後のフランス美術—」

日 時：07 月 02 日（土）14 時～（約 90 分）

講 師：木島俊介氏（ポーラ美術館館長）

会 場：当館講堂（聴講無料）

[学芸員による見どころ解説]

日 時：07 月 09 日（土）、08 月 06 日（土）各日 14 時～（約 40 分）

会 場：講堂

講 師：当館学芸員

[カルチャーナイト 2016 コンサート]

「光と影の煌めき—チェンバロの美しき世界」

日 時：07月22日(金) 18時30分～(約30分)

会 場：1階ホール

出 演：明楽みゆき氏(チェンバロ奏者)

[募集制プログラム]

「ポーラ美術館コレクション 美と食を愉しむランチ&トーク」

日 時：07月07日(木)、07月13日(水)、08月02日(火) 各日11時30分～

会 場：ホテルオークラ札幌

講 師：07/07、08/02 佐藤由美加(当館主任学芸員)、07/13 門間仁史(当館学芸員)

ワークショップ「気分は巨匠！油絵体験講座」

日 時：07月23日(土) 13時30分～(約120分)

会 場：造形室

講 師：小林麻美氏(画家)

●主な新聞・雑誌記事等

北海道新聞

「西洋近代絵画 流れたどる」 06月22日(水)

「札幌・近美に名画続々」 06月30日(木)

「モネ『睡蓮』にうっとり」 07月02日(日)

「近代絵画への憧れ—ポーラとひろしま— ①ピカソの変遷」 07月20日(水)

佐藤由美加

「近代絵画への憧れ—ポーラとひろしま— ②独自の裸婦像」 07月21日(木)

久才秀樹

「近代絵画への憧れ—ポーラとひろしま— ③風景への関心」 07月22日(金)

門間仁史

「近代絵画への憧れ—ポーラとひろしま— ④それぞれの冬」 07月26日(火)

佐藤由美加

「近代絵画への憧れ—ポーラとひろしま— ⑤コローの森」 08月01日(月)

久才秀樹

雑誌 『0. tone』 Vol. 93

HBC ラジオ

「サタデートピッカーリポート」 07月09日(土) 12時40分～

「カーナビラジオ午後一番」 07月18日(月・祝) 14時50分～

ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
1. 印象派の誕生:モネとルノワール					
1	ジャン＝バティスト＝カミユー・コロー	森のなかの少女	1865-70頃	油彩・カンヴァス	46.7 x 34.6
2	ギュスターヴ・クールベ	牝鹿のいる雪の風景	1866-69頃	油彩・カンヴァス	46.3 x 55.6
3	ギュスターヴ・クールベ	岩のある風景		油彩・カンヴァス	65.3 x 54.3
4	ウジェーヌ・ブーダン	ダウラスの海岸と船	1870-73	油彩・カンヴァス	36.8 x 58.3
5	クロード・モネ	セーヌ河の日没、冬	1880	油彩・カンヴァス	60.6 x 81.1
6	クロード・モネ	ヴァランジュヴィルの風景	1882	油彩・カンヴァス	64.9 x 81.0
7	クロード・モネ	ジヴェルニーの積みわら	1884	油彩・カンヴァス	66.1 x 81.3
8	クロード・モネ	ジヴェルニーの冬	1885	油彩・カンヴァス	65.3 x 81.5
9	クロード・モネ	国会議事堂、バラ色のシンフォニー	1900	油彩・カンヴァス	82.0 x 92.6
10	クロード・モネ	睡蓮	1907	油彩・カンヴァス	93.3 x 89.2
11	ピエール・オーギュスト・ルノワール	ロバに乗ったアラブ人たち	1881/82頃	油彩・カンヴァス	55.1 x 65.6
12	ピエール・オーギュスト・ルノワール	水のなかの裸婦	1888	油彩・カンヴァス	81.3 x 65.4
13	ピエール・オーギュスト・ルノワール	ムール貝採り	1888-89頃	油彩・カンヴァス	56.0 x 46.4
14	ピエール・オーギュスト・ルノワール	エッソワの風景、早朝	1901	油彩・カンヴァス	46.8 x 56.3
15	ピエール・オーギュスト・ルノワール	カーニュの風景	1905	油彩・カンヴァス	24.2 x 31.2
16	ピエール・オーギュスト・ルノワール	水浴の後	1915	油彩・カンヴァス	38.8 x 50.5
17	アルフレッド・シスレー	マルリーの水飼い場	1873	油彩・カンヴァス	98.1 x 130.5
18	アルフレッド・シスレー	サン＝マメスのロワン河	1885	油彩・カンヴァス	38.7 x 55.6
19	アルフレッド・シスレー	ロワン河畔、朝	1891	油彩・カンヴァス	59.6 x 57.4
20	カミユー・ピサロ	エヌリー街道の眺め	1879	油彩・カンヴァス	54.5 x 65.1
21	カミユー・ピサロ	エラニーの村の入口	1884	油彩・カンヴァス	50.2 x 61.3
22	アルマン・ギョマン	雪のボンシャロー		油彩・カンヴァス	65.1 x 81.1
2. 印象派を超えて:セザンヌ、ゴッホ、ゴーガン					
23	ポール・セザンヌ	4人の水浴の女たち	1877-78	油彩・カンヴァス	38.0 x 46.2
24	ポール・セザンヌ	プロヴァンスの風景	1879-82	油彩・カンヴァス	54.7 x 65.5
25	ポール・セザンヌ	静物	1888-90頃	油彩・カンヴァス	27.7 x 40.9
26	フィンセント・ファン・ゴッホ	ヴィゲラ運河にかかるグレーズ橋	1888	油彩・カンヴァス	46.8 x 51.3
27	ポール・ゴーガン	ポン＝タヴェンの木陰の母と子	1886	油彩・カンヴァス	93.0 x 73.1
28	ポール・ゴーガン	小屋の前の犬、タヒチ	1892	油彩・カンヴァス	41.2 x 67.1
29	アンリ・モレ	ロケルタの風景	1891	油彩・カンヴァス	56.8 x 82.2
30	ギュスターヴ・ロワゾー	曇り、ネスル＝ラ＝ヴァレ	1898	油彩・カンヴァス	60.2 x 73.3
31	ギュスターヴ・ロワゾー	家の前の庭		油彩・カンヴァス	46.5 x 55.6
3. 象徴主義と新印象派:ルドン、シニャック、クロス					
32	オディロン・ルドン	イカロス	1890頃	油彩・紙 (カンヴァスに貼付)	52.1 x 38.1
33	オディロン・ルドン	アポロンの二輪馬車	1907	油彩・カンヴァス	65.3 x 81.1
34	オディロン・ルドン	日本風の花瓶	1908	油彩・カンヴァス	92.7 x 65.0
35	オディロン・ルドン	ヴィーナスの誕生	1912頃	油彩・カンヴァス	33.3 x 46.3
36	ポール・シニャック	フリシngen湾	1896	油彩・カンヴァス	41.1 x 55.0
37	ポール・シニャック	オーセールの橋	1902	油彩・カンヴァス	73.2 x 92.2
38	アンリ・エドモン・クロス	森の風景	1906-1907	油彩・カンヴァス	59.5 x 73.0
39	イボリート・プティジャン	髪をすく裸婦	1903	油彩・カンヴァス	81.7 x 54.5
40	アンリ・ジャン・ギヨーム・マルタン	夫婦、《草を刈る人》の習作	1902以前	油彩・カンヴァス	94.9 x 65.0
41	アンリ・ジャン・ギヨーム・マルタン	ラバステード＝デュ＝ヴェールの橋		油彩・カンヴァス	82.6 x 106.8
42	アンリ・ジャン・ギヨーム・マルタン	村の通り		油彩・カンヴァス	65.1 x 46.5
43	ルイ・ヴァルタ	運河	1895	油彩・厚紙 (カンヴァスに貼付)	46.1 x 61.5

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
44	ルイ・ヴァルタ	セーヌ河の川船	1905頃	油彩・カンヴァス	65.2 x 81.0
45	ヒュスターフ・ド・スメット	果樹園の羊	1910	油彩・カンヴァス	95.9 x 118.1
46	アンリ・ウジェーヌ・ル・シダネル	三本のバラ	1925	油彩・カンヴァス	97.8 x 130.6
4. 20世紀の前衛芸術: ヴラマンク、マティス、マルケ					
47	モーリス・ド・ヴラマンク	画家の父の家	1904-05頃	油彩・カンヴァス	54.4 x 65.5
48	モーリス・ド・ヴラマンク	湖	1913	油彩・カンヴァス	81.7 x 99.5
49	オーギュスト・エルバン	陽のあたる街	1907	油彩・カンヴァス	64.8 x 81.1
50	アルベール・マルケ	冬の太陽、パリ	1904	油彩・カンヴァス	32.9 x 41.0
51	アルベール・マルケ	パリ、カルーゼル広場	1910	油彩・カンヴァス	65.1 x 81.1
52	アルベール・マルケ	ブローニュ＝シュル＝メール港の眺め	1930	油彩・カンヴァス	65.0 x 81.0
53	アルベール・マルケ	テレムリの道	1930-32頃	油彩・カンヴァス	53.8 x 81.1
54	アンリ・マティス	横たわる裸婦	1921	油彩・カンヴァス	54.0 x 64.7
55	アンリ・マティス	室内: 二人の音楽家	1923	油彩・カンヴァス	61.3 x 73.2
56	ピエール・ボナール	ル・カネの風景	1924	油彩・カンヴァス	35.9 x 48.1
57	ピエール・ボナール	ミモザのある階段	1946頃	油彩・カンヴァス	80.8 x 68.8
58	ラウル・デュフィ	五重奏	1948頃	油彩・カンヴァス	33.2 x 41.4
59	エドヴァルド・ムンク	犬のいる自画像	1925-26頃	油彩・カンヴァス	80.5 x 99.5
5. 色彩と造形への挑戦: ピカソ、ブラック、シャガール					
60	ジョルジュ・ブラック	レスタックの家	1907	油彩・カンヴァス	60.3 x 49.3
61	ジョルジュ・ブラック	ティー・ローズの花籠	1925	油彩・カンヴァス	23.1 x 62.1
62	ジョルジュ・ブラック	ギターのある静物(バラ色の背景)	1935	油彩、砂・カンヴァス	81.0 x 116.0
63	パブロ・ピカソ	男の胸像	1909	油彩・カンヴァス	65.8 x 42.2
64	パブロ・ピカソ	花束を持つビエロに扮したパウロ	1929	油彩・カンヴァス	130.4 x 97.3
65	パブロ・ピカソ	花売り	1937	油彩・カンヴァス	80.9 x 65.1
66	パブロ・ピカソ	静物	1937	油彩・カンヴァス	38.1 x 46.2
67	パブロ・ピカソ	帽子の女	1962	油彩・カンヴァス	146.3 x 114.3
68	マルク・シャガール	町の上で、ヴィテブスク	1915	油彩・厚紙 (カンヴァスに貼付)	49.2 x 70.6
69	マルク・シャガール	ヴィテブスクの冬の夜	1947	油彩・カンヴァス	45.0 x 59.2
70	マルク・シャガール	恋人たちとマーガレットの花	1949-50	油彩・カンヴァス	73.0 x 46.9
71	マルク・シャガール	オペラ座の人々	1968-71	油彩・カンヴァス	129.8 x 97.0

※寸法は、縦×横。

4 ゴジラ展

特撮映画のヴィジョンとデザイン

GODZILLA at the Museum: Vision, Art & Design in Japanese Sci-Fi 1954-2016

- 会 期：平成 28 年 09 月 09 日（金）～10 月 23 日（日）
会 場：北海道立近代美術館 展示室 B
主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社、北海道文化放送
後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道 PTA 連合会
北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立
中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会
協 力：東宝、東宝映像美術、東宝アド

1954（昭和 29）年に映画会社の東宝によって銀幕上に生み出されて以来、水爆のような人類規模の災厄を生んだ科学技術に対し、怒りと警鐘の咆哮をとどろかせてきた不死身の怪獣ゴジラ。

映画は総合芸術と呼ばれるように、多ジャンルの人々の手によって作り上げられるものだが、当館企画の本展では、ゴジラ映画における特美・デザイン・造形に焦点を当てた。

特美（特殊美術、特撮美術）は、特撮の舞台のデザインから設計、制作にいたるまでが仕事の中心となる。どのようなイメージがスクリーンに映ることになるのか、いわばまだ見ぬヴィジョンを思い描き、それを実現するための「物」を特技監督やカメラの前に準備するのである。特美はまた、1950 年代から 1980 年代にかけては怪獣やメカのデザインも行い、一方、怪獣のスーツ（ぬいぐるみ、着ぐるみ）の制作は造形のスタッフが担っていた。

1970 年代から 1980 年代にかけて、東宝特撮映画の制作体制は大きく変容し、特美・デザイン・造形においても映画会社の外部の人々が参加する比重が増していく。彼らのなかには 1960 年代から 1970 年代にかけて成長し、映画館とテレビで観た日本の特撮を原体験としながら、テレビアニメーションやハリウッド映画の SFX（特殊撮影）の影響も受けて、1980 年代以後のゴジラ映画制作の現場で自らの創造性を発揮した人々がいる。この世代からはまた、特撮映画にモチーフを得て、大人になった自分と特撮ファンの鑑賞に堪えるイラストや立体造形に取り組む作家たちが初めて現れた。彼らの活動のなかには、スクリーン上のヴィジョンをもとにしながら、作家としての表現を込めた新たなヴィジョンの創出を認めることができよう。

日本の映画人たちの想像力と創造力は、ゴジラという限りなく魅力的な怪獣を生み、そしてゴジラは世代を超え、スクリーンの内でも外でも次の創造を呼び覚ましてきたのである。本展はその軌跡と精華をご紹介します、北海道初の本格的なゴジラ展であった。

●巡回展

福岡市美術館

平成 28 年 07 月 15 日（金）～08 月 31 日（水）

名古屋市博物館

平成 29 年 07 月 15 日（土）～09 月 03 日（日）

●展示構成

プロローグ

I ゴジラの誕生

II これがゴジラ映画の「ものづくり」だ～『東京 SOS』の特撮美術・デザイン・造形

III-S 昭和の特撮美術・デザイン・造形

III-H 平成の特撮美術・デザイン・造形

III-M ミレニアムの特撮美術・デザイン・造形

IV ゴジラ、スクリーンの外へ～ヴィジョンの広がり

●図録(展覧会関連小冊子)

『GODZILLA 特撮現場』

182×257 mm／96 ページ

企画・編集・制作：(株)キュレイターズ

資料および写真提供：三池敏夫氏（特撮研究所）

協力：北海道立近代美術館、福岡市美術館

デザイン：Glanz 大溝裕氏

執筆：三池敏夫氏（特撮研究所）「素晴らしきミニチュア特撮の世界」

中村聖司（北海道立三岸好太郎美術館副館長）「(作品解説)」

印刷：(株)山田写真製版所

発行：北海道新聞社

●広報印刷物

ポスター／B2 判

チラシ／A4 判

観覧券／160×70 mm

出品目録／A3 判二つ折り

印刷：山藤三陽株式会社

デザイン：株式会社佐藤守功デザイン事務所

●作品輸送・展示

ヤマトロジスティクス株式会社

●会場造作

株式会社六書堂

●関連事業

[講演会]

三池敏夫氏講演会 「特撮映画の現場」

日 時：①09月10日(土) 14時～ (約90分)

②09月11日(日) 10時30分～(約60分)

会 場：講堂

講 師：三池敏夫氏(特撮美術デザイナー)

聴講人数：191名

[ギャラリー・ツアー]

日 時：①09月17日(土)、②10月01日(土)、③10月15日(土) 15時～(約40分)

会 場：展示室B

講 師：担当学芸員

① 中村聖司(北海道立三岸好太郎美術館副館長)

② 中村聖司(北海道立三岸好太郎美術館副館長)

③ 中村聖司(北海道立三岸好太郎美術館副館長)

久米淳之(当館展示・作品課長)

参加人数：189名 ①72名 ② 54名 ③ 63名

[募集制プログラム]

「佐野史郎氏トークショー」

日 時：10月08日(土) 14時～(約120分)

会 場：講堂

講 師：佐野史郎氏(俳優)

聞 き 手：中村聖司 (北海道立三岸好太郎美術館副館長)

聴講人数：184名

●主な新聞・雑誌記事等

新聞

北海道新聞

「ゴジラ模型、大通ビッセ横に展示」	07月30日（土）	朝刊 こだま
「ゴジラ展 道立近代美術館 特撮美術の専門家講演」	08月14日（日）	朝刊 ぶんぶんクラブガイド
「ゴジラ札幌上陸 9日から道立近代美術館 「実物」など690点」	09月05日（月）	朝刊
「ゴジラだ！ 札幌に登場 近美で特別展始まる」	09月09日（金）	夕刊
「ゴジラ展 三池敏夫講演会」	09月09日（金）	夕刊
「ゴジラ札幌に現る 近美で特別展」	09月10日（土）	朝刊
「新作公開 再び脚光 ゴジラ 時代映す破壊神」	09月13日（火）	朝刊
「歴代ゴジラ 美にうっとり 道立近代美術館 来月23日まで」	09月13日（火）	朝刊
「ゴジラ的美 成り立ちと変遷 前編「誕生の経緯」」	09月20日（火）	夕刊
「ゴジラ的美 成り立ちと変遷 後編「時代と歩む」」	09月21日（水）	夕刊
「ゴジラ展1万人突破 児童に記念品」	09月24日（土）	朝刊
「「ゴジラ展」関連事業 佐野史郎トークショー」	09月24日（土）	朝刊
「ゴジラ展 夜まで開館を」	09月27日（火）	朝刊
「道立近代美術館で開催中の「ゴジラ展」ペア入場券を 5組に」	09月27日（火）	さっぽろ10区
「ゴジラ展で佐野史郎トークショー」	09月28日（水）	夕刊
「イベント欄展覧会紹介」	10月03日（月）	朝刊
「私たちはなぜ、ゴジラに惹かれるのか 近代美術館ゴジラ展 23日まで」	10月04日（火）	さっぽろ10区
「ゴジラを意識し演技も 札幌 佐野史郎さんトーク」	10月10日（月）	朝刊
「科学者の矜持」	10月21日（金）	夕刊 今日の話題
「撮影OKの展覧会」	10月31日（月）	夕刊 道新文化部

情報誌 札幌路

『「ゴジラ展」特撮映画のヴィジョンとデザイン』	08月11日（木）
-------------------------	-----------

情報誌オントナ

「映画で使われた本物のゴジラや怪獣を展示」

09月14日（水）

AFC プレミアムプレス

「抽選でペア5組10名様に「ゴジラ展優待券」をプレゼント

不死身の大怪獣VS北海道立近代美術館

08月28日（日）

09月09日（金）～10月23日（日）」

毎日新聞

「EVENT～北海道を遊ぼう！」

10月01日（土）朝刊

おしゃべりBOX

まんまる新聞

「近代美術館で「ゴジラ展」

09月09日（金）

ゴジラ展 出品目録

プロローグ

No.	作品名	映画名	デザインまたは造形	技法・材質	寸法 (cm)
P-01	ゴジラ スーツ	『ゴジラvsデストロイア』(1995)	小林 知己／造形	ラテックス、他	195.0×88.0×320.0
P-02～29	歴代ゴジラ (1954～2004)			写真	

※P-01：東宝所蔵

I ゴジラの誕生

No.	作品名	映画名	デザインまたは造形	技法・材質	寸法 (cm)
I -01,02,11～13,16,18～84,86,88～99	『ゴジラ』関係写真	『ゴジラ』(1954)		写真	
I -03	田中友幸			写真	
I -04	円谷英二			写真	
I -05	本多猪四郎			写真	
I -06	伊福部昭			写真	
I -07	『LIFE』誌1954年4月19日号		アンドリュー・ヘイケル／発行人	印刷	35.5×26.5
I -08	『アサヒグラフ』1954年3月31日号		朝日新聞東京本社／発行所	印刷	36.3×25.7
I -09	『アサヒグラフ』1954年10月6日号		朝日新聞社／発行所	印刷	36.3×25.7
I -10	『G作品』準備稿	『ゴジラ』(1954)	村田武雄、本多猪四郎／脚本	印刷	25.7×18.2
I -14	『LIFE』誌1953年9月7日号		アンドリュー・ヘイケル／発行人	印刷	35.5×26.5
I -15	『玉川児童百科大辞典』		玉川大学出版部／発行	印刷	各25.7×18.2 (2冊)
I -17	『ゴジラ』ビクトリアルスケッチのアルバム	『ゴジラ』(1954)	渡辺 明ほか／画	アルバムに写真貼り付け	各29.5×22.8 (2冊)
I -85	ロケハン時のスケッチブック	『ゴジラ』(1954)	井上 泰幸／画	鉛筆、紙	22.0×24.8
I -87	オキシジェンデストロイヤー	『ゴジラ』(1954)	安部 輝明／デザイン	ガラス、金属等	径17.0×幅60.0
I -100～113	『ゴジラ』スチール写真	『ゴジラ』(1954)	田中 一清／撮影・スチール制作	写真	
I -114	小説『怪獣ゴジラ』(復刻)	『ゴジラ』(1954)	香山 滋／著	印刷	22.0×15.0
I -115	小説『ゴジラ 東京編、大阪編』	『ゴジラ』『ゴジラの逆襲』(1954/55)	香山 滋／著	印刷	18.2×12.8
I -116～143	映画『ゴジラ』～『ゴジラ FINAL WARS』ポスター (複製)			複製	72.3×51.0他
I -追加	潜水ヘルメット	『ゴジラ』(1954)		金属等	42.0×33.0×49.0

※I -06：伊福部玲所蔵 I -07～09, 14, 114：個人蔵 I -10, 17：ドリーム・プラネット・ジャパン所蔵

I -15, 115：北海道立図書館所蔵 I -85：井上泰幸遺族所蔵 I -87, 追加：東宝所蔵

II これがゴジラ映画の「ものづくり」だ～『東京SOS』の特撮美術・デザイン・造形

No.	作品名	映画名	デザインまたは造形	技法・材質	寸法 (cm)
II -01	ゴジラ スーツ	『×メカゴジラ』(2002)	若狭 新一／造形	ラテックス	190.0×115.0×433.0
II -02	メカゴジラ スーツ	『東京SOS』(2003)	若狭 新一／造形	FRP、ラテックス	210.0×104.0×323.0
II -03	機龍輸送機「しらさぎ」	『×メカゴジラ』『東京SOS』	ピーグル／造形	FRP	27.0×109.0×130.5
II -04	90式メーサー車	『×メカゴジラ』『東京SOS』	アップ・アート／造形	金属、プラスチック、他	25.0×33.0×85.0
II -05	台本(決定稿)	『東京SOS』(2003)	横谷 昌宏、手塚 昌明／脚本 西澤 安施／表紙	印刷	24.3×17.5
II -06	コンテ台本	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／絵コンテ 西澤 安施／表紙	印刷	24.3×17.5
II -07	コンテ台本ファイル	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／絵コンテ	複写、紙	29.7×21.0
II -08	ゴジラ(胸に傷のある) デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	29.7×21.0
II -09	機龍 デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	29.7×21.0
II -10	機龍 デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	ペン、マーカー、紙	29.7×21.0
II -11	機龍(重武装型) デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	画像編集ソフト	29.7×21.0
II -12	機龍頭部 デザイン	『×メカゴジラ』(2002)	西川 伸司／画	ペン、マーカー、紙	29.7×21.0
II -13	機龍腕部武装 デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	インク、マーカー、紙	29.7×21.0
II -14	機龍肩部武装 デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	インク、マーカー、紙	29.7×21.0
II -15	機龍背面 デザイン	『×メカゴジラ』(2002)	西川 伸司／画	インク、紙	36.4×25.7
II -16	機龍背面 デザイン	『×メカゴジラ』(2002)	西川 伸司／画	複写、インク、紙	36.4×25.7
II -17	機龍背びれと頭部 デザイン	『×メカゴジラ』(2002)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	25.7×36.4

II -18	機龍ダメージ部分 デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	鉛筆、マーカー、紙	21.0×29.7
II -19	モスラ(幼虫) デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	複写、鉛筆、紙	21.0×29.7
II -20	モスラ(幼虫) デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	インク、マーカー、紙	21.0×29.7
II -21～23	モスラ(成虫) デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	各21.0×29.7
II -24	モスラ(成虫) デザイン	『東京SOS』(2003)	西川 伸司／画	インク、マーカー、紙	21.0×29.7
II -25	モスラ(成虫)の羽 比較検討	『東京SOS』(2003)	西川 伸司、若狭 新一／画	画像編集ソフト	21.0×29.7
II -26	メーサー牽引車 1/12.5図面	『×メカゴジラ』(2002)	春日 佳行／画	複写、紙	29.7×42.0
II -27	メーサー車 デザイン(側面図)	『×メカゴジラ』(2002)	春日 佳行／画	複写、紙	29.7×42.0
II -28	特撮セット基本配置プラン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	42.0×59.4
II -29	ビル街セット1 品川廃墟区画	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	42.0×59.4
II -30	ビル街セット2 港区市街	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	42.0×59.4
II -31	モスラ成虫、別荘丘セット	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、フェルトペン、紙	42.0×59.4
II -32	特撮オープン撮影予定図	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、フェルトペン、紙	42.0×59.4
II -33	ビル街セット3 永田町周辺	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	42.0×59.4
II -34	メカゴジラドック作業プロセス設定図	『×メカゴジラ』(2002)	三池 敏夫／画	複写、紙	25.7×36.4
II -35,36	地下ドック	『×メカゴジラ』(2002)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	各25.7×36.4
II -37	機龍ドック セットデザイン	『×メカゴジラ』(2002)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	33.0×40.5
II -38	機龍ドック	『×メカゴジラ』(2002)	三池 敏夫／撮影	写真	
II -39	本編とのつながりのためのクレーン設定図	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	インク、紙	25.7×36.4
II -40	地下ドッククレーン作業プラン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、フェルトペン、複写、紙	29.7×42.0
II -41	ドック天井表面ディテール図	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	42.0×59.4
II -42	機龍チューブ 詳細図	『×メカゴジラ』(2002)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	25.7×36.4
II -43,44	パイプとチューブに覆われた機龍 デザイン案A,B	『×メカゴジラ』(2002)	三池 敏夫／画	複写、紙	各36.4×25.7
II -45	パイプとチューブに覆われた機龍 デザイン案C	『×メカゴジラ』(2002)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	40.5×33.0
II -46	品川地区廃墟区画	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
II -47	品川地区廃墟区画(全景イメージ)	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	複写、紙	21.0×29.7
II -48	品川廃墟地区 集結する地上兵器	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
II -49	品川廃墟区画 ゴジラを迎撃する地上兵器	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
II -50	建物ミニチュア用図面	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	複写、紙	42.0×29.7
II -51	ビル切り出し DAYシーン用	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	59.3×42.0
II -52	東京タワー サイズ検討図	『東京SOS』(2003)	梶 政幸／画	複写、紙	29.7×42.0
II -53～62	東京タワー 1/70ミニチュア用図面	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写(一部)、紙	各42.0×29.7
II -63,64	東京タワー倒壊シーン 設定図	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	A3縦と横
II -65	東京タワー 夜間シーンの電飾プラン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	インク、写真、紙	21.0×29.7
II -66	東京タワー ミニチュア制作指示書	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
II -67	東京タワー ミニチュア使用全カット一覧表	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	29.0×42.0
II -68	東京タワーの石膏ビル壊しプラン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	21.0×29.7
II -69	国会議事堂 1/40ミニチュア用図面	『東京SOS』(2003)		複写、紙	42.0×59.4
II -70,71	国会議事堂 ミニチュア用図面	『東京SOS』(2003)		複写、紙	各29.7×42.0
II -72～74	国会議事堂 壊し用制作指示書	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／書き込み	フェルトペン、複写、色鉛筆 (一部)、紙	72,73:A4横、74:B4横
II -75	永田町床建込プラン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	インク、フェルトペン、複写、紙	29.7×21.0
II -76	大プール海岸セット	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	25.7×36.4
II -77	カメラバ用大プールセット	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	25.7×36.4
II -78	別荘地丘のモスラ成虫 セットプラン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
II -79	別荘地手前の柵	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	29.7×42.0
II -80	火山口の卵 デザイン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
II -81,82	火山口の卵 デザイン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	複写、紙	各21.0×29.7
II -83	モスラ卵の火口 あおり用ミニチュアセット	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	25.7×36.4
II -84	モスラの卵のセット	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	29.7×42.0
II -85	モスラ卵のセット 周囲飾りプラン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	29.7×42.0
II -86	モスラ炎上の素材撮り用	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	25.7×36.4
II -87	ドライアイスブルー雲海セット(カメラテスト用)	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	25.7×36.4

II -88	ドライアイスセットプラン (カメラテスト用)	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
II -89	雲海 ドライアイスセット2	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	29.7×42.0
II -90	雲海1 ドライアイス滝セット	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、複写、紙	29.7×42.0
II -91	雲海2 ドライアイスプールセット	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	29.7×42.0
II -92	海底セット	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
II -93	米軍原子力潜水艦とゴジラの対比図	『東京SOS』(2003)	菅野 友里／画	鉛筆、複写、紙	29.7×42.0
II -94	米軍原子力潜水艦とゴジラの対比図	『東京SOS』(2003)	菅野 友里／画	複写、紙	29.7×42.0
II -95	原子力潜水艦とゴジラの対比図	『東京SOS』(2003)	竹内 俊介／制作	複写、紙	29.7×42.0
II -96	潜水艦 胴体部分模型用図面	『東京SOS』(2003)	竹内 俊介／制作	複写、紙	29.7×42.0
II -97	原子力潜水艦とゴジラ	『東京SOS』(2003)	竹内 俊介／画	複写、紙	29.7×42.0
II -98～ 100	1/25原子力潜水艦 部分図1,2,4	『東京SOS』(2003)	竹内 俊介／画	複写、紙	各29.7×42.0
II -101	壊しビル プラン	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	各29.7×21.0 (3点)
II -102～ 229	特撮の撮影現場の記録	『東京SOS』(2003)	三池 敏夫／撮影	写真	

※映画名の『東京SOS』は『ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS』を、『×メカゴジラ』は『ゴジラ×メカゴジラ』を指す。

※II -01～04：東宝所蔵 II -05～07,26～229：三池敏夫(特撮研究所)所蔵 II -08～25：西川伸司所蔵

III-S 昭和の特撮美術・デザイン・造形

No.	作品名	映画名	デザインまたは造形	技法・材質	寸法 (cm)
III-S-01	ゴジラ大サイズ足	『怪獣大戦争』(1965) 他	東宝特殊美術係／造形	FRP、金属、ラテックス他	111.5×85.0×100.0
III-S-02	深海艇「わだつみ」	『日本沈没』(1973) 他		FRP、金属、他	48.0×35.0×120.0
III-S-03	原子力潜水艦	『ゴジラ』(1984) 他		FRP、金属、他	50.0×30.0×270.0
III-S-04	『ゴジラの逆襲』ビクトリアルスケッチのアルバム	『ゴジラの逆襲』(1955)	東宝特殊美術スタッフ／画	アルバムに写真貼り付け	30.0×22.5
III-S-05	『ラドン』ビクトリアルスケッチのアルバム	『ラドン』(1956)	東宝特殊美術スタッフ／画	アルバムに写真貼り付け	29.7×21.0
III-S-06	『地球防衛軍』ビクトリアルスケッチのアルバム	『地球防衛軍』(1957)	東宝特殊美術係／画	アルバムに写真貼り付け	各29.7×21.0 (2冊)
III-S-07	『モスラ』ビクトリアルスケッチのアルバム	『モスラ』(1961)	東宝特殊美術係／画	アルバムに写真貼り付け	29.7×21.0
III-S-08	天文台のシーン用マット画	『地球防衛軍』(1957)	東宝特殊技術課合成係／画	水彩・紙	38.0×76.4
III-S-09	I型熱線放射機	『宇宙大戦争』(1959)		水彩、鉛筆、紙	33.7×24.8
III-S-10	II型熱線放射機	『宇宙大戦争』(1959)		水彩、鉛筆、紙	24.4×33.5
III-S-11	宇宙ステーション	『妖星ゴラス』(1962)	(不明)	水彩、鉛筆、青焼	21.2×29.5
III-S-12	建設中のジェットパイプ デザイン	『妖星ゴラス』(1962)	渡辺 明／画	インク、水彩、紙	12.4×33.8
III-S-13	南極基地を破壊するマグマ デザイン	『妖星ゴラス』(1962)	渡辺 明／画	色鉛筆、インク、紙	13.6×33.9
III-S-14	バラゴン デザイン画に基づく線描	『フランケンシュタイン対地底怪獣』(1965)	渡辺 明／原図	鉛筆、インク、紙	22.0×32.0
III-S-15	ゴジラの頭部を作る利光貞三	『モスラ対ゴジラ』(1964)		写真	
III-S-16	村瀬継蔵の会社「ツェニー」が制作したチタノザウルス	『メカゴジラの逆襲』(1975)		写真	
III-S-17	村瀬継蔵の会社「ツェニー」が制作したキングギドラ	『ゴジラvsキングギドラ』(1991)		写真	
III-S-18	安丸信行によるゴロザウルス (1967)	『キングコングの逆襲』(1967)		写真	
III-S-19	安丸信行によるゴジラ	『ゴジラ対メガロ』(1973)		写真	
III-S-20～ 27,30	安丸信行によるゴジラ (1984) ひな形	『ゴジラ』(1984)		写真	
III-S-28,29	安丸信行によるゴジラ (1984) のスーツ	『ゴジラ』(1984)		写真	
III-S-31	海底軍艦 轟天号 デザイン (青焼)	『海底軍艦』(1963)	小松崎 茂／画	青焼	24.7×34.7
III-S-32	福岡ロケハンスケッチブック	『ラドン』(1956)	井上 泰幸／画	インク、紙	21.5×24.7
III-S-33	福岡ロケハンスケッチ	『ラドン』(1956)	井上 泰幸／画	インク、紙	23.9×58.4
III-S-34	旧岩田屋デパートのミニチュアの前の井上泰幸	『ラドン』(1956)		写真	
III-S-35～ 42	福岡ロケハン写真とミニチュアセット	『ラドン』(1956)		写真	
III-S-43～ 46	西海橋と阿蘇山噴火のセット	『ラドン』(1956)		写真	
III-S-47	聖路加付近建築 造形用図面	『美女と液体人間』(1958)	井上 泰幸／画	インク、紙	24.8×33.0
III-S-48	地球を移動するための噴射装置「ジェット・パイプ」セットデザイン	『妖星ゴラス』(1962)	渡辺 明／画	鉛筆、紙	14.5×22.4
III-S-49	勝鬨橋 造形用図面	『妖星ゴラス』(1962)	井上 泰幸／画	インク、色鉛筆、紙	25.8×36.0
III-S-50	海へ出る幼虫のセットデザイン	『地球最大の決戦』(1964)	井上 泰幸／画	インク、鉛筆、水彩、紙	22.5×31.3

III-S-51	海へ出る幼虫のセットデザイン	『地球最大の決戦』(1964)	井上 泰幸／画	インク、鉛筆、ハترون紙	18.0×34.0
III-S-52	風景のセットデザイン	『地球最大の決戦』(1964)	井上 泰幸／画	水彩、紙	24.0×33.0
III-S-53	キングギドラの卵 セットデザイン	『地球最大の決戦』(1964)	井上 泰幸／画	鉛筆、紙	28.5×37.0
III-S-54	キングギドラの卵 セットデザイン	『地球最大の決戦』(1964)	井上 泰幸／画	鉛筆、インク、紙	33.0×39.8
III-S-55	キングギドラの卵 セットデザイン	『地球最大の決戦』(1964)	井上 泰幸／画	マーカー、鉛筆、紙	25.0×35.7
III-S-56	零戦 デザイン	『大空戦』(1966)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	25.0×37.0
III-S-57	レーダー基地 デザイン	『大空戦』(1966)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	23.5×36.5
III-S-58	『ゼロ・ファイター 大空戦』絵コンテ	『大空戦』(1966)	井上 泰幸／画	インク、紙、青焼	各37.5×26.7 (4点)
III-S-59	北極 デザイン	『キングコングの逆襲』(1967)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	18.8×45.2
III-S-60	南海のモンド島 デザイン	『キングコングの逆襲』(1967)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	26.0×36.5
III-S-61	密林 デザイン	『ゴジラの息子』(1967)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	33.6×51.0
III-S-62	ゴジラとクモンガ デザイン	『ゴジラの息子』(1967)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	19.1×44.5
III-S-63	雪に覆われた海岸のゴジラ デザイン	『ゴジラの息子』(1967)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	23.0×42.0
III-S-64	ゴジラとキングギドラ他 デザイン	『怪獣総進撃』(1968)	井上 泰幸／画	鉛筆、インク、水彩、紙	25.0×34.8
III-S-65	怪獣ランド俯瞰 デザイン	『怪獣総進撃』(1968)	井上 泰幸／画	水彩、マーカー、紙	19.1×27.2
III-S-66	怪獣ランドヘリポート デザイン	『怪獣総進撃』(1968)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	24.0×35.5
III-S-67	ミサイル発射台 デザイン	『怪獣総進撃』(1968)	豊島 睦／画	水彩、紙	30.5×39.5
III-S-68	戦車等の行進 デザインとメモ	『怪獣総進撃』(1968)	井上 泰幸／画	鉛筆、水彩、紙	19.7×36.5
III-S-69	ムーンライトSY3発進口 デザイン	『怪獣総進撃』(1968)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	34.0×22.0
III-S-70	ムーンライトSY3 デザイン (青焼)	『怪獣総進撃』(1968)	豊島 睦／画	青焼	24.5×34.5
III-S-71,72	キラアク星人円盤 デザイン	『怪獣総進撃』(1968)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	25.4×36.2他
III-S-73	キラアク星人宇宙基地 デザイン	『怪獣総進撃』(1968)	井上 泰幸／画	鉛筆、紙	25.3×36.2
III-S-74	万能潜水艦α号 デザイン	『緯度0大作戦』(1968)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	31.0×53.3
III-S-75	日露艦艇識別表	『日本海大海戦』(1969)	井上 泰幸／監修	青焼に写真貼り付け	59.2×42.3
III-S-76	戦艦三笠 造形用図面	『日本海大海戦』(1969)	東宝特殊美術係／画	青焼	77.0×105.0
III-S-77	ヘドラ デザイン	『ゴジラ対ヘドラ』(1971)	井上 泰幸／画	インク、水彩、紙	27.0×43.3
III-S-78	ヘドラ デザイン (複製)	『ゴジラ対ヘドラ』(1971)	井上 泰幸／画	複製	各24.2×27.2 (2点)
III-S-79	火山噴火の光景 デザイン	『日本沈没』(1973)	井上 泰幸／画	鉛筆、水彩、紙	30.3×52.0
III-S-80	深海艇「わだつみ」 デザイン	『日本沈没』(1973)	井上 泰幸／画	鉛筆、紙	18.0×33.8
III-S-81	『ゴジラ』用ミニチュアリスト	『ゴジラ』(1984)	井上 泰幸／監修	複写、紙	各25.7×18.2 (3枚)
III-S-82	大黒島の爆発シーン デザイン	『ゴジラ』(1984)	井上 泰幸／画	鉛筆、紙	27.0×35.2
III-S-83	三原山火口 ロケハン写真	『ゴジラ』(1984)		写真	
III-S-84	伊豆大島地図 (セット製作用資料)	『ゴジラ』(1984)		印刷物に書き込み	28.1×19.3
III-S-85	三原山火口に誘導されるゴジラ デザイン	『ゴジラ』(1984)	井上 泰幸／画	鉛筆、紙	13.0×29.5
III-S-86	三原山火口に誘導されるゴジラ デザイン	『ゴジラ』(1984)	井上 泰幸／画	マーカー、ハترون紙	25.0×36.0
III-S-87	三原山火口 超音波発信機 デザイン	『ゴジラ』(1984)		複写、紙	23.0×34.0
III-S-88	三原山火口 超音波発信機 造形用図面	『ゴジラ』(1984)		青焼	59.3×84.3
III-S-89	首都防衛戦闘機スーパーX 内部図解	『ゴジラ』(1984)	長沼 孝／画	複写、紙	29.8×40.7
III-S-90	有楽町地図 セット製作用資料	『ゴジラ』(1984)		印刷	38.9×56.6
III-S-91	有楽町セット デザイン	『ゴジラ』(1984)	井上 泰幸／書き込み	複写、紙	48.7×34.3
III-S-92～95	『ゴジラ』特撮現場の記録他	『ゴジラ』(1984)		写真	
III-S-96～98	宇宙船 デザイン	『竹取物語』(1987)	井上 泰幸／画	鉛筆、紙	24.0×35.0他
III-S-99～120	特撮のスタッフの記念写真	『ゴジラの逆襲』(1955)～ 『竹取物語』(1987)		写真	

※一部の映画名は本リスト用の略称とした。

※III-S-01～03：東宝所蔵 ／ III-S-04～11：ドリーム・プラネット・ジャパン所蔵 ／ III-S-12～14, 20～120：井上泰幸遺族所蔵

III-H 平成の特撮美術・デザイン・造形

No.	作品名	映画名	デザインまたは造形	技法・材質	寸法 (cm)
III-H-01	スペースゴジラ スーツ	『vsスペースゴジラ』(1994)	若狭 新一／造形	ラテックス、FRP	196.0×120.0×466.0
III-H-02	モスラ (成虫)	『モスラ』(1996)	小林 知己／造形	FRP、ポリウレタン、ボア	25.0×224.0×125.0
III-H-03	モスラ (幼虫)	『モスラ』(1996)	淵淵 隆文／造形	硬質ウレタン、ラテックス、他	28.0×28.0×115.0
III-H-04	ピオランテ 第2形態 検討用モデル	『vsピオランテ』(1989)	東宝映像美術／造形		27.0×64.5×53.0

III-H-05	デストロイア 粘土原型	『vsデストロイア』(1995)	若狭 新一／造形	粘土	30.0×24.0×32.0
III-H-06	デストロイア幼体(集合体)	『vsデストロイア』(1995)	若狭 新一／造形	ラテックス他	64.0×91.0×88.0
III-H-07	デストロイア飛翔体	『vsデストロイア』(1995)	若狭 新一／造形	ラテックス、ウレタン	70.0×280.0×250.0
III-H-08	デストロイア完全体 頭部	『vsデストロイア』(1995)	若狭 新一／造形	ラテックス、FRP	103.0×80.0×63.0
III-H-09	スーパーX2	『vsビオランテ』(1989)	ピーグル／造形	金属、プラスチック、他	30.0×50.0×115.0
III-H-10	ガルーダ	『vsメカゴジラ』(1993)	オガワモデリング／造形	FRP	47.0×112.0×150.0
III-H-11	24連装ロケット砲車	『vsメカゴジラ』(1993)	オガワモデリング／造形	金属、プラスチック、他	40.0×43.0×70.0
III-H-12	川北紘一特技監督			写真	
III-H-13,14	『ゴジラvsビオランテ』特撮コンテNos.1, 2	『vsビオランテ』(1989)	杉田 篤彦、鈴木 則孝 (スタジオOX)／画	印刷	各21.0×29.8
III-H-15	ビオランテ第一形態 デザイン	『vsビオランテ』(1989)	杉田 篤彦、創一機(スタジオOX)／デザイン	複写、紙	24.8×34.9
III-H-16,17	ビオランテ第二形態 デザイン	『vsビオランテ』(1989)	西川伸司のデザインに、大澤哲三が加筆し仕上げ	複写、紙	25.0×35.5他
III-H-18	ビオランテ第二形態 デザイン	『vsビオランテ』(1989)	西川 伸司／画	インク、紙	26.6×37.6
III-H-19	メカキングギドラ デザイン	『vsキングギドラ』(1991)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-20	メカキングギドラ背面 デザイン	『vsキングギドラ』(1991)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-21	メカキングギドラ頭部 デザイン	『vsキングギドラ』(1991)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-22	リトルゴジラ 色検討用	『vsスペースゴジラ』(1994)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-23	ゴジラ・ジュニア デザイン	『vsデストロイア』(1995)	西川 伸司／画	複写、水彩、紙	25.6×36.4
III-H-24～27	ゴジラ デザイン		西川 伸司／画	複写、紙	各25.7×36.4
III-H-28	ゴジラザウルス デザイン	『vsキングギドラ』(1991)	破李拳竜／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-29～31	モスラ(成虫) 色指定画(上面、下面、側面)	『vsモスラ』(1992)	東宝映像美術／画	複写、紙	各25.7×36.4
III-H-32	ドラット デザイン	『vsキングギドラ』(1991)	吉田 穰／画	鉛筆、色鉛筆、紙	25.7×36.4
III-H-33,34	バトラ(幼虫) デザイン	『vsモスラ』(1992)	吉田 穰／画	複写、紙	各25.7×36.4
III-H-35	バトラ(成虫) デザイン	『vsモスラ』(1992)	吉田 穰／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-36,37	メカゴジラ デザイン	『vsメカゴジラ』(1993)	吉田 穰／画	複写、紙	各36.4×25.7
III-H-38	ガルーダ(改良タイプ) デザイン	『vsメカゴジラ』(1993)	吉田 穰／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-39～41	スペースゴジラ 色検討用	『vsスペースゴジラ』(1994)	吉田 穰／画	複写、マーカー、紙	各36.4×25.7
III-H-42	スペースゴジラ 飛行形態色検討用	『vsスペースゴジラ』(1994)	吉田 穰／画	複写、マーカー、紙	25.7×36.4
III-H-43	モゲラ デザイン	『vsスペースゴジラ』(1994)	吉田 穰／画	複写、紙	36.4×25.7
III-H-44	モゲラ腕部内装ミサイル デザイン	『vsスペースゴジラ』(1994)	吉田 穰／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-45	デストロイア デザイン	『vsデストロイア』(1995)	吉田 穰／画	複写、色鉛筆、インク、紙	36.4×25.7
III-H-46	デストロイア デザイン	『vsデストロイア』(1995)	吉田 穰／画	複写、マーカー、紙	25.6×36.4
III-H-47	デストロイア デザイン	『vsデストロイア』(1995)	吉田 穰／画	複写、色鉛筆、インク、紙	36.4×25.7
III-H-48	新ゴジラ 頭部デザイン	『vsデストロイア』(1995)	岡本 英郎／画	複写、水彩、紙	25.6×36.4
III-H-49	ゴジラ デザイン		ウィリアム・スタウト／画	複写、紙	25.7×36.5
III-H-50,51	スーパーX2 デザイン	『vsビオランテ』(1989)	横山 宏／画	マーカー、紙	各36.4×51.7
III-H-52	MOTHER デザイン	『vsキングギドラ』(1991)	青井 邦夫／画	複写、紙	25.7×36.4
III-H-53	モゲラドック デザイン	『vsスペースゴジラ』(1994)	大澤 哲三／画	複写、インク、紙	25.7×36.4
III-H-54	スーパーX3ドック デザイン	『vsデストロイア』(1995)	大澤 哲三／画	複写、インク、紙	36.4×25.6
III-H-55	幕張のセット	『vsメカゴジラ』(1993)	大澤 哲三／特殊美術	写真	
III-H-56	怪獣、メカ等スケール対比図	『vsキングギドラ』(1991)	神谷 誠／制作	複写、紙	25.7×36.4
III-H-追加	モゲラ 粘土原型	『vsスペースゴジラ』(1994)	澗淵 隆文／造形	粘土	31.0×26.0×19.0
III-H-追加	モスラ(成虫)	『モスラ』(1996) 他	小林 知己／造形	FRP、ポリウレタン、ボア	30.0×170.0×280.0

※映画名の『ゴジラvs・・・』については、「ゴジラ」の表記を省略した。

※III-H-01～11, 追加2点：東宝所蔵 / III-H-12～54, 56：ドリーム・プラネット・ジャパン所蔵

III-M ミレニアムの特撮美術・デザイン・造形

No.	作品名	映画名	デザインまたは造形	技法・材質	寸法 (cm)
III-M-01	ゴジラ スーツ	『大怪獣総攻撃』(2001)	品田 冬樹／造形	ラテックス、他	210.0×88.0×395.0
III-M-02	キングギドラ スーツ	『大怪獣総攻撃』(2001)	品田 冬樹／造形	硬質ウレタン、FRP、塩化ビニル、他	179.0×326.0×327.0
III-M-03	ゴジラスーツ ※「特撮体験」コーナーに展示	『FINAL WARS』(2004)	若狭 新一／造形	ラテックス、他	165.0×74.0×382.0
III-M-04	ガイガン スーツ	『FINAL WARS』(2004)	若狭 新一／造形	ラテックス、FRP	184.0×70.0×180.0
III-M-05	UFO	『ゴジラ 2000』(1999)	小林 巖／造形	FRP	30.0×113.0×89.0
III-M-06	特殊潜航艇「さつま」	『大怪獣総攻撃』(2001)	アップ・アート／造形	FRP、金属	41.0×51.0×63.0
III-M-07	ゴジラ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西澤 安施／画	画像編集ソフト	25.7×36.4
III-M-08	ゴジラ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西澤 安施／画	画像編集ソフト	25.7×36.4
III-M-09	オルガ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西澤 安施／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-10	オルガ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西澤 安施／画	画像編集ソフト	25.7×36.4
III-M-11	エイリアン デザイン	『ミレニアム』(1999)	西澤 安施／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-12	エイリアン デザイン	『ミレニアム』(1999)	西澤 安施／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-13	ゴジラ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-14	ゴジラ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-15	ゴジラ頭部 デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	29.7×21.0
III-M-16	ゴジラ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-M-17	ゴジラ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-M-18	エイリアン デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-19	オルガ デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-20	オルガ 色デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	画像編集ソフト	21.0×29.7
III-M-21	UFO デザイン	『ミレニアム』(1999)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-22	メガギラス デザイン	『×メガギラス』(2000)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-M-23	メガギラス デザイン	『×メガギラス』(2000)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-M-24	メガギラス頭部 デザイン	『×メガギラス』(2000)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-M-25	メガニューラ デザイン	『×メガギラス』(2000)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-M-26	メガスロン デザイン	『×メガギラス』(2000)	西川 伸司／画	複写、紙	25.7×36.4
III-M-27	アンギラス デザイン	『FINAL WARS』(2004)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-28	アンギラスボール デザイン	『FINAL WARS』(2004)	西川 伸司／画	鉛筆、紙	25.7×36.4
III-M-29	ゴジラ 2000 ミレニアム造形デザイン	『ミレニアム』(1999)	酒井 ゆうじ／造形	レジン	31.0×36.0×62.0
III-M-30	ゴジラ スーツサイズ表	『ミレニアム』(1999)	若狭 新一／画	複写、紙	25.6×36.4
III-M-31	ゴジラ スーツサイズ表	『ミレニアム』(1999)	若狭 新一／画	複写、紙	25.6×36.4
III-M-32	若狭新一による「ミレニアムゴジラ」のスーツ	『ミレニアム』(1999)		写真	
III-M-33	モンスターX デザイン	『FINAL WARS』(2004)	寺田 克也／画	画像編集ソフト	25.7×36.4
III-M-34	モンスターX頭部 デザイン	『FINAL WARS』(2004)	寺田 克也／画	画像編集ソフト	25.7×36.4
III-M-35	カイザーギドラ デザイン	『FINAL WARS』(2004)	寺田 克也／画	画像編集ソフト	25.7×36.4
III-M-36	削岩弾 D-03 デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	清水 剛／画	ペン、マーカー、紙	29.7×42.0
III-M-37	「あいづ」 デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	清水 剛／画	ペン、マーカー、紙	29.7×42.0
III-M-38	特殊潜航艇「さつま」 デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	清水 剛／画	ペン、マーカー、紙	29.7×42.0
III-M-39	戦闘機F7J デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	清水 剛／画	ペン、マーカー、紙	29.7×42.0
III-M-40	本栖警察署表 デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	清水 剛／画	ペン、マーカー、紙	29.7×42.0
III-M-41	富士山麓氷穴 デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	清水 剛／画	ペン、マーカー、紙	24.7×36.5
III-M-42	地下の氷穴 デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	清水 剛／画	ペン、マーカー、紙	29.7×42.0
III-M-43	海底 ゴジラの心臓 デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	清水 剛／画	ペン、マーカー、紙	29.7×42.0
III-M-44	大涌谷セット ホリゾン見本	『大怪獣総攻撃』(2001)	アトリエ雲／画	アクリル絵具、キャンバス	35.2×21.0
III-M-45	大涌谷セット ホリゾン見本	『大怪獣総攻撃』(2001)	アトリエ雲／画	アクリル絵具、キャンバス	36.0×25.0
III-M-46	大涌谷セット ホリゾン作画プラン	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	鉛筆、印刷、複写、紙	29.7×42.0
III-M-47	大涌谷セット プラン	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	赤鉛筆、マーカー、複写、紙	42.0×59.4
III-M-48	孫の手島 民宿破壊シーンのプラン	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙、複写貼り付け	25.7×36.4
III-M-49	本栖警察署表 ミニチュアセット飾りプラン	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-50	警察署セッティング基本図	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	25.7×36.4
III-M-51	警察署前 地面盛り上がりセット	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	25.7×36.4

III-M-52	氷穴セット デザイン 1	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	赤鉛筆、複写、紙	25.7×36.4
III-M-53	氷穴セット デザイン 2	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	赤鉛筆、複写、紙	25.7×36.4
III-M-54	氷穴セット デザイン 3	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	複写、紙	25.7×36.4
III-M-55	氷穴セット デザイン 4	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	赤鉛筆、複写、紙	25.7×36.4
III-M-56	倉庫街大プールセット 飾りプラン	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	複写、紙	29.7×42.0
III-M-57	横浜のセット デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-58	横浜のセット デザイン	『大怪獣総攻撃』(2001)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	21.0×29.7
III-M-59	轟天号非常用ドック デザイン	『FINAL WARS』(2004)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	31.3×40.7
III-M-60	轟天号非常用ドック 設定仮プラン	『FINAL WARS』(2004)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	31.3×40.7
III-M-61	防衛博物館 ガイガンドック デザイン	『FINAL WARS』(2004)	三池 敏夫／画	鉛筆、紙	31.3×40.7
III-M-62	防衛博物館 ガイガンドック デザイン	『FINAL WARS』(2004)	三池 敏夫／画	マーカー、複写	30.8×40.7
III-M-63	防衛博物館 ガイガンドック デザイン	『FINAL WARS』(2004)	三池 敏夫／画	マーカー、複写	30.8×40.7
III-M-64	水没する渋谷のセット	『×メガガラス』(2000)	高橋 勲／特殊美術	写真	

※一部の映画名は本リスト用の略称とした。

※III-M-01～06：東宝所蔵 / III-M-07～12：西澤安施所蔵 / III-M-13～21, 27, 28：西川伸司所蔵 /

III-M-22～26, 30, 31：ドリーム・プラネット・ジャパン所蔵 / III-M-29：酒井ゆうじ所蔵 / III-M-33～35：寺田克也所蔵 /

III-M-36～43：清水剛所蔵 / III-M-44～63：三池敏夫（特撮研究所）所蔵

IV ゴジラ、スクリーンの外へ～ヴィジョンの広がり

No.	作品名	作家名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
IV-01	ゴジラ	高荷 義之／画	1984	アクリル絵具、ボード	72.2×51.4
IV-02	GODZILLA	高荷 義之／画	2009	アクリル絵具、ボード	72.5×51.6
IV-03	66式メーサー殺獣光線車 (箱絵)	高荷 義之／画	1990	印刷	18.0×30.0
IV-04	『ゴジラ』ポスター原画	生頼 範義／画	1984	アクリル絵具、キャンバス	130.3×89.4
IV-05	『ゴジラvsビオランテ』ポスター原画	生頼 範義／画	1989	アクリル絵具、キャンバス	116.7×97.0
IV-06	『ゴジラvsモスラ』ポスター原画	生頼 範義／画	1992	アクリル絵具、キャンバス	116.7×97.0
IV-07	『ゴジラ FINAL WARS』ポスター原画	生頼 範義／画	2004	アクリル絵具、キャンバス	116.0×97.0
IV-08	ゴジラ伝説	開田 裕治／画	1983	ジクレ、紙	35.2×35.2
IV-09	ゴジラ	開田 裕治／画	1984	ジクレ、紙	34.9×34.9
IV-10	モゲラ	開田 裕治／画	1984	アクリル絵具、ボード	72.8×51.5
IV-11	サンダ対ガイラ	開田 裕治／画	1984	インク、ボード	72.8×51.5
IV-12	怪獣島の夢	開田 裕治／画	1987	アクリル絵具、紙	51.5×36.4
IV-13	魔獣降臨	開田 裕治／画	1987	ジクレ、紙	49.9×34.8
IV-14	ゴジラの紅き影	開田 裕治／画	1995	ジクレ、紙	30.0×30.0
IV-15	轟天号の追撃	開田 裕治／画	1997	アクリル絵具、紙	51.5×72.8
IV-16	ゴジラ対アンギラス	開田 裕治／画	2006	画像編集ソフト	100.0×147.0
IV-17	東宝特撮総進撃	開田 裕治／画	2010	画像編集ソフト	100.0×147.0
IV-18	ゴジラ	西澤 安施／画	2014	画像編集ソフト	51.5×36.4
IV-19	ゴジラ	西澤 安施／画	2008	画像編集ソフト	147.0×100.0
IV-20	モスラ、チタノザウルス、カメーバ	西澤 安施／画	2008	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-21	キングギドラ降臨	西澤 安施／画	2009	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-22	ゾルゲル島の人工降雪の中で眠りにつくゴジラとミニラ	西澤 安施／画	2010	画像編集ソフト	36.4×25.7
IV-23	ゴジラとエビラ、海中の死闘	西澤 安施／画	2010	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-24	融合し巨大化するヘドラ	西澤 安施／画	2010	画像編集ソフト	36.4×25.7
IV-25	ミニラを電撃でいじめるガバラ	西澤 安施／画	2010	画像編集ソフト	36.4×25.7
IV-26	対峙するゴジラとアンギラス	西澤 安施／画	2011	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-27	バラン	西澤 安施／画	2011	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-28	ガイガン対アンギラス	西澤 安施／画	2011	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-29	ゴジラ、倉田浜干拓地から出現	西澤 安施／画	2012	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-30	チタノザウルス	西澤 安施／画	2012	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-31	キングギドラ出現	西澤 安施／画	2013	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-32	ゴジラとラドンとの激闘	西澤 安施／画	2013	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-33	白亜紀型キングギドラと原始モスラ幼虫	西澤 安施／画	2013	画像編集ソフト	100.0×147.0

IV-34	ゴジラ、某国軍事基地を襲う	西澤 安施／画	2014	画像編集ソフト	36.4×51.5
IV-35	ピオゴジ	酒井 ゆうじ／造形	1990	FRP	108.0×118.0×98.0
IV-36	オリジナルイメージゴジラ	酒井 ゆうじ／造形	1995	レジン	25.0×36.0×48.0
IV-37	モスゴジ	酒井 ゆうじ／造形	1997	FRP	102.0×50.0×145.0
IV-38	ゴジラvsキングギドラ	酒井 ゆうじ／造形	1997	レジン	42.0×44.0×22.0
IV-39	キンゴジ	酒井 ゆうじ／造形	1998	レジン	45.0×62.0×68.0
IV-40	オリジナルイメージゴジラ2	酒井 ゆうじ／造形	1999	レジン	24.5×27.0×53.0
IV-41	三大怪獣 地球最大の決戦 スチールバージョン	酒井 ゆうじ／造形	1999	レジン	37.0×54.0×50.0
IV-42	初代ゴジラ	酒井 ゆうじ／造形	2001	レジン	48.0×65.0×64.0
IV-43	ミレニアムゴジラ オリジナルファイアーイメージ3	酒井 ゆうじ／造形	2002	レジン	24.0×18.0×48.0
IV-44	30cmギドゴジ 北海道バージョン	酒井 ゆうじ／造形	2012	レジン	29.0×23.0×49.0
IV-45	シン・ゴジラ	酒井 ゆうじ／造形	2016	ソフトビニール	20.0×27.0×41.0
IV-48	円谷英二とゴジラ	酒井 ゆうじ／造形	2001	レジン	20.5×27.5×21.5
IV-49	初代ゴジラひな形スチールバージョン	酒井 ゆうじ／造形	2001	レジン	19.5×24.0×17.5
IV-50	モスラ対ゴジラ 静之浦の戦い	酒井 ゆうじ／造形	2011	レジン	42.0×38.5×26.5
IV-追加	ゴジラvsキングギドラ～網走にて	酒井 ゆうじ／造形	1996	レジン	28.0×52.0×40.0

※IV-01：高荷義之所蔵 IV-02：マーミット所蔵 IV-03：個人蔵 IV-04～07：東宝所蔵 IV-18～34：西澤安施所蔵
IV-35～45, 48～50, 追加：酒井ゆうじ所蔵 IV-46, 47は不出品

ホール

『シン・ゴジラ』(2016)より	シン・ゴジラ アニマトロニクス	ラテックス、金属他	184.0×151.0×220.0	東宝所蔵
	シン・ゴジラ 全身造形	FRP	200.0×180.0×220.0	東宝所蔵
	東京駅	MDF、プラスチック、石膏	120.0×425.0×183.0	東宝所蔵

※寸法は縦×横または高さ×幅×奥行

5 浮世絵師・歌川国貞展

Utagawa Kunisada's *Ukiyoe*

- 会 期：平成 28 年 11 月 23 日（水・祝）～12 月 18 日（日）
会 場：北海道立近代美術館 展示室 B
主 催：北海道立近代美術館
共 催：北海道新聞社
後 援：札幌市、札幌市教育委員会

江戸時代末期に活躍した浮世絵師・歌川国貞（三代豊国・1786～1864）は、浮世絵史上最多となる数万点もの作品を残した人物として知られている。数え 22 歳で浮世絵師としてデビューしてから 79 歳で亡くなるまでの間、常に第一線で活躍し、当時の人々から絶大な人気を博していた。

当館では 2004（平成 16）年、故・高橋博信氏が収集した浮世絵 491 点の寄贈を受けた。本展はそのコレクションから 105 点を厳選し、国貞の初期から晩年までの画業を、年代順に紹介した。そして本展で初公開となる春画《花鳥余情吾妻源氏》（1837 年）は、作品をブースで区切り、18 歳未満は閲覧不可、写真撮影禁止とした。

●展示構成

- 1 初期～全盛期（文化 4～文政 7 年頃）
- 2 円熟期（文政 8～天保 14 年頃）
- 3 豊国襲名後（天保 15～元治元年）

●広報印刷物

- チ ラ シ／A4 判（当館簡易印刷）
観 覧 券／17.0×6.5cm
出品目録／A4 判 6 頁（当館簡易印刷）

●作品輸送・展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社松原建装

●関連事業

[ギャラリー・トーク]

「三代豊国が描く、風流江戸美人」

日 時：11月26日（土） 14時～（約30分）

会 場：展示室B

講 師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）

[ギャラリー・ツアー]

日 時：12月07日（土） 14時～（約30分）

会 場：展示室B

講 師：寺地亜衣（当館学芸員）

[国貞ぬりえ]

日 時：会期中随時（自由参加）

会 場：展示室B

●主な新聞・雑誌記事等

新聞

北海道新聞	「浮世絵師 歌川国貞展」	11月18日（金）	朝刊
	「歌川国貞展 浮世絵の魅力 気軽に」	12月02日（金）	夕刊
	「イベント 浮世絵師 歌川国貞展」	12月05日（月）	朝刊

浮世絵師・歌川国貞展 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1. 初期～全盛期					
1	歌川 国貞	青楼美人 雪月花 花	文化06 (1809)	木版・紙	47.7×22.6
2	歌川 国貞	七代目市川団十郎揮毫の図	文化10 (1813) 頃	木版・紙	左37.7×25.9 右37.6×26.0
3	歌川 国貞	北国五色墨 花魁	文化後期 (1811～18)	木版・紙	37.0×24.1
4	歌川 国貞	北国五色墨 吉原芸者	文化後期 (1811～18)	木版・紙	37.3×24.9
5	歌川 国貞	奉納手拭見立 岡本屋しけり枝	文化後期 (1811～18)	木版・紙	39.2×26.4
6	歌川 国貞	奉納手拭見立 美濃屋三勝	文化後期 (1811～18)	木版・紙	38.4×26.2
7	歌川 国貞	奉納提灯見立 八百屋お七	文化後期 (1811～18)	木版・紙	38.5×26.1
8	歌川 国貞	奉納提灯見立 あふら屋そめ	文化後期 (1811～18)	木版・紙	38.7×26.8
9	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 秀佳きどり	文化12 (1815) 頃	木版・紙	38.1×24.8
10	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 梅好きどり	文化12 (1815) 頃	木版・紙	26.6×25.1
11	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 行燈美人	文政02 (1819) 頃	木版・紙	38.8×26.5
12	歌川 国貞	星の霜 当世風俗 蚊帳美人	文政02 (1819) 頃	木版・紙	37.9×26.2
13	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 子守り	文政02 (1819) 頃	木版・紙	38.5×26.5
14	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 かげま	文政02 (1819) 頃	木版・紙	38.1×26.3
15	歌川 国貞	星や霜 当世風俗 こたつ	文政02 (1819) 頃	木版・紙	38.9×26.6
16	歌川 国貞	七小町 応需見立かよひ	文政期 (1818～30)	木版・紙	38.2×26.4
17	歌川 国貞	浮世名異女図会 東都	文政04 (1821) 頃	木版・紙	36.9×24.9
18	歌川 国貞	江戸名所 飛鳥山の図		木版・紙	38.8×25.7
19	歌川 国貞	江戸自慢 山王御祭礼	文政前期 (1818～23)	木版・紙	35.7×24.5
20	歌川 国貞	江戸自慢 花屋敷の七草	文政前期 (1818～23)	木版・紙	38.8×26.3
21	歌川 国貞	江戸自慢 開帳の朝参	文政前期 (1818～23)	木版・紙	38.0×25.9
22	歌川 国貞	勝景鏡 上野		木版・紙	37.9×25.7
23	歌川 国貞	時世江戸鹿子 薬研堀	文政前期 (1818～23)	木版・紙	36.2×25.1
24	歌川 国貞	当世江戸鹿子 堀ノ内	文政前期 (1818～23)	木版・紙	35.6×24.9
25	歌川 国貞	思事鏡写絵 猫	文政前期 (1818～23)	木版・紙	39.0×26.0
26	歌川 国貞	思事鏡写絵 吸い付け煙草	文政前期 (1818～23)	木版・紙	37.3×25.5
27	歌川 国貞	当世三十式相 たてひき相	文政04～05 (1821～22) 頃	木版・紙	39.4×26.5
28	歌川 国貞	当世三十式相 はやりさふ	文政04～05 (1821～22) 頃	木版・紙	38.5×26.9
29	歌川 国貞	当世三十式相 あづまのお客もうけ相	文政04～05 (1821～22) 頃	木版・紙	37.5×25.6
30	歌川 国貞	今風化粧鏡 合せ鏡	文政06 (1823) 頃	木版・紙	37.5×24.7
31	歌川 国貞	今風化粧鏡 齒を磨く女	文政06 (1823) 頃	木版・紙	37.5×25.9
32	歌川 国貞	今風化粧鏡 眉をかくす女	文政06 (1823) 頃	木版・紙	35.7×24.4
33	歌川 国貞	今風化粧鏡 眉を剃る女	文政06 (1823) 頃	木版・紙	39.0×25.7
34	歌川 国貞	今風化粧鏡 眉を整える女	文政06 (1823) 頃	木版・紙	36.4×24.6
35	歌川 国貞	今風化粧鏡 口紅をさす女	文政06 (1823) 頃	木版・紙	38.5×25.5
36	歌川 国貞	集女八景 洞庭秋月 襟白粉	文政期 (1818～30)	木版・紙	36.7×25.5
37	歌川 国貞	当世相性懐中かがみ おつま八郎兵衛	文政前期 (1818～23)	木版・紙	37.1×25.3
38	歌川 国貞	今世と計十二時 寅ノ刻 夜七ツ	文化後期～文政前期 (1811～23)	木版・紙	38.2×25.5
39	歌川 国貞	今世と計十二時 午ノ刻 日九ツ時	文化後期～文政前期 (1811～23)	木版・紙	38.6×26.0
40	歌川 国貞	吉原時計 午の刻 昼九ツ		木版・紙	38.7×26.3
41	歌川 国貞	吉原時計 子の刻 ひけ九ツ		木版・紙	37.9×25.8
42	歌川 国貞	当り年名代註文 臯月狂言栄		木版・紙	35.9×24.9
43	歌川 国貞	風流調子婦絵 上でうし	文政中期 (1822～25)	木版・紙	37.0×24.8
44	歌川 国貞	風流調子婦絵 しのびこま	文政中期 (1822～25)	木版・紙	37.9×25.5
45	歌川 国貞	御好芸者五行の内 火 両国の花火		木版・紙	34.5×24.2
46	歌川 国貞	春待月 娼家の餅花		木版・紙	左39.0×26.5 中39.0×26.9 右39.2×26.6
47	歌川 国貞	三ヶ月お仙つばね見せ之図	文化後期 (1811～18)	木版・紙	左38.0×25.4 中38.1×25.5 右38.0×25.5
48	歌川 国貞	江戸新吉原八朔白無垢の図	文政前期 (1818～23)	木版・紙	左37.5×25.3 中37.7×25.1 右37.7×25.0

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2. 円熟期					
49	歌川 国貞	浄瑠璃づくし おしゅん伝兵衛 堀川の段	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.9×24.9
50	歌川 国貞	浄瑠璃づくし お染久松 妹背の門松	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.7×25.4
51	歌川 国貞	浄瑠璃づくし お千代半兵衛 宵庚申	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.9×25.3
52	歌川 国貞	浄瑠璃づくし 三勝縁切段	文政後期 (1824～30)	木版・紙	38.2×25.0
53	歌川 国貞	浄瑠璃づくし 梅川忠兵衛 新口村の段	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.8×25.1
54	歌川 国貞	浄瑠璃づくし 梅か枝源太 無間乃鐘段	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.9×25.4
55	歌川 国貞	浄瑠璃づくし おつま八郎兵衛 恨鮫鞘	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.9×25.2
56	歌川 国貞	浄瑠璃づくし 小紫権八 驪山比翼塚	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.9×25.6
57	歌川 国貞	浄瑠璃づくし おふさ徳兵衛 重井筒	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.7×25.0
58	歌川 国貞	浄瑠璃づくし 小春治兵衛 新地茶屋段	文政後期 (1824～30)	木版・紙	38.0×25.2
59	歌川 国貞	当世美人合 おるらん	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.5×25.2
60	歌川 国貞	当世美人合 富士詣ノ夕立	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.4×25.7
61	歌川 国貞	当世美人合 かこる	文政後期 (1824～30)	木版・紙	38.0×25.0
62	歌川 国貞	当世美人合 辰巳	文政後期 (1824～30)	木版・紙	38.2×25.5
63	歌川 国貞	(当世) 美人合 俄	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.8×25.1
64	歌川 国貞	浮世人精天眼鏡 囲われ者	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.0×24.7
65	歌川 国貞	浮世人精天眼鏡 盃を持つ遊女	文政後期 (1824～30)	木版・紙	36.9×25.6
66	歌川 国貞	浮世人精天眼鏡 遊女	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.2×25.1
67	歌川 国貞	浮世人精天眼鏡 団扇を使う女	文政後期 (1824～30)	木版・紙	36.2×24.5
68	歌川 国貞	紅毛油画名所尽 神田明神	文政後期～天保初期 (1824～30)	木版・紙	24.8×36.5
69	歌川 国貞	五月雨の景	天保前期 (1830～36)	木版・紙	24.4×36.7
70	歌川 国貞	紅葉かりノ図	天保前期 (1830～36)	木版・紙	25.5×37.2
71	歌川 国貞	勢州鰻取ノ図		木版・紙	24.5×37.1
72	歌川 国貞	六玉顔 煙管美人		木版・紙	22.3×29.3
73	歌川 国貞	花魁		木版・紙	22.5×28.9
74	歌川 国貞	江戸八景ノ内 愛宕	文化末期～文政初期 (1817～19)	木版・紙	34.6×24.0
75	歌川 国貞	江戸名所百人美女 溜いけ	安政05 (1858)	木版・紙	35.3×23.8
76	歌川 国貞	お高祖頭巾の女	文政後期～天保期 (1824～44)	木版・紙	上36.7×24.7 下37.3×24.9
77	歌川 国貞	本朝風景美人競 大和吉野	天保前期 (1830～36)	木版・紙	37.4×24.7
78	歌川 国貞	お座敷へ向かう芸者		木版・紙	左37.6×26.5 中37.6×26.1 右37.7×26.1
79	歌川 国貞	夜の桜姿の花競		木版・紙	左37.2×25.4 中37.8×25.9 右37.7×25.8
80	歌川 国貞	中万字や内 ハツ橋	文政後期 (1824～30)	木版・紙	37.2×25.7
81	歌川 国貞	吉原の花魁たち	文政期 (1818～30)	木版・紙	左37.7×25.6 中37.8×25.9 右37.7×25.7
82	歌川 国貞	修紫田舎源氏	文政12～天保13 (1829～42)	木版・紙	各17.7×12.0×0.3
83	歌川 国貞	源氏後集余情 絵合	安政05 (1858)	木版・紙	左37.4×25.6 右37.4×25.5
84	歌川 国貞	源氏後集余情 三十九の巻 夕霧	安政05 (1858)	木版・紙	左37.3×25.8 右37.3×25.8
85	歌川 国貞／ 歌川 広重	東源氏雪の庭	安政元 (1854)	木版・紙	左37.2×25.4 中37.4×25.6 右37.3×25.5
86	歌川 国貞	花源氏夜の俤	文久元 (1861)	木版・紙	左37.5×25.5 中37.5×25.5 右37.5×25.5
87	歌川 国貞	花鳥余情吾妻源氏	天保08 (1837) 頃	木版・紙	各26.0×18.5×1.0
3. 豊国襲名後					
88	歌川 国貞	江戸名所百人美女 五百羅かん	安政04 (1857)	木版・紙	35.4×23.9
89	歌川 国貞	江戸名所百人美女 十軒店	安政05 (1858)	木版・紙	35.3×23.8
90	歌川 国貞	江戸名所百人美女 赤羽根水天宮	安政04 (1857)	木版・紙	35.3×23.9
91	歌川 国貞	江戸名所百人美女 深川八幡	安政04 (1857)	木版・紙	35.4×23.8
92	歌川 国貞	江戸名所百人美女 山王御宮	安政04 (1857)	木版・紙	35.4×23.9
93	歌川 国貞	江戸名所百人美女 京ばし	安政05 (1858)	木版・紙	35.3×23.7
94	歌川 国貞	江戸名所百人美女 浅草す八丁	安政05 (1859)	木版・紙	35.4×23.8
95	歌川 国貞	江戸名所百人美女 今川はし	安政05 (1860)	木版・紙	35.4×23.8

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
96	歌川 国貞	江戸名所百人美女 日くらしの里	安政04 (1857)	木版・紙	35.3×23.9
97	歌川 国貞	江戸名所百人美女 墨水花豊	安政04 (1857)	木版・紙	35.4×23.7
98	歌川 国貞	江戸名所百人美女 あさぢがはら	安政05 (1858)	木版・紙	35.4×23.9
99	歌川 国貞	江戸名所百人美女 築地門跡	安政04 (1857)	木版・紙	35.4×23.9
100	歌川 国貞	名妓三十六佳撰 ひな鶴の話	文久元 (1861)	木版・紙	36.4×25.0
101	歌川 国貞	十六むさしの内 ばかのめざし	文久元 (1861)	木版・紙	36.1×24.4
102	歌川 国貞	東海道五十三次之内 保土ヶ谷図		木版・紙	25.1×17.9
103	歌川 国貞	東海道五十三次之内 浜松ノ図		木版・紙	25.1×17.8
104	歌川 国貞／ 歌川 広重	東都堀切花菖蒲	安政04 (1857)	木版・紙	左37.3×25.6 中37.3×25.6 右37.2×25.6
105	歌川 国貞／ 歌川 広重	双筆五十三次 嶋田	安政元 (1854)	木版・紙	37.2×25.3

※寸法は、縦×横。

※作品はすべて当館蔵。

6 片岡球子 本画とスケッチで探る画業のひみつ

Kataoka Tamako Exhibition: Paintings and Sketches

会 期：平成 29 年 01 月 04 日（水）～03 月 20 日（月・祝）
会 場：北海道立近代美術館 展示室 B
主 催：北海道立近代美術館
共 催：北海道新聞社
後 援：札幌市、札幌市教育委員会

札幌生まれの日本画家・片岡球子（1905～2008）は、ときに破天荒と評されたほど、型破りな作風で知られた。ほとぼしる自然のエネルギーを描き出した山シリーズ、歴史上の人物や役者の相貌にその人の生きざまを表出させた〈面構〉、雅楽や舞楽に取材し絢爛豪華な色彩を爆発させた作品など、80 年に渡る長い画業の中で、何度も日本画の常識をくつがえしてきた。そんなダイナミックな球子作品の根幹にあったのが、まずは対象と真摯に向き合うことから始まるスケッチであった。

2014（平成 26）年から 2 年を費やした集中的な調査によって、小学校教師時代の初期から最晩年に至るまでに球子が描きつづけた約 350 冊のスケッチブックの全貌が浮かび上がることとなった。一群のスケッチは、球子の制作プロセスを読み解く貴重な資料であるとともに、一頁一頁には、画家の息づかい、描くことへの情熱、ときには苦悩が痕跡を残し、本画に劣らぬ迫力で観る者にせまるものである。膨大な数のスケッチブックを初めて主役に据える本展では、当館所蔵の本画約 30 点もあわせて展示し、両者を一堂に会することでしか見えてこない球子の創造のひみつを探った。

●巡回展

北海道立旭川美術館

平成 28 年 10 月 27 日（木）～12 月 18 日（日）

●展示構成

- 1 初期スケッチ／子どものスケッチー教師のまなざし
- 2 人物に迫る一内面や個性を掘り下げる
- 3 歌舞伎南蛮寺門前所見のためのスケッチー所見を描く
- 4 雅楽に挑む一躍動する色と文様
- 5 〈面構〉シリーズのスケッチー歴史人物に生命を吹き込む
- 6 阿波風景一踊る阿呆の祝祭空間
- 7 渡欧スケッチー西洋美術との出会い
- 8 風景活写一感じるままに

- 9 火の山行脚―北海道の山々から富士まで
- 10 咲き誇る花―いのちの息吹をみつめる
- 11 裸婦―デッサンを重ねて学びつづける

●広報印刷物

ポスター／B2 判
チ ラ シ／A4 判
観 覧 券／17.0×6.5cm
印 刷：株式会社総北海
デザイン：株式会社佐藤守功デザイン事務所
出品目録／A4 判 6 頁（当館簡易印刷）

●作品輸送・展示

日本通運株式会社

●会場造作

株式会社フジヤ
株式会社松原建装

●関連事業

[新春！球子みくじ]

日 時：01 月 04 日（水）～01 月 08 日（日） 各日先着 20 名
会 場：展示室 B 入口

[見どころトーク]

日 時：01 月 07 日（土）、02 月 18 日（土） 14 時～（約 40 分）
会 場：講堂
講 師：01/07 松山聖央（当館学芸員）、02/18 門間仁史（当館学芸員）

[講演とシンポジウム]

日 時：03 月 04 日（土）
会 場：講堂
共 催：北海道芸術学会

○午前の部 11 時～12 時 講演

講 師：土岐美由紀氏（北海道立旭川美術館学芸課長）
演 題：「片岡球子のスケッチ―知られざる創造のあゆみ」

○午後の部 14 時～16 時 30 分

シンポジウム「手のあと、思考のあと—絵画制作のプロセスをたどる」

報告者および演題：

松山聖央 「《阿波風景》における群像表現のなりたち 片岡球子の場合」
(当館学芸員)

川岸真由子氏 「《室内風景》の男は何を見つめていたか 神田日勝の場合」
(神田日勝記念美術館学芸員)

沼田絵美氏 「線を選ぶために一足し算から引き算へ 小川原脩の場合」
(小川原脩記念美術館学芸員)

平向功一氏 「パラレルワールドを描く 平向功一の場合」
(札幌大谷大学芸術学部美術学科准教授)

[募集制プログラム]

大人のワークショップ「球子になりきり！〈面構〉スケッチ」

日 時：01 月 14 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分

会 場：展示室 B および造形室

講 師：平向功一氏（札幌大谷大学芸術学部美術学科准教授・日本画家）

大人の連続ゼミ「球子をもっと知りたい人へ！ともに学ぶ、ひみつのひみつ」

日 時：01 月 26 日（木）、02 月 09 日（木）、02 月 23 日（木）、03 月 09 日（木）
14 時～15 時 30 分

会 場：映像室

講 師：01/26、03/09 松山聖央（当館学芸員）、02/09、02/23 門間仁史（当館学芸員）

●主な新聞・雑誌記事等

新聞

北海道新聞

「『球子のひみつ』展に寄せて 奔放な想像力支えたスケッチ」 11 月 21 日（月） 夕刊

「短信 球子展でワークショップと連続ゼミ」 12 月 05 日（月） 夕刊

「片岡球子 本画とスケッチで探る画業のひみつ」 12 月 09 日（月） 朝刊

片岡球子 出品目録 (前期)

No	作家名	作品名	技法・材質 (本画)	分類番号 (スケッチブック)	制作年
プロローグ					
本画					
1		枇杷	紙本彩色 屏風		1930(昭和05)
下図					
2		枇杷 (写生図)	紙本彩色		1930 (昭和05)
初期スケッチ/子どものスケッチー教師のまなざし					
本画					
3		法林寺の姉妹 (ふたり)	紙本彩色		1933 (昭和08)
4		学ぶ子等	紙本彩色		1933 (昭和08)
5		鳩と少女	紙本彩色		1934 (昭和09)
スケッチブック					
6		子どもたち		TS 16_004	1946 (昭和21) 頃
7		子どもたち		TS 13_005	
8		木の葉		TS 2_021	1932 (昭和07)
9		リンゴ		TS 11_002	
10		少女		TS 14_004	
11		花・少女		TS 8_007	1942 (昭和17) 頃
12		浴衣の少女		TS 12_023	
13		大岡小学校の子ども		TS 193_019	
14		子どもたち		TS 348_002	
15		村山槐多の母玉子		TS 3_005	1935 (昭和10)
16		バラ“ダイアナ”		TS 1_008	1932 (昭和07)
17		タチアオイ		TS 5_011	
18		女性		TS 346_001	
19		軍人		TS 7_015	1941 (昭和16)
20		カボチャ		TS 10_004	1943 (昭和18) 頃
21		鰯		TS 18_003	1950 (昭和25)
22		古典模写		TS 350_115	
23		表紙「ぼらとしゃくやく」		TS 28_001	
24		柿		TS 19_007	1950 (昭和25)
人物に迫るー内面や個性を掘り下げる					
本画					
25		雄渾 (祈祷の僧)	紙本彩色		1942 (昭和17)
26		八風不動	紙本彩色		1943 (昭和18)
27		研究室の男	紙本彩色		1946 (昭和21) 頃
28		助産	紙本彩色		1949 (昭和24)
29		床山	紙本彩色		1957 (昭和32)
30		レースを編む少女	紙本彩色		1935～45 (昭和10代)
31		炬燵	紙本彩色		1935 (昭和10)
32		火鉢にあたる女	紙本彩色		1935～45 (昭和10代)
33		雪の図	紙本彩色		1941 (昭和16)
34		若い女性	紙本彩色		1955～65 (昭和30代)
スケッチブック					
35		かつら		TS 54_013	1957 (昭和32)
36		医者		TS 4_027	
37		妙戒尼		TS 6_018	
38		護摩		TS 9_015	1942 (昭和17)
39		護摩		TS 23_013	1942 (昭和17)
雅楽に挑むー躍動する色と文様					

No	作家名	作品名	技法・材質 (本画)	分類番号 (スケッチブック)	制作年
本画					
40		還城楽	麻布彩色		1967 (昭和42)
41		舞楽・二の舞 (老夫婦)	麻布彩色		1969 (昭和44)
42		雅楽 (女神と胡飲酒)	紙本彩色		1967 (昭和42)
43		八仙	麻布彩色		1967 (昭和42)
スケッチブック					
44		東寺女神像		TS 168_015	1968 (昭和43)
45		還城楽		TS 115_002	
46		雅楽		TS 208_008	1975 (昭和50)
47		蘭陵王 宮内庁楽部 辻寿男楽長		TS 180_011	1969 (昭和44)
48		還城楽		TS 160_003	1967 (昭和42)
49		蘭陵王装束文様 宮内庁楽部		TS 155_013	
50		山崎弁栄上人 面構下図		TS 341_012	1975 (昭和50)
51		蘭陵王 宮内庁楽部		TS 161_008	1967 (昭和42)
52		八仙		TS 159_002	
53		八仙		TS 166_022	1967 (昭和42)
54		二の舞・腫面		TS 156_004	1967 (昭和42) 頃
55		二の舞・咲面		TS 163_007	
56		散手		TS 164_003	1967 (昭和47)
57		二の舞・咲面		TS 177_003	
58		雅楽 散手		TS 304_006	1970 (昭和45)
59		舞妓		TS 203_008	1973 (昭和48)
60		舞妓 はる恵		TS 276_019	1975 (昭和50)
61		舞妓 まめ福		TS 305_004	1979 (昭和54)
62		古装束		TS 183_018	1969 (昭和44) 頃
63		古装束		TS 60_004	1958 (昭和33)
歌舞伎南蛮寺門前所見のためのスケッチー所見を描く					
64		《歌舞伎南蛮寺門前所見》 市川海老蔵		TS 32_013	1954 (昭和29) 頃
65		《歌舞伎南蛮寺門前所見》 市川海老蔵 写真		TS 32_020	1954 (昭和29) 頃
66		《歌舞伎南蛮寺門前所見》		TS 30_020	1954 (昭和29) 頃
67		《歌舞伎南蛮寺門前所見》 尾上松緑		TS 34_012	1954 (昭和29) 頃
68		《歌舞伎南蛮寺門前所見》 尾上梅幸		TS 33_014	1954 (昭和29) 頃
69		《南蛮屏風 (神戸市博本)》模写		TS 35_005	1954 (昭和29) 頃
70		《南蛮屏風 (神戸市博本)》模写		TS 31_002	1954 (昭和29) 頃
71		《南蛮屏風》模写		TS 40_023	1954 (昭和29) 頃
72		《南蛮屏風 (福井大安寺本)》 模写		TS 38_007	1954 (昭和29) 頃
73		《桐勝負蒲雲取文様縫箔能衣装》 桃山時代・金春家伝来模写		TS 41_037	1954 (昭和29) 頃
74		梅幸		TS 57_014	1957 (昭和32)
〈面構〉シリーズのスケッチー歴史人物に生命を吹きこむ					
本画					
75		葛飾北斎	紙本彩色		1976 (昭和51)
76		面構 浮世絵師歌川国芳と 浮世絵研究家鈴木重三先生	紙本彩色		1988 (昭和63)
スケッチブック					
77		足利尊氏		TS 121_008	1967 (昭和42) 頃
78		足利義満		TS 148_018	1966 (昭和41)
79		徳川家康		TS 162_009	1967 (昭和42)
80		徳川家康		TS 149_015	1966 (昭和41)
81		足利義教		TS 293_018	1968 (昭和43)

No	作家名	作品名	技法・材質(本画)	分類番号(スケッチブック)	制作年
82		足利尊氏		TS 147_023	1966 (昭和41)
83		上杉謙信		TS 179_025	1969 (昭和44)
84		豊臣秀吉		TS 191_012	1970 (昭和45)
85		雪江禅師		TS 224_004	1983 (昭和58)
86		雪江禅師		TS 225_006	1967 (昭和42)
87		日蓮聖者		TS 172_021	1968 (昭和43)

特別出品

88	歌川国芳	七浦大漁繁昌之図	紙 木版多色刷り		1853 (嘉永06)
----	------	----------	----------	--	-------------

阿波風景―踊る阿呆の祝祭空間

本画

89		阿波風景	麻布彩色		1963 (昭和38)
----	--	------	------	--	-------------

下図

90		〈阿波風景〉下図			1963 (昭和38)
----	--	----------	--	--	-------------

スケッチブック

91		海		TS 109_003	1963 (昭和38) 頃
92		海		TS 122_014	1963 (昭和38) 頃
93		阿波踊り		TS 240_008	1963 (昭和38) 頃
94		阿波踊り		TS 240_055	1963 (昭和38) 頃
95		阿波踊り		TS 240_007	1963 (昭和38) 頃
96		阿波踊り		TS 240_016	1963 (昭和38) 頃
97		阿波踊り		TS 240_009	1963 (昭和38) 頃
98		阿波踊り		TS 240_061	1963 (昭和38) 頃
99		阿波風景		TS 240_030	1963 (昭和38) 頃
100		表紙 アワオドリ (スケッチ2)		TS 128_001	1963 (昭和38) 頃
101		阿波踊り 笠		TS 129_003	1963 (昭和38) 頃
102		阿波踊り		TS 127_005,006	1963 (昭和38)
103		阿波踊り		TS 240_034	1963 (昭和38) 頃
104		阿波風景		TS 240_052	1963 (昭和38) 頃
105		阿波踊り		TS 240_005	1963 (昭和38) 頃
106		阿波踊り		TS 240_006	1963 (昭和38) 頃
107		阿波踊り		TS 240_020	1963 (昭和38) 頃
108		阿波風景		TS 240_029	1963 (昭和38) 頃
109		阿波風景		TS 240_032	1963 (昭和38) 頃

渡欧スケッチ―西洋美術との出会い

スケッチ

110		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
111		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
112		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
113		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
114		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
115		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
116		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
117		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
118		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
119		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
120		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
121		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
122		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
123		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)

スケッチブック

124		ピカソ模写		TS 134_24	1963 (昭和38)
125		渡欧日記			1962 (昭和37)

No	作家名	作品名	技法・材質(本画)	分類番号(スケッチブック)	制作年
風景活写ー感じるままに					
スケッチブック					
126		構図研究		TS 59_019	1957～59 (昭和32～34)
127		小田原 海		TS 68_004	1959 (昭和34) 頃
128		海の写真		TS 67_008	1959 (昭和34) 頃
129		小田原 海		TS 69_005	1959 (昭和34) 頃
130		小田原 海		TS 70_003	1959 (昭和34) 頃
131		小田原 海		TS 94_020	1961 (昭和36) 頃
132		天人峡 羽衣瀧		TS 95_006	1961 (昭和36)
火の山行脚ー北海道の山々から富士まで					
本画					
133		桜島の夜	麻布彩色		1962 (昭和37)
134		死火山 (妙義山)	麻布彩色		1966 (昭和44)
135		伊豆風景	麻布彩色		1964 (昭和39)
136		山 (富士山)	麻布彩色		1964 (昭和39)
137		富士	紙本彩色		1975 (昭和50)
138		屈斜路湖	紙本彩色		1970 (昭和45) 頃
139		羊蹄山の秋色	紙本彩色		1986 (昭和61)
スケッチブック					
140		昭和新山		TS 85_006	1960 (昭和35)
141		昭和新山		TS 169_002	1968 (昭和43)
142		羊蹄山		TS 93_008	
143		屈斜路湖		TS 97_015	1961 (昭和36) 頃
144		旭川 大雪山		TS 113_006	
145		北海道 美幌峠		TS 210_006	
146		蔵王風景		TS 126_002	1963 (昭和38)
147		伊豆風景		TS 137_005	1964 (昭和39) 頃
148		瀧		TS 286_005	1969 (昭和44)
149		桜島		TS 130_003	1963 (昭和38)
150		山形風景		TS 73_008	
151		磐梯山		TS 104_006	1965 (昭和40) 頃
152		桜島		TS 124_028	1962 (昭和37) 頃
153		妙義山		TS 135_008	1966 (昭和41)
154		つるぎ山		TS 266_017	1981 (昭和56)
155		富士第一号		TS 255_001	1964 (昭和39)
156		富士		TS 264_004	1966 (昭和41)
157		富士		TS 116_009	
158		北富士		TS 26_008	1976 (昭和51)
159		富士		TS 143_006	
160		富士		TS 146_021	
161		富士		TS 277_014	1984 (昭和59)
162		富士		TS 256_009	1965 (昭和40)
163		富士		TS 140_004	1966 (昭和41)
164		大観山の富士		TS 279_015	1979 (昭和54)
咲き誇る花ーいのちの息吹をみつめる					
本画					
165		初夏	紙本彩色		1956 (昭和31)
スケッチブック					
166		牡丹		TS 219_015	1982 (昭和57)
167		牡丹		TS 288_008	
168		ひまわり		TS 246_027	1989 (平成元)
169		鈴鹿の梅 鯉		TS 298_014	1971 (昭和46)

No	作家名	作品名	技法・材質 (本画)	分類番号 (スケッチブック)	制作年
170		入生田の桜		TS 283_010	1990 (平成02)
171		牡丹		TS 282_010	1995 (平成07)
172		牡丹		TS 329_010	1995 (平成07)
173		けしぼうず		TS 45_009	1956 (昭和31) 頃
174		《初夏》構図		TS 48_007	1956 (昭和31)
175		《初夏》藤森夫人		TS 49_002	1956 (昭和31)
176		藤		TS 274_011	1994 (平成06)
177		花菖蒲		TS 141_018	1965 (昭和40) 頃
178		枇杷		TS 330_010	1996 (平成08)
179		花		TS 260_019	1989 (平成元)
180		「毎日スケッチをしよう」		TS 230_013	1985 (昭和60)
181		札幌の牡丹		TS 275_014	1992 (平成04)

球子のつぶやき

182		我慢して工夫してゆく		TS 326_002	1992 (平成04)
183		富士		TS 271_006	1976 (昭和51)

裸婦—デッサンを重ねて学びつづける

本画

184		横たわる裸婦	紙本彩色		1993 (平成05)
185		裸婦	紙本彩色		1991 (平成03)

スケッチブック

186		裸婦		TS 213_021	1978 (昭和53)
187		裸婦		TS 213_020	1978 (昭和53)
188		裸婦		TS 55_012	
189		裸婦		TS 118_013	
190		裸婦		TS 174_006	1968 (昭和43)
191		裸婦 研究		TS 281_003	1993 (平成05)

エピソード

192		福助	紙 リトグラフ		1981 (昭和56)
193		めで多き富士	紙 リトグラフ		2003 (平成15)

※作家名に記載がない場合は、すべて片岡球子の作。

※前期 (1/4～2/12)、後期 (2/14～3/20) で、ほぼすべてのスケッチブックのページを展示替え。

※No. 88の実作は前期のみ展示し、後期は写真パネルでの展示。

※本画、リトグラフのすべて、およびNo. 2は当館蔵、スケッチブック、スケッチはすべて片岡佐和子氏蔵、No. 88は山川良一氏蔵。

片岡球子 本画とスケッチで探る画業のひみつ

No	作家名	作品名	技法・材質(本画)	分類番号(スケッチブック)	制作年
プロローグ					
本画					
1		枇杷	紙本彩色 屏風		1930(昭和05)
下図					
2		枇杷(写生図)	紙本彩色		1930(昭和05)
初期スケッチ/子どものスケッチー教師のまなざし					
本画					
3		法林寺の姉妹(ふたり)	紙本彩色		1933(昭和08)
4		学ぶ子等	紙本彩色		1933(昭和08)
5		鳩と少女	紙本彩色		1934(昭和09)
スケッチブック					
6		少女		TS 14_016	
7		牡丹		TS 11_005	
8		木の葉 柿		TS 2_033	1932(昭和07)
9		ひまわり		TS 8_005	
10		子ども		TS 350_029	
11		少女		TS 12_017	
12		大岡小学校の子ども		TS 193_020	
13		少女		TS 28_012	
14		子ども		TS 348_001	
15		バラ“ダイアナ”		TS 1_032	1932(昭和07)
16		タチアオイ		TS 3_013	
17		女性		TS 15_008	
18		軍人		TS 7_006	
19		百合		TS 10_002	
20		鰈		TS 18_002	1950(昭和25)
21		柿		TS 346_003	
人物に迫るー内面や個性を掘り下げる					
本画					
22		雄渾(祈祷の僧)	紙本彩色		1942(昭和17)
23		八風不動	紙本彩色		1943(昭和18)
24		研究室の男	紙本彩色		1946(昭和21) 頃
25		助産	紙本彩色		1949(昭和24)
26		床山	紙本彩色		1957(昭和32)
27		レースを編む少女	紙本彩色		1935～45(昭和10代)
28		炬燵	紙本彩色		1935(昭和10)
29		火鉢にあたる女	紙本彩色		1935～45(昭和10代)
30		雪の図	紙本彩色		1941(昭和16)
31		若い女性	紙本彩色		1955～65(昭和30代)
スケッチブック					
32		床山		TS 54_041	1957(昭和32)
33		医者		TS 16_014	
34		妙戒尼		TS 6_026	
35		護摩		TS 9_016	1942(昭和17)
36		僧		TS 23_017	1942(昭和17)
雅楽に挑むー躍動する色と文様					
本画					
37		還城楽	麻布彩色		1967(昭和42)
38		舞楽・二の舞(老夫婦)	麻布彩色		1969(昭和44)
39		雅楽(女神と胡飲酒)	紙本彩色		1967(昭和42)

No	作家名	作品名	技法・材質(本画)	分類番号(スケッチブック)	制作年
40		八仙	麻布彩色		1967 (昭和42)
スケッチブック					
41		東寺女神像		TS 168_019	1968 (昭和43)
42		還城楽		TS 115_024	
43		雅楽 散手		TS 304_004	1970 (昭和45)
44		胡飲酒		TS 160_017	1967 (昭和42)
45		雅楽面		TS 160_016	1961 (昭和36) 頃
46		蘭陵王装束文様 宮内庁楽部		TS 155_015	
47		山崎弁栄上人 面構下図		TS 341_004	1975 (昭和50)
48		散手		TS 161_002	1967 (昭和42)
49		散手		TS 164_007	1967 (昭和42)
50		八仙		TS 159_016	
51		還城楽		TS 91_006	1961 (昭和36) 頃
52		二の舞・腫面		TS 156_004	1967 (昭和47) 頃
53		二の舞・咲面		TS 163_013	1967 (昭和47)
54		二の舞・咲面		TS 177_003	
55		舞妓		TS 203_010	1973 (昭和48)
56		舞妓 はる恵		TS 276_008	1975 (昭和50)
57		舞妓 廣彌		TS 266_019	
58		能衣裳		TS 183_015	
59		古装束		TS 60_018	1958 (昭和33)
60		古装束		TS 60_019	1958 (昭和33)
歌舞伎南蛮寺門前所見のためのスケッチー所見を描く					
61		《歌舞伎南蛮寺門前所見》 市川海老蔵		TS 32_032	1954 (昭和29) 頃
62		梅幸		TS 29_008	1957 (昭和32)
63		《歌舞伎南蛮寺門前所見》 市川海老蔵		TS 33_027	1954 (昭和29) 頃
64		《南蛮屏風(神戸市博本)》模写		TS 35_030	1954 (昭和29) 頃
65		風俗画模写		TS 31_005	1954 (昭和29) 頃
66		《南蛮屏風(福井大安寺本)》 模写		TS 38_016	1954 (昭和29) 頃
67		《南蛮屏風》模写		TS 40_023	1954 (昭和29) 頃
68		梅幸		TS 44_004	1954 (昭和29) 頃
69		辻が花染表曾装(岸本集)模写		TS 41_014	1954 (昭和29) 頃
70		かつら		TS 57_034	1957 (昭和32)
《面構》シリーズのスケッチー歴史人物に生命を吹きこむ					
本画					
71		葛飾北斎	紙本彩色		1976 (昭和51)
72		面構 浮世絵師歌川国芳と 浮世絵研究家鈴木重三先生	紙本彩色		1988 (昭和63)
スケッチブック					
73		徳川家康		TS 121_010	1967 (昭和42) 頃
74		徳川家康		TS 158_016	1967 (昭和42) 頃
75		足利義政		TS 148_004	1966 (昭和41)
76		足利義政		TS 149_008	1966 (昭和41)
77		足利義持		TS 293_019	1968 (昭和43)
78		英泉の手 面構		TS 323_014	1991 (平成03)
79		歌川国貞 面構下図		TS 216_009	1980 (昭和55)
80		日蓮上人		TS 169_005	
81		雪江禅師		TS 225_007	1967 (昭和42)
82		松陰寺 白隠禅師坐像		TS 172_028	1968 (昭和43)
特別出品					
83	歌川国芳	七浦大漁繁昌之図	紙 木版多色刷り		1853 (嘉永06)

No	作家名	作品名	技法・材質(本画)	分類番号(スケッチブック)	制作年
阿波風景―踊る阿呆の祝祭空間					
本画					
84		阿波風景	麻布彩色		1963 (昭和38)
下図					
85		〈阿波風景〉下図			1963 (昭和38)
スケッチブック					
86		阿波踊り		TS 127_004	1963 (昭和38) 頃
87		船		TS 240_029	1963 (昭和38) 頃
88		阿波踊り		TS 240_017	1963 (昭和38) 頃
89		阿波踊り		TS 240_046	1963 (昭和38) 頃
90		阿波踊り		TS 240_061	1963 (昭和38) 頃
91		阿波踊り		TS 240_016	1963 (昭和38) 頃
92		阿波踊り		TS 240_005	1963 (昭和38) 頃
93		阿波風景		TS 240_032	1963 (昭和38) 頃
94		阿波踊り		TS 240_008	1963 (昭和38) 頃
95		阿波踊り		TS 240_037	1963 (昭和38) 頃
96		渦潮		TS 109_008	
97		阿波踊り		TS 240_047	1963 (昭和38)
98		阿波踊り		TS 240_034	1963 (昭和38) 頃
99		阿波踊り		TS 240_055	1963 (昭和38) 頃
100		渦潮		TS 128_008	
101		阿波踊り		TS 240_006	1963 (昭和38) 頃
102		阿波踊り		TS 129_008	1963 (昭和38) 頃
103		船		TS 240_052	1963 (昭和38) 頃
104		阿波踊り		TS 240_060	1963 (昭和38) 頃
105		阿波踊り		TS 240_039	1963 (昭和38) 頃
106		阿波風景		TS 122_018	
渡欧スケッチ―西洋美術との出会い					
スケッチ					
107		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
108		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
109		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
110		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
111		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
112		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
113		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
114		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
115		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
116		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
117		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
118		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
119		渡欧スケッチ			1962 (昭和37)
スケッチブック					
120		ピカソ模写		TS 134_002	1963 (昭和38)
121		フランス モンブラン山		TS 199_013	1972 (昭和47)
122		渡欧日記			1962 (昭和37)
風景活写―感じるままに					
スケッチブック					
123		小田原 海		TS 66_005	1959 (昭和34) 頃
124		小田原 海		TS 68_009	1959 (昭和34) 頃
125		小田原 海		TS 63_005	1957-58 (昭和32-33) 頃
126		小田原 海		TS 70_005	1959 (昭和34) 頃

No	作家名	作品名	技法・材質 (本画)	分類番号 (スケッチブック)	制作年
127		小田原 海		TS 94_003	1961 (昭和36) 頃
128		瀧		TS 95_008	
火の山行脚ー北海道の山々から富士まで					
本画					
129		桜島の夜	麻布彩色		1962 (昭和37)
130		死火山 (妙義山)	麻布彩色		1966 (昭和44)
131		伊豆風景	麻布彩色		1964 (昭和39)
132		山 (富士山)	麻布彩色		1964 (昭和39)
133		富士	紙本彩色		1975 (昭和50)
134		屈斜路湖	紙本彩色		1970 (昭和45) 頃
135		羊蹄山の秋色	紙本彩色		1986 (昭和61)
スケッチブック					
136		昭和新山		TS 85_012	1960 (昭和35)
137		昭和新山		TS 93_003	
138		昭和新山		TS 90_013	1960 (昭和35) 頃
139		美瑛富士		TS 92_006	
140		旭川 大雪山		TS 113_007	
141		北海道 美幌峠		TS 210_002	
142		蔵王風景		TS 126_004	1963 (昭和38)
143		伊豆風景		TS 137_005	1964 (昭和39) 頃
144		瀧		TS 96_004	
145		桜島		TS 119_002	
146		山形風景		TS 73_006	
147		黒四ダム		TS 105_005	
148		桜島		TS 124_028	1962 (昭和37) 頃
149		浅間山		TS 135_004	1966 (昭和41)
150		剣山		TS 221_005	1982 (昭和57)
151		富士		TS 140_005	1966 (昭和41)
152		富士 山中湖		TS 267_007	
153		富士		TS 116_007	
154		富士		TS 301_010	1970 (昭和45) 頃
155		富士		TS 143_006	
156		富士		TS 146_038	
157		富士 朝霧高原		TS 277_009	1984 (昭和59)
158		富士 箱根		TS 278_007	1978 (昭和53)
159		富士		TS 313_004	1982 (昭和57) 頃
160		富士		TS 255_010	
咲き誇る花ーいのちの息吹をみつめる					
本画					
161		初夏	紙本彩色		1956 (昭和31)
スケッチブック					
162		牡丹		TS 212_027	1978 (昭和53)
163		牡丹		TS 239_020	1988 (昭和63)
164		八丈島 バナナ		TS 87_003	1961 (昭和36) 頃
165		龍の戯れ		TS 298_013	1971 (昭和46)
166		入生田の桜		TS 214_007	1988 (昭和63)
167		牡丹		TS 282_012	1995 (平成07)
168		《初夏》藤森夫人		TS 49_012	1956 (昭和31)
169		けしぼうず		TS 47_016	1956 (昭和31) 頃
170		《初夏》構図		TS 48_007	1956 (昭和31)
171		泰山木		TS 300_011	1994 (平成06)
172		花菖蒲		TS 269_004	1980 (昭和53)
173		バラ		TS 180_009	

No	作家名	作品名	技法・材質 (本画)	分類番号 (スケッチブック)	制作年
174		花		TS 260_019	1989 (平成元)
175		日々の心構え		TS 72_002	
176		山川豊市		TS 55_037	
球子のつぶやき					
177		富士		TS 217_013	
178		色について		TS 75_002	
裸婦—デッサンを重ねて学びつづける					
本画					
179		横たわる裸婦	紙本彩色		1993 (平成05)
180		裸婦	紙本彩色		1991 (平成03)
スケッチブック					
181		裸婦		TS 213_003	1978 (昭和53)
182		手のデッサン		TS 80_005	
183		裸婦		TS 118_017	
184		裸婦		TS 17_007	
185		裸婦 研究		TS 281_020	1993 (平成05)
エピローグ					
186		福助	紙 リトグラフ		1981 (昭和56)
187		めで多き富士	紙 リトグラフ		2003 (平成15)

※作家名に記載がない場合は、すべて片岡球子の作。

※本画、リトグラフのすべて、およびNo. 2は当館蔵、スケッチブック、スケッチはすべて片岡佐和子氏蔵、No. 83は山川良一氏蔵。

2_3 展覧会③貸館

◆貸館一覧

当館では貸館事業として道内・外の公募団体、報道機関等に対し特別展示室及び講堂等の会場提供を行っており、公募展や全国組織による道内巡回展、また文化芸術に関わる催しに利用されている。

本年は、展示室 B については年間開催日数 252 日間のうち 49 日間（19.4%）を、主催者の希望する開催時期にあわせて調整のうえ貸し出した。その利用状況は次のとおりとなっている。また、講堂については 16 件の催しに対し 22 日間会場を貸し出した。

展覧会名	主催者名	会期	開催日数	観覧者数	1 日平均 観覧者数
ゴジラ展※ 特撮映画のヴィジョンと デザイン	北海道新聞社 北海道文化放送	平成 28 年 09 月 09 日（金）～ 10 月 23 日（日）	39	31,408	805
第 10 回記念北海道 現代具象展	北海道現代具象展実行 委員会	平成 28 年 10 月 29 日（土）～ 11 月 08 日（火）	10	1,694	169
合計			49	33,102	675

※印の展覧会は当館名義共催によって開催した。

3 教育普及関係

1 移動美術館

北海道立近代美術館・北海道立三岸好太郎美術館コレクションによる

美へのいざない

北海道には現在、北海道立近代美術館・三岸好太郎美術館のある札幌をはじめとして、旭川・函館・帯広・釧路の各地に計6つの道立美術館・芸術館がある。これらの館は、それぞれが特色あるコレクションを持ち、地域に根ざしたさまざまな活動を展開している。ぐるっと美術館地域推進事業（移動美術館）は、美術への理解と関心を深めることを目的として北海道内各地で毎年実施している。道立美術館の作品を展示して作品鑑賞の機会を提供するとともに、地域の学校や文化団体と連携した教育事業を行っている。

平成28年度は、道立近代美術館・三岸好太郎美術館2館の所蔵作品の計40点を、網走市と美瑛市の2都市で展示した。近代美術館からは、デューラーよりピカソ、ダリにいたる「西洋の美術」、20世紀前半のパリに集い個性豊かな活動を展開した「エコール・ド・パリ」の画家たち、「ガラス工芸」、浮世絵から日本画・油彩・版画など幅広い「日本の美術」を紹介した。また、三岸好太郎美術館からは、大正末から昭和初期の美術界を彗星のように駆け抜けた札幌出身の画家・三岸好太郎の油彩画を紹介した。

●関連事業

〔作品解説・美術鑑賞入門講座〕

各会場の初日と最終日に、展示会場内や近隣施設において、道立美術館の学芸員による作品解説や鑑賞入門講座を行った。

・網走会場

09月30日（金）10時～（約60分） 42名（一般）

10月05日（水）14時～（約60分） 68名（一般）

・美瑛会場

10月08日（土）11時～（約30分） 34名（一般）

10月12日（水）16時～（約30分） 145名（市内学校、美術サークルなど）

〔映像ソフト上映〕

開催時間中、各会場において、出品作品に関連する映像ソフトを上映した。

「久本春雄—写真の眼」 （6分）

「パスキン—真珠母色のリュミエール」 (12分)

「一原有徳—変容する版」 (15分)

●会場、会期、主催・後援、入場者数

[網走会場]

会 場：網走市立美術館

会 期：09月30日（金）～10月05日（水） 10時～16時 ※10月03日（水）をのぞく

主 催：網走市立美術館、北海道立近代美術館、北海道立三好太郎美術館

入場者数：1,111名

[美唄会場]

会 場：美唄市民会館

会 期：10月08日（土）～10月12日（水） 09時～17時

主 催：美唄市教育委員会、北海道立近代美術館、北海道立三好太郎美術館

入場者数：550名

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	アルブレヒト・デューラー	聖エウスタキウス	1501頃	エングレーヴィング・紙	35.7×25.9
2	レンブラント・ファン・レイン	版画商クレメント・デ・ヨンヘ	1651	エッチング・ドライポイント・ エングレーヴィング・紙	20.4×15.8
3	ジャン＝フランソワ・ミレー	水を汲む女	1862	クリシェ＝ヴェール・紙	29.3×23.0
4	マックス・クリンガー	『手袋』 行為	1881	エッチング・紙	24.7×18.9
5	エドワード・ムンク	病める子	1894	銅版・紙	38.7×29.2
6	パブロ・ピカソ	夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス	1934	アクアチント、スクレーパー、ドライ ポイント、エングレーヴィング・紙	24.7×34.7
7	ルネ・マグリット	『マグリットの落とし子たち』 マ・メール・ロワ（マザー・ゲース）	刊行1968	リトグラフ・紙	44.5×60.0
8	サルヴァドール・ダリ	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム的な時間の眼	1971	銅版、リトグラフ・紙	50.5×40.0
9	アンドレ・ドラク	マルティグ風景	1908	油彩・キャンバス	100.0×81.0
10	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914頃	油彩・ボード	46.0×60.0
11	マリー・ローランサン	三人の娘	1943	油彩・キャンバス	61.0×49.8
12	ジュル・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩・キャンバス	92.0×73.0
13	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 クロエの誘拐	1957-60(刊行1961)	リトグラフ・紙	54.0×75.5
14	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 春	1957-60(刊行1961)	リトグラフ・紙	42.5×65.0
15	キスリング	サン＝ジェルマン風景	1914	油彩・キャンバス	92.0×73.0
16	歌川 国芳	季節時計年中行事 戌刻 浅草市の賑ひ		木版・紙	(左)36.1×25.2 (中)36.0×25.2 (右)36.1×25.2
17	歌川 国芳	季節時計年中行事 申刻 霜月 西ノまちのにきわひ		木版・紙	(左)36.4×25.0 (中)36.2×24.9 (右)36.4×24.9

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
18	山内 弥一郎	農夫	1923(大正12)頃	絹本着彩・額	84.5×111.0
19	本間 莞彩	雪の幌都 (陸橋)	1948(昭和23)	紙本彩色・額	87.5×118.5
20	久本 春雄	手袋の女	1921(大正10)	絹本着彩・額	103.0×66.0
21	難波田 龍起	軌跡	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	130.8×97.0
22	三岸 節子	摩周湖	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	59.5×108.5
23	国松 登	氷上のひと	1976(昭和51)	油彩・キャンバス	80.3×116.7
24	菊地 精二	旗のある風景	1931(昭和6)	油彩・キャンバス	60.4×72.4
25	一原 有徳	PON	1974—80 (昭和49—昭和55)	銅版モノタイプ	49.9×92.3
26	北岡 文雄	雪の白川郷	1996(平成08)	木版・紙	54.0×39.7
27	北岡 文雄	沼の秋	1987(昭和62)	木版・紙	55.1×40.0
28	襲嘯	PAT! PAT! PAT! (B)	1970(昭和45)	シルクスクリーン・紙	56.5×75.5
29	安田 侃	無何有	1983(昭和58)	シルクスクリーン・紙	75.2×75.0
30	安田 侃	無何有II	1983(昭和58)	シルクスクリーン・紙	60.0×40.7
31	安田 侃	無何有IV	1983(昭和58)	シルクスクリーン・紙	60.0×40.7
32	岩田 藤七	水指・雲間	1975(昭和50)	ガラス：宙吹き	22.3×19.0
33	藤田 喬平	飾宮・紅白梅	2002(平成14)	ガラス：型吹き	16.5×24.0× 24.0
34	ガレ工房	プラム文花器	1925-30 頃	被せガラス	27.2×32.5
35	三岸 好太郎	大塚仲町風景	1922(大正11)頃	油彩・キャンバス	33.1×42.2
36	三岸 好太郎	友人ノ肖像	1924(大正13)	油彩・キャンバス	33.8×24.2
37	三岸 好太郎	道化	1930-31 (昭和05-06) 頃	油彩・キャンバス	73.3×54.8
38	三岸 好太郎	婦人像	1932(昭和07)頃	油彩・キャンバス	33.5×24.9
39	三岸 好太郎	コンポジション	1933(昭和08)頃	油彩・キャンバス	44.7×59.8
40	三岸 好太郎	貝殻と蝶	1934(昭和09)	油彩・キャンバス	31.8×41.0

Nos. 1-34 は、北海道立近代美術館蔵

Nos. 35-40 は、北海道立三岸好太郎美術館蔵

2 夏休みワークショップ 2016

特報！キンビ新聞

夏季休業期間中の教育普及事業として、前年までの複合的プログラムであったミュージアム・スクールに替えて、小学生とその保護者を対象としてワークショップを実施した。内容は道立近代美術館を題材とした子ども新聞づくりとし、これによって美術館について知り学ぶ機会を提供するとともに、知り学んだことを他者に教え伝えることを通じて美術館への親近感を醸成し、参加者と美術館とのより密接な関係の構築を目指した。また実施に際しては、博物館実習生と連携を図った。

日 時： 08月03日（水）、08月04日（木） 各日10時30分～15時30分（昼休憩1時間）

会 場： 北海道立近代美術館 造形室および展示室、収蔵庫、機械室、事務室など

参加者： 03日／6組13名（小学生7名、保護者6名）、04日／5組11名（小学生6名、保護者5名）

講 師： 森田一志氏（北海道新聞社岩見沢総局次長）

参 加： 事前応募制、参加無料

内 容： 博物館実習生の案内により収蔵庫内や空調設備などのバックヤードを含む全館内を見学。
その後、講師の森田氏による紙面の構成の仕方や記事の書き方などの指導のもと、参加者各自が美術館を題材としたオリジナルの新聞を制作した。なお、制作された新聞は、複製し、美術館2階北側のロビーに展示した。

3 解説活動

ギャラリー・トーク (展示室講話)

毎週土曜日、14時より「近美コレクション」で実施

事業名等	タイトル・内容等	日時	会場	講師名他	人数	内訳・他
ギャラリー・トーク	「この1点を見てほしい。 －国松登《寝園猷走》」	①04月16日 (土)、 ②04月23日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 大下智一 (当館主任学芸員)	28	①18 ②10
	「白江正夫 －水彩画にかけて思い」	①05月21日 (土)、 ②05月28日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 佐藤由美加 (当館主任学芸員)	31	①22 ②9
	「この1点を見てほしい。 －能勢真美《草木》」	①06月04日 (土)、 ②06月18日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 鎌田享 (当館普及情報課長)	12	①6 ②6
	「北海道の風土とやきもの －小森忍の試み」	①07月16日 (土)、 ②07月30日 (土)、 ③08月27日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 寺地亜衣 (当館学芸員)	17	①3 ②4 ③10
	「この1点を見てほしい。 －歌川国貞《鬼灯を持つ女》」	①07月23日 (土)、 ②08月20日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 齊藤千鶴子 (当館主任学芸員)	17	①6 ②11
	「発見される、新しい北海道」	①09月03日 (土)、 ②10月15日 (土)、 ③11月05日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 松山聖央 (当館学芸員)	23	①3 ②6 ③14
	「この1点を見てほしい。 －ブリジット・ライリー《アレスト I》」	①10月22日 (土)、 ②10月29日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 森本陽香 (当館学芸員)	12	①6 ②6
	「雪と日本画」	①12月10日 (土)、 ②01月28日 (土)、 ③03月18日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 門間仁史 (当館学芸員)	13	①1 ②5 ③7
	「この1点を見てほしい。 －青山熊治《アイヌ》」	①12月17日 (土)、 ②01月21日 (土) 各日14時～	展示室 A	講師／ 蘭部容子 (当館学芸員)	12	①6 ②6
	「この1点を見てほしい。 －鹿子木猛郎《裸婦》」	①02月04日 (土)、 ②03月25日 (土) 各日14:00～	展示室 A	講師／ 寺地亜衣 (当館学芸員)	10	①3 ②7
				合計	(23回)	175

団体オリエンテーション

特別展等を観覧する団体より事前に希望のあった場合に、担当学芸員が展覧会の概要と見所を紹介した。
(講堂または映像室)

70団体、2,110名

4 博物館実習【館園実習】

実施日：07月28日（木）～08月05日（金）

07月31日（日）、08月01日（月）を除く7日間

各日とも10時～17時（昼食休憩1時間を除く6時間）

講師：当館学芸員

実習生：6人（秋田公立美術大学、札幌大学、北海道大学）

各大学の依頼により学生を受け入れ、学芸員資格取得のための博物館実習【館園実習】を行った。

月日	実習内容		
	午前	午後	
07月28日（木）	ガイダンス	【講義】近代美術館の活動① 展覧会の企画と運営	【見学】近代美術館の施設見学 【講義】夏休みワークショップについて
07月29日（金）	【実務】作品取扱実習①油彩・版画		【見学】三岸好太郎美術館の施設見学 【講義】近代美術館の活動② コレクションの収集と管理
07月30日（土）	【実務】作品取扱実習②日本画		【実務】夏休みワークショップの企画・準備 【講義】近代美術館の活動③ 教育普及活動と情報活動
07月31日（日）	休 講		
08月01日（月）	休 講		
08月02日（火）	【実務】作品取り扱い実習③工芸		【実務】夏休みワークショップの企画・準備 【講義】近代美術館への招待 ― 歴史と活動
08月03日（水）	【実務】夏休みワークショップの実施		【実務】夏休みワークショップの実施
08月04日（木）	【実務】夏休みワークショップの実施		【実務】夏休みワークショップの実施
08月05日（金）	【講義】近代美術館の活動④ボランティアの活動		【講義】近代美術館の活動⑤施設管理と事業予算 【研究】館園実習を振り返って

5 映像ミュージアム

映像ミュージアム 2017

ミヤギフトシー境界線のむこうとこちら

2017年3月11日（土）・12日（日）

ミヤギフトシは、主に映像やインスタレーションを用いながら、アメリカと日本、戦争と戦後、男性とセクシュアル・マイノリティ、現在と過去など、社会に無数に存在する境界の向こう側とこちら側を、沖縄出身の視点からみずみずしくパーソナルな映像の中に可視化する作家。

とりわけミヤギにとって原風景といえるのは、幼いときから目にしてきた米軍基地のフェンスであった。フェンスのこちら側に様々な葛藤があるように、フェンスの向こう側にも一枚岩ではない葛藤があること、さらにフェンス越しで成立する密かな恋のように、境界を超えるものがあることなど、複雑な存在をすくい上げようとしてきたのである。

そうした境界線に対する意識は、内地に対して外地であった北海道という地への関心ともつながる。2016（平成28）年のあいちトリエンナーレでは、北海道作家とコラボレーションし、北海道に取材した映像作品を発表している。

本映像展では、沖縄や北海道、そしてすべての境界について考察を促す場となるべくミヤギの繊細なまなざしに満ちた映像作品3本を上映した。

また、ミヤギを招聘した当館でのアーティスト・トークに加えて、連携事業としてギャラリー門馬でミヤギとの対談と交流会が開催され、好評を得た。

会 場：当館講堂

主 催：北海道立近代美術館

協 力：ギャラリー門馬

入 場 料：無料

印 刷 物：チラシ（A4判）

デザイン：株式会社佐藤守功デザイン事務所

●プログラム

03月11日（土） 14時～

「オーシャン・ビュー・リゾート」（2013／シングルチャンネルビデオ／19分25秒）

03月12日（日） 14時～

「オーシャン・ビュー・リゾート」（2013／シングルチャンネルビデオ／19分25秒）

「花の名前」（2015／シングルチャンネルビデオ／20分59秒）

「ロマン派の音楽」（2015／シングルチャンネルビデオ／21分28秒）

●アーティスト・トーク

03月11日（土） 14時40分～（約1時間）

講 師：ミヤギフトシ（アーティスト）

会 場：講堂

6 近代美術館・三岸美術館・知事公館ぐるっと三館鑑賞ツアー

2011（平成23）年04月より近代美術館と三岸美術館の運営が一体化され、両館の常設展示の共通観覧料が新たに設定された。これを記念するとともに、この地域の魅力を広く道民にアピールするために、近代美術館～三岸美術館～知事公館の美術鑑賞ツアーを実施した。本年は「夏のぐるっと三館鑑賞ツアー」と銘打ち、07月の第2週目を実施時期とした。

日 程：07月06日（水）、07月07日（木）、07月08日（金）

各日10時～12時10分（全3回）

主 催：北海道立近代美術館、北海道立三岸好太郎美術館、社団法人北海道美術館協力会
協 力：北海道知事公館

場所、内容：

10時00分～10時30分 近代美術館「近美コレクション」観覧（解説：美術館協力会ボランティア）

10時40分～11時20分 知事公館内外観覧（解説：知事公館館長、近代美術館学芸員）

11時20分～11時40分 三岸好太郎美術館内のカフェ・きねずみにてティータイム

11時40分～12時10分 三岸好太郎美術館所蔵品展観覧（解説：美術館協力会ボランティア）

参加者

07月06日／16名、07月07日／17名、07月08日／18名

総参加者数51名

7 出張アート教室

学校関係者に道立美術館等を学習の場として広く活用できることを認識してもらうとともに、美術館等の所蔵作品の有効利用を図るために、美術館学芸員が学校（小学校・中学校・高等学校および特別支援学校）に作品を持参し、児童・生徒に実作品を見せながら、わかりやすく鑑賞の手ほどきを行った。授業内容の詳細は各実施校の担当教諭と相談して組み上げるなど、美術館と学校とが連携して取り組んだ事業でもある。

本事業は、アート&トーク・デリバリーの名称で平成23年度に当館単独で試行的に実施。平成24年度からは、道立美術館・芸術館6館全体の取り組みとして、北海道各地で実施するにいたった。

本年度は、全体で14校において実施。そのうち当館（近代美術館・三岸好太郎美術館）では、空知・石狩・後志・胆振・日高管内の計6校で実施した。

実施校数：6校（中学校4校、高等学校1校、特別支援学校1校）

実施回数：12回

受講者数：303名

テーマと作品	学校	日程	対象
「さわってみよう！人体の表現を学ぶ」	北海道札幌 視覚支援学校	10月06日（木）	57名
内 容：日本近代彫刻の重要作家・荻原守衛 の作品を紹介。人物彫刻の技法や表 現を鑑賞する。		①09:45-10:35 ②10:45-11:35 ③11:45-12:35	①小学部19名 ②中学部14名、 ③高等部24名
作 品：荻原守衛《坑夫》彫刻			
担 当：齊藤千鶴子（当館主任学芸員） 寺地亜衣（当館学芸員）			
「浮世絵にみる、江戸時代の暮らし」	南幌町立 南幌中学校	10月07日（金）	50名
内 容：浮世絵版画ならではの表現や彫り・ 摺りの技法を鑑賞するとともに、江 戸時代の生活風俗や“日本の美術” の歴史について学ぶ。		①10:40-11:30 ②11:40-12:30	①3年生1学級25名 ②3年生1学級25名
作 品：歌川国貞《夕立景》版画			
担 当：鎌田享（当館普及情報課長）			
テーマと作品	学校	日程	対象

「アートを探検／抽象画の秘密」		小樽市立望洋台 中学校	10月18日(火)	58名
内 容：	札幌で活躍した画家・花田和治の絵画作品を紹介。石狩川河口の景色に取材しながら単純な色と形を組み合わせ構成した抽象画を鑑賞する。		①13:35-14:25 ②14:35-15:25	①1年生1学級 29名 ②1年生1学級 29名
作 品：	花田和治《水辺にて》 油彩			
担 当：	佐藤由美加（当館主任学芸員）			
「日本画ってなぁに？ー技法と表現を学ぶ」		伊達市立 光陵中学校	10月26日(水)	99名
内 容：	岩絵具の鮮やかな色彩感や、東洋画の伝統である輪郭線の多用など、日本画ならではの素材・技法・表現を鑑賞する。		①11:40-12:30 ②13:20-14:10 ③14:20-15:10	①2年生1学級 32名 ②2年生1学級 34名 ③2年生1学級 33名
作 品：	菊川多賀《回想賦（大正五年頃）》 日本画			
担 当：	門間仁史（当館学芸員）			
「北海道の美術を知ろう2ー三岸好太郎の冒険」		北海道厚真 高等学校	11月08日(火)	22名
内 容：	北海道立三岸好太郎美術館が所蔵する作品を紹介。大正から昭和初期の北海道を代表する画家・三岸好太郎の作品を鑑賞しながら、画家の生涯や表現の変遷また郷土の美術の歴史について学ぶ。		14:20-15:10	1学年1学級 22名
作 品：	三岸好太郎《花》 油彩			
担 当：	福地大輔氏 （北海道立三岸好太郎美術館 主任学芸員）			
「さわってみよう！人体の表現を学ぶ」		日高町立 厚賀中学校	11月15日(火)	17名
内 容：	日本近代彫刻の重要作家・本郷新の作品を紹介。人物彫刻の技法や表現を鑑賞する。		①11:40-12:30 ②13:15-14:05	①1年生1学級 9名 ②2年生1学級 8名
作 品：	本郷新《裸婦座像》彫刻			
担 当：	松山聖央（当館学芸員）			

8 ボランティアの活動

1977（昭和52）年、道立近代美術館開館の年に任意団体として美術館協力会（2年後に社団法人化）が発足した。そのもとで始められたボランティア活動は、当初、売店部門のみであったが、翌年に解説部門、その10年後に資料部門が加わり、さらには1994（平成6）年の組織改編を経て、現在の7部体制となった。ボランティア活動員数も、発足当時の10数名から、平成28年度当初には179名まで拡大している。

7部の主な活動内容と平成28年度実績

名称	内容
事業部	○美術館事業への協力調整（アート・クラブ、ジュニア・アート・クラブおよび冬のワンダー☆ミュージアム） ○美術研修旅行の企画・実施 「愛知 美術館めぐり5日間」05月17日～21日 「美の探訪 世界四大博物館・国立故宫博物院を訪ねて台湾へ」10月23日～28日 ○協力会員の親睦会「つどい」2016の企画・実施（年1回／05月27日） ○美術館所蔵野外彫刻の清掃の実施（年2回／06月10日、10月07日）
広報部	○会報『アルテピア』の編集・発行（年2回発行） ○部内報『あんてな』の編集・発行（年2回発行） ○ミュージアム・カレンダー、ポスター等印刷物の配布
売店部	○ミュージアム・グッズの開発・仕入・管理 ○ミュージアム・ショップでの販売活動 ○特設売店の設営 ○協力会員の入退会手続き事務
解説部	○常設展示室でのギャラリー・ツアーの実施 （火～金：11時30分・13時・14時、土・日：13時 各回約30分） 実施回数：441回、参加者数：1,368名 ○常設展示室での団体ギャラリー・ツアーの実施 実施団体数：34団体、参加者数：473名 ○アート・レファレンス・サービス(ARS)への対応 （質問コーナー、図書閲覧コーナー、ビデオ・ライブラリー 利用件数：10,954件） ○道立三好太郎美術館でのギャラリー・ツアーの実施 （火～日：参加者数：759名） ○ぐるっと3館鑑賞ツアーの実施 近代美術館・三好太郎美術館・知事公館の鑑賞 （07月06、07、08日 参加者数：51名） ○子ども美術鑑賞事業（小学生を招待し展覧会解説、館内案内） 参加校：1校、参加者数：99名
資料部	○新聞資料のファイリングおよび検索カードの作成 ○館蔵品スライド等のマスキングおよび管理 ○美術情報文書の分類、回覧、配架 ○図書資料の整理および検索カードの作成 ○館蔵品ネガフィルム・ポジフィルム・プリントの整理
研修部	○美術講座の企画・立案・実施（05月12日～09月01日 受講者：169名） ○美術講座プレミアムの開催（09月29日～10月27日 受講者：156名） ○ボランティア活動員養成研修の企画・立案 ○ボランティア活動員に対する研修の企画・立案（全体研修、特別オリエンテーションなど）

特別活動部

○館外活動「美術への誘い」（美術館、展覧会の紹介）の企画・実施

開催場所：麻布地区会館、札幌市中央図書館、南区民センター、旭山公園地区センター、東区民センター、中央区民センター、豊平区民センター、清田区民センター、北区民センター、グリーンライフ伏見、手稲つむぎの杜、厚別区民センター、北老人福祉センター、南平岸会館、市立札幌病院

実施回数：17回、参加者数：378名

○小中学生から一般を対象としたワークショップの企画・実施

実施回数：3回（06月11日、10月22日、02月18日）、参加者数：246名

9 協力事業

1 一般社団法人 北海道美術館協力会との連携・協力事業

●美術講座「楽しい美術史入門 ― 近代から現代へ」

美術に関する基礎知識を学ぶ連続講座に協力し、講師の派遣を行った。

日 時：05月12日（木）～09月01日（木）の期間中に全15回実施（各回木曜日、10時～11時40分）

会 場：講堂

講 師：当館学芸員ほか

受講者数：169名（事前募集制）

開催日	講座内容
05月12日（木）	モネとゴッホ 印象派から後期印象派へ （講師：佐藤幸宏 当館学芸副館長）
05月19日（木）	マティスとピカソ、モンドリアン フォヴィスムからキュビズム、抽象絵画へ （講師：松山聖央 当館学芸員）
05月26日（木）	デュシャンとエルンスト ダダからシュルレアリスムへ （講師：寺地亜衣 当館学芸員）
06月02日（木）	ポロックとウォーホル 戦後アメリカ美術の軌跡 （講師：久米淳之 当館展示・作品課長）
06月09日（木）	美術の見方・感じ方（西洋編） （講師：浅沼敬子 北海道大学大学院文学研究科芸術学講座准教授）
06月16日（木）	黒田清輝と近代洋画 （講師：大下智一 当館主任学芸員）
06月23日（木）	横山大観と近代日本画 （講師：齊藤千鶴子 当館主任学芸員）
07月07日（木）	三岸好太郎と昭和モダニズム （講師：福地大輔 北海道立三岸好太郎美術館主任学芸員）
07月14日（木）	「ポーラ美術館コレクション」への招待 （講師：佐藤由美加 当館主任学芸員）
07月21日（木）	岡本太郎と戦後アヴァンギャルド （講師：鎌田享 当館普及情報課長）
07月28日（木）	美術の見方・感じ方〔日本編〕 （講師：鈴木幸人 北海道大学大学院文学研究科芸術学講座准教授）
08月04日（木）	北海道美術の100年 （講師：藺部容子 当館学芸員）
08月18日（木）	1920年代、パスキンとパリの芸術家たち （講師：地家光二 当館学芸部長）
08月25日（木）	ガレとアール・ヌーヴォー、ガラスの世界 （講師：森本陽香 当館学芸員）

09月01日(木) 版画の世界—東西の表現と技法
(講師:門間仁史 当館学芸員)

●美術講座プレミアム

美術に関する専門的・個別的知識を学ぶ連続講座に協力した。

日 時:09月29日(木)~10月27日(木)の期間中に全5回実施(各回木曜日10時~11時40分)
会 場:講堂
受講者数:156名(事前募集制)

開催日	講座内容
-----	------

09月29日(木)	北海道映画史はじめのはじめ(講師:前川公美夫 元北海道新聞社記者)
-----------	-----------------------------------

10月06日(木)	アイヌ風俗画の世界(講師:新明英仁 市立小樽美術館長)
-----------	-----------------------------

10月13日(木)	文学館の「さとぼろ」ものがたり(講師:苫名直子 北海道立文学館主任学芸員)
-----------	---------------------------------------

10月20日(木)	具象絵画と私(講師:西田陽二 画家・道都大学美術学部特任教授)
-----------	---------------------------------

10月27日(木)	個人美術館の真実—三岸好太郎と本郷新をめぐって(講師:寺嶋弘道 本郷新記念札幌彫刻美術館長)
-----------	--

●ジュニア・アート・クラブ、アート・クラブ

小学生から一般来館者を対象に行ったワークショップ(工作教室)に協力した。

① アート・クラブ2016

「遊びにおいて!アート工房 ひっかいてアートマジック スクラッチペーパーで絵を描こう」

日 時:06月11日(土) 10時30分~15時

会 場:2階ロビー

参 加 者:136名(自由参加制)

② ジュニア・アート・クラブ2016「創ってみたい?紙 de ポップ up ワールド」

日 時:10月22日(土) 10時~12時45分

会 場:造形室

講 師:加藤宏子氏(彫刻家)

参 加 者:21名(事前募集制)

③ アート・クラブ2017「ぼくのオシャレ ワタシのおしゃれ~キンビでつくるアクセサリー」

日 時:02月18日(土) 10時~15時

会 場:造形室

参 加 者:89名【自由参加制】

●特別オリエンテーション

北海道美術館協会のボランティアに対して、展覧会（特別展、近美コレクション）の概要を担当学芸員が解説した。

日 時：①04月13日（水）、②06月01日（水）、③07月08日（金）、④09月16日（金）、
⑤11月30日（水）、⑥02月01日（水）

会 場：講堂

講 師：当館学芸員

参 加 者：①191名、②189名、③187名、④184名、⑤181名、⑥181名 計1,113名

●ボランティア養成研修（共通研修）

北海道美術館協会のボランティアの新人養成研修に講師を派遣した。

日 時：①09月15日（木） 10時～11時40分 ②11月24日（木） 10時～11時40分
③12月08日（木） 10時～11時40分 ④01月19日（木） 10時～11時40分
⑤02月16日（木） 10時～11時40分

会 場：映像室

講 師：①木村純（北海道大学高等教育推進機構特任教授）

②佐藤幸宏（当館学芸副館長） ③地家光二（当館学芸部長）

④久米淳之（当館展示・作品課長） ⑤鎌田享（当館普及情報課長）

受講者数：19名

2 学校教育との連携・協力事業

●出張アート教室

学習の場としての美術館への理解を深めてもらうため、学芸員が美術館の所蔵作品を学校等に持参し、児童・生徒等に実物を見せながら、わかりやすく鑑賞の手ほどきを行う授業を学校と連携して行った。

① テーマ：「さわってみよう！人体の表現を学ぶ」（荻原守衛《坑夫》）

日 時：10月06日（木）09時45分～10時35分、10時45分～11時35分、11時45分～12時35分

会 場：北海道札幌視覚支援学校

講 師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）、寺地亜衣（当館学芸員）

人 数：57名（小学部6年生19人、中学部14人、高等部24人）

② テーマ：「浮世絵にみる、江戸時代の暮らし」（歌川国貞《夕立景》）

日 時：10月07日（金） 10時40分～11時30分、11時40分～12時30分

会 場：南幌町立南幌中学校

講 師：鎌田享（当館普及情報課長）

人 数：50名（3年生2学級 各25名）

③ テーマ：「アートを探検／抽象画の秘密」（花田和治《水辺にて》）

日 時：10月18日（火） 13時35分～14時25分、14時35分～15時25分

会 場：小樽市立望洋台中学校

講 師：佐藤由美加（当館主任学芸員）

人 数：58名（1年生2学級 各29名）

④ テーマ：「日本画ってなあに？／技法と表現を学ぶ」（菊川多賀《回想賦（大正五年頃）》）

日 時：10月26日（水） 11時40分～12時30分、13時20分～14時10分、14時20分～15時10分

会 場：伊達市立光陵中学校

講 師：門間仁史（当館学芸員）

人 数：99名（5年生3学級 32、34、33名）

⑤ テーマ：「北海道の美術を知ろう 2／三岸好太郎の冒険」（三岸好太郎《花》）

日 時：11月08日（火） 14時20分～15時25分

会 場：北海道厚真高等学校

講 師：福地大輔（北海道立三岸好太郎美術館主任学芸員）

人 数：22名（1年生）

⑥ テーマ：「さわってみよう！人体の表現を学ぶ」（本郷新《裸婦座像》）

日 時：11月15日（火） 11時40分～12時30分、13時15分～14時05分

会 場：日高町立厚賀中学校

講 師：松山聖央（当館学芸員）

人 数：17名（1年生9名、2年生8名）

●【教員の研修】 道立美術館等活用学習充実のための指導者研修

長期休業期間の教員を対象に、美術館の活動と活用方法についての研修を実施した。

日 時：07月26日（火） 10時～17時

会 場：展示室、映像室、北海道立三岸好太郎美術館

対 応：当館普及情報課学芸員

人 数：4名（道内小学校・特殊支援学校 4校）

●【教員の研修】 教員のためのミュージアム・セミナー

札幌市教育研究推進事業・図画工作研究項目（中央区）の事業として、札幌の市立小学校の教諭を対象とした研修に協力した。

日 時：02月07日（火） 15時30分～17時20分

会 場：展示室、映像室ほか

対 応：当館普及情報課学芸員

人 数：16名（札幌市立小学校 7校）

●博物館実習（見学実習）

学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の見学実習を受入れた。

日 時：① 05月13日（金） 北海道大学 25名

② 09月11日（日） 北海道教育大学岩見沢校 32名

③ 11月25日（金） 東海大学 27名

④ 12月02日（金） 北海道大学 12名

⑤ 01月14日（土） 北海道教育大学岩見沢校 17名

会 場：展示室、収蔵庫ほか
対 応：当館普及情報課学芸員
人 数：計 113 名

●北海道大学連携講座「美術館という現場」

北海道大学との連携により、同大学の講座を開講。当館においては、学芸員による講義・施設見学・展覧会鑑賞などを行った。

日 時：04月13日（水）～07月27日（水）の期間中に全15回実施（各回水曜日）
そのうち7回を美術館で開講

会 場：映像室、展示室、北海道立三好好太郎美術館

講 師：北村清彦氏（北海道大学大学院文学研究科芸術学講座教授）、佐藤幸宏（当館学芸副館長）、
鎌田亨（当館普及情報課長）、齋藤千鶴子（当館主任学芸員）、松山聖央（当館学芸員）、福
地大輔（北海道立三好好太郎美術館主任学芸員）

人 数：13 名

●職場体験等の受け入れ

学校からの依頼により、職場体験学習として美術館での業務を希望する生徒を受け入れた。

日 時：	1. 09月01日（木）	札幌市立札幌大通高校	2 名
	2. 09月14日（水）	北海道札幌新川高校	3 名
	3. 09月21日（水）	北海道札幌旭丘高校	3 名
	4. 09月23日（金）	北海道札幌厚別高校	2 名
	5. 10月26日（水）	北海道札幌英藍高校	6 名
	6. 11月22日（火）	札幌市立八軒中学校	4 名
	7. 12月08日（木）	大阪鶴見商業高校	3 名
	8. 01月11日（水）	札幌南高等学校	1 名
	9. 02月02日（水）	札幌鹿島旭高等学校	3 名

会 場： 館内各室
対 応： 当館普及情報課学芸員
人 数： 計 27 名

●自主研修等の受け入れ

修学旅行や研修旅行、総合的な学習の時間などの一貫として当館を訪問する児童・生徒に対して、美術館活動の説明・質問への回答・施設見学などを行った。

日 時：	1. 05月10日（火）	赤平市立赤平中央中学校	5 名
	2. 05月10日（火）	岩見沢市立豊中学校	6 名
	3. 05月11日（水）	北広島市立西の里中学校	5 名

日 時：	4. 05月11日(水)	恵庭市立恵明中学校	6名
	5. 05月13日(金)	余市町東中学校	12名
	6. 05月19日(木)	倶知安町立倶知安中学校	6名
	7. 05月19日(木)	美唄市立美唄中学校	6名
	8. 05月25日(水)	室蘭市立桜蘭中学校	11名
	9. 05月26日(木)	砂川市立砂川中学校	11名
	10. 05月26日(木)	北広島市立緑陽中学校	10名
	11. 06月02日(木)	浦臼町立浦臼中学校	4名
	12. 06月03日(金)	札幌市立厚別北中学校	6名
	13. 06月03日(金)	札幌市立稲陵中学校	27名
	14. 07月21日(木)	千歳市立向陽台中学校	15名
	15. 07月21日(木)	江別市立大麻中学校	30名
	16. 09月13日(火)	札幌市立桑園小学校	24名
	17. 09月15日(木)	室蘭市立旭ヶ丘小学校	9名
	18. 10月19日(水)	新冠町立新冠中学校	6名

会 場：映像室、展示室、美術情報コーナー（アートレファレンスサービス ARS）
 対 応：当館普及情報課学芸員、北海道美術館協力会ボランティア解説部
 人 数：計199名

3 その他の連携・協力事業

●いけばな小原流 北海道地区合同青年部作品展 「きらきら ～風を奏でる～」

いけばな小原流北海道地区合同青年部に協力し、会場を提供した。

日 時：08月06日(土)、07日(日) 10時～17時30分

会 場：前庭

人 数：94名(06日53名、07日41名)

●第11回札幌国際短編映画祭 特別上映会

札幌国際短編映画祭の特別会場会に共催し、会場を提供した。

日 時：11月03日(土)、04日(金)

会 場：講堂

人 数：177名(03日131名、04日46名)

●北海道美術館学芸員研究協議会 第25回研究協議会

北海道美術館学芸員研究協議会の第25回研究協議会に共催し、会場を提供した。

日 時：03月02日(木)、03日(金)

会 場：映像室

人 数：132名(02日70名、03日62名)

10 その他

1 ミュージアム・コンサート

直接音楽にふれる機会をつくることで、より多くの人々に美術館を利用していただき、美術を幅広い視点から体験してもらうために開催した。

開催日	時間	事業名	演奏者	会場	関連	利用者 数
07月22日(金)	18時30分～	カルチャーナイト2016コンサート 「光と影の煌めき～チェンバロの美しき世界」	明楽みゆき（チェンバロ）	1F ホール	ポーラ美術館 コレクション	404
08月04日(木)	14時～	PMF 近代美術館コンサート	PMF ヴォーカル・アカデミー	1F ホール		470
11月01日(火) ～05日(土)	15時～16時	芸術週間コンサート 「《道産子追憶之巻》へのオマージュ」	DJEMP（ジャンビ） [茂呂剛伸（縄文太鼓） 福田ハジメ（ピアノ）]	1F ホール	芸術週間	263
11月23日(水)	14時～ (約40分)	道銀文化財団 Art Ensemble #6 ～Concert～ 「華麗なる英国の世界」	高橋良輔（クラリネット） 佐久間有里（ピアノ）	1F ホール		270
01月28日(土)	11時～	第5回北海道教育大学岩見沢校・北海道立近代美術館 連携コンサート 「音楽のパレット (フルート・ピアノ・オーボエのコンサート)」	小坂橋沙里（ピアノ） 渡邊萌愛（オーボエ） 鷺森由里（フルート） 大久保規子（ピアノ伴奏）	1F ホール		148
02月25日(土)	14時～ (約40分)	道銀文化財団 Art Ensemble #6 ～Concert～ 「ヴァイオリンとピアノによる音楽の彩り」	斉藤祐太（ヴァイオリン） 浅沼恵輔（ピアノ）	1F ホール		285
合計						1,840

2 芸術週間

例年、芸術に親しむ機運の醸成を図ることを目的に、文化の日を含む11月01日から11月07日までの1週間を『芸術週間』として設定し、常設展示『近美コレクション』の観覧料を無料とし、また、11月07日（月）は特別開館した。

開催日	時間	事業内容	講師・演奏者等	会場
11月01日（火） ～07日（月）	09時30分～17時	近美コレクション 観覧料無料		展示室A
11月05日（土）	14時～14時30分	ギャラリー・トーク 「発見される、新しい北海道」	松山学芸員	展示室A

3 カルチャーナイト

地域文化への関心を高め、北海道ならではの地域文化の創造と発展に寄与することを目的に、札幌市内の公共施設や文化施設、民間施設等を夜間開館して実施される「カルチャーナイト」に参加した。

当館では、平成28年度は07月22日（金）17時30分から21時まで夜間開館を実施し、常設展示『近美コレクション』を無料開放するとともに、18時30分から明楽みゆき氏（チェンバロ）によるカルチャーナイト2016コンサートを開催し、404名の参加者があった。

11 平成28年度 教育普及活動細目 (平成29年3月31日現在)

①展覧会関連事業

展覧会ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
足立美術館所蔵 横山大観展	特別講演会 「足立美術館と横山大観コレクション」	04月02日(土) 14時～(約90分)	講堂	講師／安部則男氏(足立美術館学芸部長)	197	
	学芸員による見どころ解説	①04月16日(土) 10時30分～(約30分) ②04月23日(土) 13時30分～(約30分) ③04月30日(土) 10時30分～(約30分) ④05月07日(土) 13時30分～(約30分)	講堂	①、④講師／齊藤千鶴子(当館主任学芸員) ②、③講師／鎌田享(当館普及情報課長)	544	① 94 ②123 ③157 ④170
	お茶会	04月09日(土) 11時～14時	2階ロビー	協力／茶道裏千家淡交会 札幌第二支部	104	
	【募集制プログラム】 ランチ&トーク 「横山大観展 美と食を愉しむランチ&トーク」	①04月14日(木) ②04月20日(水) 各日11時30分～	ホテルオークラ札幌、 道立近代美術館	①講師／齊藤千鶴子(当館主任学芸員) ②講師／鎌田享(当館普及情報課長)	68	①32 ②36
ともにいること ともにあること 北海道・いまを生きるアーティストたち	アーティストトーク	05月25日(水) ①10時～ 05月28日(土) ②14時～ ③15時～ 06月04日(土) ④14時～ ⑤15時～ 06月11日(土) ⑥14時～ ⑦15時～ 06月18日(土) ⑧14時～ ⑨15時～	展示室B	①講師／佐藤史恵氏(本展出品作家) ②講師／国松希根太氏(本展出品作家) ③講師／鈴木悠哉氏(本展出品作家) ④講師／経塚真代氏(本展出品作家) ⑤講師／高野理栄子氏(本展出品作家) ⑥講師／今村育子氏(本展出品作家) ⑦講師／山田良氏(本展出品作家) ⑧講師／紅露はるか氏(本展出品作家) ⑨講師／斉藤幹男氏(本展出品作家)	247	①21 ②20 ③14 ④39 ⑤33 ⑥27 ⑦33 ⑧42 ⑨18
ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ	コンサート 「ともにある音と形 初夏に薫る名曲選」	05月29日(日) 14時～(約45分)	1階ホール	出演／アンサンブル・レジーナ	134	
	【募集制プログラム】 山田良作品《海抜ゼロメートル／石狩低地帯》ワークショップ 「海抜ゼロメートルを歩く」	06月04日(土) 10時～(約90分)	展示室B	講師／ 山田良氏(本展出品作家、札幌市立大学大学院准教授)	11	
	特別講演会 「光彩の画家・陰翳の画家 ―1900年前後のフランス美術―」	07月02日(土) 14時～(約90分)	講堂	講師／木島俊介氏(ポーラ美術館館長、本展監修者)	178	
平成28年07月02日(土)～08月28日(日)	学芸員による見どころ解説	①07月09日(土) ②08月06日(土) 各日14時～(約40分)	講堂	①講師／門間仁史(当館学芸員) ②講師／佐藤由美加(当館主任学芸員)	305	①147 ②158
	【募集制プログラム】 ランチ&トーク 「ポーラ美術館コレクション美と食を愉しむランチ&トーク」	①07月07日(木) ②07月13日(水) ③08月02日(火) 各日11時30分～	ホテルオークラ札幌、 道立近代美術館	①③講師／佐藤由美加(当館主任学芸員) ②講師／門間仁史(当館学芸員)	80	①25 ②23 ③32
	【募集制プログラム】 ワークショップ「気分は巨匠！油絵体験講座」	07月23日(土) 13時30分～(約120分)	造形室	講師／小林麻美氏(画家)	19	
北海道美術紀行	映画上映会	09月17日(土) ①11:00～ ②14:00～ 09月18日(日) ③11:00～ ④14:00～ 09月19日(月) ⑤11:00～ ⑥14:00～	講堂	①「狙った恋の落とし方。」(2008年 125分) ②「愛の予感」(2007年 102分) ③「愛の予感」(2007年 102分) ④「狙った恋の落とし方。」(2008年 125分) ⑤「壁男」(2007年 98分) ⑥「壁男」(2007年 98分)	331	①72 ②45 ③59 ④37 ⑤60 ⑥58
平成28年07月02日(土)～11月08日(火)	芸術週間コンサート 《道産子追憶之巻》へのオマージュ	11月01日(火)～05日(土) 各日15時～16時	展示室A	演奏／DJEMP(ジャンピ) [茂呂剛伸(縄文太鼓)、福田ハジメ(ピアノ)]	263	(11/1)25 (11/2)41 (11/3)55 (11/4)59 (11/5)83

ワンダー☆ミュージアム2017 キャッチ・ザ・カラース 色をつかまえろ！ 平成28年11月23日（水・祝）～ 平成29年04月09日（日）	ミニ・アトリエ 「七色の国の王さまたち」	11月23日（水・祝）～04月09日（日） 開館時間中（9時30分～17時）	2階ロビー		2,225	
	【募集制プログラム】 ワークショップ「色を集めて冬小物をデザイン」	①12月23日（金・祝） ②12月24日（土） 各日10時～15時頃	造形室	講師／松本宏美氏、出口しづか氏（まほうの絵ふで講師）	44	①23 ②21
	子ども鑑賞ツアー	①11月26日（土） ②12月17日（土） ③01月21日（土） ④02月18日（土） ⑤03月18日（土） 各日11時～（約40分）	展示室A	①講師／森本陽香（当館学芸員） ②講師／蘭部容子（当館学芸員） ③講師／蘭部容子（当館学芸員） ④講師／森本陽香（当館学芸員） ⑤講師／森本陽香（当館学芸員）	22	①0 ②6 ③11 ④3 ⑤2
	学校連携（札幌市立円山小3年） 「ぬって けずって 自分色！」	授業実施期間 09月～12月（各児童6校時） 会場展示期間 12月27日（火）～04月09日（日）	展示室A	9月から12月にかけて、展覧会出品作家の井上まさじ氏を講師に、札幌市立円山小学校で作品制作の授業を実施。授業の成果は、展覧会会期中に会場内で展示した。	164	
	学校連携（札幌市立八軒中3年） 「何が見える？何を感じる？版画作品の解説に挑戦！」	授業実施日時 10月04日（火） 会場展示期間 12月27日（火）～04月09日（日）	展示室A	10月4日に、当館学芸員を講師に、札幌市立八軒中学校で作品鑑賞の事業を実施。授業の成果は、展覧会会期中に会場内で展示した。	155	
浮世絵師・歌川国貞展 平成28年11月23日（水）～12月18日（日）	ギャラリー・トーク「三代豊国が描く風流江戸美人」	11月26日（土） 14時～（約30分）	展示室B	講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	31	
	ギャラリー・ツアー	12月03日（土） 14時～（約30分）	展示室B	講師／寺地亜衣（当館学芸員）	20	
新春！球子みくじ 見どころトーク		01月04日（水）～01月08日（日） 各日 先着20名			100	
		①01月07日（土） ②02月18日（土） 各日14時～（約40分）	講堂	①講師／松山聖央（当館学芸員） ②講師／門間仁史（当館学芸員）	93	①53 ②40
		03月04日（土） 13時～14時 講演 「片岡球子のスケッチー知られざる創造のあゆみ」	講堂	講 師／土岐美由紀氏（北海道立旭川美術館学芸課長）	181	
	片岡球子 本画とスケッチで探る画業のひみつ 平成29年01月04日（水）～03月20日（月）	研究発表と講演会とシンポジウム 03月04日（土） 14時05分～16時30分 シンポジウム 「手のあと、思考のあとー絵画制作のプロセスをたどる」	講堂	報告者／ 松山聖央（当館学芸員）、 川岸真由子氏（神田日勝記念美術館学芸員）、 沼田絵美氏（小川原脩記念美術館学芸員）、 平向功一氏（札幌大谷大学准教授、日本画家）	111	
	【募集制プログラム】 大人のワークショップ「球子になりきり！〈面構〉スケッチ」	01月14日（土） 13時30分～15時30分	展示室B、造形室	講師／平向功一氏（札幌大谷大学准教授、日本画家）	19	
	【募集制プログラム】 大人の連続ゼミ 「球子をもっと知りたい人へ！ともに学ぶ、ひみつのひみつ」	全4回 01月26日（木） 02月09日（木） 23日（木） 03月09日（木） 各日14時～15時30分	展示室B、映像室	講師／松山聖央（当館学芸員）、門間仁史（当館学芸員）	11	

②解説活動

事業名等	タイトル・内容等	日時	会場	講師名他	人数	内訳・他
ギャラリー・トーク	「この1点を見てほしい。ー 国松登《寝園獣走》」	①04月16日（土） ②04月23日（土） 各日14時～	展示室A	講師／大下智一（当館主任学芸員）	28	①18 ②10
	「白江正夫 ー 水彩画にかけた思い」	①05月21日（土） ②05月28日（土） 各日14時～	展示室A	講師／佐藤由美加（当館主任学芸員）	31	①22 ②9
	「この1点を見てほしい。ー 能勢真美《草木》」	①06月04日（土） ②06月18日（土） 各日14時～	展示室A	講師／鎌田享（当館普及情報課長）	12	①6 ②6
	「北海道の風土とやきものー小森忍の試み」	①07月16日（土） ②07月30日（土） ③08月27日（土） 各日14時～	展示室A	講師／寺地亜衣（当館学芸員）	17	①3 ②4 ③10
	「この1点を見てほしい。ー歌川国貞《鬼灯を持つ女》」	①07月23日（土） ②08月20日（土） 各日14時～	展示室A	講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	17	①6 ②11
	「発見される、新しい北海道」	①09月03日（土） ②10月15日（土） ③11月05日（土） 各日14時～	展示室A	講師／松山聖央（当館学芸員）	23	①3 ②6 ③14
	「この1点を見てほしい。ーブリジット・ライリー《アレストI》」	①10月22日（土） ②10月29日（土） 各日14時～	展示室A	講師／森本陽香（当館学芸員）	12	①6 ②6
	「雪と日本画」	①12月10日（土） ②01月28日（土） ③03月18日（土） 各日14時～	展示室A	講師／門間仁史（当館学芸員）	13	①1 ②5 ③7
	「この1点を見てほしい。ー青山熊治《アイヌ》」	①12月17日（土） ②01月21日（土） 各日14時～	展示室A	講師／蘭部容子（当館学芸員）	12	①6 ②6
	「この1点を見てほしい。ー鹿子木孟郎《裸婦》」	①02月04日（土） ②03月25日（土） 各日14時～	展示室A	講師／寺地亜衣（当館学芸員）	10	①3 ②7

子ども鑑賞ツアー	小学生以上を対象に、展示室で学芸員とともに対話を愉しみながら作品を鑑賞する。	04月09日(土) 11時～	展示室A	講師／齊藤千鶴子(当館主任学芸員)	0	(58)
		05月14日(土) 11時～	展示室A	講師／齊藤千鶴子(当館主任学芸員)	0	
		06月11日(土) 11時～	展示室A	講師／松山聖央(当館学芸員)	6	
		07月09日(土) 11時～	展示室A	講師／門間仁史(当館学芸員)	16	
		08月13日(土) 11時～	展示室A	講師／松山聖央(当館学芸員)	25	
		09月10日(土) 11時～	展示室A	講師／松山聖央(当館学芸員)	0	
		10月08日(土) 11時～	展示室A	講師／門間仁史(当館学芸員)	5	
		12月10日(土) 11時～	展示室A	講師／齊藤千鶴子(当館主任学芸員)	0	
		01月14日(土) 11時～	展示室A	講師／齊藤千鶴子(当館主任学芸員)	4	
		03月11日(土) 11時～	展示室A	講師／齊藤千鶴子(当館主任学芸員)	2	
ギャラリー・ツアー	〈近美コレクション〉において、北海道美術館協会ボランティア解説部によるギャラリー・ツアー(展示解説)を行う。平日3回・土日1回の定時実施に加え、希望する団体には時間調整のうえ適宜実施する。	祝日を除く毎日(各回約30分) 火～金曜日(1日3回) 11時30分～、13時～、14時～ 土・日曜日(1日1回) 13時～	展示室A	講師／北海道美術館協会ボランティア解説部	1,841	個人利用 1,368名、441回 団体利用 473名、34回
ARS (アート・レファレンス・サービス)	図書閲覧コーナー、映像ライブラリー、質問コーナーからなるARS(アート・レファレンス・サービス)を設置し、美術情報の閲覧来館者からの質問に対応する。	開館日・開館時間中 (質問コーナーは、祝日を除く毎日:10時30分～16時)	1階ホール奥	質問コーナー対応／ 北海道美術館協会ボランティア解説部	10,954	質問件数 734件 映像利用 238件
団体オリエンテーション	特別展等を観覧する団体より事前に希望のあった場合に、担当学芸員が展覧会の概要と見所を紹介する。	特別展等の開催期間	講堂または映像室	講師／各展覧会担当学芸員	2,110	70回

③移動美術館

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
移動美術館 「北海道立近代美術館・三岸好太郎美術館コレクションによる 美へのいざない」	作品展示 (道立近代美術館および道立三岸好太郎美術館の所蔵作品 約40点)	①09月30日(金)～10月05日(水)(10月03日を除く5日間) 各日10時～16時 ②10月08日(土)～10月12日(水)(5日間) 各日09時～17時	①網走市立美術館 ②美唄市民会館		1,661	①1,111 ②550
		①09月30日(金) 開館時間中随時 ②10月05日(水) 開館時間中随時	網走市立美術館	講師／当館学芸員	110	①42 ②68
	作品解説・講座等	①10月08日(土) 開館時間中随時 ②10月12日(水) 開館時間中随時	美唄市民会館	講師／当館学芸員	179	①34 ②145

④映像ミュージアム

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	上映作品ほか	人数	内訳ほか
映像ミュージアム	映像ミュージアム2017 「ミヤギフトシー境界線のむこうこちら」	①03月11日(土) ②03月12日(日)	講堂	上映作品「オーシャン・ビュー・リゾート」「花の名前」「ロマン派の音楽」	121	①64 ②57

⑤その他の教育普及活動

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
ぐるっと三館鑑賞ツアー	【募集制プログラム】 “夏のぐるっと三館鑑賞ツアー”	①07月06日(水) ②07月07日(木) ③07月08日(金) 各日10時～12時10分	道立近代美術館 道立三岸好太郎美術館 知事公館	解説／北海道美術館協会ボランティア解説部、知事公館職員、 北海道立近代美術館学芸員	51	①16 ②17 ③18
夏休み期間中事業	【募集制プログラム】 夏休みワークショップ2016「特報！キンビ新聞」	①08月03日(水) ②08月04日(木) 各日10時30分～15時30分	造形室、展示室、収蔵庫、 機械室、事務室ほか	講師／森田一志氏(北海道新聞社岩見沢総局次長)	24	①13(子7+大人6) ②11(子6+大人5)
カルチャーナイト	カルチャーナイト2016コンサート 「光と影の煌めき ～ チェンバロの美しき世界」	07月22日(金) 18時30分～	1階ホール	出演／明楽みゆき氏(チェンバロ奏者)	404	

ミュージアム・コンサート (展覧会関連事業以外)	PMF 近代美術館コンサート	08月04日(木) 14時～	1階ホール	出演／PMFヴォーカル・アカデミー	470
	道銀文化財団Art Ensemble #6 ～Concert～「華麗なる英国の世	11月23日(水・祝) 14時～(約40分)	1階ホール	演奏／高橋良輔氏(クラリネット)、佐久間有里氏(ピアノ)	270
	第5回 北海道教育大学岩見沢校・北海道立近代美術館連携コンサート 「音楽のパレット(フルート・ピアノ・オーボエのコンサート)」	01月28日(土) 11時～	1階ホール	演奏／小板橋沙里氏(ピアノ)、渡邊萌愛氏(オーボエ)、 鷺森由里氏(フルート)、大久保規子氏(ピアノ伴奏)	148
	道銀文化財団Art Ensemble #6～Concert～ 「ヴァイオリンとピアノによる音楽の彩り」	02月25日(土) 14時～(約40分)	1階ホール	演奏／斉藤祐太氏(ヴァイオリン)、浅沼恵輔氏(ピアノ)	285

⑥一般社団法人 北海道美術館協力会との連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
美術講座 「楽しい美術史入門ー近代から現代へ」	【募集制プログラム】 美術に関する基礎知識を学ぶ連続講座(全15回)に協力し、講師を派遣する。	05月12日・19日・26日、06月02日・09日・16日・23日、 07月07日・14日・21日・28日、08月04日・18日・25日、 09月01日 各木曜日 10時～11時40分 全15回のうち13回を、道立美術館学芸員が担当	講堂	実施／北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師／道立近代美術館学芸員、道立三岸好太郎美術館学芸員ほか	169	
美術講座プレミアム	【募集制プログラム】 美術に関する専門的・個別的知識を学ぶ連続講座(全5回)に協力する。	09月29日、10月06日・13日・20日・27日 各木曜日 10時～11時40分	講堂	実施／北海道美術館協力会ボランティア研修部 講師／09/29 前川公美夫氏(元北海道新聞社記者) 10/06 新明英仁氏 (市立小樽美術館館長) 10/13 苫名直子氏 (北海道立文学館主任学芸員) 10/20 西田陽二氏 (画家、道都大学特任教授) 10/27 寺嶋弘道氏 (本郷新記念札幌彫刻美術館館長)	156	
こども美術鑑賞事業	札幌市内の小学校の児童を当館に招待し展覧会を案内する事業に協力する。今年度は、札幌市立中央小学校の4年生を招待し、近美コレクションを案内。	02月17日(金) 10時～11時30分	展示室、講堂ほか	実施／北海道美術館協力会ボランティア解説部	99	児童93 引率6
ジュニア・アート・クラブ、アート・クラブ	小学生から一般来館者を対象に行ったワークショップ(工作教室)に協力する。 ①アート・クラブ2016 [遊びにおいて！アート工房] 「ひっかいてアートマジック スクラッチペーパーで絵を描こう」 ②【募集制プログラム】 ジュニア・アート・クラブ2016 「創ってみない？紙deポップupワールド」 ③アート・クラブ2017 [遊びにおいて！アート工房] 「ほくのオシャレ ワタシのおしゃれ～キンビでつくるアクセサリー」	①06月11日(土) 10時30分～15時 ②10月22日(土) 10時～12時45分 ③02月18日(土) 10時～15時	①2階ロビー ②造形室 ③造形室	①実施／北海道美術館協力会ボランティア特別活動部 ②実施／北海道美術館協力会ボランティア特別活動部 講師／加藤宏子氏(彫刻家) ③実施／北海道美術館協力会ボランティア特別活動部	246	①136 ②21 ③89
美術への誘い	美術館ボランティアが、区民センター・図書館・福祉施設など外部の機関で行う解説活動に協力する。	(01) 05月25日(水) 創成西英寿会 (02) 06月23日(木) 札幌市中央図書館利用者 (03) 06月28日(火) 札幌市南区民センター利用者 (04) 06月30日(木) 札幌市旭山公園通地区センター利用者 (05) 07月07日(木) 札幌市東区民センター利用者 (06) 07月15日(金) 札幌市中央区民センター利用者 (07) 07月20日(水) 札幌市豊平区民センター利用者 (08) 09月13日(火) 札幌市清田区民センター利用者 (09) 09月14日(水) 札幌市北区民センター利用者 (10) 10月12日(水) グリーンライフ伏見利用者 (11) 10月25日(火) 札幌市中央区民センター利用者 (12) 11月09日(水) 手稲つむぎの杜利用者 (13) 11月30日(水) 札幌市厚別区民センター利用者 (14) 01月20日(金) 札幌市北老人福祉センター利用者 (15) 01月26日(木) 札幌市中央区民センター利用者 (16) 02月07日(火) 介護予防センター平岸利用者 (17) 03月15日(水) 札幌市立病院利用者	(01) 麻生地区会館 (02) 札幌市中央図書館 (03) 南区民センター (04) 旭山公園通地区センター (05) 東区民センター (06) 中央区民センター (07) 豊平区民センター (08) 清田区民センター (09) 北区民センター (10) グリーンライフ伏見 (11) 中央区民センター (12) 手稲つむぎの杜 (13) 厚別区民センター (14) 北老人福祉センター (15) 中央区民センター (16) 南平岸会館 (17) 札幌市立病院	実施／北海道美術館協力会ボランティア特別活動部	378	(01) 20 (02) 37 (03) 24 (04) 11 (05) 16 (06) 24 (07) 13 (08) 42 (09) 10 (10) 27 (11) 39 (12) 21 (13) 28 (14) 16 (15) 22 (16) 17 (17) 11

特別オリエンテーション	北海道美術館協会ボランティアに対して、展覧会（特別展、近美コレクション）の概要を担当学芸員が解説する。	①04月13日（水） ②06月01日（水） ③07月08日（金） ④09月16日（金） ⑤11月30日（水） ⑥02月01日（水）	講堂	実施／北海道美術館協会ボランティア研修部 講師／各展覧会担当学芸員	1,113	①191 ②189 ③187 ④184 ⑤181 ⑥181
ボランティア養成研修（共通研修）	北海道美術館協会ボランティアの新人養成研修に講師を派遣する。	①09月15日（木） ②11月24日（木） ③12月08日（木） ④01月19日（木） ⑤02月16日（木） 各日10時～11時40分	映像室	実施／北海道美術館協会ボランティア研修部 講師／①木村純（北海道大学高等教育推進機構特任教授） ②佐藤幸宏（当館学芸副館長） ③地家光二（当館学芸部長） ④久米淳之（当館展示・作品課長） ⑤鎌田享（当館普及情報課長）	19	
ボランティア養成研修（解説部 専門研修）	北海道美術館協会ボランティア解説部の新人養成研修に講師を派遣する。	09月15日（木） 13時～14時	映像室	実施／北海道美術館協会ボランティア解説部 講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	2	
ボランティア養成研修（資料部 専門研修）	北海道美術館協会ボランティア資料部の新人養成研修に講師を派遣する。	10月12日（水） 10時～11時	映像室	実施／北海道美術館協会ボランティア解説部 講師／松山聖央（当館学芸員）	4	
ボランティア解説部 特別研修会	北海道美術館協会ボランティア解説部の特別研修会に講師を派遣する。	01月23日（月） 10時30分～12時	ホテル モントレ エーデル ホフ 札幌	実施／北海道美術館協会ボランティア解説部 講師／佐藤幸宏（当館学芸副館長）	30	

⑦学校教育との連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
出張アート教室	「さわってみよう！人体の表現を学ぶ」	10月06日（木） ①09時45分～10時35分 ②10時45分～11時35分 ③11時45分～12時20分	北海道札幌視覚支援学校	講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員）、寺地亜衣（当館学芸員）	57	①19 ②14 ③24
	「浮世絵にみる、江戸時代のくらし」	10月7日（金） ①10時40分～11時30分 ②11時40分～12時30分	南幌町立南幌中学校	講師／鎌田享（当館普及情報課長）	50	①25 ②25
	「アートを探検／抽象画のひみつ」	10月18日（火） ①13時35分～14時25分 ②14時35分～15時25分	小樽市立望洋台中学校	講師／佐藤由美加（当館主任学芸員）	58	①29 ②29
	「日本画ってなあに？／技法と表現を学ぶ」	10月26日（水） ①11時40分～12時30分 ②13時20分～14時10分 ③14時20分～15時10分	伊達市立光陵中学校	講師／門間仁史（当館学芸員）	99	①32 ②34 ③33
	「北海道の美術を知らう2／三岸好太郎の冒険」	11月08日（火）14時20分～15時10分	北海道厚真高等学校	講師／福地大輔（北海道立三岸好太郎美術館主任学芸員）	22	22
	「さわってみよう！人体の表現を学ぶ」	11月15日（火） ①11時40分～12時30分 ②13時15分～14時05分	日高町立厚賀中学校	講師／松山聖央（当館学芸員）	17	①9 ②8
道立美術館等活用学習充実のための指導者研修	長期休業期間の教員を対象に、美術館の活動と活用方法についての研修を実施する。	07月26日（火） 10時～17時	道立近代美術館 道立三岸好太郎美術館	対応／齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	4	道内小学校・特殊学級 4校
教員のためのミュージアム・セミナー	札幌市教育研究推進事業・図画工作研究項目（中央区）の事業として、札幌市の市立小中学校の教諭を対象とした研修に協力する。	02月07日（火） 15時30分～17時20分	展示室、映像室ほか	対応／齊藤千鶴子（当館主任学芸員）	16	札幌市立小学校 7校
博物館実習（館園実習）	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、7日間のカリキュラムで美術館における実務実習を受け入れる。	07月28日（木）～08月05日（金）（日・月を除く7日間） 各日10時～17時（延べ実習時間42時間）	映像室、展示室、収蔵庫ほか	講師／当館学芸員ほか	6	道内外大学3校
博物館実習（見学実習）	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、美術館の見学実習を受け入れる。	05月13日（金） 北海道大学 25名 09月11日（日） 北海道教育大学岩見沢校 32名 11月25日（金） 東海大学 27名 12月02日（金） 北海道大学 12名 01月14日（土） 北海道教育大学岩見沢校 17名	展示室、収蔵庫ほか	対応／普及情報課学芸員	113	
北海道大学連携講座「美術館という現場」	北海道大学との連携により、同大学の講座を開講。当館においては、学芸員による講義、施設見学、展覧会鑑賞などを行う。	04月13日（水）～07月27日（水） 各水曜日 10時30分～12時 または 11時～12時 全15回のうち7回（4/27、5/11、6/1、6/8、6/22、7/13、7/20）を、道立美術館で実施	道立近代美術館 道立三岸好太郎美術館	講師・指導／道立近代美術館学芸員、道立三岸好太郎美術館学芸員、北村清彦氏（北海道大学教授）	13	北海道大学

職場体験等の受け入れ	学校からの依頼により、職場体験学習として美術館での業務を希望する生徒を受け入れる。	09月01日(木)	札幌市立札幌大通高校	2名	館内各室	対応／普及情報課学芸員	27
		09月14日(水)	北海道札幌新川高校	3名			
		09月21日(水)	北海道札幌旭丘高校	3名			
		09月23日(金)	北海道札幌厚別高校	2名			
		10月26日(水)	北海道札幌英藍高校	6名			
		11月22日(火)	札幌市立八軒中学校	4名			
		12月08日(木)	大阪鶴見商業高校	3名			
		01月11日(水)	札幌南高等学校	1名			
		02月02日(水)	札幌鹿島旭高等学校	3名			
自主研修等の受け入れ	修学旅行や研修旅行、総合的な学習の時間などの一環として当館を訪問する児童・生徒に対して、美術館活動の説明や質問への回答、施設見学などを行う。	05月10日(火)	赤平市立赤平中央中学校	5名	映像室、展示室、ARSほか	対応／普及情報課学芸員、北海道美術館協力会ボランティア解説部	199
		05月10日(火)	岩見沢市立豊中学校	6名			
		05月11日(水)	北広島市立西の里中学校	5名			
		05月11日(水)	恵庭市立恵明中学校	6名			
		05月13日(金)	余市町東中学校	12名			
		05月19日(木)	俱知安町立俱知安中学校	6名			
		05月19日(木)	美唄市立美唄中学校	6名			
		05月25日(水)	室蘭市立桜蘭中学校	11名			
		05月26日(木)	砂川市立砂川中学校	11名			
		05月26日(木)	北広島市立緑陽中学校	10名			
		06月02日(木)	浦臼町立浦臼中学校	4名			
		06月03日(金)	札幌市立厚別北中学校	6名			
		06月03日(金)	札幌市立稲陵中学校	27名			
		07月21日(木)	千歳市立向陽台中学校	15名			
		07月21日(木)	江別市立大麻中学校	30名			
		09月13日(火)	札幌市立桑園小学校	24名			
		09月15日(木)	室蘭市立旭ヶ丘小学校	9名			
		10月19日(水)	新冠町立新冠中学校	6名			

⑧その他の連携・協力事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
いけばな小原流 北海道地区合同青年部作品展	「きらきら ～風を奏でる～」	①08月06日(土) ②08月07日(日) 各日10時～17時30分	前庭	主催／一般社団法人 小原流札幌支部	94	①53 ②41
第11回札幌国際短編映画祭 特別上映会	札幌国際短編映画祭終了後、当館講堂において、グランプリをはじめとする受賞作の特別上映会を実施した。	①11月03日(木・祝) ②11月04日(金) 各日11時～、13時～、15時～	講堂	主催／札幌国際短編映画祭 実行委員会	177	①131 ② 46

⑨貸館事業

事業名ほか	タイトル・内容ほか	日時	会場	講師名ほか	人数	内訳ほか
日本陶磁協会 講演会 (主催：日本陶磁協会)	「茶の湯の造形 桃山と現代」	07月17日(日) 14時～16時	講堂	講師／林屋晴三氏(日本陶磁協会副理事長)	96	
ゴジラ展 特撮映画のヴィジョンとデザイン 平成28年09月09日(金)～10月23日(日) (主催：北海道新聞社ほか)	三池敏夫氏 講演会	①09月10日(土) 14時～(約90分) ②09月11日(日) 10時30分～(約60分)	講堂	講師／三池敏夫氏(特撮美術デザイナー)	339	①191 ②148
	ギャラリー・ツアー	①09月17日(土) ②10月01日(土) ③10月15日(土) 各日15時～(約40分)	展示室B	①②講師／中村聖司(三岸好太郎美術館副館長) ③講師／久米淳之(当館展示・作品課長)、 中村聖司(三岸好太郎美術館副館長)	189	①72 ②54 ③63
	佐野史郎氏トークショー【募集制プログラム】	10月08日(土) 14時～(約2時間)	講堂	お話／佐野史郎氏(俳優) 聞き手／中村聖司(三岸好太郎美術館副館長)	184	
祝祭・モーツァルトin北海道2016 (主催：北海道モーツァルト協会)	海老澤敏モーツァルト レクチャーvol. 13 「生誕260年・モーツァルトを語る」	11月06日(日) 14時～16時15分	講堂	第1部 講演 講師／海老澤敏氏(尚美学園大学大学院名誉教授) 第2部 ミサ曲 ハ長調「雀ミサ」K.220 解説／海老澤敏氏、合唱／札幌アマデウス合唱団、 指揮／塚田康弘氏、オルガン／森希美氏	129	

建築作品発表会 (主催:日本建築学会北海道支部)	第36回北海道建築作品発表会	11月25日(金) 11時～16時30分	講堂	日本建築学会北海道支部会員および公募者による発表	300
韓国語弁論大会 (主催:札幌韓国教育院)	第18回北海道韓国語弁論大会	11月26日(土) 10時～16時	講堂	韓国語による弁論大会およびサムルノリ(韓国伝統楽器による合奏)	200
平田オリザ講演会と文化シンポジウム (主催:ACF札幌芸術・文化フォーラム、札幌市芸術文化財団、札幌市民交流プラザ開設準備室)	平田オリザ基調講演 「新しい広場をつくる～市民芸術概論～」 シンポジウム 「札幌市民交流プラザを市民が活用していくために」	12月03日(土) 13時～16時30分	講堂	パネラー／平田オリザ氏 漆崇博氏(AISプランニング代表) 宏瀬賢二氏(北海道ダンスプロジェクト会長) 山田修一氏(札幌文化芸術交流センター事業課長) コーディネーター／中島洋氏(シアターキノ代表)	124
嵯峨御流「いけばな公開講座」 (主催:嵯峨御流北海道地区連絡協議会 北海道司所・北海道雅友司所)	華やかな平安文化の薫りをいける～大切にしたい北海道の風景～ (いけばなデモンストレーションと自然環境・景観に関するレクチャー)	02月26日(日) 13時～15時30分	講堂	講師／辻井ミカ氏(嵯峨御流華道総司所事務局長) 真坂昭夫氏(北海道大学特任教授)	223
北海道美術館学芸員研究協議会	第25回研究協議会	①03月02日(木) ②03月03日(金)	映像室		132 ①70 ②62
チャリティー朗読会 (主催:チャリティー朗読会「連声」、ドラマチックリーディンググループ「蔵」KURA)	連声 Vol. 7	03月10日(金) 13時～	講堂	朗読／ドラマチックリーディンググループ「さくら」 司会／鈴木瑠以子氏(ドラマチックリーディンググループ「蔵」KURA)	130
奥山順市映画会 フィルム解体新書－奥山順市の実験－ (企画・主催:North Filmmakers Club (NFC))	第1部:上映「映画の解体と組成」～映画のフィルムとは何者だ？ 第2部:トークセッション「表現媒体としての映画フィルム」～作家が発掘するシステムに潜む表現 第3部:ライブ・パフォーマンス「拡張する映画フィルム」～映画のフィルムはどこへ向うのか？	03月26日(日) 11時～16時30分	講堂		151

4 資料・情報関係

1 刊行物

種別	刊行物名	規格 (cm)	頁数	発行
図録	足立美術館 横山大観	25.0×25.0	24	北海道新聞社
図録	北海道・いまを生きるアーティストたち ともにいること ともにあること	29.8×21.1	40	北海道立近代美術館
図録	ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ	25.0×19.2	147	TBSテレビ
図録	ゴジラ展開催記念 GODZILLA-特撮現場	18.3×25.7	96	北海道新聞社
図録	ワンダー☆ミュージアム2017 キャッチ・ザ・カラース 色をつかまえろ！	22.0×19.8	34	北海道立近代美術館

※ポスター等は除いた。

2 特別観覧

	撮影	模写	熟覧	写真原版 の使用	デジタルデータ の使用	その他 (転載等掲載許可)	合計
研究			4			1	5
展示							0
出版	2			25	25	6	58
放送				1			1
上映							0
配信(ネット等)						1	1
合計	2	0	4	26	25	8	65

主な申請先

撮影 / 美術館、テレビ放送、出版社、作家など

写真原版の使用 / 美術館、新聞社、雑誌社など

熟覧 / 研究者、作者遺族など

3 情報資料

1 ウェブサイト

平成 11 年 04 月 01 日 開設

平成 26 年 12 月 20 日 全面リニューアル

構成（リニューアル後）：トップページ、展覧会のご案内、イベントのご案内、コレクションのご案内、施設のご案内、アクセス、開館時間と休館日、団体でのご利用、学校教育活動でのご利用、レストラン、ミュージアム・ショップ、アルテピア（北海道美術館協力会）、事務局からのお知らせ、道近美 twitter、道近美 Facebook、道近美メールマガジン、道立の美術館・芸術館

【アドレス】<http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi>（平成 26 年 12 月 19 日まで）
<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp>（平成 26 年 12 月 20 日より）

平成 28 年度アクセス件数(トップページ)：391,943 件

開設以来のアクセス件数：3,193,765 件

2 収蔵作品データベース

当館では平成 13 年度から収蔵品管理システム I.B.MUSEUM（早稲田システム開発株式会社）により所蔵品データベースの構築を図り、平成 24 年度 4 月からは I.B.MUSEUM SaaS（同社）へ移行して、このシステムにより北海道立美術館・芸術館 6 館の間での共同運用と整備を進めている。

今年度は、追加更新作業として平成 28 年度の新収蔵作品 78 点（油彩 7、日本画 1、工芸 67、デザイン 3）並びに新収蔵資料 1 点（日本画 1）をあらたに登録した。これにより平成 28 年度末までの当館の作品登録件数は、全 5,192 点〔絵画 1,365（油彩 784、日本画 260、水彩・素描 321）、版画 1,742、彫刻 108、工芸 1,695、デザイン 231、写真 51〕となった。

データ項目：所蔵品番号、所蔵館区分、作品分類、作品名、作家名、数量、制作年、技法法・材質、寸法各種、取得年、取得種別、取得先名、取得額、取得時評価額、情報提供者、作品の証明、署名・落款・表書、額装状態、来歴、解説、貸出可否、公開可否、HP 公開可否、初出年、初出展覧会、展覧会場、受賞内容、作品選定の理由、収集の理由、調査結果、作品の状態、作品情報、収集の特色、登録日、更新日など

画像ファイル：1,024×768 ピクセル・JPEG 形式（平成 12 年度までの収蔵作品）、1,280×960 ピクセル・JPEG 形式（平成 13 年度以降の収蔵作品）

3 所蔵作品データ公開

3-1 収蔵作品データベースを活用した公開

上記 2 の I. B. MUSEUM SaaS を活用し、平成 26 年 12 月 20 日のホームページのリニューアルに合わせて、当館を代表するコレクションの一つであるエコール・ド・パリの作家パスキンの全所蔵作品（油彩、水彩・素描、彫刻、版画）223 点 246 データを公開。

3-2 「デジタル街道」における公開

当館では、平成 14 年度より北海道庁のポータルサイト「北海道人」の画像検索システム「デジタル街道」により所蔵作品のデータを公開してきた。しかし「北海道人」の運営が平成 18 年度より NPO 法人 HEART に移管されたことに伴い、画像検索システム「北海道デジタル図鑑」において、あらたに作品名、作家名ほか 6 項目のデータを登録し、18 作家 197 件の作品画像ならびにデータを公開している。

分類項目：カテゴリ（芸術）、大項目（芸術）、中項目（近代美術館）、エリア（【道央】札幌市）

データ項目：札幌市（北海道立近代美術館）、作家名、作品名、制作年、寸法（縦×横 cm）、技法材質

3-3 館内ビデオ・ライブラリーにおける公開

平成 21 年度に ARS に導入した新しいビデオ・ライブラリーにおいて、当館の代表的な作品 70 点の画像・データ・解説を公開した。平成 22 年 09 月 11 日から運用開始。

4 メールマガジン

当館では、平成 16 年度より北海道庁のメール配信システムを利用し、当館の広報誌『カンドーレ』（隔月刊。平成 21 年 07 月から季刊）の内容を登録者へ配信している。今年度も引き続き配信を行った。

名 称：道立近代美術館メールマガジン【カンドーレ web 版】

構 成：近美コレクション、特別展、関連イベント、教育普及事業等、三岸好太郎美術館の展覧会の紹介

発行 周 期：3 ヶ月に 1 度

平成 28 年度発行：第 67 号～70 号、10 月号外

平成 28 年度末現在の登録者数：4,676 名

5 ソーシャルメディア

フェイスブック及びツイッターを活用して、逐次的な情報公開と広報活動に取り組んだ。

フェイスブックへの投稿数：103

平成 28 年度末現在のフェイスブックのいいね数（定期通知者数）：3,473 名

ツイッターへの投稿数 ：103

平成 28 年度末現在のツイッターのフォロワー数（定期通知者数）：6,012 名

5 美術作品の貸し出し

	貸出先	会期	作品	目的（会場）
1	平塚市美術館	平成 28 年 04 月 23 日～ 06 月 19 日	ヴェネツィアの工房 《シャンペングラス》ほか 計 122 点	「開館 25 周年記念 北海道立近代美術館所蔵名品展 華麗なるガラス工芸の世界ーヴェネチアから現代まで」展のため（平塚市美術館）
2	刈谷市美術館、佐野美術館、神戸市立小磯記念美術館、都城市立美術館	平成 28 年 04 月 23 日～ 11 月 27 日	和田英作《田子の富士》ほか 計 2 点	「日本近代洋画の巨匠 和田英作展」のため （刈谷市美術館、佐野美術館、神戸市立小磯記念美術館、都城市立美術館）
3	苫小牧市美術博物館	平成 28 年 04 月 28 日～ 06 月 26 日	砂田友治《北海の男たち》ほか 計 3 点	「生誕 100 年記念 砂田友治展」のため （苫小牧市美術博物館）
4	神田日勝記念美術館	平成 28 年 05 月 10 日～ 07 月 03 日	神田日勝《一人》ほか 計 12 点	「神田日勝と北海道の独立美術」展のため （神田日勝記念美術館）
5	北海道陶芸協会	平成 28 年 06 月 25 日～ 07 月 31 日	畠山三代喜《春告譜》 計 1 点	「公募展北海道陶芸展 第 45 回記念展ー北海道陶芸展の変遷」展のため （札幌芸術の森工芸館、デザインギャラリー[旭川]）
6	札幌駅総合開発株式会社	平成 28 年 07 月 02 日～ 07 月 24 日	栗谷川健一《北海道へ》ほか 計 5 点	「北海道新幹線開業記念 JR タワー・アートブラネッツ 2016「夢・つなぐ風景」」展のため（プラニスホール）
7	木田金次郎美術館	平成 28 年 07 月 07 日～ 11 月 06 日	木田金次郎《夏日風景》ほか 計 7 点	「木田金次郎の《肖像》」展のため （木田金次郎美術館）
8	北海道本庁舎内知事室等	平成 28 年 07 月 09 日～ 平成 29 年 07 月 09 日	今田敬一《風景》ほか 計 6 点	知事室および知事公館で展示するため
9	北海道立三岸好太郎美術館	平成 28 年 09 月 03 日～ 10 月 19 日	俣野第四郎《大連市郊外》ほか 計 7 点	「三岸交響楽ー（オーケストラ）をめぐる人びと」展のため （北海道立三岸好太郎美術館）
10	滝川市美術自然史館	平成 28 年 09 月 10 日～ 10 月 23 日	岩橋英遠《憂北の人》ほか 計 7 点	「幕末の蝦夷探査 日本画家・岩橋英遠 松浦武四郎を描く」展のため（滝川市美術自然史館）
11	鳥取県立博物館、埼玉県立近代美術館、高知県立美術館	平成 28 年 10 月 01 日～ 03 月 26 日	小谷博貞《汚れた人》ほか 計 8 点	「日本におけるキュビスムーピカソ・インパクト」展のため （鳥取県立博物館、埼玉県立近代美術館、高知県立美術館）
12	富山市ガラス美術館	平成 28 年 10 月 15 日～ 平成 29 年 02 月 05 日	スタニスラフ・リベンスキー、 ヤロスロヴァ・プリフトヴァ《接触》ほか 計 3 点	「スタニスラフ・リベンスキー ヤロスロヴァ・プリフトヴァ」展のため （富山市ガラス美術館）
13	北海道立旭川美術館	平成 28 年 10 月 27 日～ 12 月 18 日	片岡球子《枇杷》ほか 計 24 点	「球子のひみつー本画とスケッチで探る片岡球子の画業」展のため（北海道立旭川美術館）
14	フィンランド国立アテネウム美術館	平成 28 年 10 月 28 日～ 平成 29 年 02 月 05 日	アメデオ・モディリアーニ《フジタの肖像》 計 1 点	「Modigliani. A retrospective」展のため （アテネウム美術館）
15	北海道立釧路芸術館	平成 28 年 11 月 18 日～ 平成 29 年 02 月 05 日	モーリス・ユトリロ 《モンレージュの通り（セーヌ）》ほか 計 106 点	「画家たちの夢、パリ 北海道立近代美術館のコレクションより」展のため （北海道立釧路芸術館）
16	尾道市立美術館	平成 28 年 11 月 19 日～ 平成 29 年 01 月 16 日	神田日勝《人》ほか 計 9 点	「北海道の大地から 神田日勝」展のため （尾道市立美術館）
17	札幌芸術の森美術館	平成 29 年 01 月 28 日～ 03 月 26 日	柿崎熙《林縁から》 計 1 点	「札幌美術展 柿崎熙 ー森の奥底ー」展のため （札幌芸術の森美術館）

6 観覧者数一覧等、その他

1 事業日誌

4月1日～6月23日	近美コレクション（展示室A） 「新収蔵品展」「女性たちのエコール・ド・パリ」「ふれるかたち」 「春の名品選ーガレ《鯉文花器》他」、「この1点を見てほしい。」
4月2日～5月15日	特別展「足立美術館所蔵 横山大観展」（展示室B）
4月2日	横山大観展 講演会（講堂） 「足立美術館と横山大観コレクション」 講師／安部則男氏（足立美術館学芸部長）
4月16日、23日、5月21日、28日 6月4日、18日	近美コレクション ギャラリー・トーク（展示室A） 4月16日、23日 講師／大下智一（当館主任学芸員） 5月21日、28日 講師／佐藤由美加（当館主任学芸員） 6月4日、18日 講師／鎌田亨（当館普及情報課長）
4月9日、5月14日、6月11日	近美コレクション 子ども鑑賞ツアー（展示室A） 対象：小中学生 4月9日、5月14日 講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員） 6月11日 講師／松山聖央（当館学芸員）
4月9日	横山大観展 お茶席（2階ロビー） 有料 一般社団法人 茶道裏千家淡交会 札幌第二支部
4月14日、20日	横山大観展 タイアップ企画「美と食を愉しむランチ&トーク」 事前予約制 各回30名 有料 （ホテルオークラ札幌、北海道立近代美術館） 4月14日 講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員） 4月20日 講師／鎌田亨（当館普及情報課長）
4月16日、23日、30日 5月7日	横山大観展 学芸員による見どころ解説（講堂） 4月16日、5月7日 講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員） 4月23日、30日 講師／鎌田亨（当館普及情報課長）
5月25日～6月23日	特別展「ともにいること ともにあること 北海道・いまを生きるアーティストたち展」 （展示室B）
5月25日、28日、 6月4日、11日、18日	ともにいること ともにあること展 アーティスト・トーク（展示室B） 5月25日 講師／佐藤史恵氏（本展出品作家） 5月28日 講師／国松希根太氏（本展出品作家） 講師／鈴木悠哉氏（本展出品作家） 6月4日 講師／経塚真代氏（本展出品作家） 講師／高野理栄子氏（本展出品作家） 6月11日 講師／今村育子氏（本展出品作家） 講師／山田良氏（本展出品作家） 6月18日 講師／紅露はるか氏（本展出品作家） 講師／斉藤幹男氏（本展出品作家）

5月29日	ともにいること ともにあること展コンサート（1階ホール） 「ともにある音と形『初夏に薫る名曲選』」 出演／アンサンブル・レジーナ （池上依氏、川本咲氏、高崎博氏、川本彰子氏、山口玲子氏）
6月4日	ともにいること ともにあること展 ワークショップ（展示室B） 山田良作品《海拔ゼロメートル／石狩低地帯》ワークショップ 「海拔ゼロメートルを歩く」 講師／山田良氏（本展出品作家、札幌市立大学大学院・准教授） ※事前募集制
7月2日～11月8日	近美コレクション（展示室A）（※9月4日まで前期 一部展示替9月9日～後期） 「北海道美術紀行」「夏から秋の名品選—小森忍《雪結晶文花瓶》他」 「この1点を見てほしい。」
7月2日～8月28日	特別展（展示室B） 「ポーラ美術館コレクション モネからピカソ、シャガールへ」
7月2日	ポーラ美術館展 特別講演会（講堂） 「光彩の画家・陰翳の画家—1900年前後のフランス美術」 講師／木島俊介氏（ポーラ美術館館長、本展監修者）
7月9日、8月6日	ポーラ美術館展 学芸員による見どころ解説（講堂） 7月9日 講師／門間仁史（当館学芸員） 8月6日 講師／佐藤由美加（当館主任学芸員）
7月7日、13日、8月2日	ポーラ美術館展 タイアップ企画 「美と食を愉しむランチ&トーク」 事前予約制 各回30名限定 有料 （ホテル・オークラ札幌） 7月7日、8月2日 講師／佐藤由美加（当館主任学芸員） 7月13日 講師／門間仁史（当館学芸員）
7月6日、7日、8日	近代美術館・三岸美術館・知事公館ぐるっと三館鑑賞ツアー
7月16日、23日、30日、 8月20日、27日、9月3日 10月15日、22日、29日、11月5日	近美コレクション ギャラリー・トーク（展示室A） 7月16日、30日、8月27日 講師／寺地亜衣（当館学芸員） 9月3日、10月15日、11月5日 講師／松山聖央（当館学芸員） 7月23日、8月20日 講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員） 10月22日、29日 講師／森本陽香（当館学芸員）
7月9日、8月13日、9月10日 10月8日	近美コレクション 子ども鑑賞ツアー（展示室A） 7月9日、10月8日 講師／門間仁史（当館学芸員） 8月13日、9月10日 講師／松山聖央（当館学芸員）
7月22日	カルチャーナイト2016（1階ホール） カルチャーナイト2016★コンサート「光と影の煌き～チェンバロの美しき世界」 出演／明楽みゆき氏（チェンバロ奏者）
7月23日	ポーラ美術館展 ワークショップ（造形室） 「気分は巨匠！油絵体験講座」 講師／小林麻美氏（画家） ※事前募集制

8月3日、4日	夏休みワークショップ2016「特報！キンピ新聞」（造形室他） 講師／森田一志氏（北海道新聞社岩見沢総局次長） ※事前募集制
8月4日	ミュージアム・コンサート「PMF 近代美術館コンサート」 若手音楽家を育てる国際音楽祭 Pacific Music Festival 2016 出演／PMFヴォーカル・アカデミー
9月9日～10月23日	特別展「ゴジラ展 特撮映画のヴィジョンとデザイン」（展示室B）
9月10日、11日	ゴジラ展 講演会（講堂） 三池敏夫氏講演会「特撮映画の現場」 講師／三池敏夫氏（特撮美術デザイナー）
9月17日、10月1日、15日	ゴジラ展 ギャラリー・ツアー（展示室B） 9月17日 ツアーガイド／中村聖司氏（北海道立三岸好太郎美術館副館長） 10月1日 ツアーガイド／中村聖司氏（北海道立三岸好太郎美術館副館長） 10月15日 ツアーガイド／中村聖司氏（北海道立三岸好太郎美術館副館長） 久米淳之 （当館展示・作品課長）
9月17日～19日	近美コレクション「北海道美術紀行」関連事業 映画上映会（講堂） 9月17日 ①狙った恋の落とし方。 ②愛の予感 9月18日 ①愛の予感 ②狙った恋の落とし方。 9月19日 ①壁男 ②壁男
10月8日	ゴジラ展 佐野史郎氏トーク・ショー（講堂） お 話／佐野史郎氏（俳優） 聞き手／中村聖司（北海道立三岸好太郎美術館副館長）
10月29日～11月8日	貸館 「北海道現代具象展実行委員会」（展示室B）
11月1日～7日	芸術週間
11月1日～5日	芸術週間イベント 《道産子追憶之巻》へのオマージュ（展示室A） 出演／DJENP（ジャンピ） （茂呂剛伸氏（縄文太鼓）、福田ハジメ氏（ピアノ）の音楽デュオ）
11月6日	祝祭・モーツァルト in 北海道2016 海老澤敏 モーツァルト レクチャーVol.13「生誕260年・モーツァルトを語る」 第一部 講演：海老澤敏氏 第二部 ミサ曲ハ長調「雀ミサ」K.220 解説：海老澤敏氏 演奏：札幌アマデウス合唱団 Cond：塚田康弘氏 Org：森希美氏
11月23日～4月9日	近美コレクション（展示室A） 「ワタ☆ミュージアム2017 キャッチ・ザ・カラーズ 色をつかまえろ！」 「冬から春の名品選—デューラーとレンブラントの版画他」 「この1点を見てほしい。」
11月23日～12月18日	特別展「浮世絵師・歌川国貞展」（展示室B）

11月23日	道銀文化財団 Art Ensemble #6 ～Concert～ 北海道立近代美術館コンサート 「～華麗なる英国の世界～」 演奏／高橋良輔氏（クラリネット） 佐久間有里氏（ピアノ）
12月10日、17日、1月21日、28日 2月4日、3月18日、25日	近美コレクション ギャラリー・トーク（展示室A） 12月10日、1月28日、3月18日 講師／門間仁史（当館学芸員） 12月17日、1月21日 講師／蘭部容子（当館学芸員） 2月4日、3月25日 講師／寺地亜衣（当館学芸員）
11月26日、12月10日、17日、 1月14日、21日、2月18日、 3月11日、18日	近美コレクション 子ども鑑賞ツアー（展示室A） 11月26日、2月18日、3月18日 講師／森本陽香（当館学芸員） 12月10日、1月14日、3月11日 講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員） 12月17日、1月21日 講師／蘭部容子（当館学芸員）
11月26日	浮世絵師・歌川国貞展 ギャラリー・トーク（展示室B） 「三代豊国が描く、風流江戸美人」 講師／齊藤千鶴子（当館主任学芸員）
12月3日	浮世絵師・歌川国貞展 ギャラリー・ツアー（展示室B） 講師／寺地亜衣（当館学芸員）
12月3日	貸館 「平田オリザ講演会と文化シンポジウム」（講堂） 「新しい広場をつくろう～札幌市民交流プラザ開設に向けて～」 第一部 平田オリザ基調講演「新しい広場をつくる～市民芸術概論」 第二部 シンポジウム「札幌市民交流プラザを市民が活用していくために」 パネラー 平田オリザ氏（劇作家、演出家） 宏瀬賢二氏（北海道ダンスプロジェクト会長） 漆崇博氏（AISプランニング代表） 山田修一氏（札幌文化芸術交流センター事業課長） コーディネーター 中島洋氏（シアターキノ代表）
12月23日、24日	ワタナベ☆ミュージアム2017 ワークショップ（造形室） 「色を集めて冬小物をデザイン」※事前募集制 各日30名 対象：小学生 講師／松本宏美氏、出口しづか氏（まほうの絵ふで講師）
12月27日～（予定）	ワタナベ☆ミュージアム2017 学校連携事業 「ぬって けずって 自分色！」 （札幌市立円山小学校3年生が井上まさじ氏と一緒に制作） 「何が見える？何を感じる？版画作品の解説に挑戦！」 （札幌市立八軒中学校3年生が作品解説作成に挑戦）
1月4日～3月20日	特別展 「片岡球子展」（展示室B）
1月4日～8日	片岡球子展 新春！球子みくじ（展示室B入口） 各日先着20名
1月7日、2月18日	片岡球子展 見どころトーク（講堂） 1月7日 講師／松山聖央（当館学芸員） 2月18日 講師／門間仁史（当館学芸員）
1月14日	片岡球子展 大人のワークショップ（展示室B、造形室） 「球子になりきり！〈面構〉スケッチ」※事前募集制 20名

1月26日、2月9日、23日、 3月9日	片岡球子展 大人の連続ゼミ （展示室B、映像室） 「球子をもっと知りたい人へ！ともに学ぶ、ひみつのひみつ」
1月28日	第5回北海道教育大学岩見沢校・北海道立近代美術館連携コンサート（1階ホール） 「音楽のパレット フルート・ピアノ・オーボエのコンサート」 出演／小板橋沙里氏（ピアノ）、渡邊萌愛氏（オーボエ）、 鷺森由里氏（フルート）、大久保規子氏（ピアノ伴奏）
2月25日	道銀文化財団Art Ensemble#6 ～Concert～ 北海道立近代美術館コンサート 「ヴァイオリンとピアノによる音楽の彩り」 出演／斉藤祐太氏（ヴァイオリン）、浅沼恵輔氏（ピアノ）
2月26日	嵯峨御流「いけばな公開講座」（講堂） 貸館 「華やかな平安文化の薫りをいける～大切にしたい北海道の風景～」 講師／辻井ミカ氏（嵯峨御流華道総支所華務長）、 真坂昭夫氏（北海道大学特任教授）
3月4日	片岡球子展 講演とシンポジウム（講堂） 講演「片岡球子のスケッチー知られざる創造のあゆみ」 土岐美由紀氏（北海道立旭川美術館・学芸課長） シンポジウム「手のあと、思考のあとー絵画制作のプロセスをたどる」
3月10日	チャリティー朗読会（講堂） 貸館 「連声 Vol.7」 宮沢賢治 作 「セロ弾きのゴーシュ」 遠藤美恵子 作 「虹の向こうの未希へ」 金子みすゞ 作 詩「積もった雪」他 朗読／ドラマチック リーディング グループ＜さ・く・ら＞ 司会／鈴木瑠以子氏（ドラマチック リーディング グループ「蔵」KURA）
3月11日、12日	映像ミュージアム2017（講堂） 「ミヤギフトシー境界線のむこうとこちら」 3月11日 ＜オーシャン・ビュー・リゾート＞ アーティスト・トーク 3月12日 ＜オーシャン・ビュー・リゾート＞ ＜花の名前＞ ＜ロマン派の音楽＞
3月26日	奥山順市映画会（講堂） 「フィルム解体新書ー奥山順市の実験ー」 第1部：上映「映画の解体と組成」～映画のフィルムとは何者だ？ 第2部：トークセッション「表現媒体としての映画フィルム」 ～作家が発掘するシステムに潜む表現 第3部：ライブ・パフォーマンス「拡張する映画フィルム」 ～映画のフィルムはどこへ向うのか？ （企画・主催：North Filmmakers Club(NFC)）

2 名簿・委員

北海道立近代美術館協議会委員名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

氏名	職名
一 原 寿 寛	ホリゾンアーキテクツ 代表・建築士（公募委員）
伊 藤 隆 介	北海道教育大学岩見沢校教授
○ 宇佐美 暢 子	（株）エフエム北海道 代表取締役
尾 崎 基	北海道中学校長会 経営副部長（札幌市立光陽中学校長）
川 上 大 雅	札幌北商標法律事務所 代表・弁護士（公募委員）
國 松 明日香	彫刻家
小 沼 肇 子	生活設計アドバイザー小沼肇子事務所 代表
向 坂 陽 子	三岸好太郎氏 長女
◎ 佐々木 亮 子	（有）アールズセミナー 代表取締役
柴 田 美 幸	フリーライター
竹 谷 英 一	（社）北海道観光振興機構 専務理事
田 中 禅	北海道高等学校長協会 理事（北海道札幌東陵高等学校長）
谷 山 圭 子	北海道教育大学札幌校 教育実践コーディネーター
町 田 佳世子	札幌市立大学デザイン学部 教授
宮 崎 誠	（株）ホテルオークラ札幌 代表取締役社長

※任期 平成 27 年 6 月 1 日から平成 29 年 5 月 31 日まで ◎会長 ○副会長（敬称略）

収蔵作品選定評価協議会委員名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

氏名	職名
有 川 幾 夫	宮城県美術館長
◎ 奥 岡 茂 雄	前 札幌芸術の森美術館長
北 村 清 彦	北海道大学大学院 文学研究科・文学部教授
○ 國 松 明日香	彫刻家
酒 井 忠 康	世田谷美術館長

※任期 平成 27 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日まで ◎会長 ○副会長（敬称略）

3 名簿・職員

北海道立近代美術館職員名簿（平成29年3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日	前 職 等
館 長 (非)	嵐 田 昇	H27.7.1	
副 館 長	高 塚 信 之	H27.4.1	
学 芸 副 館 長	佐 藤 幸 宏	H28.4.1	近代美術館学芸部長
総務企画部長	川 田 敦 彦	H27.6.1	
学 芸 部 長	地 家 光 二	H28.4.1	三岸好太郎美術館副館長
総務企画課長	杉 島 美 穂	H27.6.1	
主 査 (総括)	高 川 志 野	H27.6.1	
主 査	戸ノ崎 憲 嗣	H27.6.1	
主 任	小 林 豊 喜	H23.4.1	
主 任	米 田 理 恵 子	H25.4.1	
主 任	増 田 仁	H25.4.1	
主 任 事 務 (非)	佐々木 七 瀬	H28.4.1	
主 任 事 務 (非)	石戸谷 光 江	S64.1.5	
〃	森 谷 玲 子	H3.4.1	
〃	三 浦 彰 子	H7.4.1	
〃	沼 沢 千 佳 子	H7.4.1	
〃	佐々木 絵 梨 子	H14.4.1	
〃	黒 川 亜 紀	H13.8.1	
〃	中 川 真 理 子	H16.4.1	
〃	山 下 深 雪	H21.4.1	
〃	佐々木 青	H21.4.1	
〃	加 藤 み ゆ き	H21.4.1	
〃	大 場 良 子	S53.7.1	
〃	有 田 美 恵 子	H9.4.1	
展示・作品課長	久 米 淳 之	H28.4.1	函館美術館学芸課長
主 任 学 芸 員	大 下 智 一	H28.4.1	函館美術館主任学芸員
〃	穂 積 利 明	H21.11.1	
学 芸 員	藺 部 容 子	H24.4.1	
〃	寺 地 亜 衣	H26.4.1	
〃	森 本 陽 香	H25.4.1	
普及情報課長	鎌 田 享	H26.4.1	
主 任 学 芸 員	佐 藤 由 美 加	H26.4.1	
〃	齊 藤 千 鶴 子	H27.4.1	
学 芸 員	門 間 仁 史	H28.4.1	
〃	松 山 聖 央	H23.6.1	

※（非）は非常勤であることを示す。

発令年月日：職名の発令年月日

4 沿革

昭和46年07月	新北海道立美術館建設調査費計上
昭和46年10月	新北海道立美術館建設調査委員会、道外の美術館を調査
昭和46年12月	新北海道立美術館建設調査委員より、建設に対する意見と道外美術館調査報告を北海道教育委員会に提出
昭和47年03月	新北海道立美術館建設敷地、北1条西17丁目に決定
昭和47年03月	新北海道立美術館建設調査設計費計上
昭和47年07月	新美術館建設協議会発足
昭和48年01月	北海道教育庁内に新美術館建設準備室を設置
昭和48年02月	基本設計終了
昭和48年10月	実施設計終了
昭和49年08月	新美術館建設工事起工式
昭和52年03月	北海道立美術館条例一部改正、 新美術館の名称を「北海道立近代美術館」と決定
昭和52年04月	条例制定（常設展観覧料）
昭和52年06月	北海道立近代美術館建設工事完成
昭和52年06月	北海道立近代美術館職員の発令組織発足 北海道立近代美術館長（兼務）一気境公男教育長
昭和52年07月	北海道立近代美術館落成・開館記念式、一般公開
昭和52年10月	北海道立近代美術館長（兼務）一中川利若教育長
昭和53年04月	北海道立近代美術館長一倉田公裕
昭和55年04月	条例一部改正（常設展観覧料）
昭和55年06月	観覧者数100万人
昭和58年04月	機構改正（学芸部課名変更・主任学芸員新設）
昭和59年04月	条例一部改正（常設展観覧料）
昭和59年08月	観覧者数200万人
昭和61年07月	北海道立近代美術館長（兼務）一植村 敏教育長
昭和62年03月	第2収蔵庫工事完成
昭和62年05月	北海道立近代美術館長（兼務）一澤 宣彦教育長
昭和62年07月	北海道立近代美術館長一佐藤雅彦
昭和62年08月	開館10周年記念式
昭和62年12月	観覧者数300万人
昭和63年05月	北海道立近代美術館長一井関正昭

平成02年04月 機構改正（参事新設）
 平成06年04月 北海道立近代美術館長（兼務）－阿部 茂教育長
 平成07年06月 北海道立近代美術館長－阿部 茂
 機構改正（学芸副館長新設）
 平成07年08月 観覧者数500万人
 平成08年04月 条例一部改正（常設展観覧料）
 平成09年04月 北海道立近代美術館長（兼務）－南原一晴教育長
 平成09年07月 開館20周年記念式
 平成11年04月 北海道立近代美術館長（兼務）－鎌田昌市教育長
 平成11年05月 観覧者数600万人
 平成11年07月 北海道立近代美術館長－水上武夫
 平成12年04月 条例一部改正（常設展観覧料）
 平成14年07月 観覧者数700万人
 平成16年04月 機構改正（学芸第三課新設）条例一部改正（常設展観覧料）
 平成17年07月 観覧者数800万人
 平成18年07月 北海道立近代美術館長－相馬秋夫
 平成19年10月 開館30周年記念式
 平成20年04月 条例一部改正（常設展観覧料）
 平成21年04月 観覧者数900万人
 平成23年04月 条例一部改正（三岸好太郎美術館を分館として設置・常設展共通観覧料新設）
 平成24年04月 条例一部改正（年間観覧料追加）
 平成25年04月 北海道立近代美術館長－高橋教一
 平成25年07月 観覧者数1,000万人
 平成26年04月 機構改正（総務企画部2課を1課に統合、学芸部3課を2課に再編）
 条例一部改正（常設展観覧料）
 平成27年04月 北海道立近代美術館長（兼務）－立川 宏教育長
 平成27年06月 北海道立近代美術館長（兼務）－山本広海教育部長
 平成27年07月 北海道立近代美術館長－嵐田 昇
 平成28年04月 条例一部改正（使用料）

5 平成28年度観覧者数一覧

展示区分	展覧会区分	会期	開催日数	観覧者総数	一日当	有 料													無 料		
					観覧者	個 人			小計（C）	団 体			小計（D）	共 通 券 等			小計（E）	合計（C+D+E）	免除者	招待者	合計（F）
					（B/A）	a一般	b高大生	c小中生	（C/B）%	a一般	b高大生	c小中生	（D/B）%	a一般	b高大生	c小中生	（ E /B）%	（（C+D+E）/B）%			（F/B）%
常設展	新収蔵品展	3/31（木） ～ 6/23（木）	72	14,905	207	1,908	91	-	1,999	245	391	-	636	3,278	177	-	3,455	6,090	8,034	781	8,815
	女性たちのエコール・ド・パリ																				
	ふれるかたち																				
	春の名品選 ーガレ《鯉文花器》他	7/2（土） ～ 11/8（火）	109	18,309	168	1,727	244	-	1,971	377	200	-	577	2,791	247	-	3,038	5,586	12,056	667	12,723
	北海道美術紀行																				
	春から秋の名品選 ー小森忍《雪結晶文花瓶》他	11/23（水） ～ 4/9（日）	106	8,763	83	1,418	203	-	1,621	206	149	-	355	1,955	226	-	2,181	4,157	4,242	364	4,606
	ワンダー☆ミュージアム2017																				
	冬から春の名品選 ーデューラーとレンブラントの版画他	計	287	41,977	146	5,053	538	-	5,591	828	740	-	1,568	8,024	650	-	8,674	15,833	24,332	1,812	26,144
特別展	横山大観展	4/2（土） ～ 5/15（日）	38	59,253	1,559	44,216	1,035	324	45,575	743	173	166	1,082	2,625	116	-	2,741	49,398	5,669	4,186	9,855
	ともにいること ともにあること	5/25（水） ～ 6/23（木）	26	3,276	126	995	75	40	1,110	75	166	-	241	545	54	-	599	1,950	625	701	1,326
	ポーラ美術館コレクション	7/ 2（土） ～ 8/28（日）	50	73,415	1,468	51,909	2,587	1,558	56,054	1,171	1,164	657	2,992	2,079	178	-	2,257	61,303	7,863	4,249	12,112
	浮世絵師・歌川国貞展	11/23（水） ～ 12/18（日）	23	3,379	147	1,736	54	-	1,790	81	10	-	91	613	54	-	667	2,548	566	265	831
	片岡球子 本画とスケッチで探る画業のひみつ	1/4（水） ～ 3/20（月）	66	9,023	137	4,368	111	220	4,699	189	144	2	335	1,280	165	-	1,445	6,479	1,356	1,188	2,544
	計		203	148,346	731	103,224	3,862	2,142	109,228	2,259	1,657	825	4,741	7,142	567	0	7,709	121,678	16,079	10,589	26,668
貸 館			49	33,102	676	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23,693	-	-	9,409
合 計			539	223,425	415	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	161,204	-	-	62,221
																		72.2%			27.8%

展覧会関連事業 1

特 別 展 関 連 事 業																						
展覧会名			横山大観展			北海道・いまを生きるアーティストたち展			ポーラ美術館展			ゴジラ展			歌川国貞展			片岡球子展				
内容	特別講演会	お茶会	学芸員による 見どころ解説	ランチ&トーク	アーティスト・ トーク	ワークショップ	コンサート	特別講演会	見どころ解説	ランチ&トーク	コンサート	ワーク ショップ	講演会	ギャラリー・ ツアー	トークショー	ギャラリー・ トーク	ギャラリー・ ツアー	新春！ 球子みく じ	見どころ トーク	講演と シンポジウム 講演	大人の ワークショッ プ	大人の 連続ゼミ
会場	講堂	ロビー	講堂	ホテル オークラ 札幌	展示室B	展示室B	1階ホール	講堂	講堂	ホテルオークラ 札幌	1階ホール	造形室	講堂	展示室B	講堂	展示室B	展示室B	展示室B	講堂	講堂	展示室B 造形室	展示室B 映像室
開催日	4/2	4/9	4/16.23.30 5/7	4/14.20	5/25.28 6/4.11.18	6/4	5/29	7/2	7/9.8/6	7/7.13 8/2	7/22	7/23	9/10	9/17 10/1.15	10/8	11/26	12/3	1/4～8	1/7 2/18	3/4	1/14	1/26 2/9.23.3/9
利用者数	197	104	544	68	253	11	134	178	305	80	404	19	191	189	184	31	20	100	53	181	111	19
小計	3,387																					

展覧会関連事業 2

常 設 展 関 連 事 業						
展覧会名	北海道 美術紀行		ワンダー☆ミュージアム2017			
内容	映画 上映会	コンサート	ミニ・ アトリエ	ワークショップ	子ども 鑑賞ツアー	学校連携 円山小学校 八軒中学校
会場	講堂	展示室A	2階ロビー	造形室	展示室A	展示室A
開催日	9/17.18.19	11/1～11/5	11/23～4/9	12/23.24	11/26.12/17.1/21 2/18.3/18	展示：12/27～4/9
利用者数	331	263	2,225	44	22	164
小計	3,204					

学校連携事業

内容	出張アート教室
開催日	10/6.7.18.26. 11/8.15
利用者数	303
小計	303

ミュージアム・コンサート
(特別展関連は除く)

会場	ホール
開催日	8/4.11/23. 1/28.2/25
利用者数	1,173
小計	1,173

夏のワークショップ

内容	「特報！ キンビ新聞」
開催日	8/3.4
利用者数	24
小計	24

解説等

事業名	ギャラリー・ツアー	ギャラリー・トーク	質問コーナー	ビデオ・ライブラリー	自主研修など	オリエンテーション	ぐるっと三館鑑賞ツアー	子ども鑑賞ツアー		
会場	常設展示室	常設展示室	ARS (ホール奥)			講堂・映像室	近代美術館・三岸美術館・知事公館	常設展示室		
開催日	火～金曜日:1日3回 土・日曜:1日1回	会期中土曜日	祝日を除く毎日			利用者の希望する日	利用団体の希望する日	7/6.7.8	会期中第二土曜日	
利用者数	個人利用	団体利用	ARS利用者	質問件数		利用件数	利用者数			
	1,368	473			238	18	199	2,110	51	58
	1,841		10,954	734						
小計						15,626				

移動美術館 (関連事業を含む)

内容	近代美術館・三岸美術館 コレクション「北海道美術の精華」	
会場	網走市	美唄市
会期	9/30～10/5 (10/3を除く)	10/8～10/12
利用者数	1,111	550
小計	1,661	

映画会等

事業名	映像ミュージアム
内容	「ミヤギフトシー 境界線のむこうこちら」
会場	講堂
開催日	3/11.12
利用者数	121

オリエンテーション、自主研修

	団体数	人 数
小学校	4 (1)	290 (24)
中学校	19 (17)	498 (175)
高等学校	2	74
大学 (含短大)	2	29
各種学校	5	145
PTA	0	0
職員研修	0	0
文化団体	5	107
その他	34	967
利用者数	70 (18)	2,110 (199)

小計

事 業 名	利用者数	総 数
展覧会関連事業	6,591	
夏のワークショップ	24	
移動美術館	1,661	
ミュージアム・コンサート	1,173	
学校連携事業	303	25,261
映像ミュージアム	121	
解説等	ギャラリー・ツアー	1,841
	ギャラリー・トーク	175
	ARS利用者	10,954
	ぐるっと三館鑑賞ツアー	51
	子ども鑑賞ツアー	58
オリエンテーション、自主研修		2,309
テレフォンサービス 利用者数		ホームページ アクセス数
353		391,943

平成28年度
北海道立三岸好太郎美術館年報

(目次)

	ページ
1 平成28年度事業一覧	1
2 平成28年度展覧会開催状況	2
3 平成28年度展覧会別観覧者数	3
4 平成28年度曜日別・祝日別観覧者数	4
5 小・中・高・大学生が占める観覧者割合	5
6 平成28年度学校関係利用状況（展覧会観覧）	6
7 平成28年度教育普及活動等	7～10
8 作品収集状況	11

1 平成28年度事業一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
祝日開館	29(金)	3(火)～5(木)		18(月)	11(木)	19(月)、22(木)	10(月)	3(木)、23(水)	23(金)	9(月)	11(土)	20(月)
月曜日以外の 休館日	1(金)～7(木)		16(木)～22(水)	19(火)	23(火)～31(水)	1(木)、2(金)、 20(火)	11(火)、 20(木)～30(日)		29(木)～31(土)	1(日)～3(火)、 10(火)、 20(金)～27(金)		21(火)、 24(金)～31(金)

展覧会	所蔵品展第1期 詩情の花束 4/8(金)～6/15(水)	所蔵品展第2期 昭和七年・札幌 好太郎がいた日々 6/23(木)～8/21(日)	特別展 三岸交響楽 〈オーケストラ〉をめぐる人びと 9/3(土)～10/19(水)	所蔵品展第3期 マ〜ルとたんけん！ ちいさなびじゅつかん 11/1(火)～1/19(木)	所蔵品展第4期 その名はミギシ 奔放なる天才 1/28(土)～3/23(木)
-----	---	---	---	--	--

《所蔵品展観覧料》

一般510円(団体420円)、高校・大学生250円(団体170円)

近代美術館「近美コレクション」との共通観覧券 一般820円(団体660円)、高校・大学生410円(団体270円)

*65歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方などは無料

*高校生は、土曜日、こどもの日、文化の日ならびに学校の活動で利用する場合は無料

《特別展観覧料》

一般610円(前売・団体460円)

高校・大学生360円(前売・団体250円)

小中学生250円(前売・団体200円)

*リピーター料金なども別途設定

イベント	4/23(土) オリジナル・スイーツ・デー 5/14(土) ミニ・リサイタル(202回) 6/11(土) ミニ・リサイタル(203回)	6/28(火)～30(木) アニヴァーサリー・ギャラリー・ツアー 7/1(金) 開館記念日(観覧無料) 美術館コンサート(81回) 7/2(土) アニヴァーサリー・セミナー 7/7(水)、8(木)、9(金) ぐるっと三館鑑賞ツアー 7/22(金) オリジナル・スイーツ・デー カルチャーナイト ミニ・リサイタル(204回) 7/24(日)～8/21(日) たんけん美術館 7/28(木)、29(金) とっておきワークショップ 8/19(金) なつのミニ・コンサート	9/3(土) 美術講演会 9/10(土) 美術館コンサート(82回) 9/17(土) 学芸員による特別展解説 9/24(土) ミニ・リサイタル(205回) 10/1(土) 土曜セミナー 10/8(土) 学芸員による特別展解説	11/1(火)～7(月) 芸術週間 11/5(土) ミニ・リサイタル(206回) 11/26(土) 土曜セミナー 12/3(土) マ〜ル記念日 12/10(土) オリジナル・スイーツ・デー 12/17(土) ミニ・リサイタル(207回) 12/23(金)～1/19(木) たんけん美術館 1/4(水)～9(月) 三岸 & マ〜ルおみくじ 1/12(木)、13(金) とっておきワークショップ	1/28(土) ミニ・リサイタル(208回) 2/18(土) ミニ・リサイタル(209回) 2/18(土)、19(日) オリジナル・スイーツ・デー 3/4(土) 土曜セミナー
------	--	---	--	--	---

2 平成28年度展覧会開催状況

1 所蔵品展

展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	備考
第1期 詩情の花束	三岸好太郎が画業の初期から晩年まで描き続けた主題の一つが〈花〉であった。写実的な描写から前衛的な造形まで華麗、可憐、時には奇怪な花の姿が作品に残されている。花ばかりではなく、多彩な題材に輝く美を咲かせた彼の画業は、繊細なロマンただよう〈詩情の花束〉といえる。そんな三岸好太郎のきらめく創造の軌跡を紹介した。	平成28年4月8日（金） ～6月15日（水）	59日	2,483人	42人 油彩41点 水彩素描15点 版画2点 複製5点 資料3点
第2期 昭和七年・札幌 好太郎がいた日々	札幌は三岸好太郎の故郷であり愛着の街であった。18歳で画家を目指し上京した後もたびたび帰郷しては人々と親しく交流し、新たな創作への鋭気を養っている。とりわけ1932（昭和7）年には意欲的な活動を重ね、その後の更なる飛躍につながった。三岸の札幌滞在にまつわる作品を中心に紹介し、あわせて生涯の代表作を展示した。	平成28年6月23日（木） ～8月21日（日）	52日	3,525人	68人 油彩43点 水彩素描11点 版画2点 複製8点 資料7点
第3期 マ〜ルとたんけん！ ちいさなびじゅつかん	札幌発の人気絵本『おばけのマ〜ル』シリーズ（え・なかいいい／ぶん・けーたろう）には三岸好太郎の作品も登場、美術館はマ〜ルのお気に入りの場所となっている。本展では三岸作品とともに、なかいいいによる絵本原画や絵本のイメージを反映した絵画等を展示。美術館と絵の中の不思議をマ〜ルと一緒に探検する設定のもと、子どもも大人も三岸好太郎の世界に親んでいただけるよう工夫をこらした。	平成28年11月1日（火） ～平成29年1月19日（木）	65日	2,827人	43人 油彩34点 水彩素描40点 複製1点
第4期 その名はミギシ 奔放なる天才	31歳の短い生涯の中、時代に先駆けた新鮮な造形で近代日本の美術に鮮やかな光を放った三岸好太郎。めまぐるしい作風の変化をみせながら、豊かな感性にいろどられ、奔放に新しい絵画への道を目指した天才的画家の魅力を、代表作により紹介した。	平成29年1月28日（土） ～3月23日（木）	47日	1,316人	28人 油彩42点 水彩素描12点 版画4点 複製4点 資料6点
計			223日	10,151人	46人
展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	備考
三岸交響楽 〈オーケストラ〉をめぐる人びと	〈オーケストラ〉は三岸好太郎後期の代表作。前衛表現に触発された時期の画風を示すと同時に美術、音楽、建築などをはじめ、多くの芸術家仲間との交流から生み出されたものであった。大正から昭和初期の東京や札幌における芸術家のネットワークを、作品と関連資料を通じて紹介し、音楽を絵画で表現しようとした三岸好太郎の創造の背景を探った。	平成28年9月3日（土） ～10月19日（水）	40日	1,952人	49人 油彩22点 水彩素描20点 版画4点 写真7点 彫刻3点 資料41点
計			40日	1,952人	49人
合計			263日	12,103人	46人

3 平成28年度展覧会別観覧者数

1 特別展

展覧会名	開催形式	開催日数	観覧者数	摘要
三岸交響楽 〈オーケストラ〉をめぐる人びと	道単	40日	1,952人	
計		40	1,952人	

2 所蔵品展

展覧会名	開催形式	開催日数	観覧者数	摘要
第1期 詩情の花束	道単	59日	2,483人	
第2期 昭和七年・札幌 好太郎がいた日々	道単	52日	3,525人	
第3期 マ〜ルとたんけん！ちいさなびじゅつ	道単	65日	2,827人	
第4期 その名はミギシ 奔放なる天才	道単	47日	1,316人	
計		223日	10,151人	

◎増減

区分	平成27年度	平成28年度	増減	過去平均*	28年度と過去平均の比較
特別展	3,557人	1,952人	▲1,605人		
所蔵品展	11,194人	10,151人	▲1,043人		
計	14,751人	12,103人	▲2,648人	18,689人	▲6,586人

*過去平均は、観覧料が有料化した昭和63年度以降の観覧者数累計より算出。

4 平成28年度曜日別・祝日別観覧者数 (特別展・所蔵品展合計)

区分	平成26年度			平成27年度			平成28年度			摘要
	開催日数	観覧者数	1日平均	開催日数	観覧者数	1日平均	開催日数	観覧者数	1日平均	
平日	169	8,332人	49人	159	7,083人	45人	161	6,264人	39人	
土曜日	47	3,749人	80人	47	4,320人	92人	43	3,134人	73人	
日曜日	48	2,366人	49人	47	2,390人	51人	44	2,018人	46人	
祝日	16	774人	48人	16	958人	60人	15	687人	46人	
計	280	15,221人	54人	269	14,751人	55人	263	12,103人	46人	

(平成28年度祝日観覧者数)		
月日	祝日	観覧者数
4月29日(金)	昭和の日	24
5月3日(火)	憲法記念日	94
5月4日(水)	みどりの日	55
5月5日(木)	こどもの日	41
7月18日(月)	海の日	27
8月11日(木)	山の日	66
9月19日(月)	敬老の日	28
9月22日(木)	秋分の日	34
10月10日(月)	体育の日	46
11月3日(木)	文化の日	104
11月23日(水)	勤労感謝の日	27
12月23日(金)	天皇誕生日	20
1月9日(月)	成人の日	77
2月11日(土)	建国記念日	18
3月20日(月)	春分の日	26
計		687人

5 小・中・高・大学生が占める観覧者割合

	所蔵品展					特別展				
	観覧者 総数	学校種別			全体に 占める割合	観覧者 総数	学校種別			全体に 占める割合
		小・中	高・大	計			小・中	高・大	計	
平成26年度	11,917人	881人	510人	1,391人	11.7%	3,304人	21人	116人	137人	4.1%
平成27年度	11,194人	1,088人	424人	1,512人	13.5%	3,557人	68人	100人	168人	4.7%
平成28年度	10,151人	845人	886人	1,731人	17.1%	1,952人	112人	61人	173人	8.9%
(平均)	11,087	938	607	1,545	13.9%	2,938	67	92	159	5.4%

合計（所蔵品展＋特別展）					
	観覧者 総数	学校種別			全体に 占める割合
		小・中	高・大	計	
平成26年度	15,221人	902人	626人	1,528人	10.0%
平成27年度	14,751人	1,156人	580人	1,680人	11.4%
平成28年度	12,103人	957人	947人	1,904人	15.7%
(平均)	14,025	1,005	718	1,704	12.1%

6 平成28年度学校関係利用状況(展覧会観覧)

	月日	学校名	生徒数	摘要
4月	24日(日)	札幌市立琴似中学校	41人	
	28日(火)	札幌龍谷学園高等学校	25人	
	月計	2校	66人	
5月	6日(金)	札幌龍谷学園高等学校	26人	
	13日(金)	余市町立東中学校	6人	
	20日(金)	神恵内村立神恵内中学校	4人	
	25日(水)	室蘭市立楼蘭中学校	6人	
	月計	4校	42人	
6月	15日(水)	市立札幌大通高等学校	25人	
	15日(水)	北海道札幌南高等学校	11人	
	23日(木)	江別市立中央中学校	6人	
	28日(火)	北海等苫小牧東高等学校	6人	
	29日(水)	北海道芸術高等学校	10人	
	30日(木)	恵庭市立恵み野中学校	12人	
	月計	6校	70人	
7月	1日(金)	北広島市立西の里中学校陽香分校	5人	
	3日(日)	札幌大谷大学	38人	
	6日(水)	札幌市立稲積中学校	16人	
	12日(火)	札幌市立宮の森小学校	119人	
	13日(水)	北海道大学	15人	
	27日(水)	深川市立深川中学校	10人	
	31日(日)	札幌市立稲陵中学校	9人	
	月計	7校	212人	
8月	7日(日)	札幌市立東月寒中学校	5人	
	12日(金)	札幌市立平岡中央中学校	13人	
	13日(土)	高文連石狩支部Aグループ	240人	
	14日(日)	高文連石狩支部Bグループ	83人	
	月計	4校	341人	

	月日	学校名	生徒数	摘要
9月	7日(水)	余市町立西中学校	4人	
	8日(木)	帯広市立川西小学校	5人	
	29日(木)	北海道札幌あいの里高等支援学校	7人	
	月計	3校	16人	
11月	1日(火)	青山建築デザイン医療事務専門学校	29人	
	2日(水)	青山建築デザイン医療事務専門学校	10人	
	7日(月)	青山建築デザイン医療事務専門学校	22人	
	10日(木)	札幌科学技術専門学校	9人	
	16日(水)	市立札幌大通高等学校	33人	
	月計	5校	103人	
12月	9日(金)	北海道札幌国際情報高等学校	39人	
	月計	1校	39人	
1月	7日(土)	北海道札幌南高等学校	7人	
	8日(日)	北海道札幌南高等学校	7人	
	9日(月)	北海道札幌南高等学校	7人	
	14日(土)	札幌北九条小ミニ児童会館	9人	
	17日(火)	伏見小ミニ児童会館	35人	
	月計	5校	65人	
年度計		37校	954人	

(学校種別毎内訳)

区分	学校数	生徒数	摘要
小学校	4校	168人	
中学校	13校	137人	
高等学校	13校	519人	
特別支援学校	1校	7人	
大学	2校	53人	
専門学校	4校	70人	
計	37校	954人	

7 平成28年度教育普及活動等

①講演・講座等

	事業名／タイトル	日 時	内容等	講師・出演者等	参加者数	備 考	計
美術講演会	音楽の昭和 —三岸好太郎を巡る音の風景	9月3日(土)14時～15時30分	特別展「三岸交響楽」の関連事業として、三岸好太郎が活動した時期の日本の音楽状況に関する講演を行った。	講師：片山杜秀(音楽評論家、慶應義塾大学法学部教授)	73人	展示室	73人
土曜セミナー (美術講座)	アニヴァーサリー・セミナー 「シネマとミギシの出会い」	7月2日(土)14時～15時	アニヴァーサリー(開館記念日)に、連続したイベントの一環として開催。三岸好太郎の作品に影響を受けた映画『シェル・コレクター』の監督・坪田義史氏を講師に招いた。	講師：坪田義史(映画監督)	15人	会議室	170人
	三岸好太郎の時代のオーケストラ	10月1日(土)11時～12時	特別展「三岸交響楽」の関連事業として、三岸好太郎が活動した時期の札幌の音楽状況に関する講演を行った。	講師：前川公美夫(元北海道新聞記者)	45人	展示室	
	〈ちいさなびじゅつかん〉と絵本の世界	11月26日(土)14時～15時	所蔵品展「マ〜ルとたんけん！ちいさなびじゅつかん」の関連事業として、絵本『おぼけのマ〜ル』シリーズの作者・なかいれい氏に、アートと絵本の関わりや、自身の絵本に対する想いについて語っていただいた。	講師：なかいれい (イラストレーター、『おぼけのマ〜ル』シリーズ作者)	46人	展示室	
	ミギシ(猫)の謎に迫る！	3月4日(土)14時～15時	当館の人気作品〈猫〉の成立事情について、最新の研究を元に紹介した。	講師：苦名直子(北海道立文学館主任学芸員)	64人	展示室	
講演・講座等 計							243人

②音楽事業(コンサート等)

	事業名／タイトル	日 時	内容等	講師・出演者等	参加者数	備 考	計
美術館コンサート	第81回 「土田英順チャリティ・チェロ・コンサート」	7月1日(金)14時～15時	三岸の代表作(オーケストラ)にちなんだ音楽会。1980年より始められ、三岸作品に囲まれた展示室の空間で、プロの音楽家による室内楽を中心としたプログラムを組み、美術と音楽の響き合いを楽しむ企画。第81回はチェロ奏者・土田英順氏によるチャリティコンサートを開館記念日に、第82回は特別展「三岸交響楽」に関連したコンサートとして開催。	チェロ：土田英順	100人	展示室	193人
	第82回「北光トリオに捧ぐ the 2nd」	9月10日(土)11時～12時		ピアノ：石田敏明 ヴァイオリン：山本聖子 チェロ：藤田淳子	93人	展示室	
ミニ・リサイタル	第202回 関口さくら * 清野亜里紗 スプリングコンサート	5月14日(土)14時～15時	三岸が31歳で夭折しながらも、輝かしい足跡を残したことにちなみ、音楽を目指して今後期待される若手演奏家(35歳以下)による発表の場としても位置づける演奏会。1990年から実施。出演者は公募および音楽系大学からの推薦により決定。	フルート：関口さくら ピアノ：清野亜里紗	125人	展示室	1,013人
	第203回 うたの花束	6月11日(土)14時～15時		ソプラノ：小林優希、篠原志奈、櫻庭奈々	131人	展示室	
	第204回 マリンバの饗宴	7月22日(金)19時15分～20時15分		マリンバ：松沢美希 パーカッション：上野岳	188人	展示室	
	第205回 秋の夜の饗宴	9月24日(金)18時30分～19時30分		アルトサクソフォン：岡本育美 ピアノ：小野寺あい	88人	展示室	
	第206回 木管の響き 真鍮(バス)の響き	11月5日(土)14時～15時		リコーダー：関根大地 サクソフォン：川越明由美	130人	展示室	
	第207回 冬のノスタルジア	12月17日(土)14時～15時		クラリネット：福井遙香 ピアノ：千葉皓司	104人	展示室	
	第208回 鍵盤の歌劇と舞踏	1月28日(土)14時～15時		ピアノ：岡本真奈、戸田浩子	92人	展示室	
	第209回 明日ハ晴レカナ、曇リカナ ～Toru Takemitsu～SONGS	2月18日(土)14時～15時		ソプラノ：柳生たみ ピアノ：伊藤小夜	155人	展示室	
なつのミニ・コンサート	アンサンブル・リベラ・バロック	8月19日(金)18時30分～19時10分	夜間のコンサートとして試験的に開催。	バロック・フルート、リコーダー：新林俊哉 バロック・ヴァイオリン：吉野聖子 バロック・チェロ：吉野巖 チェンバロ：雪田理菜子	107人	展示室	107人
音楽事業 計							1,313人

③ワークショップ、自由工作等

事業名／タイトル	日 時	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
とっておきワークショップ	くるくる・ミギシ	7月20日(土) 20日(金)	ひつがきの技法による絵画の制作を体験し、またそのプロセス 写真撮影し、写真を用いた絵画作品の制作。絵画作品は所蔵品展第4期の会場にて公開した。	48人	募集制、各回10組(それぞれ11人、3人、11人、9人の参加)	83人
	うごくぞ！ミギシ・コラージュ	1月12日(木)、13日(金) 各日10時～11時30分、13時30分～15時	講師：富田哲司(現代美術家)	35人	募集制、各回10組(それぞれ12人、3人、11人、9人の参加)	
自由工作	つくるのだいすきコーナー	展示室内の一角に自由工作のできるコーナーを設置。展示作品やキャラクターにちなんだぬいえやしおりなど、簡易な工作・造形を楽しんでいた。	自由参加	未集計	展示室2階特設コーナー	未集計
ワークショップ、自由工作等 計						83人

④展示解説等

事業名／タイトル	日 時	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
所蔵品展展示解説	火～日曜日(祝日・イベント開催日は除く) 13時～15時(事前予約により別の時間帯にも実施)	北海道美術館協会の解説ボランティアによる所蔵品展示解説。特別展においても、三岸好太郎作品について実施した。	案内：北海道美術館協会ボランティア	759人	個人572人 団体187人	759人
オリジナル・スイーツ・デー & ギャラリー・ツアー	第31回「金蓮花の寒氷と和三盆」	4月23日(土)10時30分～	解説：福地大輔(当館主任学芸員) 協力菓子店：千秋庵	5人		10人
	第32回「花ト蝶のマカロン」	7月22日(金)10時30分～	三岸好太郎作品や特別展にちなんだ特製菓子を限定販売するオリジナル・スイーツ・デーにあわせて、学芸員による特別ギャラリー・ツアー(展示解説)を定員制により実施。参加者には特製菓子をプレゼントした。	3人		
	第33回「おばけのマールとおともだちクッキー」	12月10日(土)10時30分～	解説：福地大輔(当館主任学芸員) 協力菓子店：ツルカフェ	2人		
	第34回「魅惑の甘くほろ苦きロール」	2月18日(土)、19日(日)	解説：福地大輔(当館主任学芸員) 協力菓子店：のさき家	2人		
ギャラリー・ツアー	アニヴァーサリー・ギャラリー・ツアー	①6月28日(火) ②6月29日(水) ③6月30日(木) 各日10時～	開館記念日(7月1日)をはさむ1週間のイベントの一環として、学芸員による所蔵品展展示解説を実施。	14人	①2人 ②5人 ③7人	14人
ぐるっと三館鑑賞ツアー	①7月6日(水) ②7月8日(木) ③7月9日(金) 各日10時～12時10分	近代美術館・三岸美術館・知事公館の三館の展示や館内外を、美術館協会ボランティアや学芸員、知事公館長の解説とともにめぐる鑑賞ツアー。当館ではカフェきねずみでティータイムも楽しんでいた。	解説：北海道美術館協会ボランティア、知事公館長、近代美術館学芸員 近代美術館との共催 協力：知事公館	43人	募集制、各回定員15人 (①16人 ②17人 ③10人)	43人
学芸員による特別展解説	①9月17日(土) ②10月8日(土) 各日11時～	特別展「三岸交響楽」の関連事業として、担当学芸員が展示解説を実施した。	講師：福地大輔(当館主任学芸員)	7人	①2人 ②5人	7人
展示解説等 計						833人

⑤各種イベントその他

事業名／タイトル	日 時	内容等	出演者等	参加者数	備 考	計
アニヴァーサリー・ウィーク2016	オリジナル・スイーツ・プレゼント	6月28日(火)～30日(木) 各日9時30分～	開館記念日(7月1日)をはさむ1週間のイベントの一環として、各日先着30人に特製菓子をプレゼントした。	90人	7月1日は三岸好太郎の命日	90人
カルチャーナイト	似顔絵、描いてもらっちゃおう！	7月22日(金)17時30分～19時	カルチャーナイトへの参加企画として、美術学科の学生等が希望者の似顔絵を制作する「似顔絵コーナー」を、定員制により開設した。	51人	協力：札幌大谷大学	51人
たんけん美術館	(夏休み)	7月24日(日)～8月21日(日) 開館時間中	夏休み、冬休み期間中に、ワークシートのクイズや作品にちなんだパズルなどを楽しみながら、三岸作品と美術館に親しむ子ども向け企画を実施した。	213人		486人
	(冬休み)	12月23日(金)～1月19日(木) 開館時間中		273人		
マール記念日2016	12月3日(土) 14時～14時45分	おばけのマールと当館に楽しむ日として、親子向けにマールの絵本の読み聞かせ等を実施。カフェでは特別メニューを提供した。	人形劇：人形劇団あさっち 読み聞かせ：SO-LA ヴァイオリン：Duo Hisato	220人		220人
三岸 & マールおみくじ	1月4日(水)～9日(月) 開館時間中	三岸好太郎やおばけのマールにちなんだ言葉を書き入れたおみくじを来館者に配布した。		271人		271人
各種イベントその他 計						1,118人

⑥学校教育との連携協力

事業名／タイトル・学校	日 程	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
学校との授業連携	市立札幌大通高等学校	①6月15日(水) ②11月16日(水)	講師:福地大輔(当館主任学芸員)	58人	①25人 ②33人	108人
	北海道札幌南高等学校	6月15日(水)	講師:福地大輔(当館主任学芸員)	11人		
	北海道札幌国際情報高等学校	12月9日(金)	講師:福地大輔(当館主任学芸員)	39人		
北大連携講座	「美術館という現場」 北海道大学	7月13日(水)	北海道大学と北海道立近代美術館の連携講座の一こまとして、三岸好太郎美術館について学んだ。	講師:北海道大学教授、当館学芸員	15人 教養学部	15人
道立美術館等活用学習充実のための指導者研修		7月26日(火)	長期休業期間の教員を対象に美術館の活動と活用方法についての研修を行った。近代美術館が主に実施、当館では講義と見学受入を行った。	講師:福地大輔(当館主任学芸員)	4人	4人
博物館実習	三岸好太郎美術館の見学	7月29日(金)	近代美術館の実施する博物館実習にあわせて、当館の概要に関する講義と見学受入を行った。	指導:中村聖司(当館副館長)	6人	6人
出張アート教室	「チャレンジの画家 三岸好太郎」 北海道厚真高等学校	11月8日(火)	当館所蔵の三岸好太郎作品〈花〉(O-61)を学校に持参し、学芸員が授業を行った。	講師:福地大輔(当館主任学芸員)	22人 第1学年	22人
職場体験受入	北海道教育大学附属札幌中学校	11月8日(火)	学校からの依頼により、希望する生徒を受け入れ、美術館の様々な業務(広報、資料整理、作品監視・来館者案内、教育普及教材製作ほか)を疑似体験するプログラムを行った。	指導:中村聖司(当館副館長)	4人	15人
	札幌市立陵北中学校	11月15日(火)			4人	
	札幌市立北辰中学校	11月17日(木)			4人	
	札幌市立稲積中学校	11月18日(金)			3人	
札幌南高等学校との連携	「やっぱりミギシが好き—札幌南高美術・書道展」 北海道札幌南高等学校	1月7日(土)～9日(月) 開館時間中	三岸好太郎の母校である札幌南高の生徒たちが、当館所蔵作品に触発されて制作した絵画と書を当館会議室に展示した。	会場:当館会議室 出品:11点(美術4点、書7点)	91人	91人
キャンパス・パートナーシップ	北海道教育大学(札幌校、岩見沢校) 札幌市立大学	通年	大学との利用協定により、所属学生の展覧会観覧料について、所蔵品展は無料、特別展は団体料金を適用した。		97人	97人
学校教育との連携協力 計						358人

⑦館外活動・館外講座等

事業名／タイトル・実施場所	日 程	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
館外講座	札幌市立宮の森小学校	7月11日(月)	講師:福地大輔(当館主任学芸員)	117人	第4学年	295人
	札幌市立北九条小学校	9月24日(土)	講師:福地大輔(当館主任学芸員)	85人	第3学年	
	札幌市立山の手小学校	2月16日(木)	講師:福地大輔(当館主任学芸員)	93人	第4学年	
館外展示	移動美術館 (網走市美術館、美瑛市民会館)	網走会場:9月30日(金)～10月5日(水) 美瑛会場:10月8日(土)～12日(水)	道内地方都市2会場において、近代美術館と三岸好太郎美術館のコレクションによる展示を行った。	展示作品(当館所蔵分):〈大塚仲町風景〉(O-7)、〈友人ノ肖像〉(O-15)、〈道化〉(O-30)、〈婦人像〉(O-43)、〈コンポジション〉(O-56)、〈貝殻と蝶〉(O-81)	1,661人 網走:1,111人 美瑛:550人	1,661人
	ミギシ・サテライト (北菓楼札幌本館)	10月9日(金)～13日(火) 剣淵町 10月16日(金)～20日(火) 登別町	北菓楼札幌本館(旧北海道立三岸好太郎美術館)活用事業に係る北海道教育委員会と(資)ホリホールディングスとの協定に基づき、三岸好太郎美術館の所蔵作品1点を展示。約3ヶ月ごとに展示替えを行った。	展示作品:〈花〉(O-78、3月18日～6月13日)、〈北大のボプラ並木〉(O-51、6月14日～9月13日)、〈机上の静物〉(O-73、9月14日～12月13日)、〈コンポジション〉(O-55、12月14日～3月13日)、〈貝殻と蝶〉(O-81、3月14日～6月14日)	未集計	
館外活動・館外講座等 計						1,956人

⑧地域の団体等との連携協力

事業名／タイトル	日 時	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
ボランティアへの指導・助言	所蔵品展第1期研修	4月13日(水)午前9時30分～10時30分	講師: 福地大輔(当館主任学芸員)	18人		73人
	所蔵品展第2期研修	7月1日(金)午前9時30分～10時30分	講師: 福地大輔(当館主任学芸員)	18人		
	特別展研修	9月8日(木)午前9時30分～10時30分	当館で解説を行う北海道美術館協会の解説部ボランティアを主対象に、所蔵品展各期や特別点等の趣旨、展示構成、作品の特色、見所などについて説明した。	15人		
	所蔵品展第3期研修	11月4日(金)午前9時30分～10時30分	講師: 福地大輔(当館主任学芸員)	12人		
	所蔵品展第4期研修	2月1日(水)午前11時～12時	講師: 中村聖司(当館副館長)	10人		
北海道美術館協力会への講師派遣	特別オリエンテーション	4月13日(水)午後1時30分～1時50分	所蔵品展「詩情の花束」の概要解説を行った。	講師: 福地大輔(当館主任学芸員)	111人 会場: 近代美術館	637人
	美術講座2016 「楽しい美術史入門—近代から現代へ」	7月7日(木)午前10時～11時40分	「三岸好太郎と昭和モダニズム」のタイトルによる講座を行った。	講師: 福地大輔(当館主任学芸員)	147人 会場: 近代美術館	
	特別オリエンテーション	7月8日(金)午後1時30分～1時50分	所蔵品展「昭和七年・札幌」の概要解説を行った。	講師: 福地大輔(当館主任学芸員)	109人 会場: 近代美術館	
	特別オリエンテーション	9月16日(金)午前10時30分～10時50分	特別展「三岸交響楽」の概要解説を行った。	講師: 福地大輔(当館主任学芸員)	88人 会場: 近代美術館	
	特別オリエンテーション	11月30日(水)午後1時30分～1時50分	所蔵品展「マ〜ルとたんけん！ちいさなびじゅつかん」の概要解説を行った。	講師: 福地大輔(当館主任学芸員)	89人 会場: 近代美術館	
	特別オリエンテーション	2月1日(水)午後1時30分～1時50分	所蔵品展「その名はミギン」の概要解説を行った。	講師: 中村聖司(当館副館長)	93人 会場: 近代美術館	
北海道美術館協力会の事業への共催または後援	美術講座2016 「楽しい美術史入門—近代から現代へ」	5月～9月 全15回	共催	178人 会場: 近代美術館		580人
	美術講座プレミアム2016	9月～10月 全5回	共催	156人 会場: 近代美術館		
	アート・クラブ2016 「遊びにおいで！アート工房」	6月11日(土)午前10時30分～午後3時	北海道美術館協力会からの依頼に応じ、同会事業への共催または後援に取り組んだ。	後援	136人 会場: 近代美術館	
	ジュニア・アート・クラブ2016 「創ってみない？紙deポップupワールド」	10月22日(土)午前10時～12時45分	後援	21人 会場: 近代美術館		
	アート・クラブ2017 「ほくのおしゃれ ワタシのおしゃれ」	2月18日(土)午前10時～午後3時	後援	89人 会場: 近代美術館		
地域の団体等との連携協力 計						1,290人

⑨図書並びに美術情報の閲覧

項目	利用月	内容	利用者数	備 考	計
図書コーナー	4月		189人		3,038人
	5月		312人		
	6月		216人		
	7月		282人		
	8月		447人		
	9月	三岸好太郎の画集、書籍、開催展覧会図録、紀要、年報、美術館報、その他関連図書、文献資料、他館展覧会情報、『おぼけのマ〜ル』シリーズ絵本等を展示室2階に配架し、来館者の利用に供した。	406人		
	10月		129人		
	11月		366人		
	12月		227人		
	1月		276人		
	2月		110人		
	3月		78人		
図書並びに美術情報の閲覧 計					3,038人
教育普及活動 計					10,232人

8 作品収集状況

年度 区分		42	43	47	50	53	54	56	57	58	59	60	62	63	元	2	3	4	6	9	11	12	15	19	21	24	25	26	27	28	計
油彩	寄贈	59	1		1	1		1		1	1			1		1			1		2	1			1			1	1		74
	購入		3				1	1	4					1	1			1	1												13
	寄託										1	1	1						△ 1						1	1		△ 1			5
水彩・素描	寄贈	151										1								1			1								154
	購入						1										2							1							4
	寄託																														
版画	寄贈	9		1																											10
	購入																														
	寄託																														
計		219	4	1	1	1	2	2	4	1	2	2	1	2	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1		1	1		260

○所蔵作品数

	寄贈	購入	寄託	計
油彩	74	13	(5)	87
水彩・素描	154	4		158
版画	10			10
計	238	17	(5)	255

(外数)